

平成30年度
島根県保険者協議会医療費等分析事業報告書

島根県保険者協議会
(事務局 島根県国民健康保険団体連合会)

目 次

I	医療費統計	1
◆	医療費統計にあたって	1
◆	本統計における疾病分類表	2
1	県全体及び制度別の状況	4
(1)	加入者数、レセプト件数、費用額	4
①	加入者数	4
②	レセプト件数	6
③	費用額	8
(2)	医療費諸率	10
①	受診率	10
②	1件当たり費用額	14
③	1人当たり費用額	18
(3)	疾病統計	22
①	疾病別医療費（大分類）	22
②	生活習慣病	30
③	疾病別医療費（中分類）	34
2	市町村別の状況	36
(1)	加入者数、レセプト件数、費用額	36
①	年齢階層別加入者割合	36
②	度別加入者数割合・レセプト件数割合・費用額割合	37
(2)	医療費諸率	39
①	受診率	39
②	1件当たり費用額	40
③	1人当たり費用額	41
④	年齢調整1人当たり費用額	42
⑤	1件当たり費用額と受診率の関係	43
(3)	疾病統計	44
①	疾病別医療費（大分類）	44
②	生活習慣病	45
③	疾病別医療費（中分類）	51

Ⅱ	特定健康診査結果統計	57
	◆健診結果データ集計にあたって	57
1	県全体及び制度別の状況	58
	(1) 特定健診受診者数等	58
	① 特定健診対象者数	58
	② 特定健診受診者数	59
	③ 特定健診受診率	60
	(2) 特定保健指導該当者割合	61
	(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群割合	62
	(4) 検査等結果	63
	① 肥満者の割合	63
	② 高血圧症有病者・予備群の割合	64
	③ 糖尿病有病者・予備群の割合	65
	④ 脂質異常症有病者・予備群の割合	67
	⑤ 習慣的喫煙者の割合	68
	⑥ 飲酒者＜毎日＞の割合	69
	(5) 非肥満者におけるリスク保有者の割合	70
	① 対象者	70
	② リスク保有状況	71
2	市町村別の状況	75
	(1) 特定健診受診者数等	75
	(2) 特定保健指導該当者割合	76
	(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群割合	77
	① メタボリックシンドローム該当者の割合	77
	② メタボリックシンドローム予備群の割合	78
	(4) 検査等結果	79
	① 肥満者の割合	79
	② 高血圧症有病者・予備群の割合	80
	③ 糖尿病有病者・予備群の割合	82
	④ 脂質異常症有病者・予備群の割合	84
	⑤ 習慣的喫煙者の割合	86
	⑥ 飲酒者＜毎日＞の割合	88

(5) 非肥満者におけるリスク保有者の割合	90
① リスク 1 項目	91
② リスク 2 項目	93
③ リスク 3 項目	96

I 医療費統計

◆医療費統計にあたって

1 使用データについて

次の県内医療保険者における平成 30 年5月診療分（6月審査分）レセプトデータを集計した。

- ・島根県内 19 市町村国民健康保険
- ・島根県医師国民健康保険組合
- ・全国健康保険協会島根支部
- ・島根県市町村職員共済組合
- ・島根県後期高齢者医療広域連合

2 分類方法（単位）

次の方法により分類する。

【制度（別）】

（1）国 保

島根県内 19 市町村国民健康保険

島根県医師国民健康保険組合：「市町村別の状況」には含まない

（2）被用者保険

全国健康保険協会島根支部

島根県市町村職員共済組合

（3）後期高齢者

島根県後期高齢者医療広域連合

【診療区分（別）】

（1）入 院（食事・生活療養費を含む）

（2）入院外（調剤費用額を含む）

（3）歯 科

※調剤については、費用額のみ入院外に含め、件数は含めない。

【疾病分類】

レセプト1 件につき1 疾病（主病）を抽出し、社会保険表章用疾病分類表に従い分類（P2、3「本統計における疾病分類表」参照）する。

なお、歯科レセプト及び疾病大分類「X I 消化器系の疾患」のうち、分類コード「1101」「1102」「1103」については、『歯科』と分類した。

3 生活習慣病の定義

次の分類コードを生活習慣病と定義する。

- ・悪性新生物：0201～0210
- ・糖尿病：0402
- ・脂質異常症：0403
- ・高血圧性疾患：0901
- ・虚血性心疾患：0902
- ・脳血管疾患：0904～0908

4 その他

本書掲載グラフのうち、端数処理の関係上、割合の合計が 100%にならない場合がある。

◆本統計における疾病分類表

大分類(20項目)	中分類(120項目)	
	コード	疾 病
Ⅰ 感染症及び寄生虫症	0101	腸管感染症
	0102	結核
	0103	主として性的伝播様式をとる感染症
	0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患
	0105	ウイルス性肝炎
	0106	その他のウイルス性疾患
	0107	真菌症
	0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症
	0109	その他の感染症及び寄生虫症
Ⅱ 新生物＜腫瘍＞	0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞
	0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞
	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞
	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞
	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞
	0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞
	0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞
	0208	悪性リンパ腫
	0209	白血病
	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞
	0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他新生物＜腫瘍＞
Ⅲ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0301	貧血
	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
Ⅳ 内分泌、栄養及び代謝疾患	0401	甲状腺障害
	0402	糖尿病
	0403	脂質異常症
	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
Ⅴ 精神及び行動の障害	0501	血管性及び詳細不明の認知症
	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害
	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）
	0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
	0506	知的障害＜精神遅滞＞
	0507	その他の精神及び行動の障害
Ⅵ 神経系の疾患	0601	パーキンソン病
	0602	アルツハイマー病
	0603	てんかん
	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群
	0605	自律神経系の障害
	0606	その他の神経系の疾患
Ⅶ 眼及び付属器の疾患	0701	結膜炎
	0702	白内障
	0703	屈折及び調節の障害
	0704	その他の眼及び付属器の疾患
Ⅷ 耳及び乳様突起の疾患	0801	外耳炎
	0802	その他の外耳疾患
	0803	中耳炎
	0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患
	0805	メニエール病
	0806	その他の内耳疾患
	0807	その他の耳疾患
Ⅸ 循環器系の疾患	0901	高血圧性疾患
	0902	虚血性心疾患
	0903	その他の心疾患
	0904	くも膜下出血
	0905	脳内出血
	0906	脳梗塞
	0907	脳動脈硬化(症)
	0908	その他の脳血管疾患
	0909	動脈硬化(症)
	0911	低血圧(症)
	0912	その他の循環器系の疾患

大分類(20項目)	中分類(120項目)	
	コード	疾 病
X 呼吸器系の疾患	1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]
	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎
	1003	その他の急性上気道感染症
	1004	肺炎
	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	1006	アレルギー性鼻炎
	1007	慢性副鼻腔炎
	1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎
	1009	慢性閉塞性肺疾患
	1010	喘息
	1011	その他の呼吸器系の疾患
X I 消化器系の疾患	1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
	1105	胃炎及び十二指腸炎
	1106	痔核
	1107	アルコール性肝疾患
	1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)
	1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)
	1110	その他の肝疾患
	1111	胆石症及び胆のう炎
	1112	膵疾患
	1113	その他の消化器系の疾患
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1201	皮膚及び皮下組織の感染症
	1202	皮膚炎及び湿疹
	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1301	炎症性多発性関節障害
	1302	関節症
	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)
	1304	椎間板障害
	1305	頸腕症候群
	1306	腰痛症及び坐骨神経痛
	1307	その他の脊柱障害
	1308	肩の傷害<損傷>
	1309	骨の密度及び構造の障害
	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患
	1402	腎不全
	1403	尿路結石症
	1404	その他の腎尿路系の疾患
	1405	前立腺肥大(症)
	1406	その他の男性生殖器の疾患
	1407	月経障害及び閉経周辺期障害
	1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患
X V 妊娠、分娩及び産じょく	1501	流産
	1502	妊娠高血圧症候群
	1503	単胎自然分娩
	1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく
X VI 周産期に発生した病態	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害
	1602	その他の周産期に発生した病態
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	1701	心臓の先天奇形
	1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1901	骨折
	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷
	1903	熱傷及び腐食
	1904	中毒
	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響
X X 歯科	1101	う蝕
	1102	歯肉炎及び歯周疾患
	1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害

1 県全体及び制度別の状況

(1) 加入者数、レセプト件数、費用額

本統計における加入者数、レセプト件数及び費用額は次表のとおり。被用者保険のデータは一部収集できていないが、国保及び後期高齢者は全加入者のデータを収集している。

制度	性別	加入者数(人)	レセプト件数(件)	費用額(円)
国保	男性	67,203	63,369	2,839,940,055
	女性	70,245	74,632	2,293,700,453
	計	137,448	138,001	5,133,640,508
被用者保険	男性	124,750	79,254	1,984,908,829
	女性	125,760	93,372	1,892,463,839
	計	250,510	172,626	3,877,372,668
後期高齢者	男性	45,789	73,512	4,118,959,302
	女性	78,662	119,337	5,598,710,692
	計	124,451	192,849	9,717,669,994
合計	男性	237,742	216,135	8,943,808,186
	女性	274,667	287,341	9,784,874,984
	計	512,409	503,476	18,728,683,170

※加入者数：平成 30 年 5 月末現在

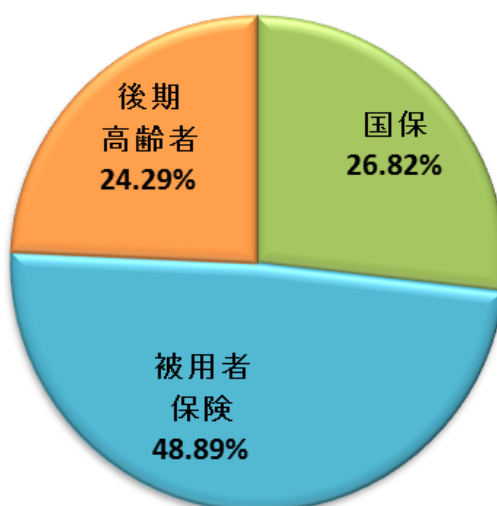
※レセプト件数及び費用額：平成 30 年 5 月診療（6 月審査）分

① 加入者数

平成 30 年 5 月末現在の国保、被用者保険、後期高齢者の加入者のうち約 51 万人のデータを収集した。同時期の島根県人口約 68 万人（しまね統計情報データベース）の約 75%を占める。

制度別加入者の割合をみると、被用者保険が最も高く 48.89%を占める。

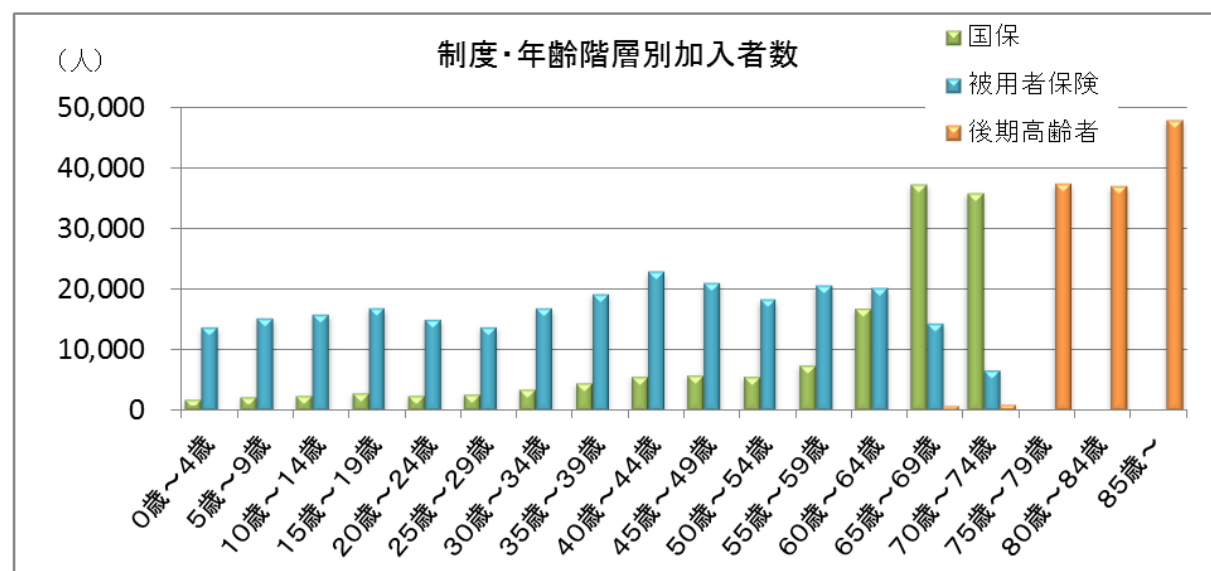
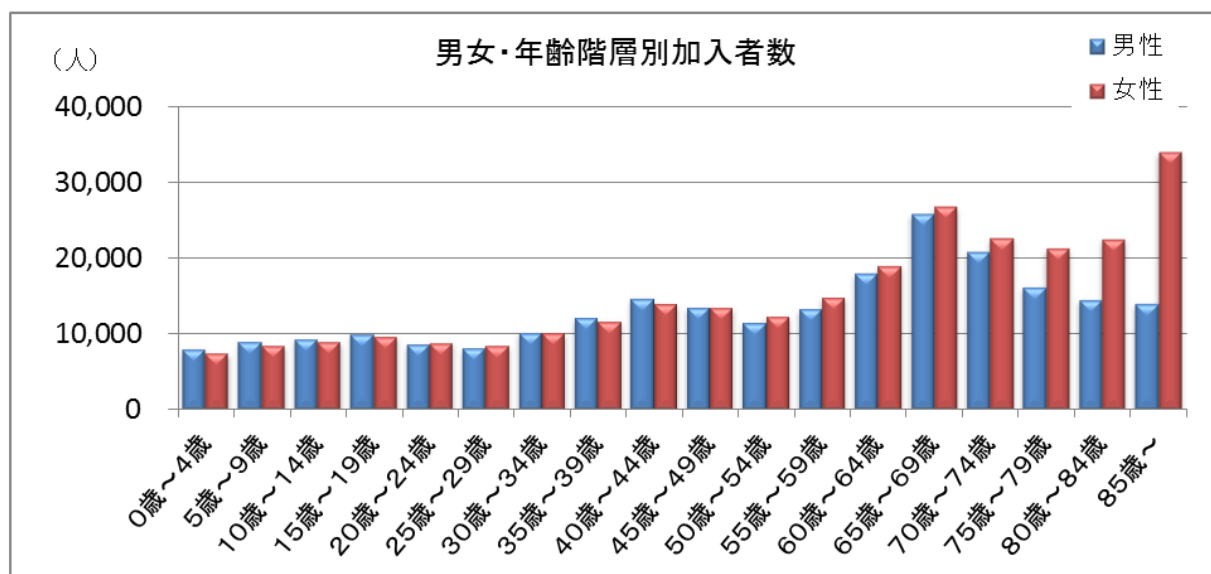
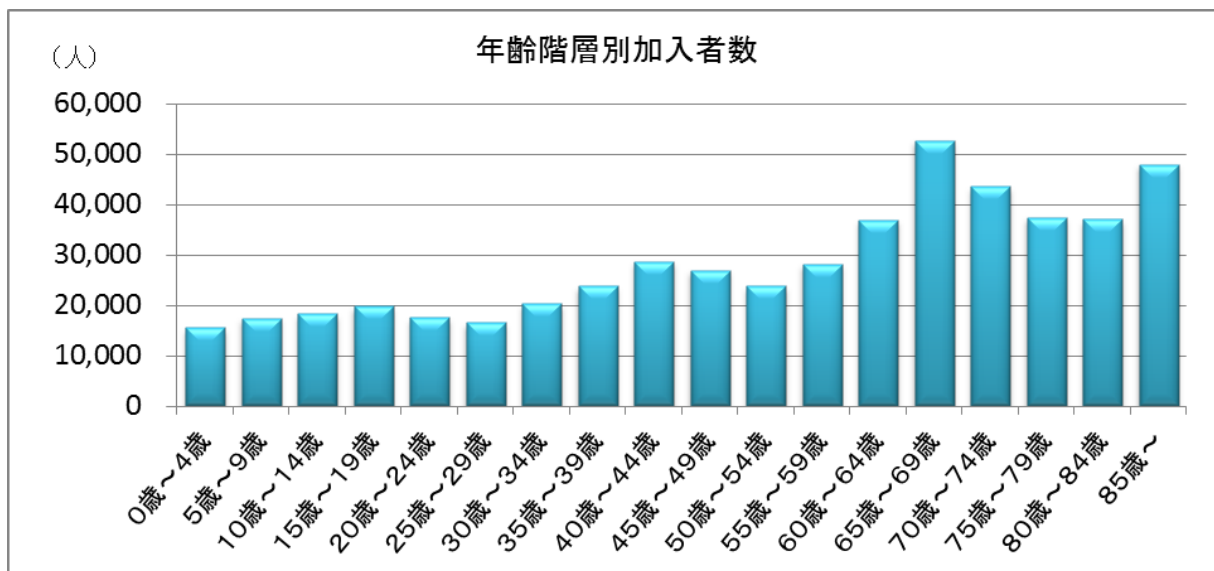
制度別加入者数の割合
【加入者数 約51万人】



加入者数は、若年層が少ない。ただし、被用者保険のデータが一部収集できていないため、74歳以下の加入者数は、実際の島根県の状況とは異なる。

男女別にみると、50歳～54歳以上で女性が多く、加齢とともに格差が大きくなる。

また、国保と被用者保険を比較すると、60歳～64歳以下では被用者保険が多く、65歳～69歳以上は国保が多い。



② レセプト件数

平成 30 年 5 月診療分のレセプトデータ約 50 万件を収集した。

レセプト件数は、加入者数と同様に男性より女性が多い。

診療区分別では、入院外が最も多い。

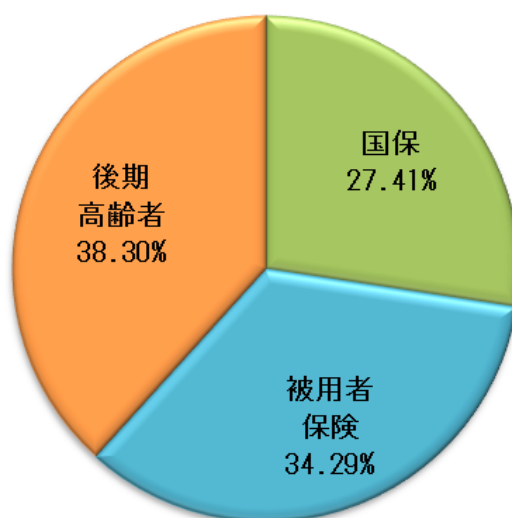
制度	性別	入院(件)	入院外(件)	歯科(件)	合計(件)
国保	男性	2,249	52,437	8,683	63,369
	女性	1,622	61,667	11,343	74,632
	計	3,871	114,104	20,026	138,001
被用者保険	男性	1,200	65,069	12,985	79,254
	女性	1,167	76,021	16,184	93,372
	計	2,367	141,090	29,169	172,626
後期高齢者	男性	3,792	63,017	6,703	73,512
	女性	5,293	104,661	9,383	119,337
	計	9,085	167,678	16,086	192,849
合計	男性	7,241	180,523	28,371	216,135
	女性	8,082	242,349	36,910	287,341
	計	15,323	422,872	65,281	503,476

※調剤件数は含まない

制度別レセプト件数の割合をみると、後期高齢者が最も高く 38.30%を占める。

なお、後期高齢者の加入者数の割合は、24.29%と最も低い（P 4 参照）。

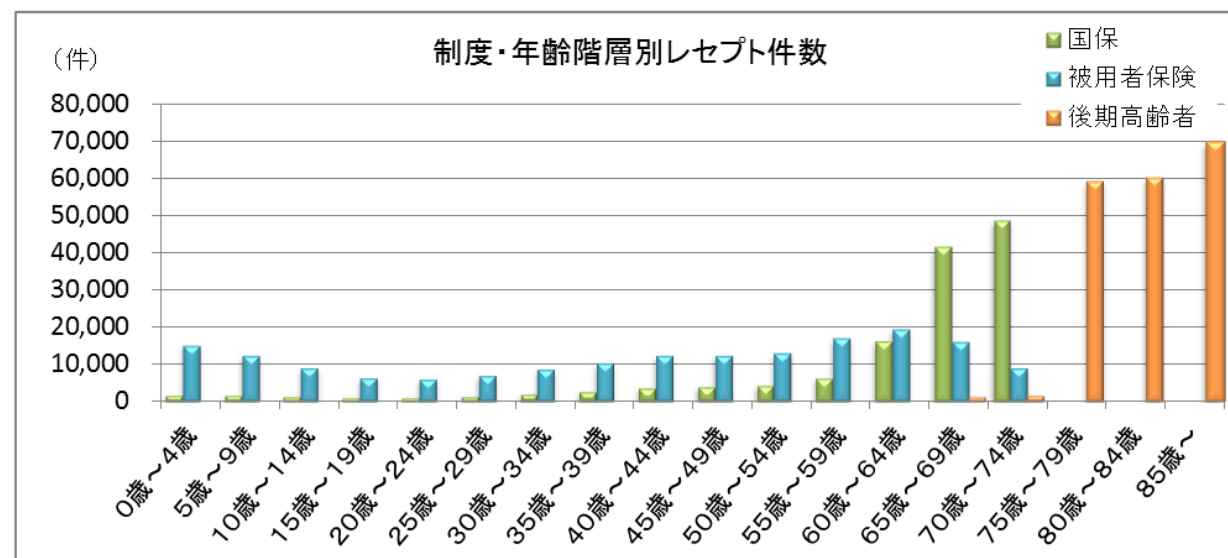
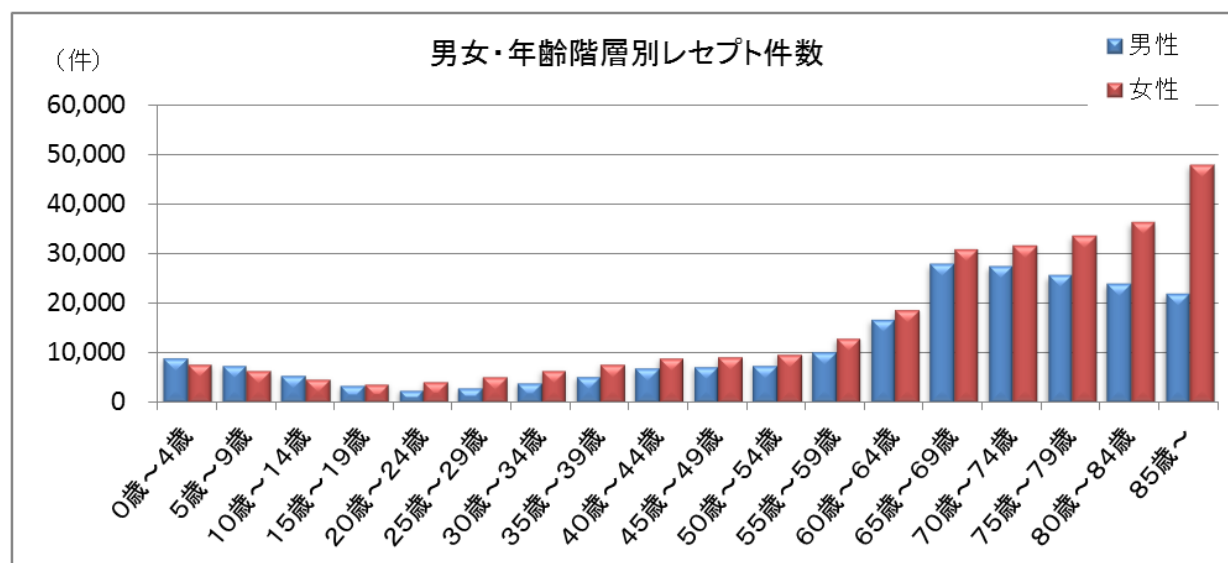
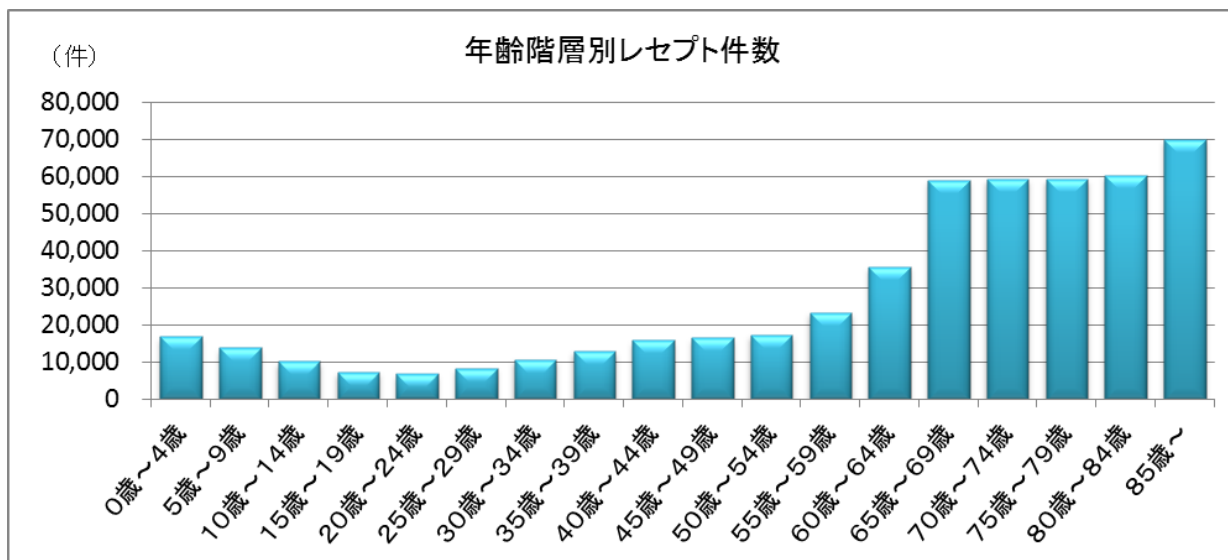
制度別レセプト件数の割合
【レセプト件数 約50万件】



レセプト件数は、加齢とともに増加の傾向がある。

男女別にみると、15歳～19歳以上の全ての年齢階層で女性が多い。特に70歳以上で男女差が大きく、加入者数と同様の傾向がみられる。

なお、国保と被用者保険を比較すると、加入者数と同様に60歳～64歳以下は被用者保険、65歳～74歳は国保が多い。



③ 費用額

平成 30 年 5 月診療分の費用額は、約 187 億円。

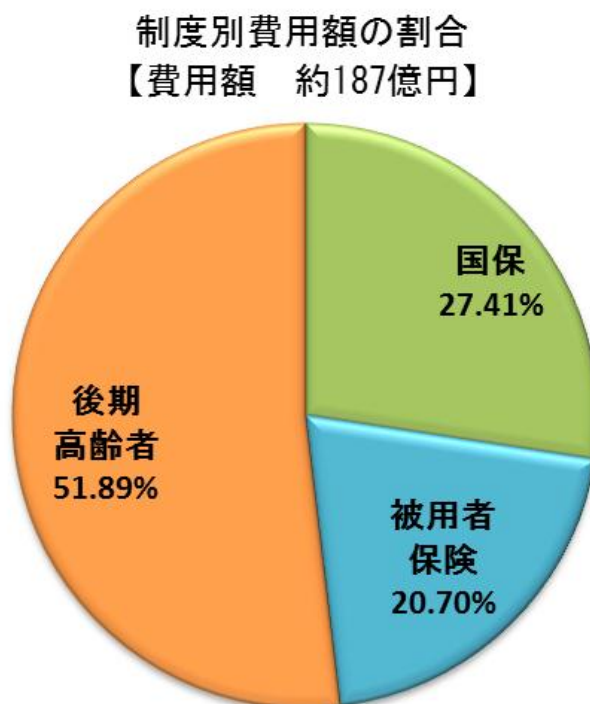
費用額は、男性より女性が高く、加入者数、レセプト件数と同様の傾向がみられる。

制度	性別	入院(円)	入院外(円)	歯科(円)	合計(円)
国保	男性	1,361,341,045	1,359,074,140	119,524,870	2,839,940,055
	女性	919,520,613	1,229,852,930	144,326,910	2,293,700,453
	計	2,280,861,658	2,588,927,070	263,851,780	5,133,640,508
被用者保険	男性	694,882,655	1,117,235,900	172,790,274	1,984,908,829
	女性	567,084,299	1,122,078,980	203,300,560	1,892,463,839
	計	1,261,966,954	2,239,314,880	376,090,834	3,877,372,668
後期高齢者	男性	2,219,310,586	1,800,405,220	99,243,496	4,118,959,302
	女性	3,054,037,602	2,409,545,920	135,127,170	5,598,710,692
	計	5,273,348,188	4,209,951,140	234,370,666	9,717,669,994
合計	男性	4,275,534,286	4,276,715,260	391,558,640	8,943,808,186
	女性	4,540,642,514	4,761,477,830	482,754,640	9,784,874,984
	計	8,816,176,800	9,038,193,090	874,313,280	18,728,683,170

※調剤費用額は、入院外に含む

制度別費用額の割合をみると、後期高齢者が最も高く 51.89%を占める。

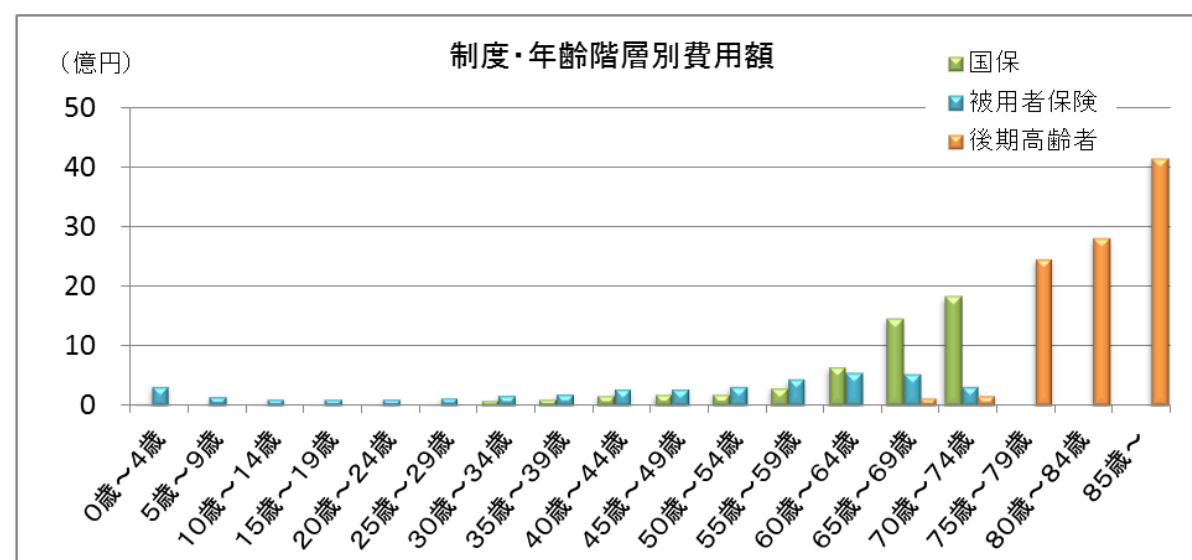
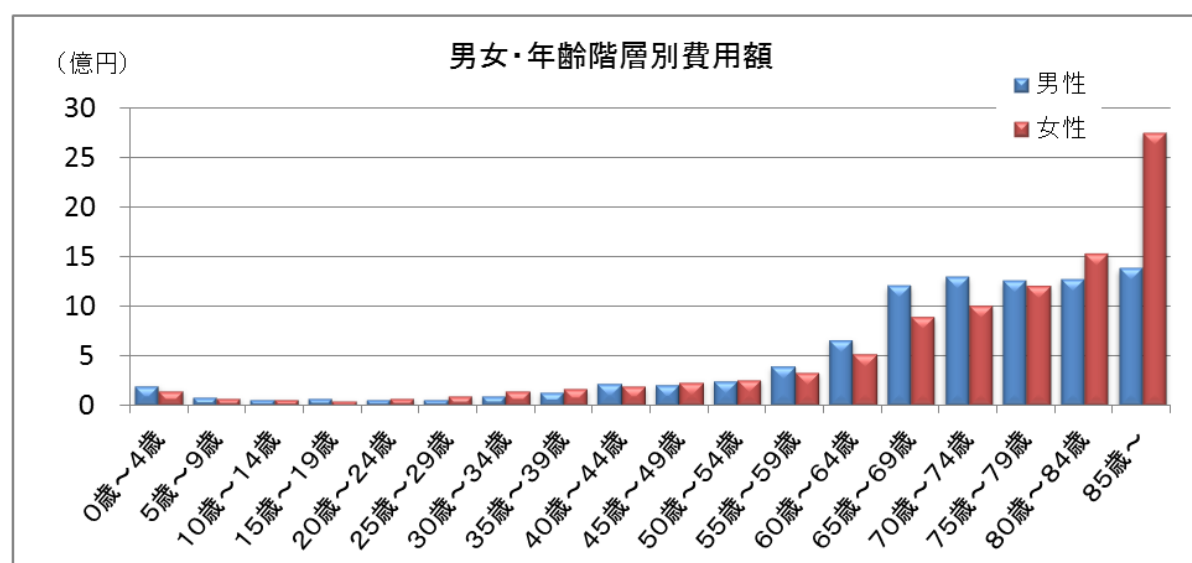
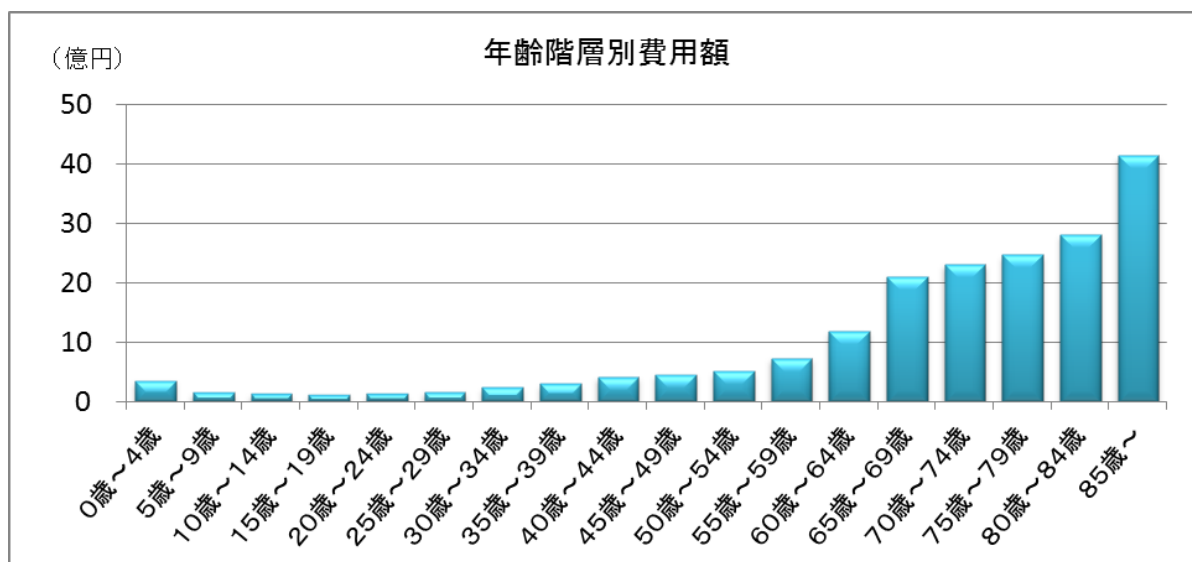
なお、後期高齢者レセプト件数の割合 38.30%を大きく上回っている(P 6 参照)。



費用額は、加齢とともに増加の傾向がみられるが、男性の65歳以上は、ほぼ横ばいとなっている。

男女別にみると、55歳～79歳で男性が高い。なお、同年齢のレセプト件数は女性が多い（P7参照）。

また、国保と被用者保険を比較すると、0歳～59歳は被用者保険、60歳～74歳は国保が高い。



(2) 医療費諸率

① 受診率

$$\text{受診率 (\%)} = \text{レセプト件数 (件)} \div \text{加入者数 (人)} \times 100$$

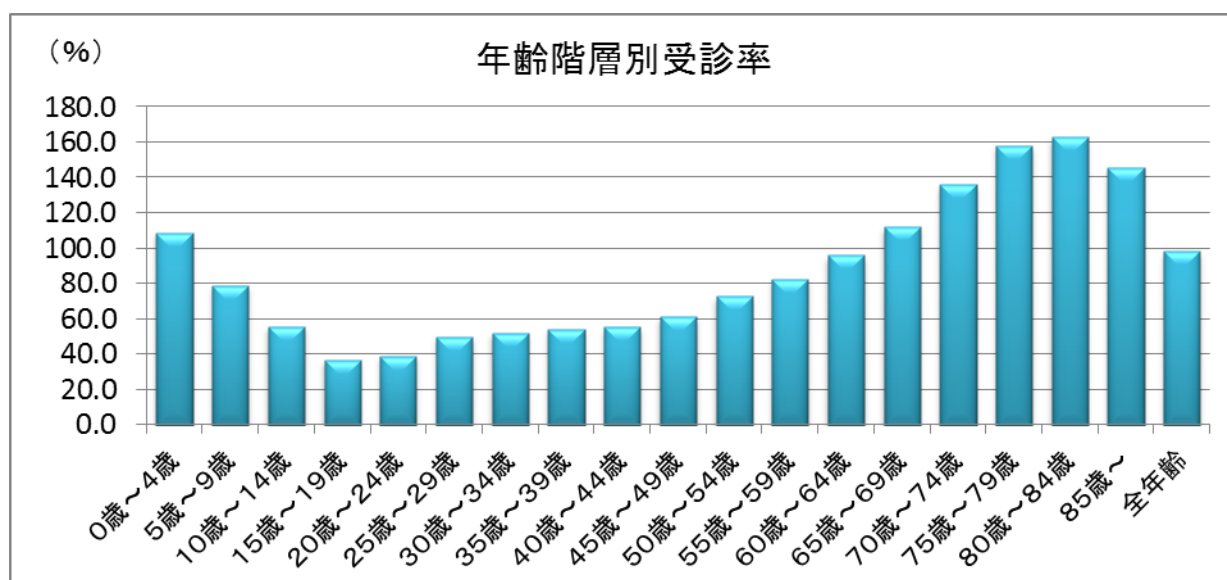
受診率は、合計で 98.3%。男女別では女性が高い。

診療区分別では入院外が最も高く、特に女性が高い。制度別では後期高齢者が最も高い。

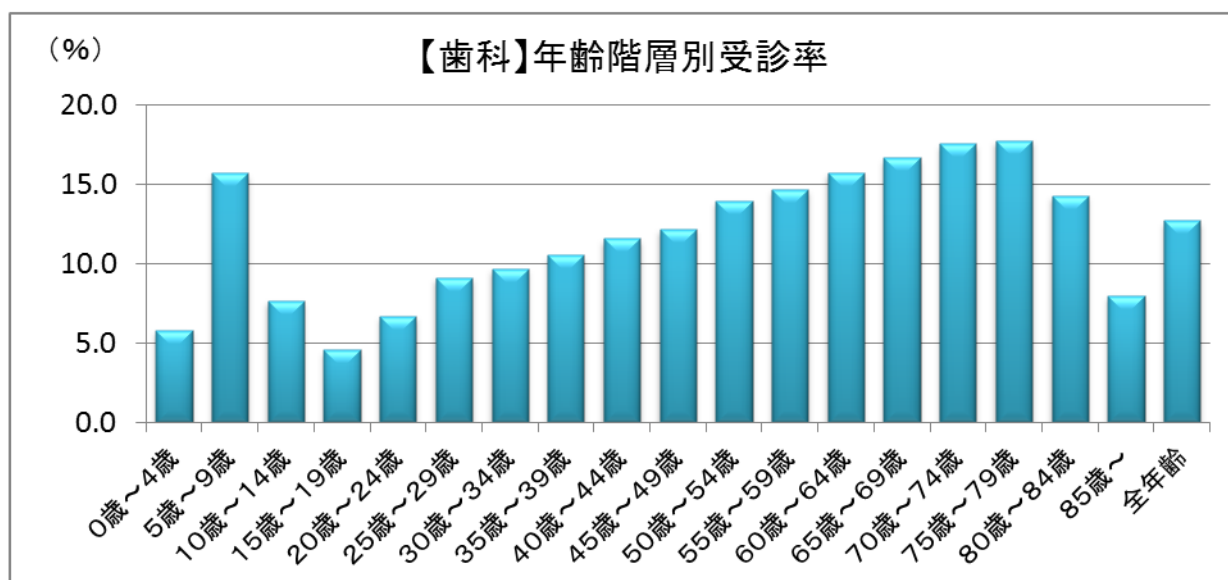
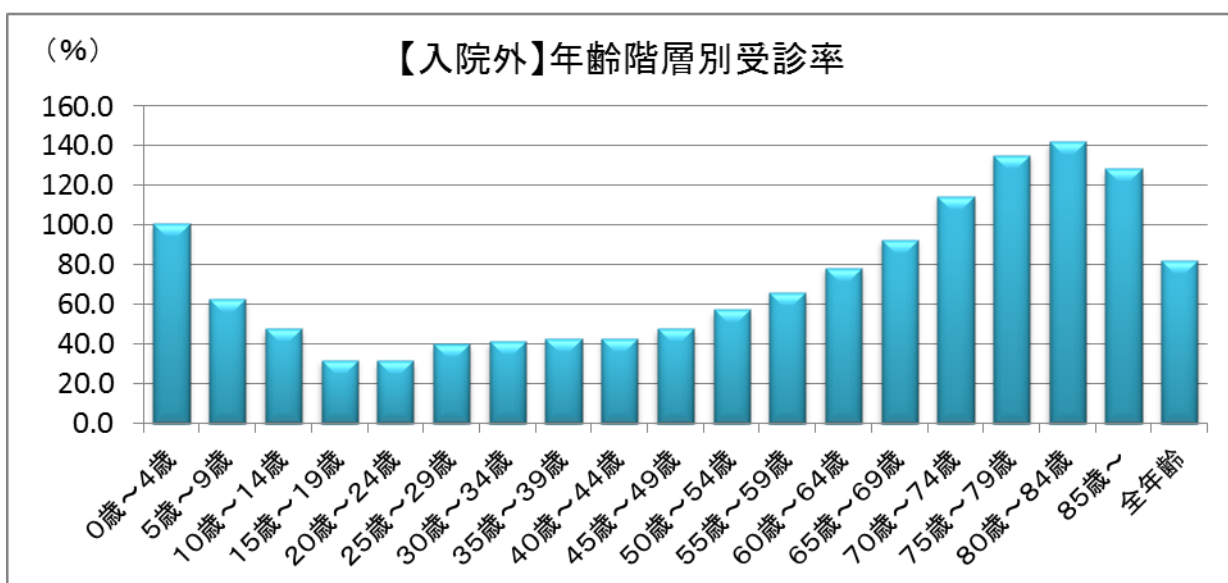
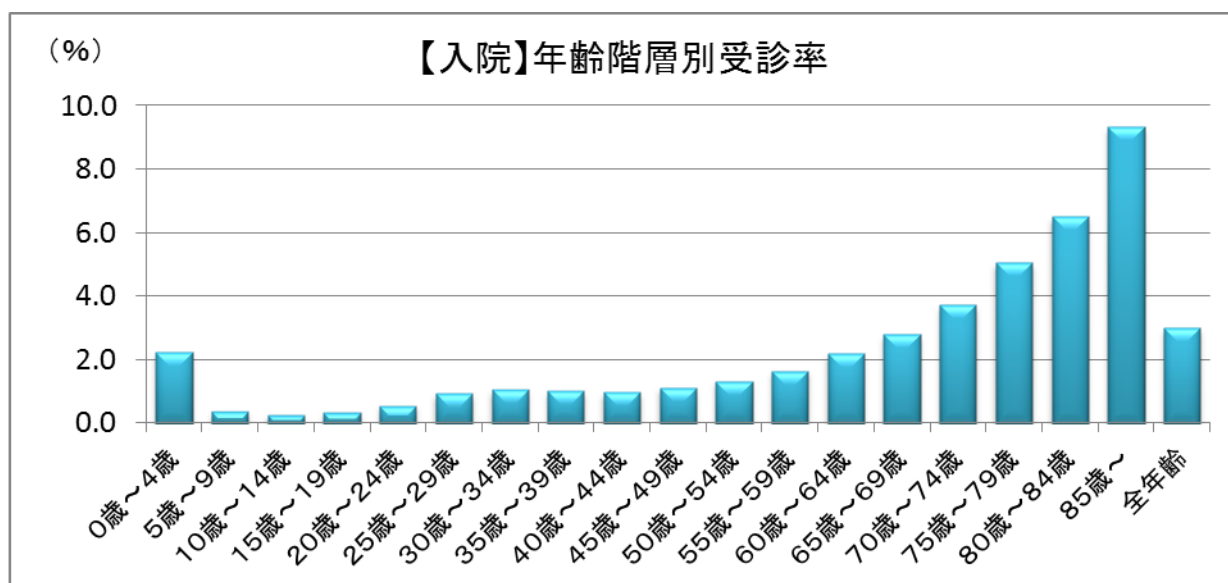
制度	性別	入院(%)	入院外(%)	歯科(%)	合計(%)
国保	男性	3.3	78.0	12.9	94.3
	女性	2.3	87.8	16.1	106.2
	計	2.8	83.0	14.6	100.4
被用者保険	男性	1.0	52.2	10.4	63.5
	女性	0.9	60.4	12.9	74.2
	計	0.9	56.3	11.6	68.9
後期高齢者	男性	8.3	137.6	14.6	160.5
	女性	6.7	133.1	11.9	151.7
	計	7.3	134.7	12.9	155.0
合計	男性	3.0	75.9	11.9	90.9
	女性	2.9	88.2	13.4	104.6
	計	3.0	82.5	12.7	98.3

※調剤件数は含まない

年齢階層別にみると、15歳～19歳以上では加齢とともに高くなり、80歳～84歳が最も高い。

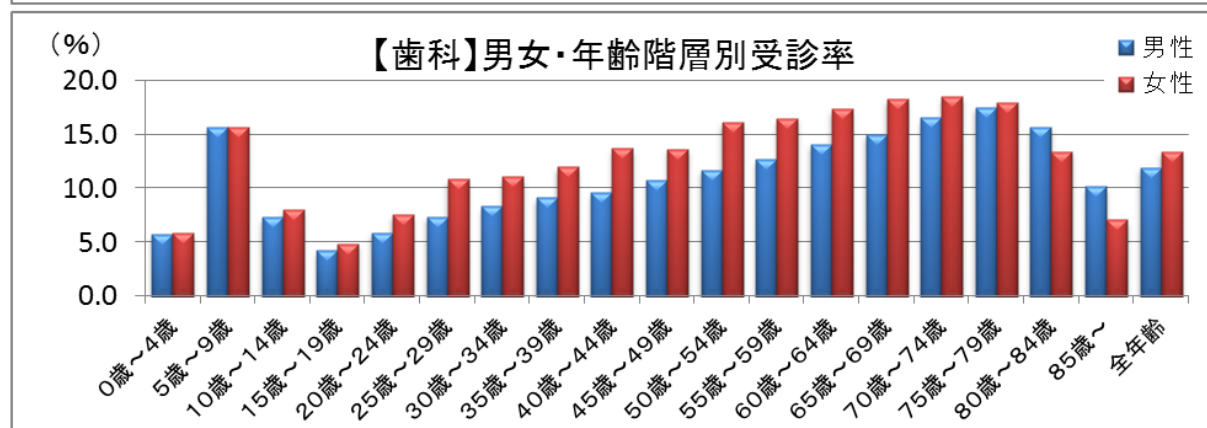
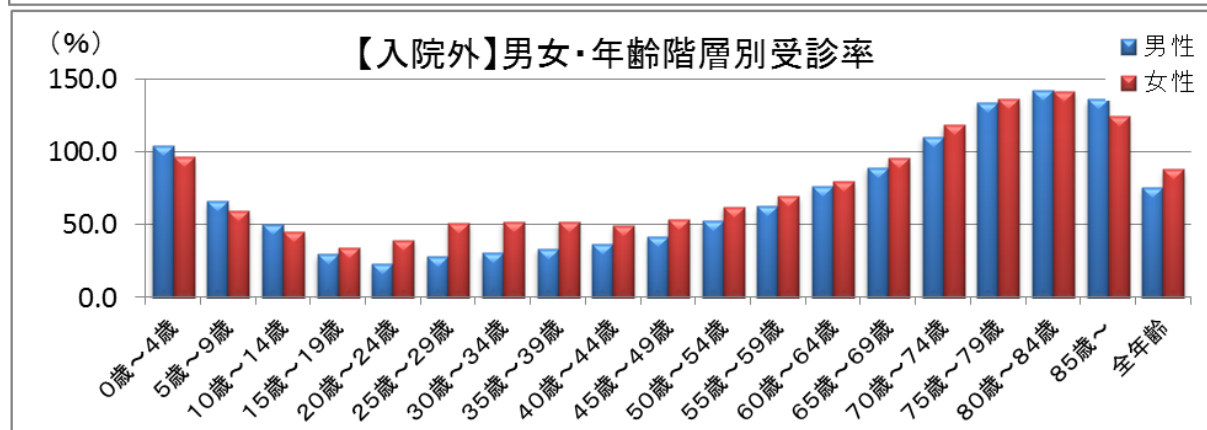
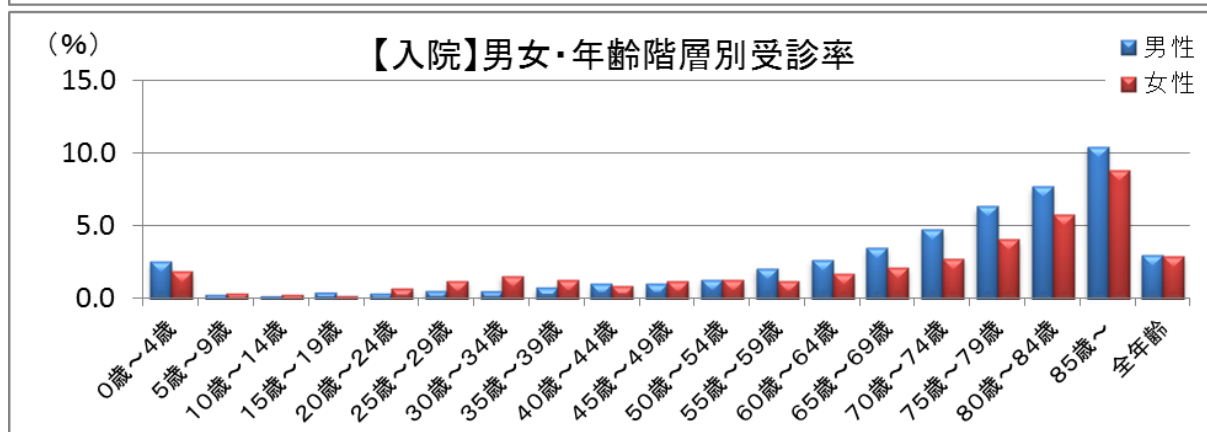
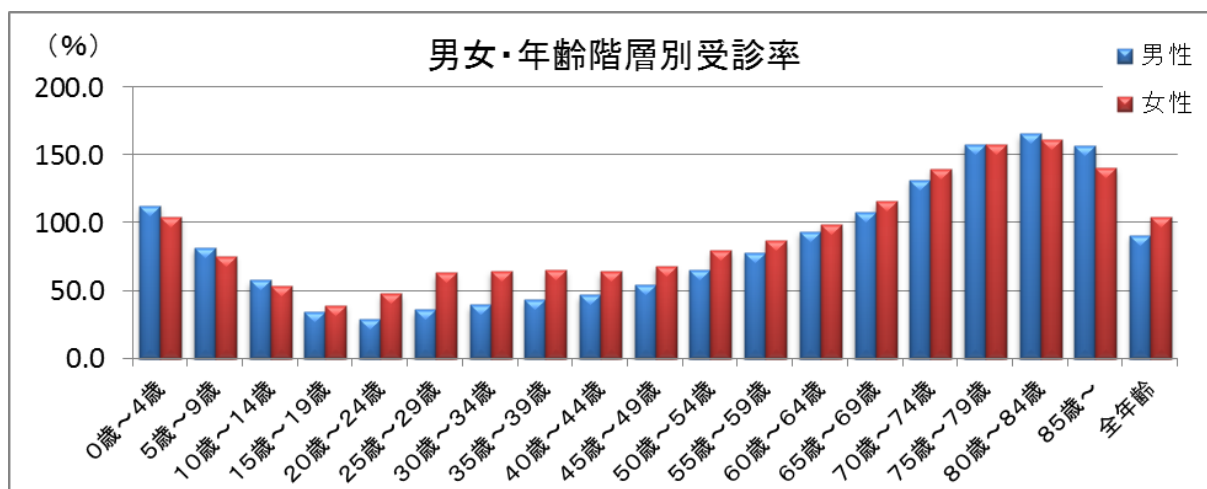


受診率は、入院は加齢とともに増加の傾向がみられる。入院外及び歯科も同様に加齢とともに増加の傾向がみられるが、入院外は80歳～84歳、歯科では75歳～79歳が最も高く、それ以上の年齢では減少に転じる。

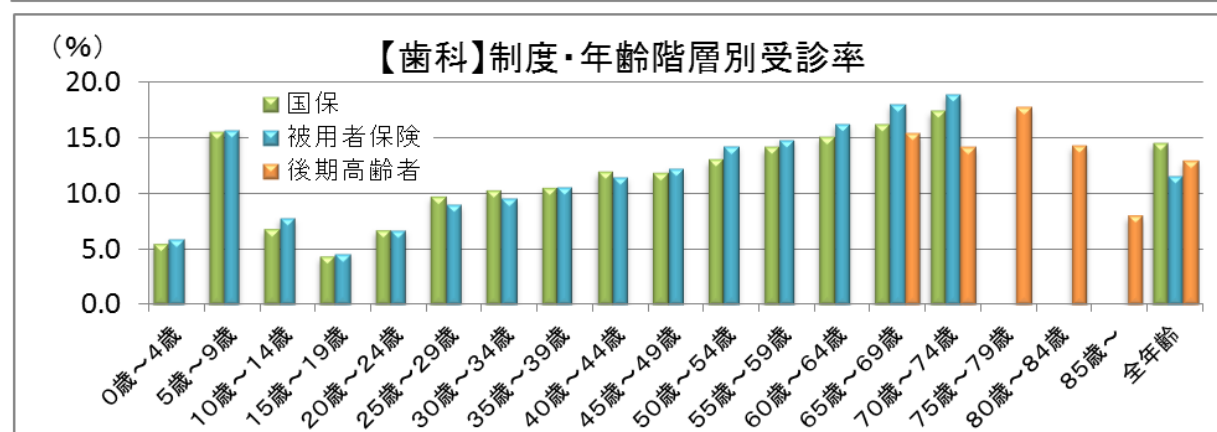
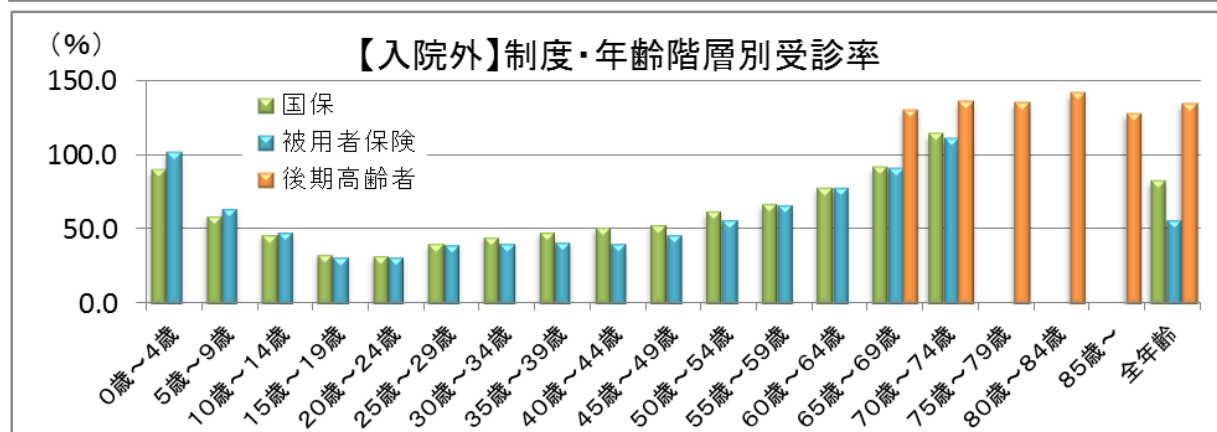
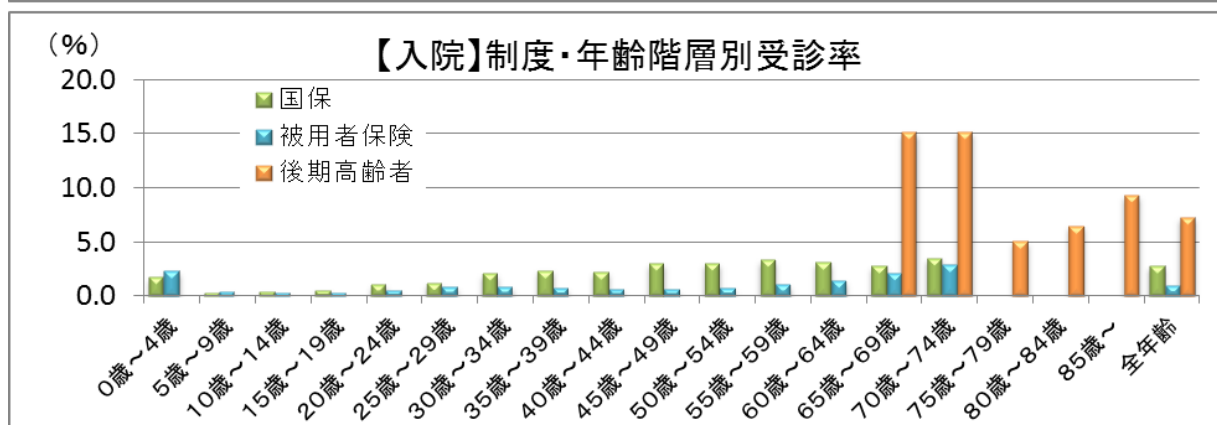
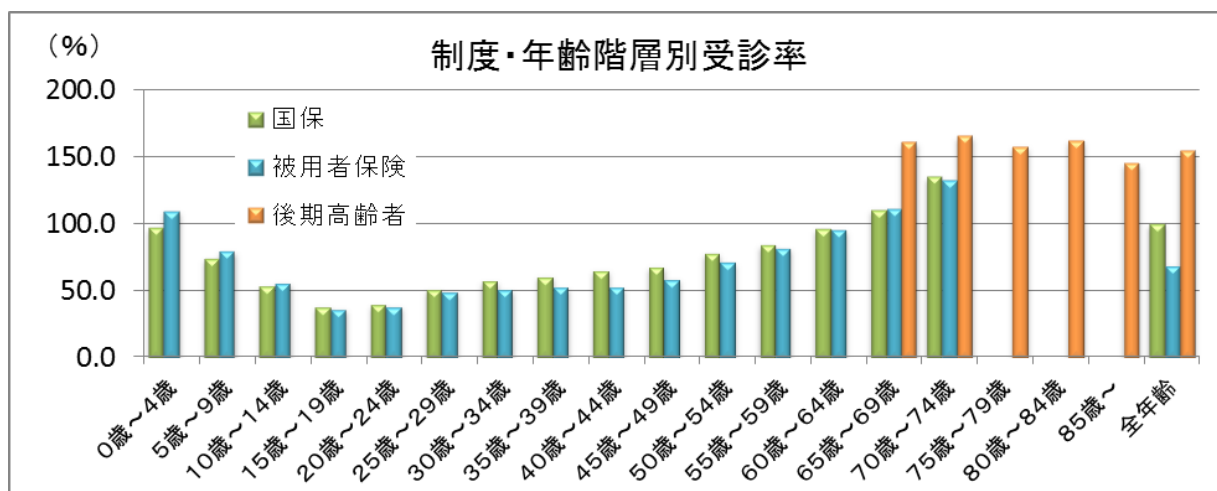


受診率を男女別にみると、15歳～74歳の広い年齢階層で女性が高く、20歳～39歳の若い世代の男女差が大きい。

診療区分別では、入院は55歳以上で男性が高いが、入院外は15歳～19歳以上の広い年齢階層で女性が高い。歯科はほとんどの年齢で女性が高い。



受診率を国保と被用者保険で比較すると、入院及び入院外は、ほとんどの年齢階層で国保が高い。一方、歯科はほとんどの年齢階層で被用者保険が高い。



② 1 件当たり費用額

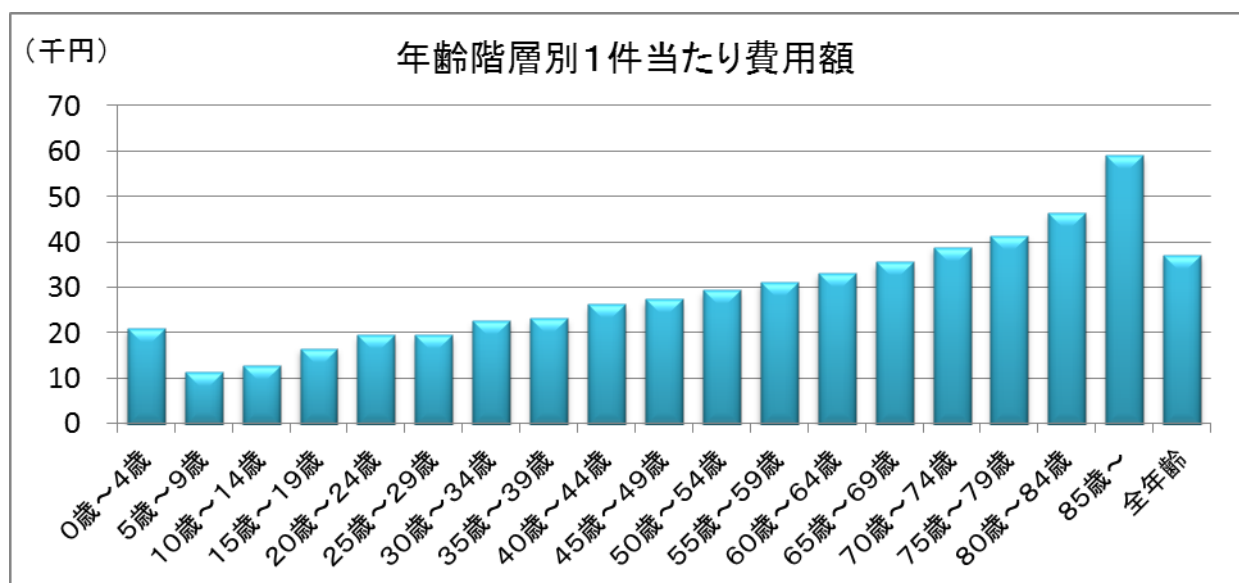
$$1 \text{ 件当たり費用額 (円)} = \text{費用額 (円)} \div \text{レセプト件数 (件)}$$

1 件当たり費用額は、合計で 37,199 円。男女別では男性が高く、診療区分別では入院、制度別では後期高齢者が最も高い。

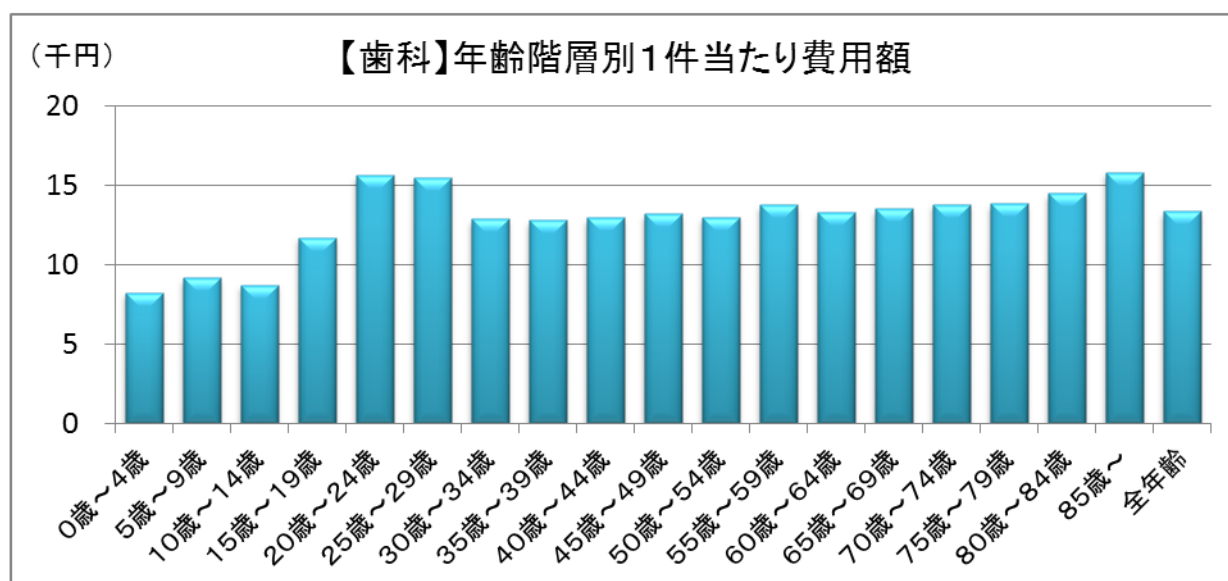
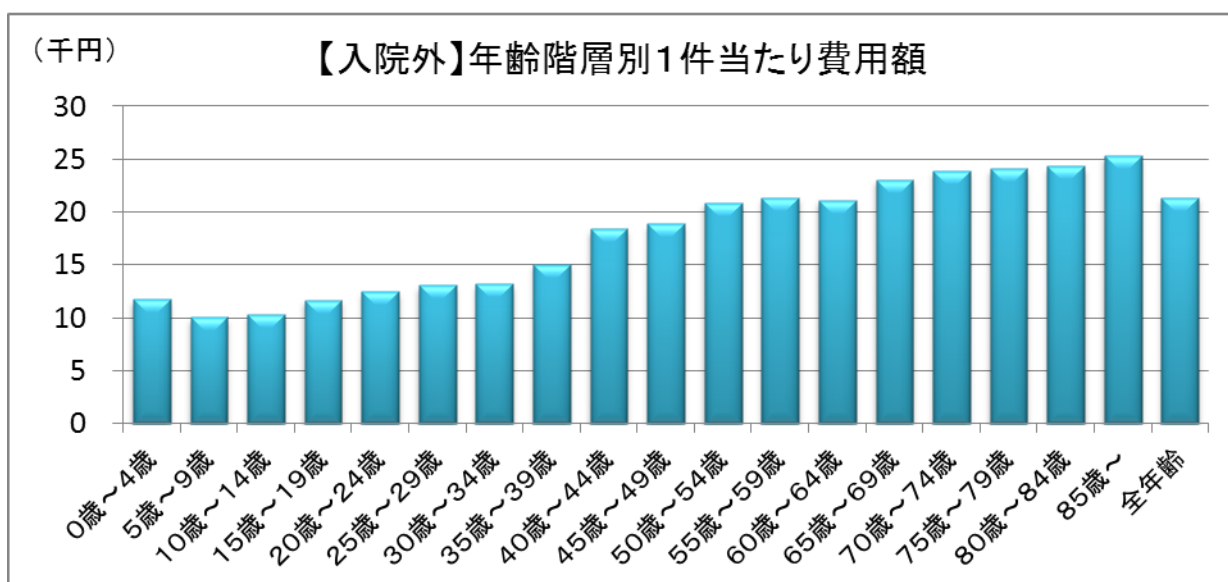
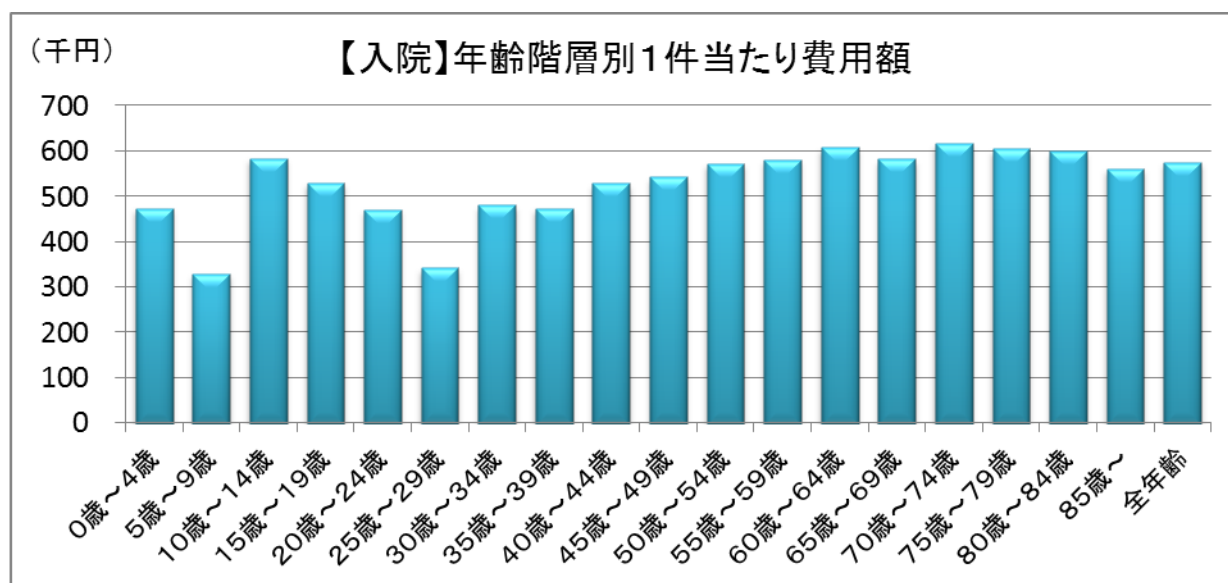
制度	性別	入院(円)	入院外(円)	歯科(円)	合計(円)
国保	男性	605,309	25,918	13,765	44,816
	女性	566,905	19,943	12,724	30,733
	計	589,218	22,689	13,175	37,200
被用者保険	男性	579,069	17,170	13,307	25,045
	女性	485,933	14,760	12,562	20,268
	計	533,150	15,872	12,894	22,461
後期高齢者	男性	585,261	28,570	14,806	56,031
	女性	576,996	23,022	14,401	46,915
	計	580,446	25,107	14,570	50,390
合計	男性	590,462	23,691	13,801	41,381
	女性	561,822	19,647	13,079	34,053
	計	575,356	21,373	13,393	37,199

※調剤費用額は入院外費用額に含む

1 件当たり費用額を年齢階層別にみると、加齢とともに増加している。

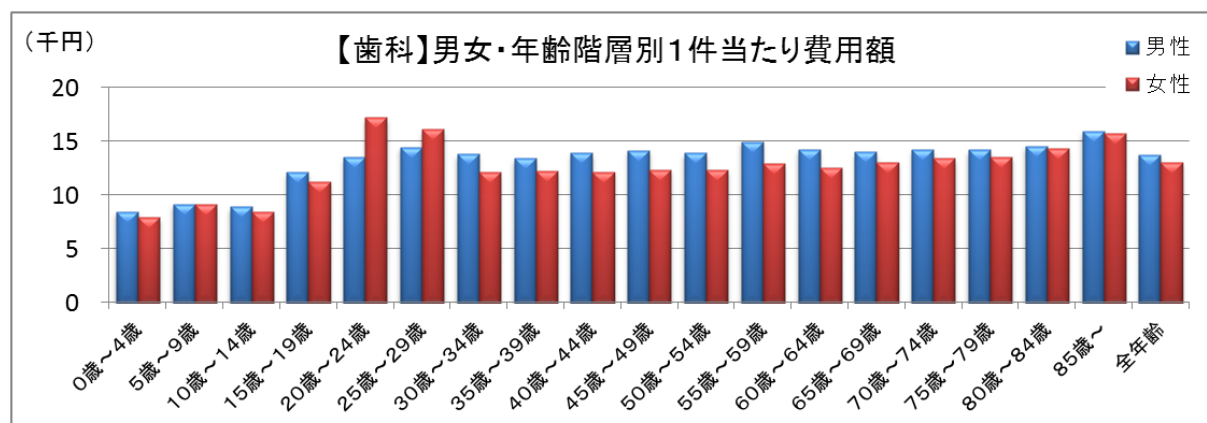
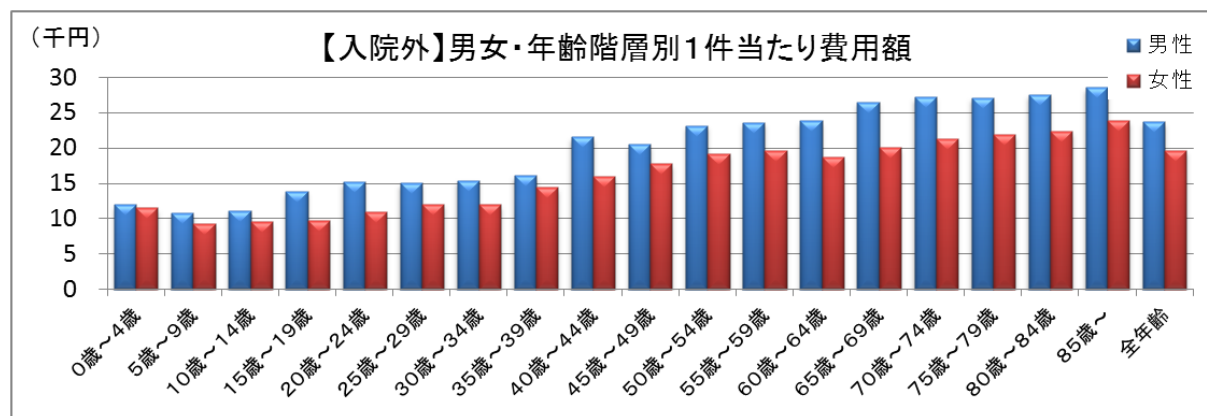
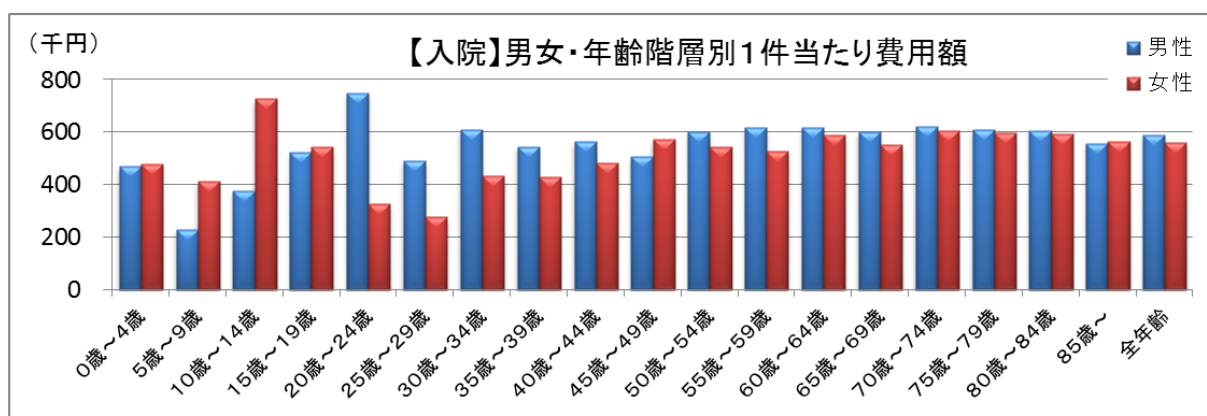
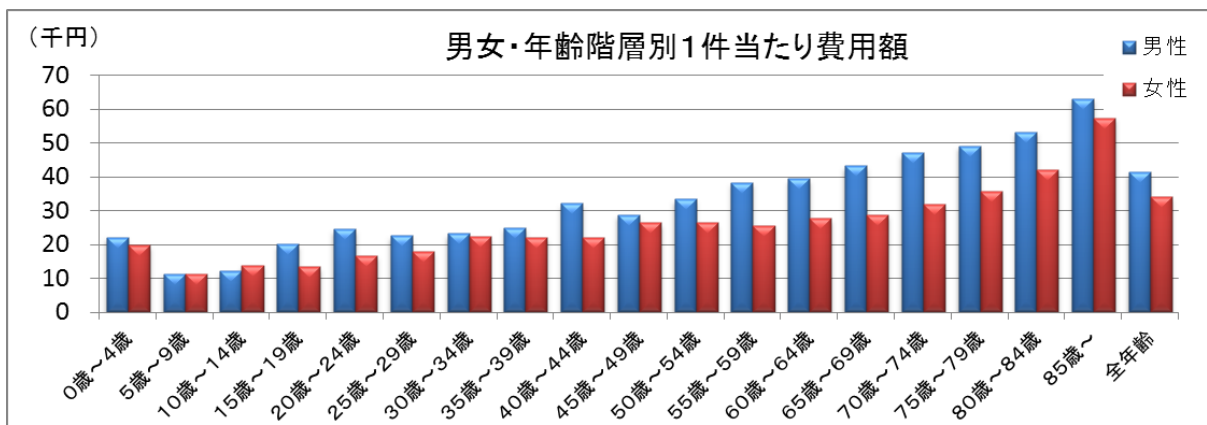


1件当たり費用額は、入院、入院外及び歯科の全ての診療区分で、加齢とともに増加の傾向がみられるが、大きな増加幅はない。

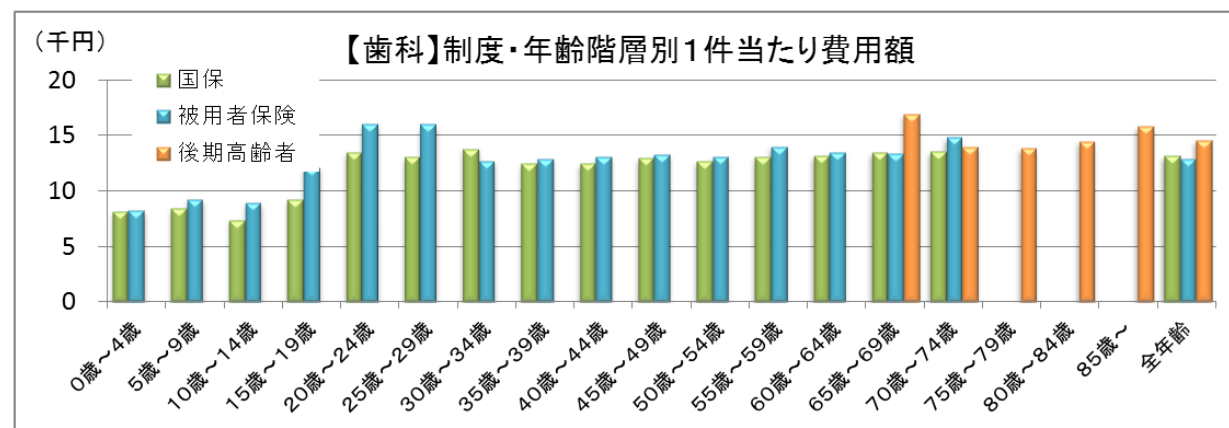
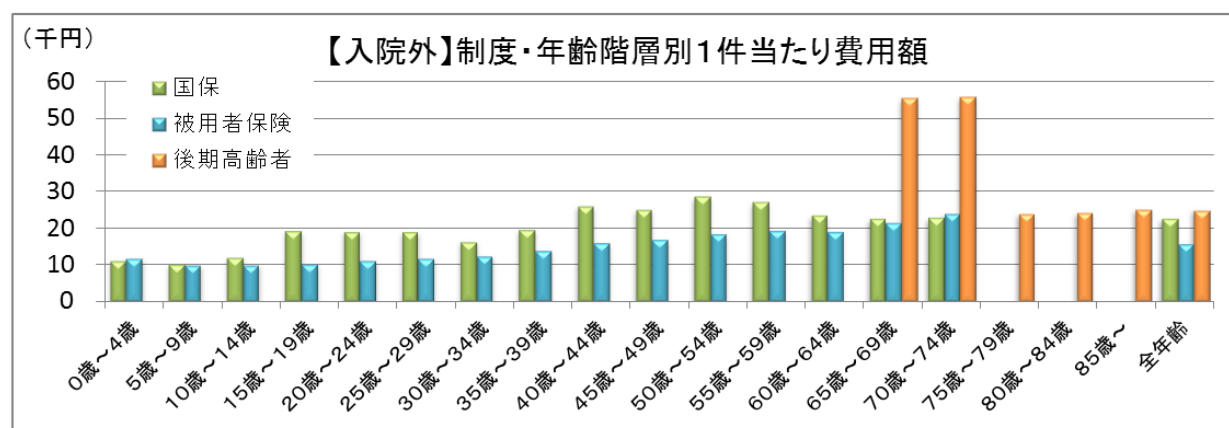
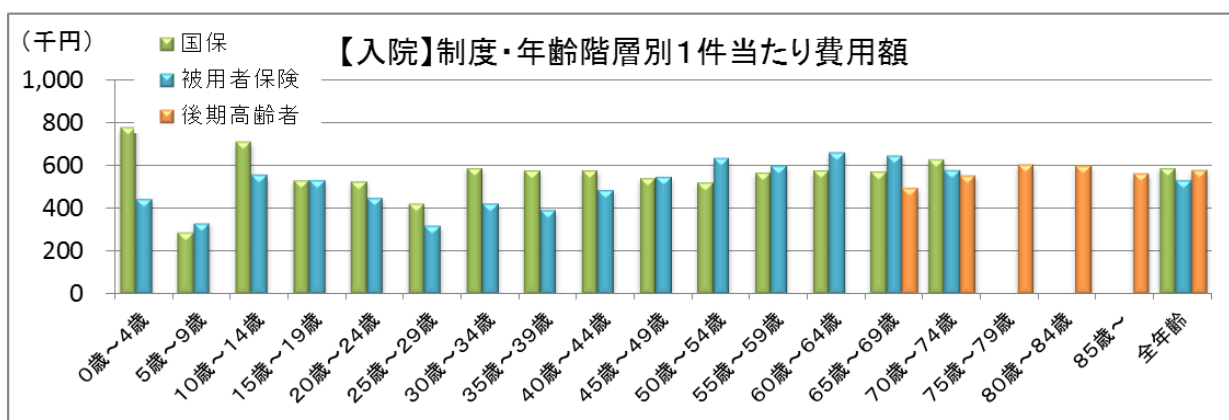
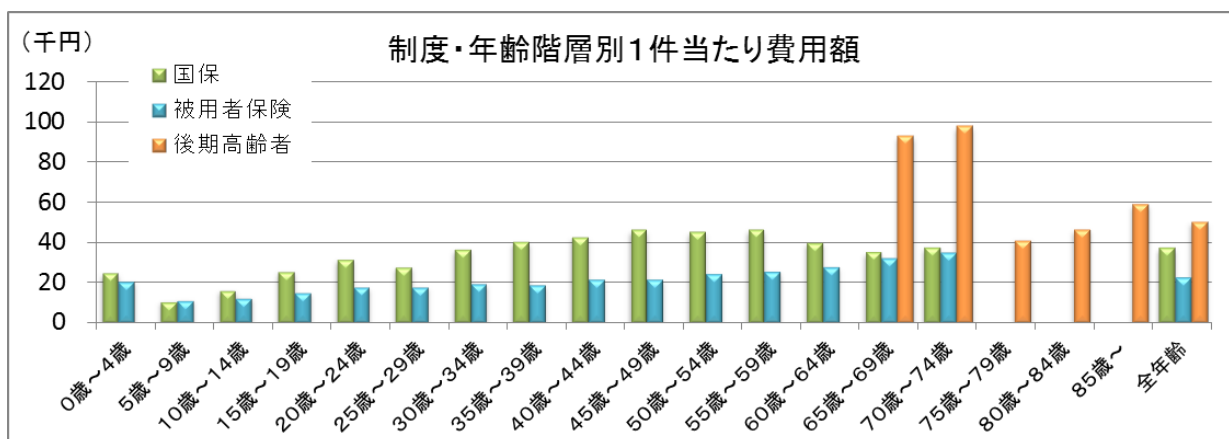


男女別にみると、ほとんどの年齢階層で男性が高い。しかし、受診率は女性が高い傾向がみられる（P12 参照）。

診療区分別にみると、入院は39歳までの若年層で男女差が大きい、40歳以上の年齢では大きな差はみられない。入院外は、全ての年齢階層で男性が高く、歯科も男性が高い傾向がみられる。



1件当たり費用額を国保と被用者保険で比較すると、入院は44歳までは国保が高い傾向で、50歳～69歳では被用者保険が高い。入院外はほとんどの年齢階層で国保が高い。一方、歯科では大きな差はみられない。



③ 1人当たり費用額

$$1人当たり費用額(円) = 費用額(円) \div 加入者数(人)$$

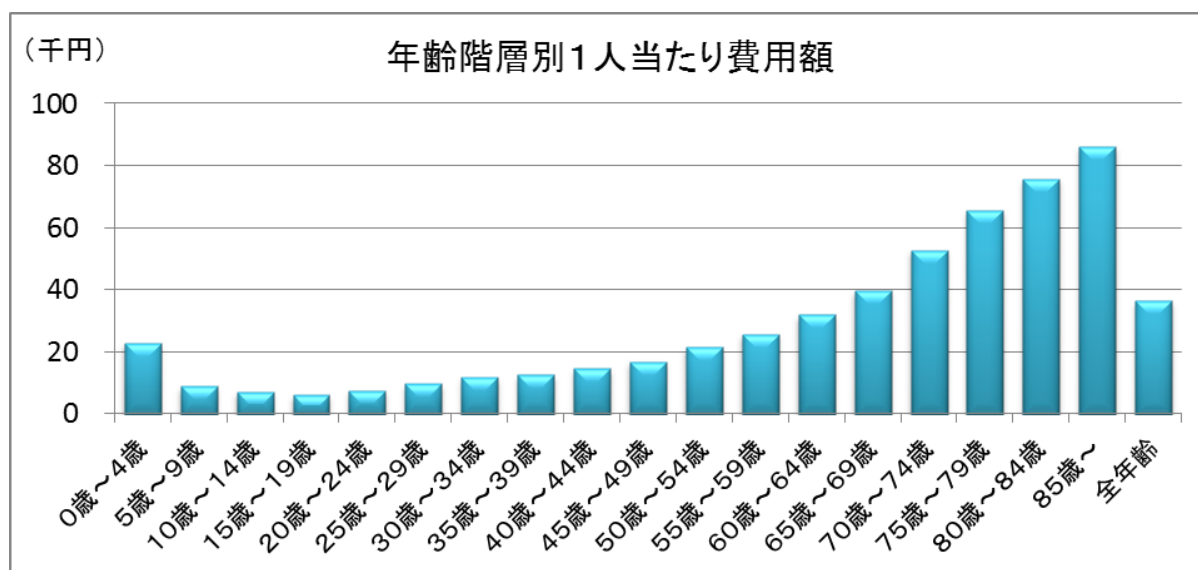
1人当たり費用額は、合計で36,550円。男女別にみると男性が高い。診療区分別では入院外が最も高いが、次いで高い入院との差はわずかである。

制度別では後期高齢者が最も高い。

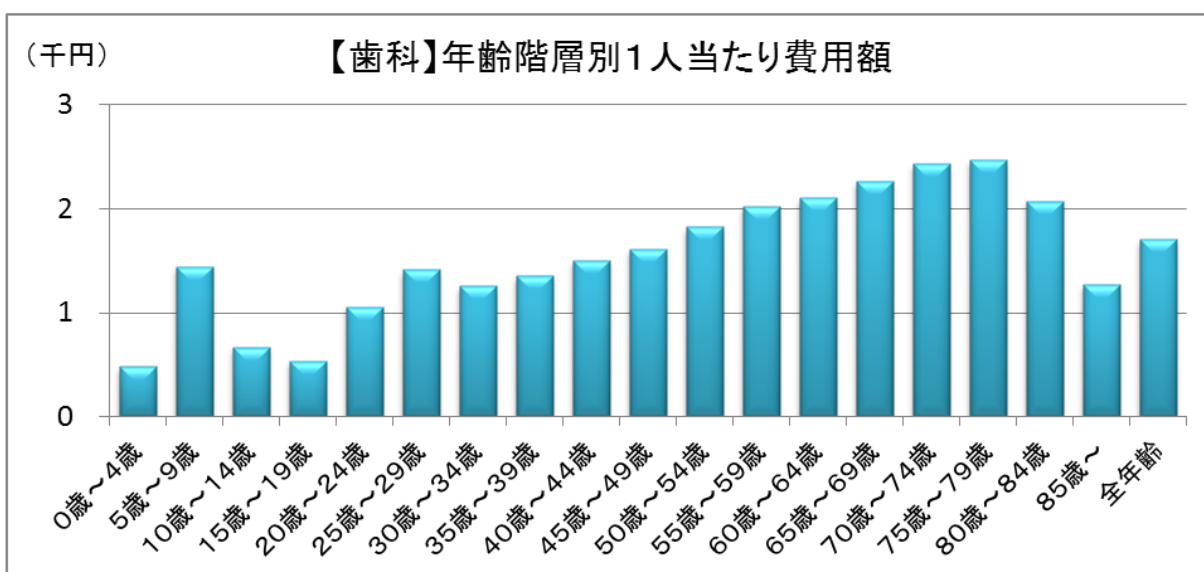
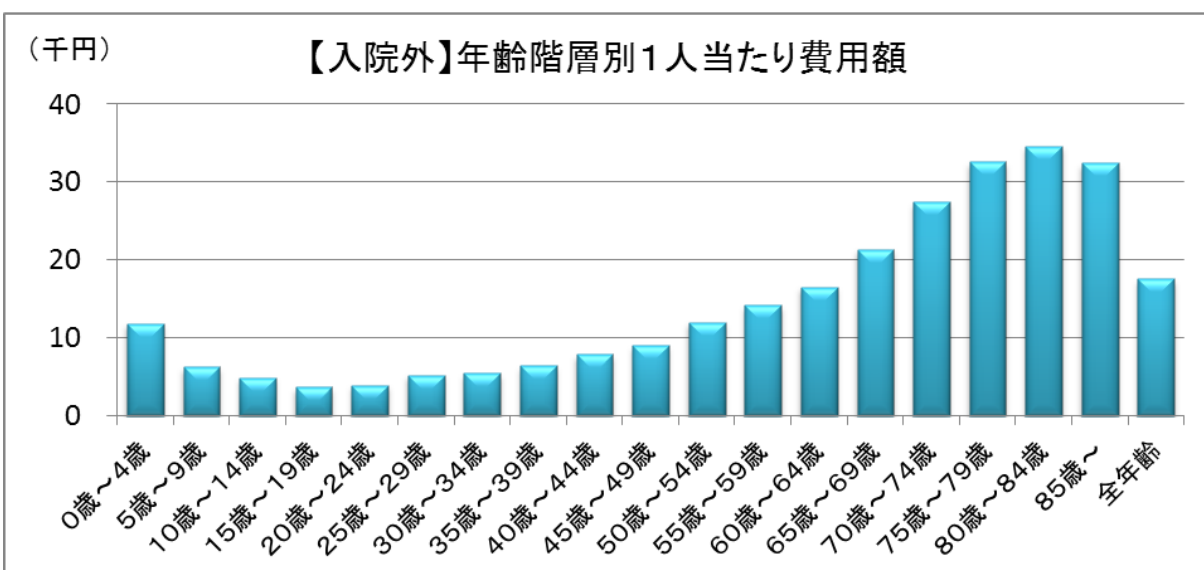
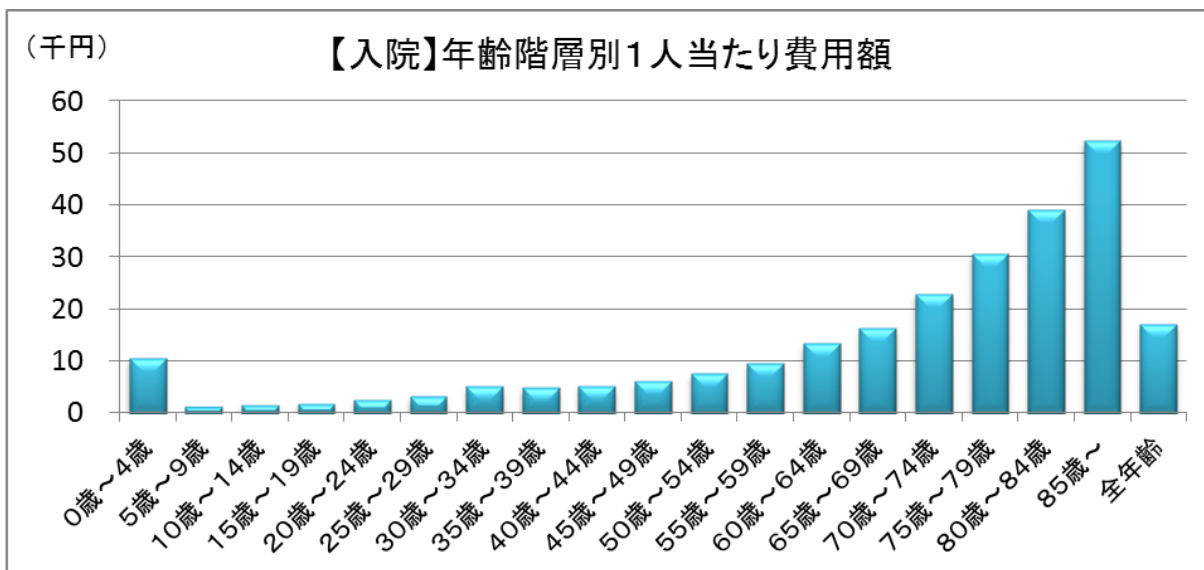
制度	性別	入院(円)	入院外(円)	歯科(円)	合計(円)
国保	男性	20,257	20,223	1,779	42,259
	女性	13,090	17,508	2,055	32,653
	計	16,594	18,836	1,920	37,350
被用者保険	男性	5,570	8,956	1,385	15,911
	女性	4,509	8,922	1,617	15,048
	計	5,038	8,939	1,501	15,478
後期高齢者	男性	48,468	39,320	2,167	89,955
	女性	38,825	30,632	1,718	71,174
	計	42,373	33,828	1,883	78,084
合計	男性	17,984	17,989	1,647	37,620
	女性	16,531	17,335	1,758	35,625
	計	17,205	17,639	1,706	36,550

※調剤費用額は入院外に含む

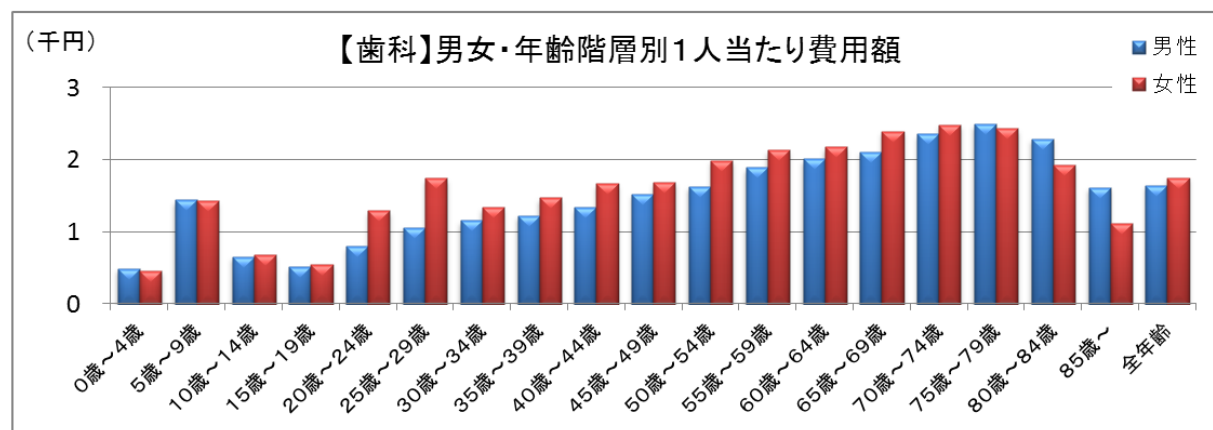
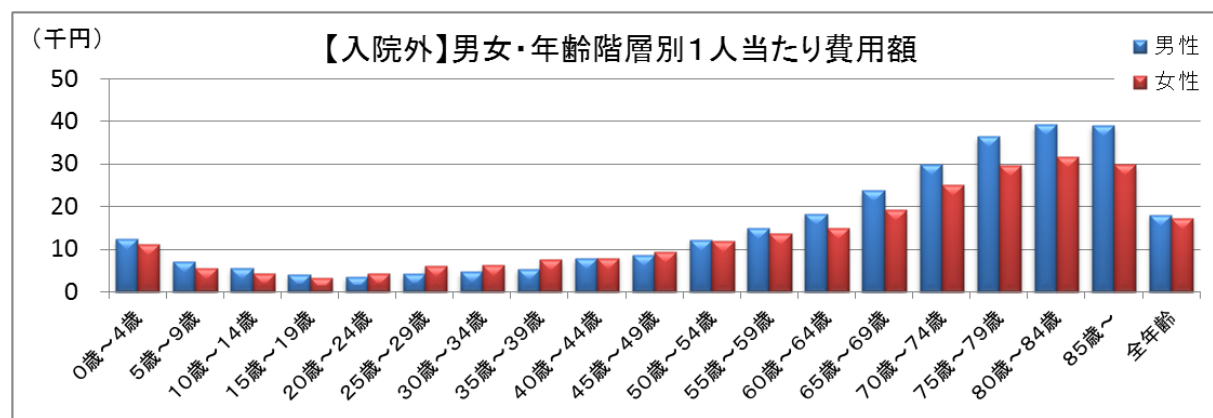
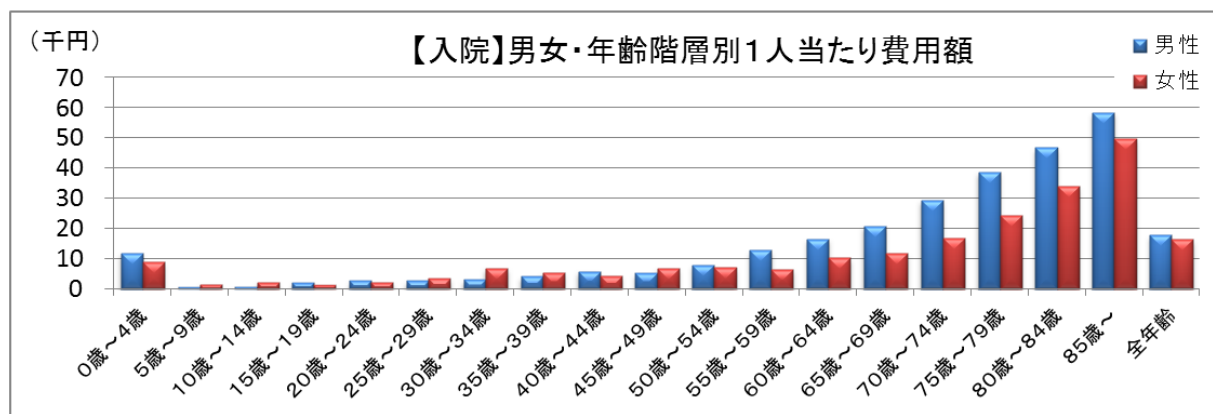
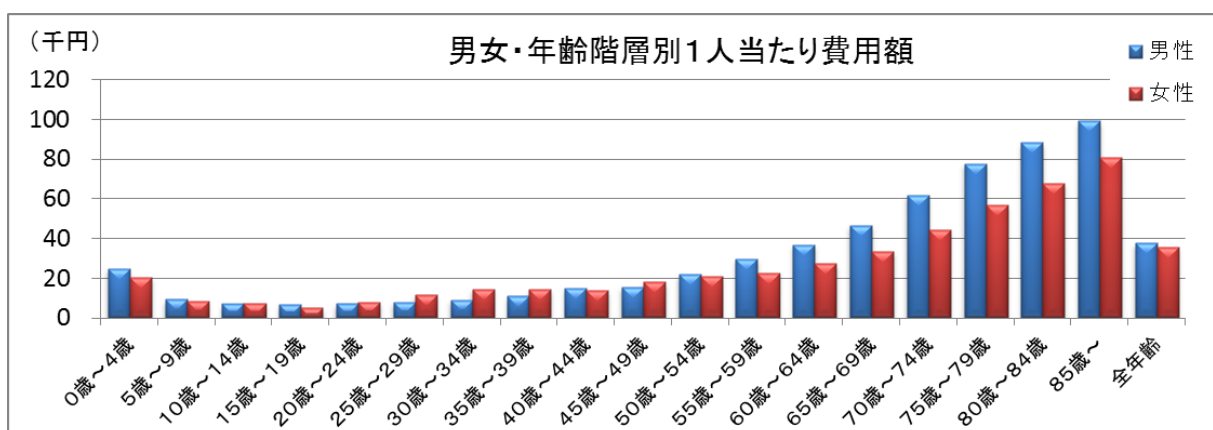
1人当たり費用額は、15歳以上では加齢とともに増加している。



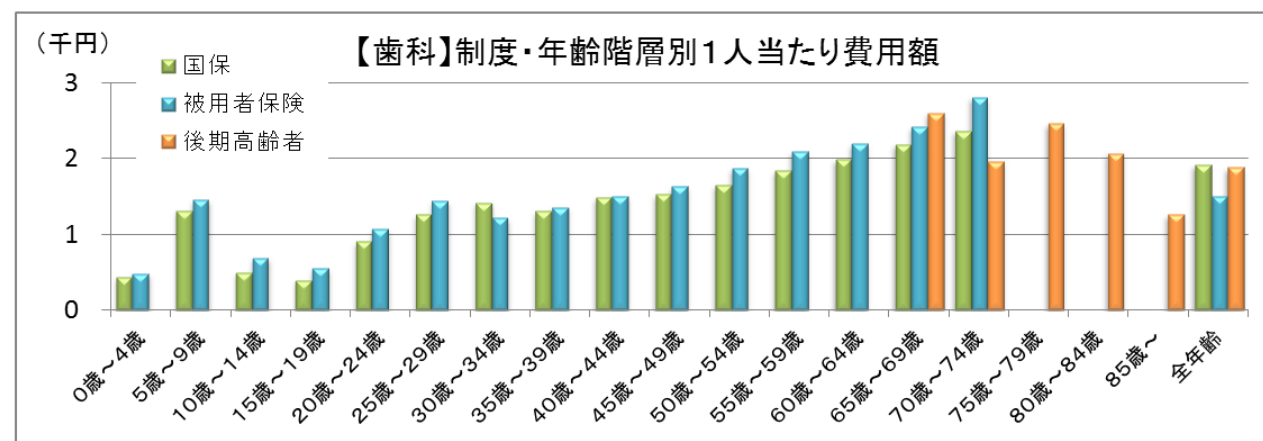
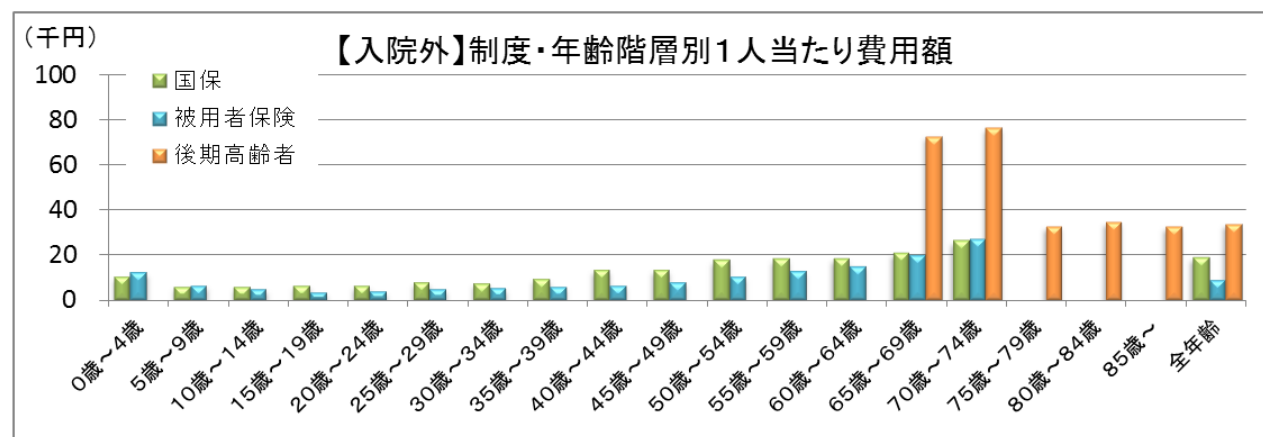
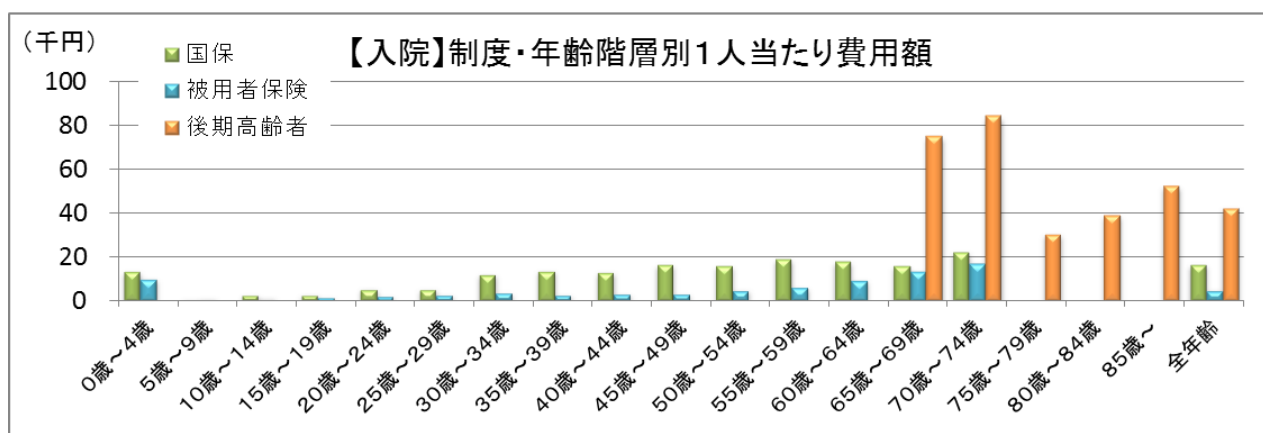
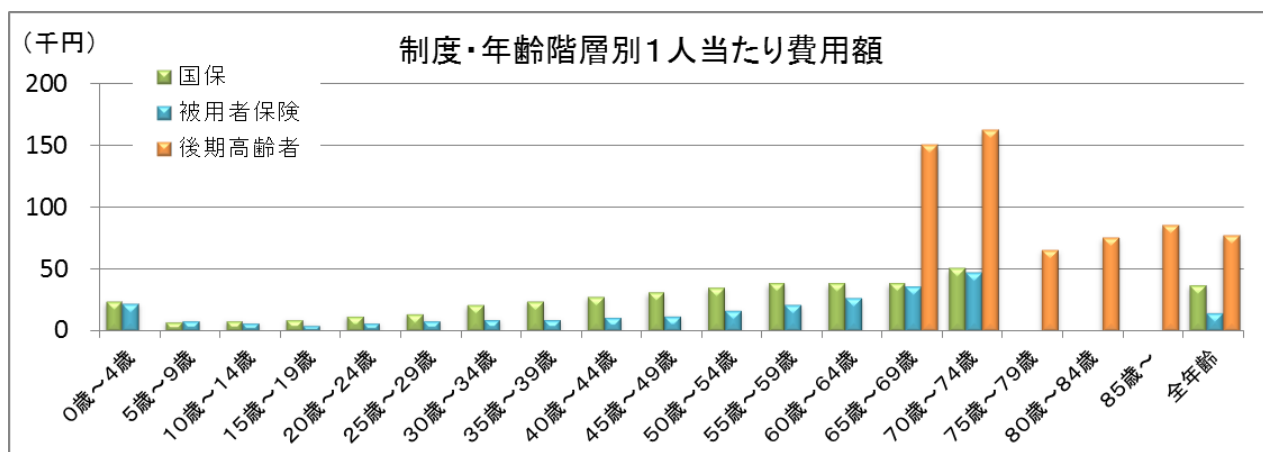
1人当たり費用額を診療区分別にみると、入院は加齢とともに増加している。入院外及び歯科も加齢とともに増加の傾向がみられるが、入院外は80歳～84歳、歯科は75歳～79歳が最も高く、診療区分により最も高い年齢階層が異なる。



1人当たり費用額を男女別にみると、ほとんどの年齢階層で男性が女性より高い。一方、歯科ではほとんどの年齢階層で女性が高い。



1人当たり費用額を国保と被用者保険で比較すると、入院、入院外ではほとんどの年齢階層で国保が高い。しかし、歯科では大きな差はみられない。



(3) 疾病統計

① 疾病別医療費（大分類）

ア レセプト件数及び費用額

疾病大分類別レセプト件数及び費用額の状況をみると、レセプト件数、費用額ともに最も高い疾病は「循環器系の疾患」。

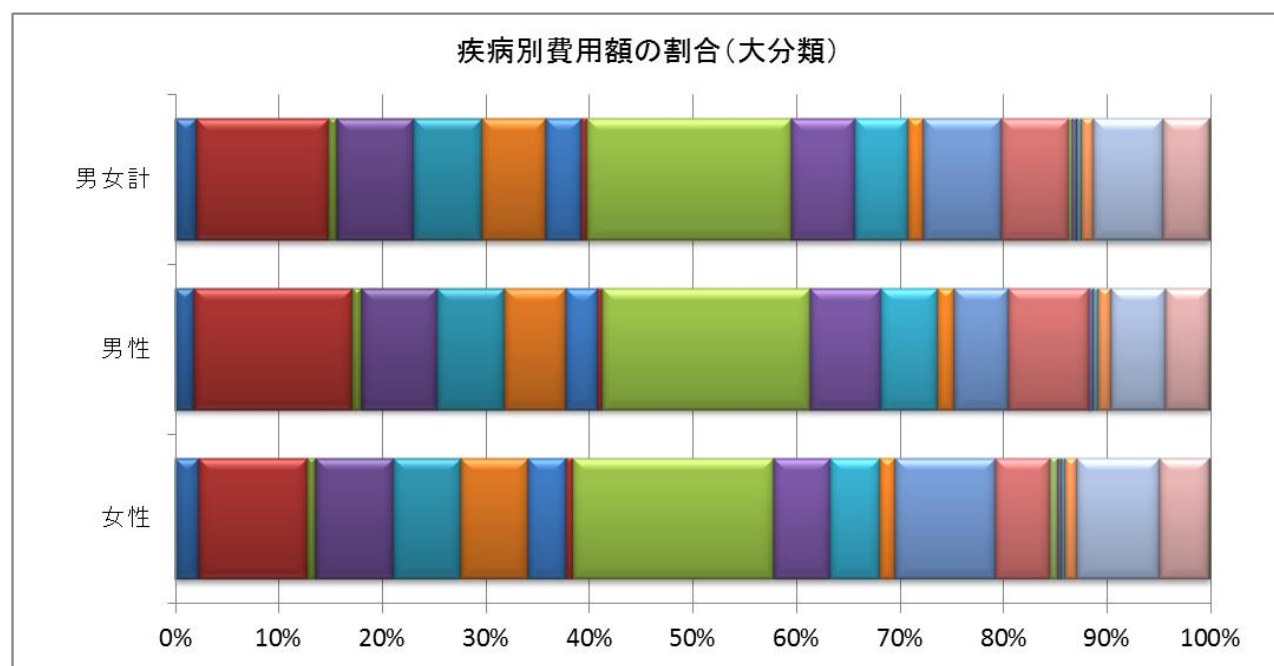
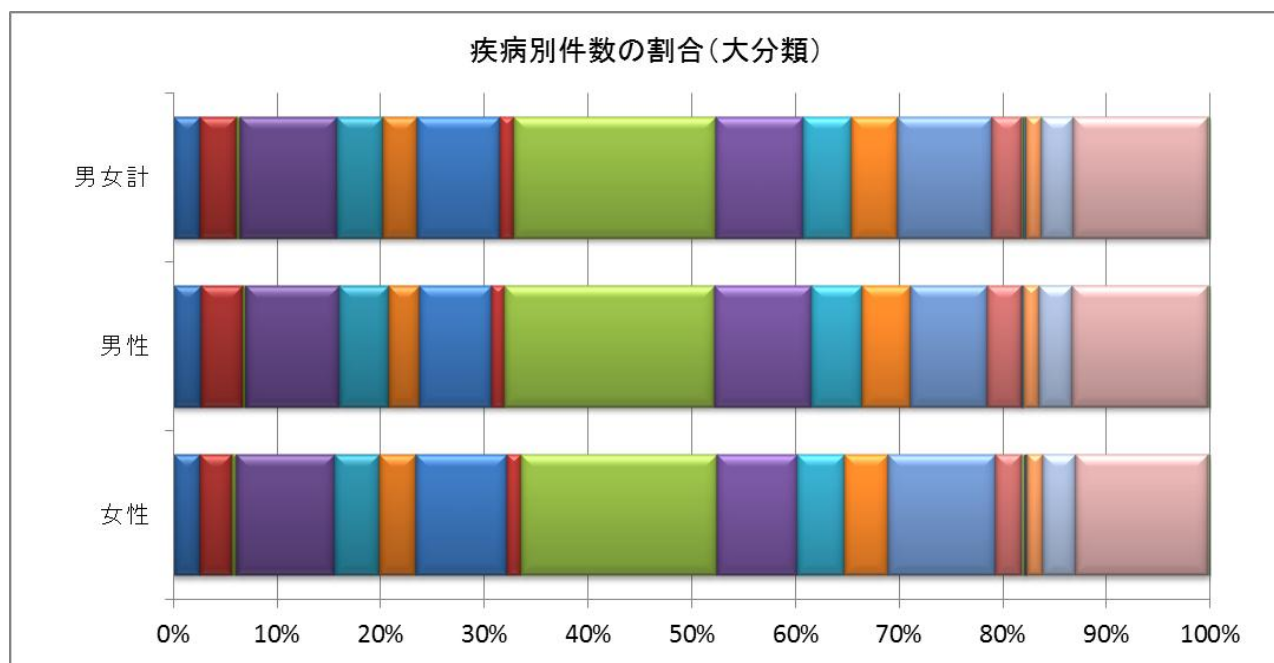
次いでレセプト件数が多い疾病は、2位「歯科」、3位「内分泌、栄養・代謝疾患」、4位「筋骨格系・結合組織の疾患」、5位「呼吸器系の疾患」（レセプト件数上位5疾病）、費用額が高い疾病は、2位「新生物」、3位「筋骨格系・結合組織の疾患」、4位「内分泌、栄養・代謝疾患」、5位「損傷、中毒・他の外因の影響」（費用額上位5疾病）。「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養・代謝疾患」及び「筋骨格系・結合組織の疾患」は、レセプト件数、費用額ともに上位5疾病に入る。

※表中の塗りつぶしは上位5傑

疾病(大分類)	件数(件)	費用額(円)
感染症・寄生虫症	12,925	387,654,564
新生物＜腫瘍＞	17,487	2,389,296,843
血液・造血器疾患、免疫機構障害	2,061	156,553,323
内分泌、栄養・代謝疾患	46,748	1,387,779,771
精神・行動の障害	22,440	1,220,275,827
神経系の疾患	16,798	1,164,196,939
眼及び付属器の疾患	40,141	641,472,858
耳・乳様突起の疾患	6,638	101,882,730
循環器系の疾患	97,927	3,683,072,980
呼吸器系の疾患	42,548	1,156,292,927
消化器系の疾患(歯科を除く)	23,512	960,179,012
皮膚・皮下組織の疾患	22,264	286,156,359
筋骨格系・結合組織の疾患	45,879	1,407,759,117
腎尿路生殖器系の疾患	14,396	1,218,239,571
妊娠、分娩・産じょく	871	69,312,408
周産期に発生した病態	361	78,420,150
先天奇形、変形・染色体異常	855	77,336,973
他に分類されないもの	7,540	223,424,749
損傷、中毒・他の外因の影響	15,720	1,252,978,849
歯科	65,281	845,995,460
分類不明	1,084	20,401,760
総計	503,476	18,728,683,170

疾病大分類別件数の割合は、男女ともに「循環器系の疾患」が最も高く、次いで「歯科」。男性は「呼吸器系の疾患」、女性は「筋骨格系・結合組織の疾患」が続く。

費用額の割合も、男女ともに「循環器系の疾患」が最も高く、「新生物」が続く。次いで、男性は「腎尿路生殖器系の疾患」、女性は「筋骨格系・結合組織の疾患」が続く。

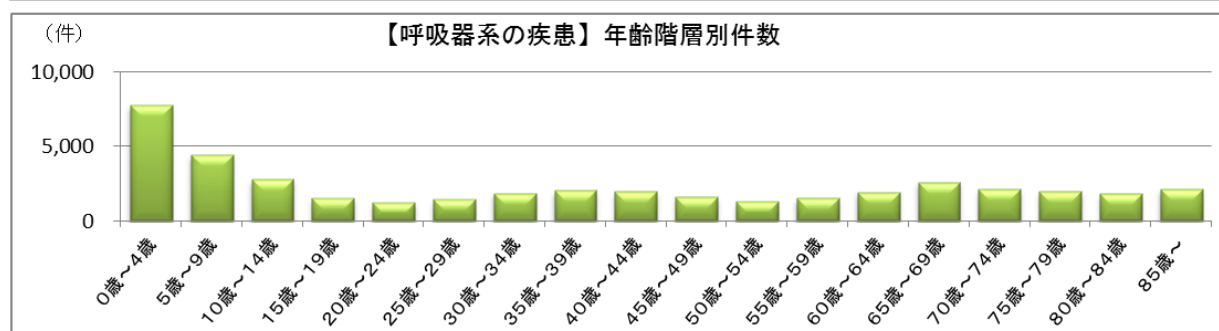
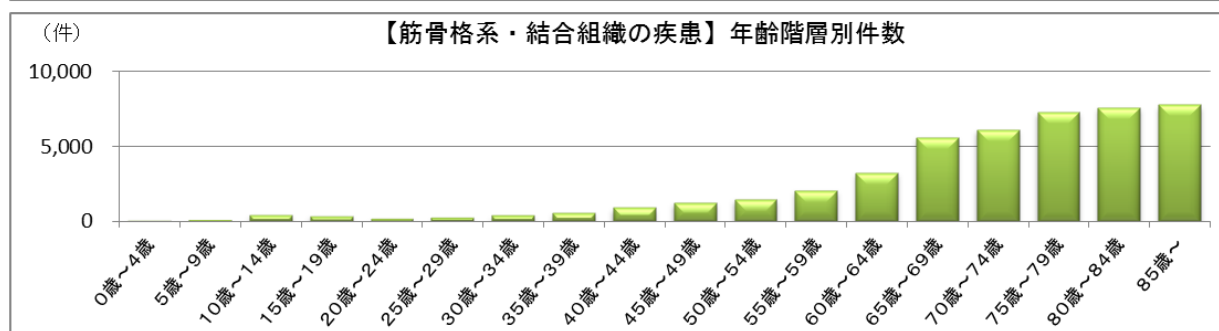
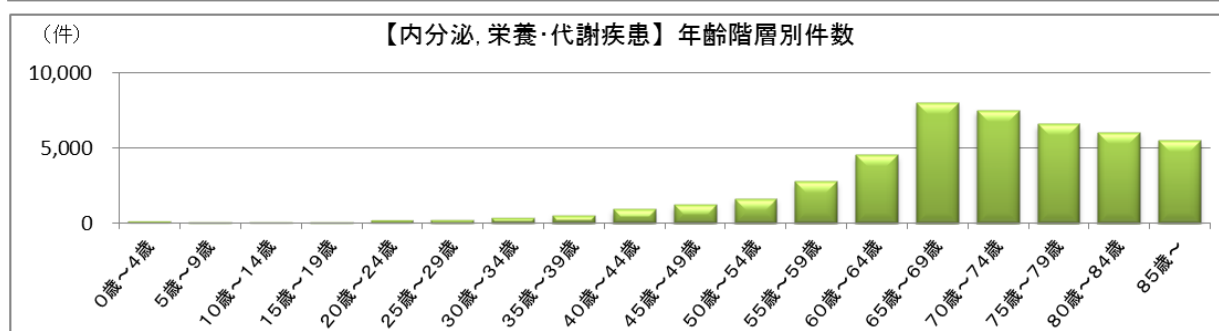
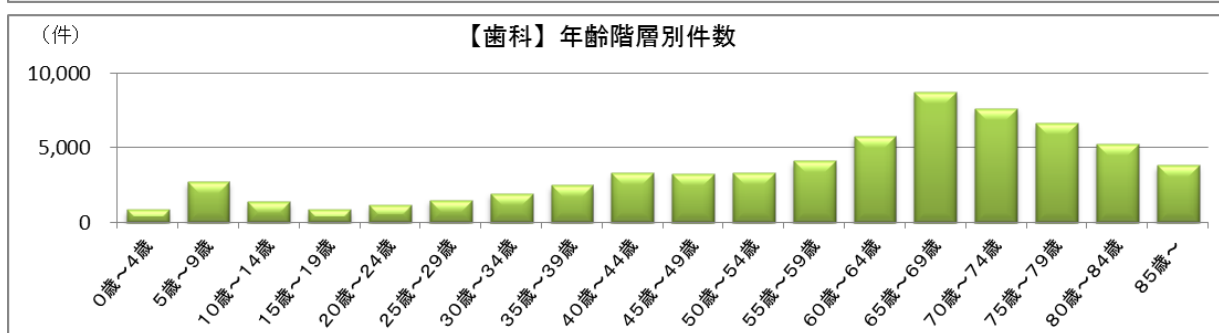
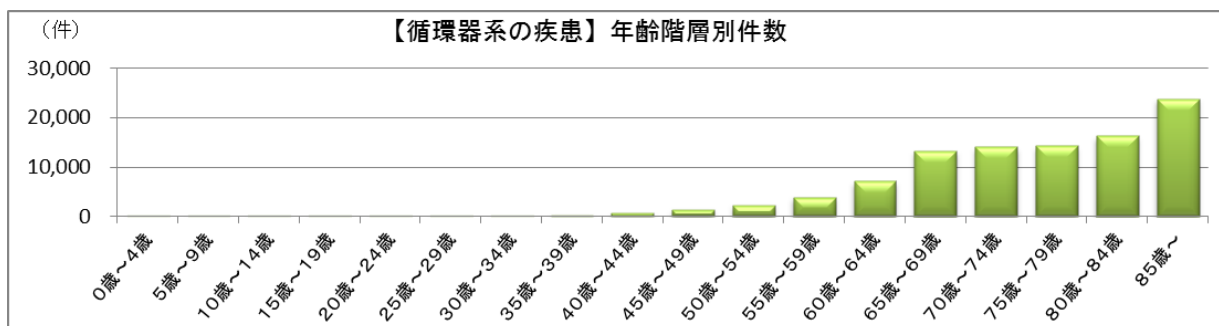


- | | | |
|--------------------|------------------|-------------------|
| ■ 感染症・寄生虫症 | ■ 新生物<腫瘍> | ■ 血液・造血器疾患、免疫機構障害 |
| ■ 内分泌・栄養・代謝疾患 | ■ 精神・行動の障害 | ■ 神経系の疾患 |
| ■ 眼及び付属器の疾患 | ■ 耳・乳様突起の疾患 | ■ 循環器系の疾患 |
| ■ 呼吸器系の疾患 | ■ 消化器系の疾患(歯科を除く) | ■ 皮膚・皮下組織の疾患 |
| ■ 筋骨格系・結合組織の疾患 | ■ 腎尿路生殖器系の疾患 | ■ 妊娠、分娩・産じょく |
| ■ 周産期に発生した病態 | ■ 先天奇形、変形・染色体異常 | ■ 他に分類されないもの |
| ■ 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | ■ 歯科 | ■ 分類不明 |

イ レセプト件数及び費用額上位5疾病

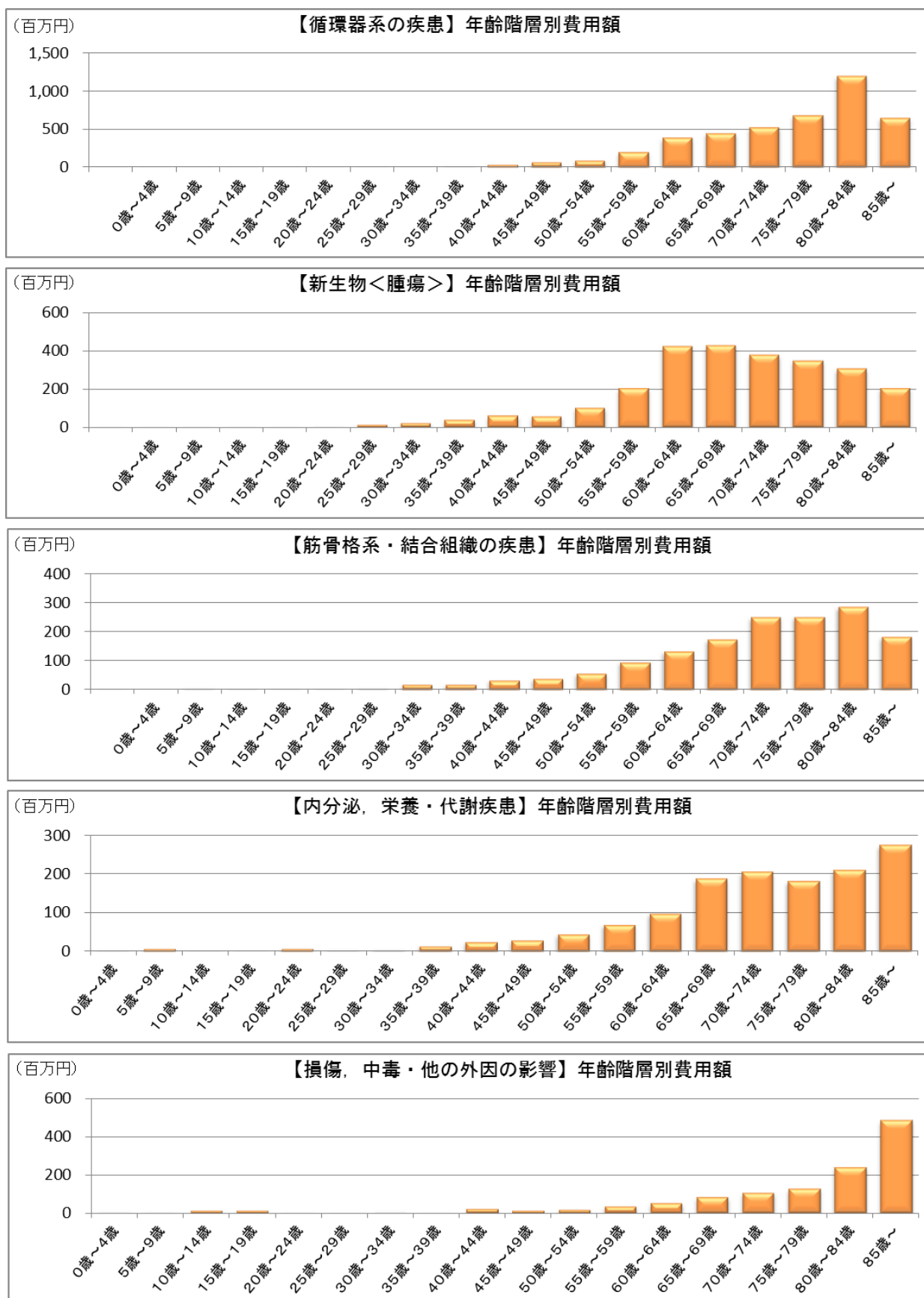
レセプト件数上位5疾病を年齢階層別にみると、「循環器系の疾患」及び「筋骨格系・結合組織の疾患」は加齢とともに増加の傾向がみられる。

「歯科」及び「内分泌、栄養・代謝疾患」は65歳～69歳までは増加しているが、70歳以上で減少に転じる。「呼吸器系の疾患」は、0歳～4歳で最も多い。



費用額上位5疾病のうち、「循環器系の疾患」、「筋骨格系・結合組織の疾患」、「内分泌、栄養・代謝疾患」及び「損傷、中毒・他の外因の影響」では加齢とともに増加する傾向がみられる。

「新生物」は、60歳～69歳が高い。



ウ 疾病別諸率

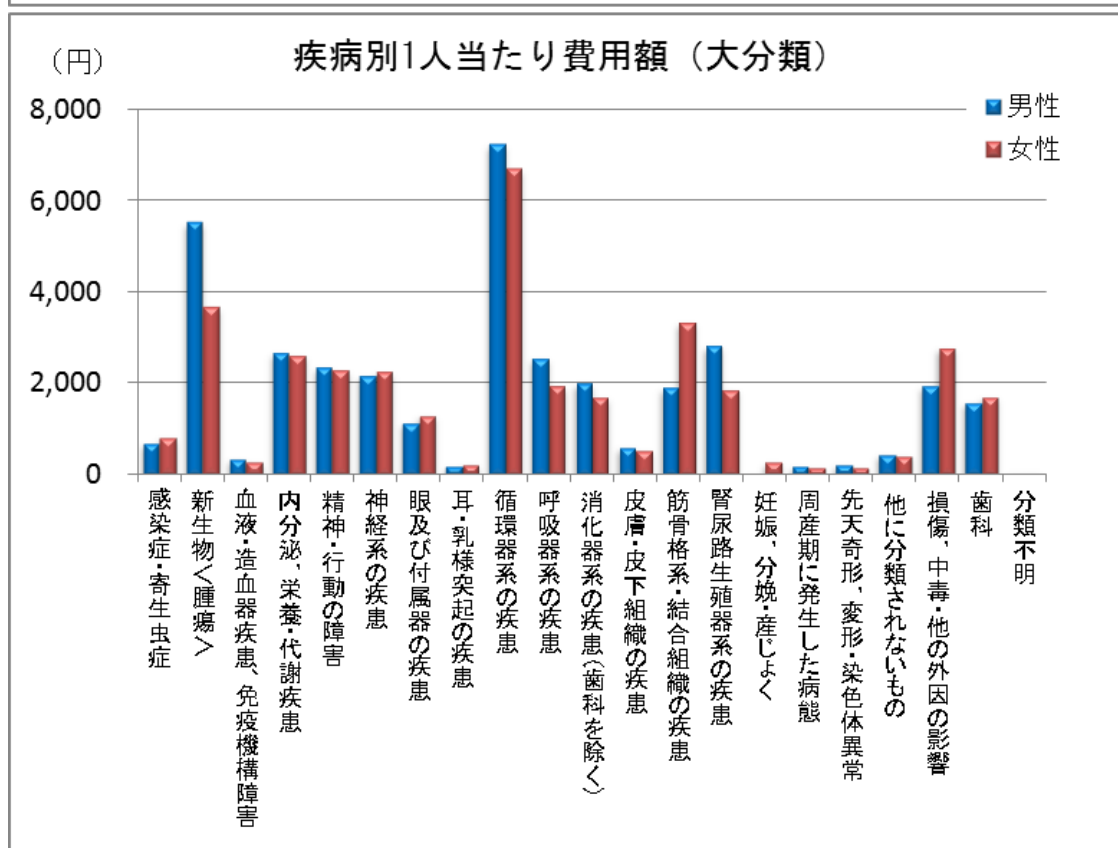
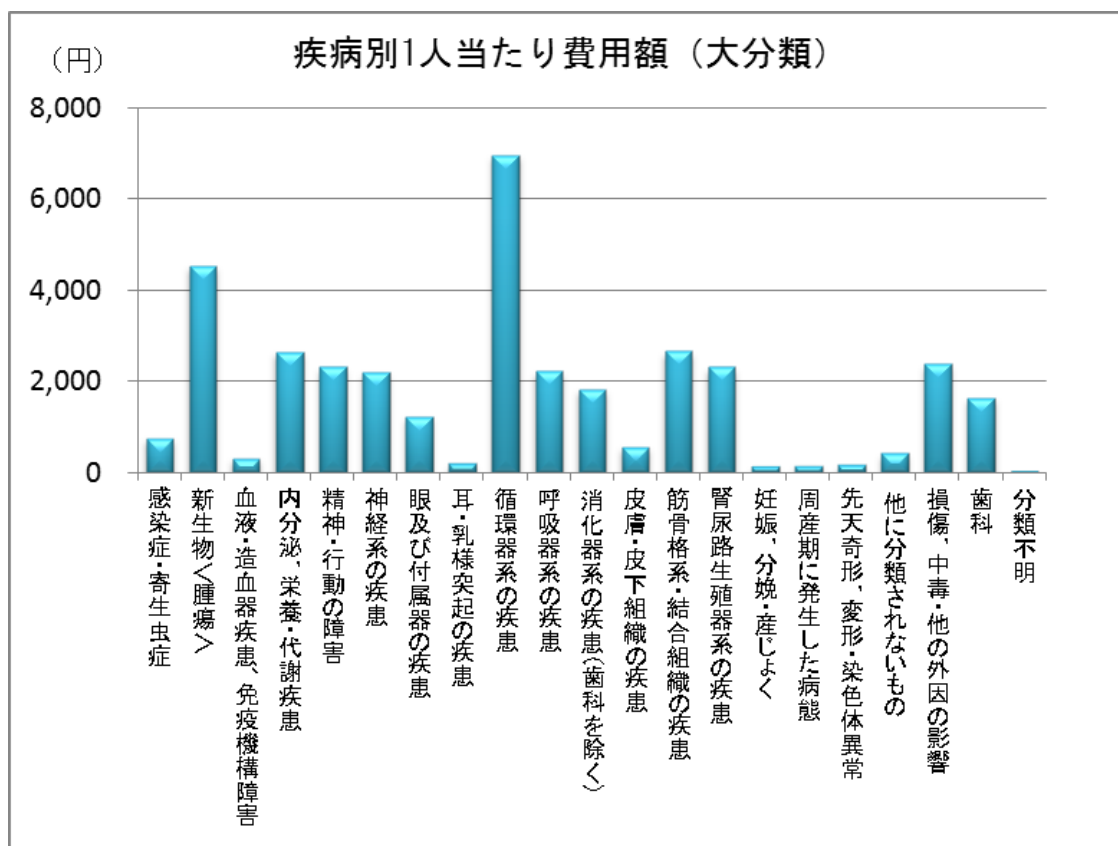
費用額上位 5 疾病のうち、受診率及び 1 件当たり費用額が、ともに上位 5 位に入る疾病はなかった。

受診率上位 5 疾病には「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養・代謝疾患」及び「筋骨格系・結合組織の疾患」が入り、1 件当たり費用額は上位 5 疾病には、「新生物」及び「損傷、中毒・他の外因の影響」が入る。

※表中の塗りつぶしは上位 5 傑

疾病(大分類)	受診率 (%)	1 件当たり費用額 (円)	1 人当たり費用額 (円)
感染症・寄生虫症	2.5	29,993	757
新生物<腫瘍>	3.4	136,633	4,663
血液・造血器疾患、免疫機構障害	0.4	75,960	306
内分泌、栄養・代謝疾患	9.1	29,686	2,708
精神・行動の障害	4.4	54,379	2,381
神経系の疾患	3.3	69,306	2,272
眼及び付属器の疾患	7.8	15,980	1,252
耳・乳様突起の疾患	1.3	15,348	199
循環器系の疾患	19.1	37,610	7,188
呼吸器系の疾患	8.3	27,176	2,257
消化器系の疾患(歯科を除く)	4.6	40,838	1,874
皮膚・皮下組織の疾患	4.3	12,853	558
筋骨格系・結合組織の疾患	9.0	30,684	2,747
腎尿路生殖器系の疾患	2.8	84,623	2,377
妊娠、分娩・産じょく	0.2	79,578	135
周産期に発生した病態	0.1	217,230	153
先天奇形、変形・染色体異常	0.2	90,453	151
他に分類されないもの	1.5	29,632	436
損傷、中毒・他の外因の影響	3.1	79,706	2,445
歯科	12.7	12,959	1,651
分類不明	0.2	18,821	40
総計	98.3	37,199	36,550

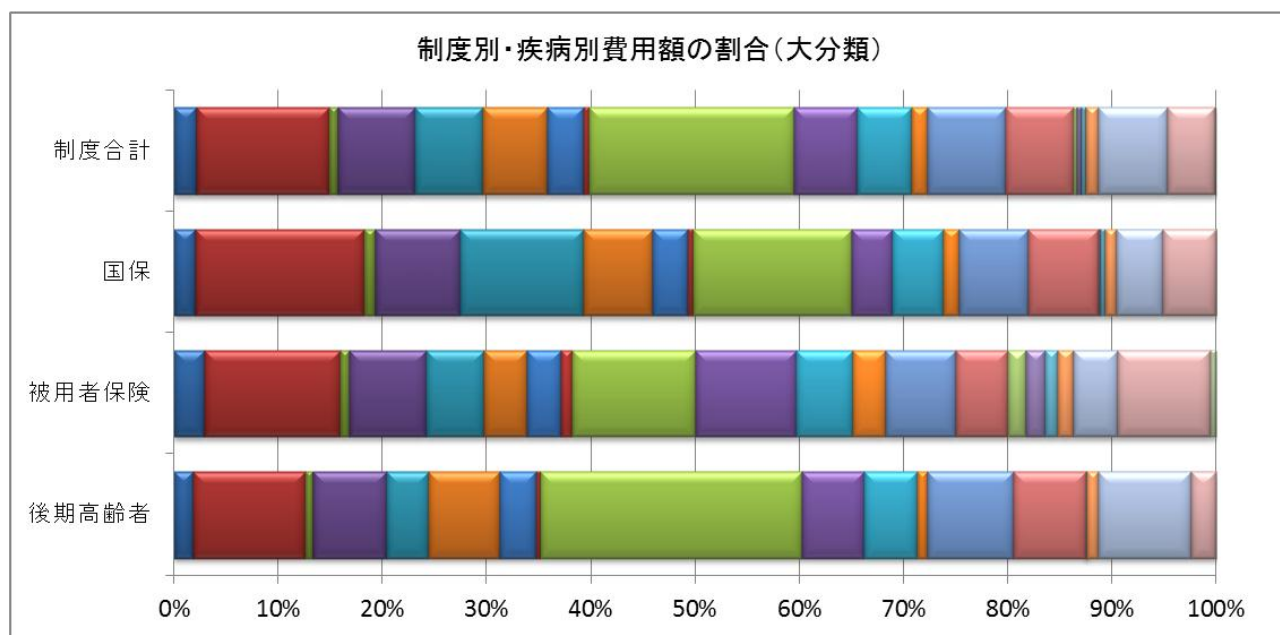
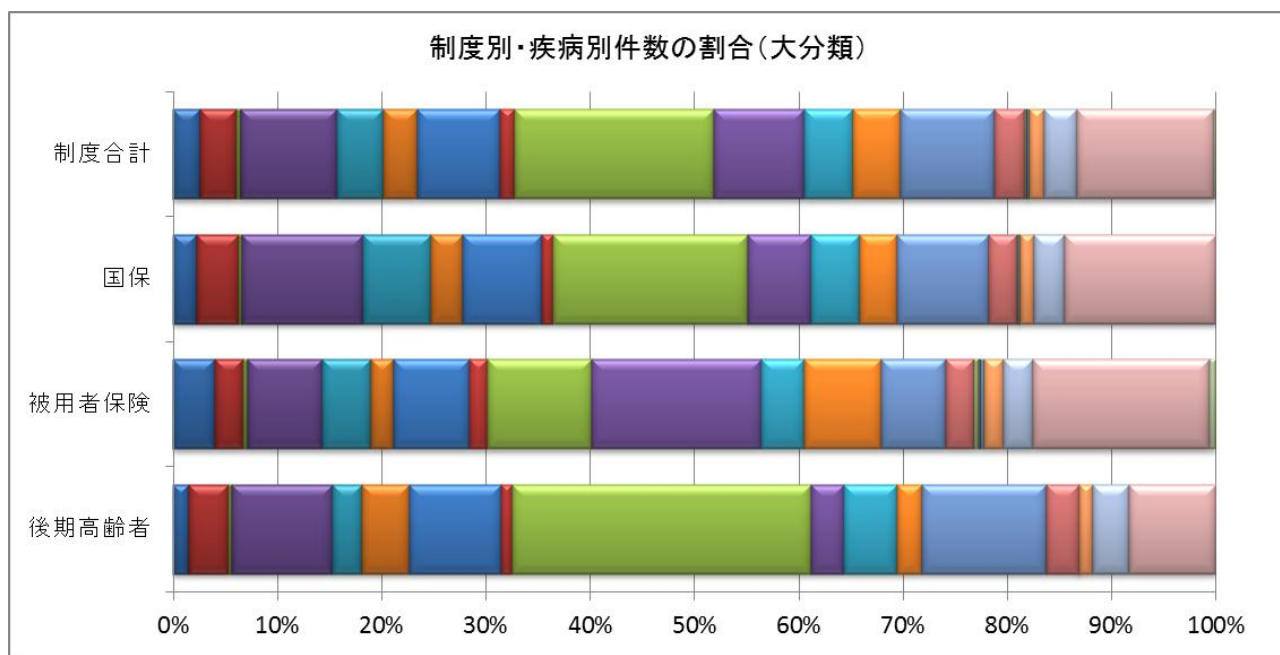
1人当たり費用額は、男女とも「循環器系の疾患」、「新生物」の順で高い。
次いで、男性は「腎尿路生殖器系の疾患」、女性は「筋骨格系・結合組織の疾患」が高い。



エ 制度別レセプト件数及び費用額

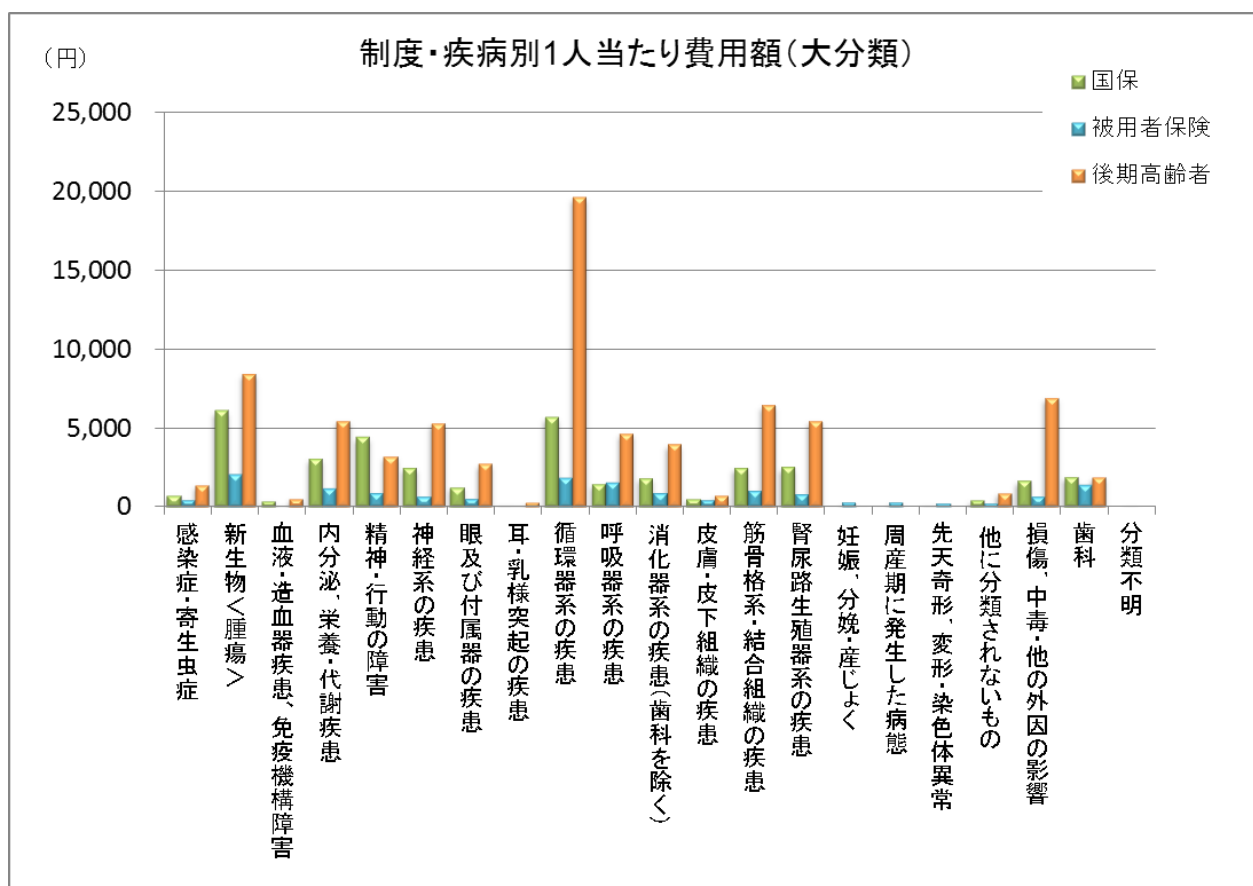
件数の割合は、国保及び後期高齢者は「循環器系の疾患」が最も高く、被用者保険は「呼吸器系の疾患」が最も高い。

費用額は、国保及び被用者保険は「新生物」、後期高齢者は「循環器系の疾患」が最も高い割合を占める。



- | | | |
|------------------|------------------|-------------------|
| ■ 感染症・寄生虫症 | ■ 新生物<腫瘍> | ■ 血液・造血器疾患、免疫機構障害 |
| ■ 内分泌・栄養・代謝疾患 | ■ 精神・行動の障害 | ■ 神経系の疾患 |
| ■ 眼及び付属器の疾患 | ■ 耳・乳様突起の疾患 | ■ 循環器系の疾患 |
| ■ 呼吸器系の疾患 | ■ 消化器系の疾患(歯科を除く) | ■ 皮膚・皮下組織の疾患 |
| ■ 筋骨格系・結合組織の疾患 | ■ 泌尿路生殖器系の疾患 | ■ 妊娠, 分娩・産じょく |
| ■ 周産期に発生した病態 | ■ 先天奇形, 変形・染色体異常 | ■ 他に分類されないもの |
| ■ 損傷, 中毒・他の外因の影響 | ■ 歯科 | ■ 分類不明 |

1人当たり費用額については、「精神・行動の障害」は国保が最も高く、その他の疾病については後期高齢者が高い。



② 生活習慣病

次の分類コード（P2、3 参照）を生活習慣病と定義する。

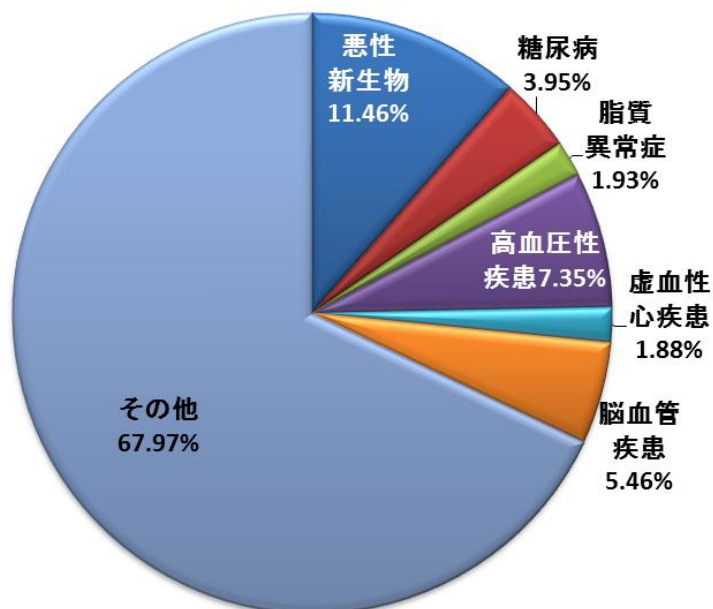
- 悪性新生物：0201～0210 ●糖尿病：0402
- 脂質異常症：0403 ●高血圧性疾患：0901
- 虚血性心疾患：0902 ●脳血管疾患：0904～0908

ア 生活習慣病費用額の割合

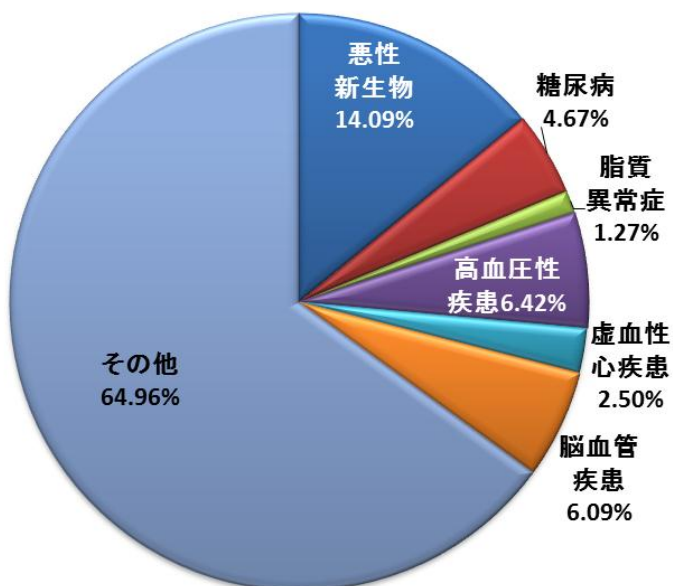
費用額に占める生活習慣病の割合は、男女合計で約 32%。内訳は、「悪性新生物」が最も高く、「高血圧性疾患」が次いで高い。

男女別では、男性が約 35%、女性は約 29%を生活習慣病が占めており、男女とも「悪性新生物」が最も高い。

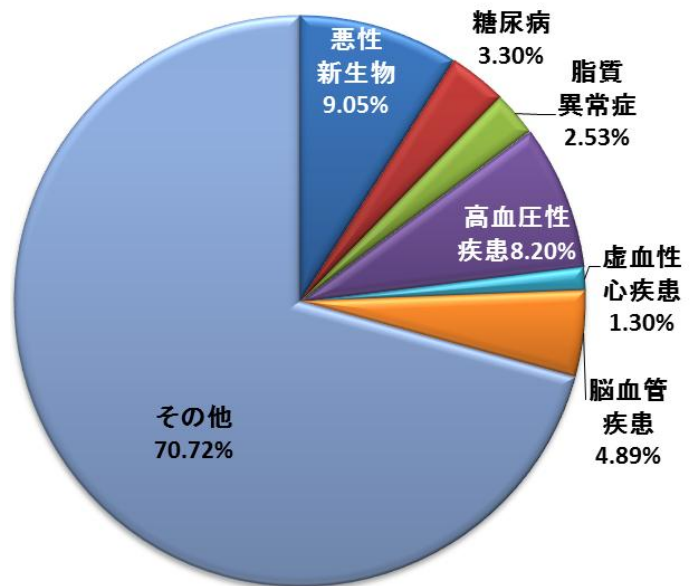
男女合計



男性



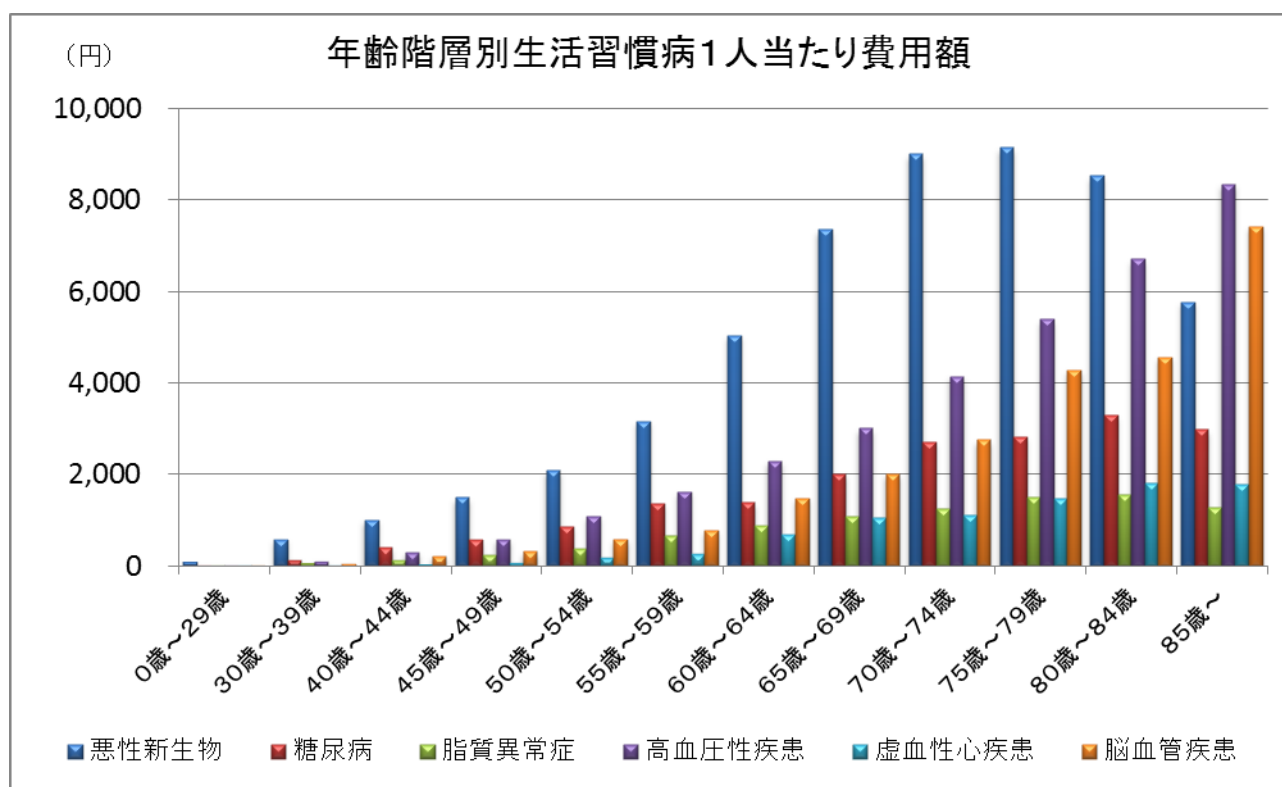
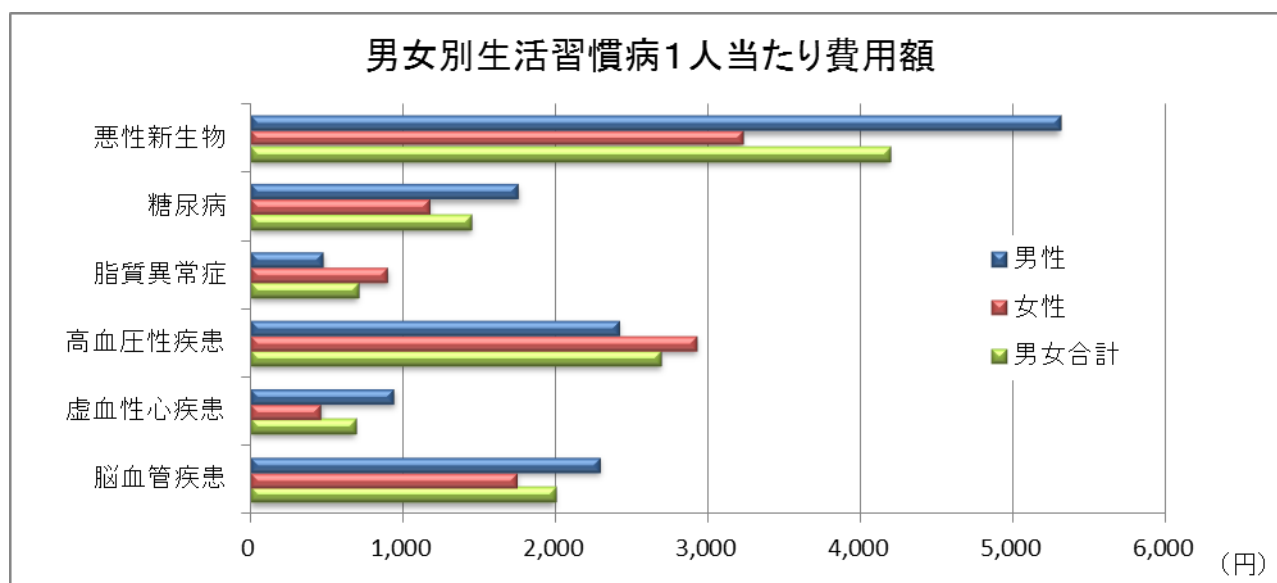
女性



イ 生活習慣病の1人当たり費用額

1人当たり費用額を男女別に比較すると、「高血圧性疾患」及び「脂質異常症」は女性が高く、その他の疾病については男性が高い。

また、ほとんどの疾病は加齢とともに増加の傾向がみられる。



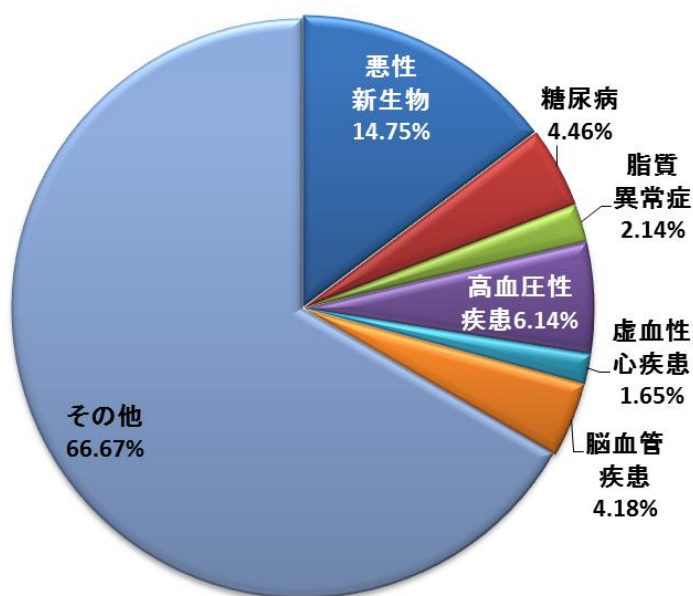
ウ 制度別生活習慣病の状況

費用額のうち生活習慣病が占める割合は、国保及び後期高齢者は約 30%を超えているが、被用者保険は約 25%と低い。

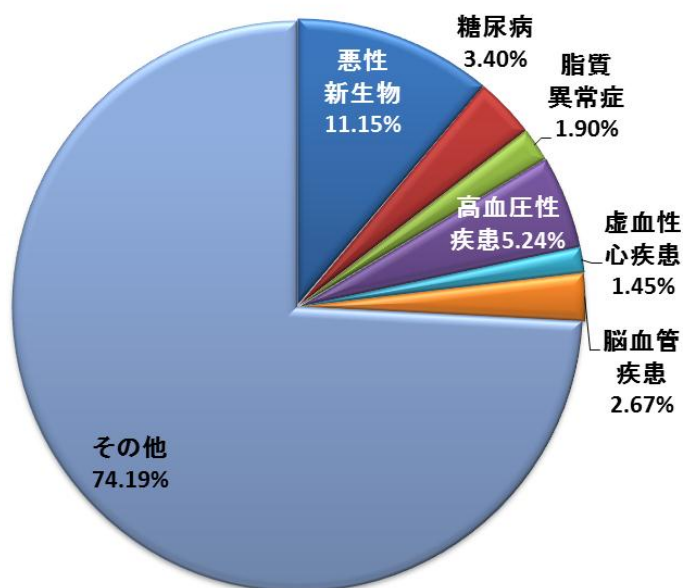
なお、全ての制度において「悪性新生物」が最も高く、「高血圧性疾患」が 2 番目に高い。

また、3 番目に高い疾病は、後期高齢者が「脳血管疾患」で、国保及び被用者保険とは異なる。

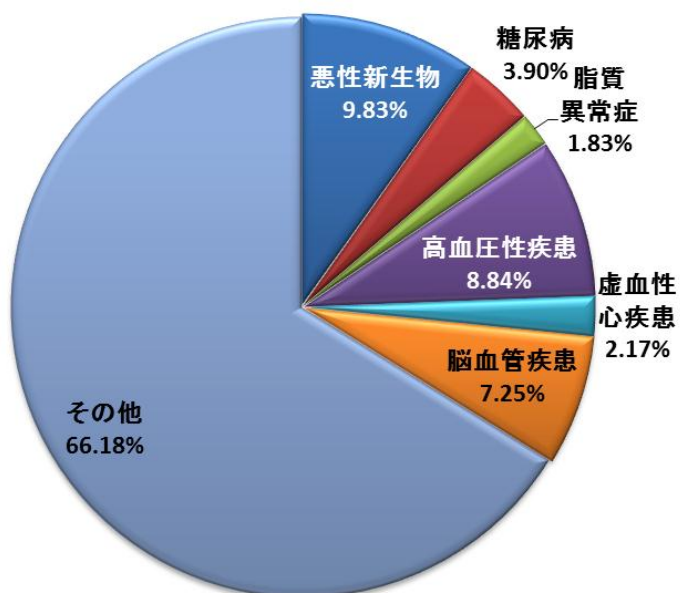
国保



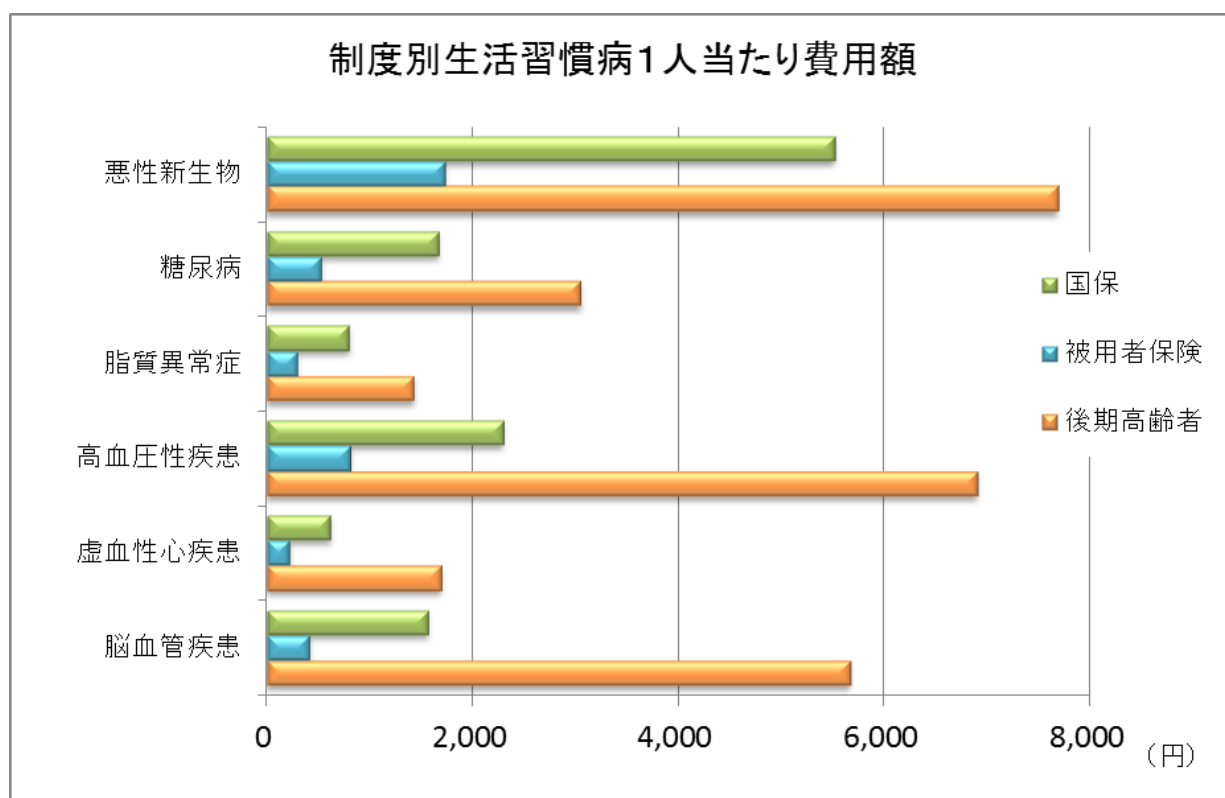
被用者保険



後期高齢者



生活習慣病に係る1人当たり費用額を制度別にみると、国保、被用者保険、後期高齢者ともに「悪性新生物」が最も高く、「高血圧性疾患」が2番目に高い。



③ 疾病別医療費（中分類）

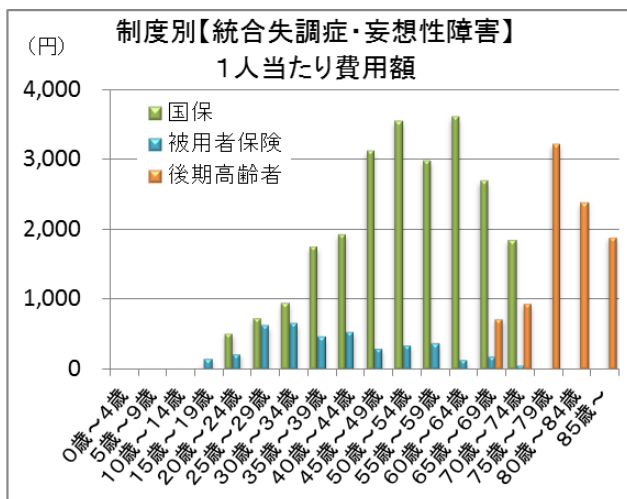
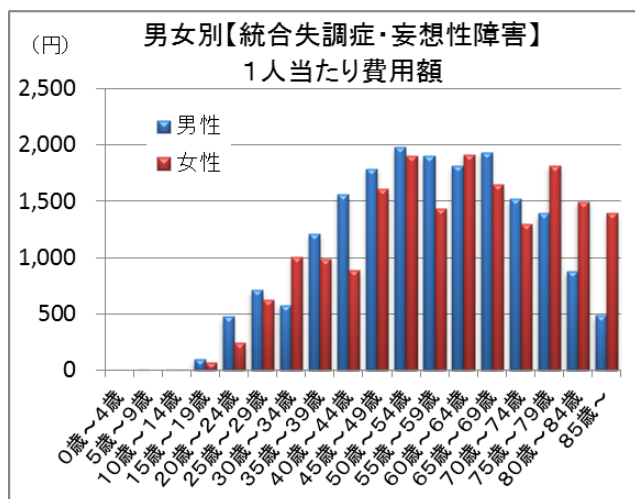
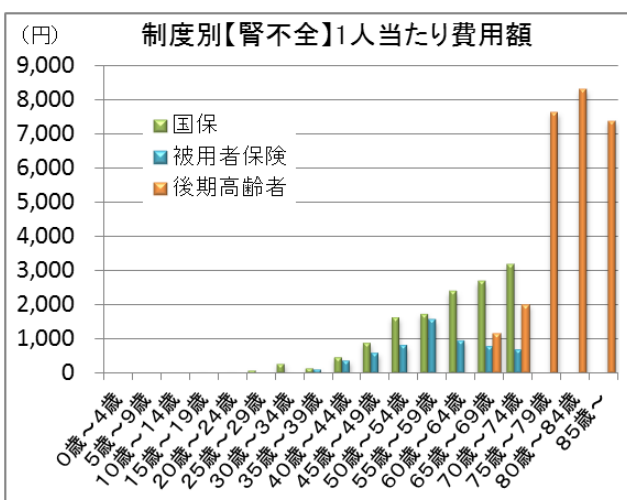
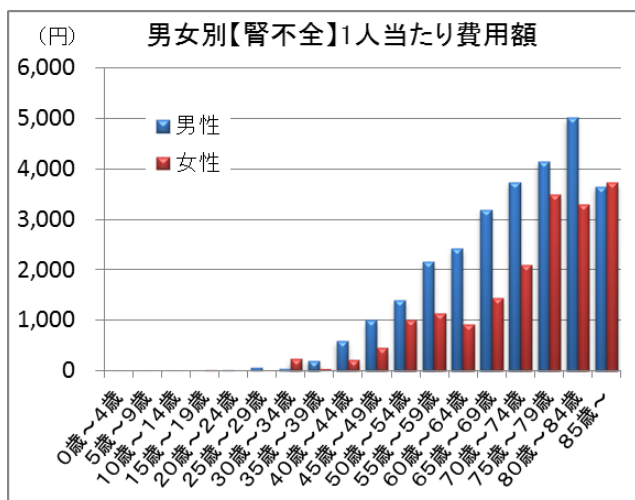
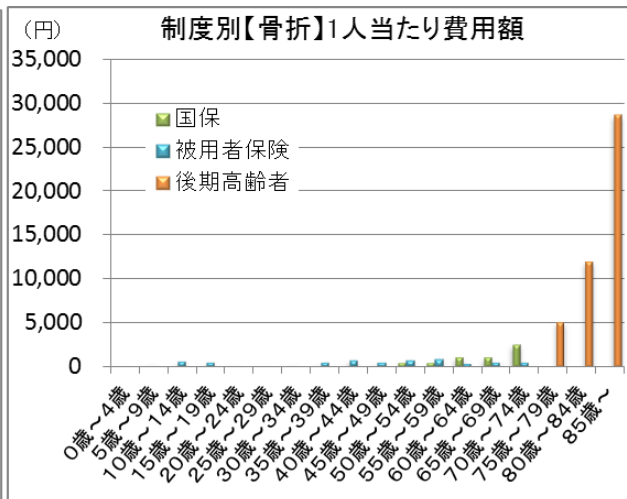
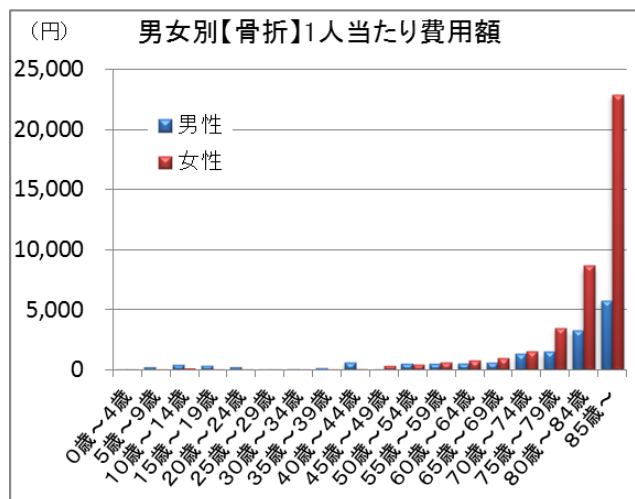
疾病中分類別に1人当たり費用額の上位10疾病をみると、男女合計（制度合計）で「高血圧性疾患」が1位となり、「骨折」が2位と続く。男女別にみても「高血圧性疾患」がともに1位。

制度別にみると、国保は「統合失調症・妄想性障害」、被用者保険は「歯科」、後期高齢者は「高血圧性疾患」が1位。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
男女合計 （制度 合計）	高血圧性 疾患	骨折	歯科	他の悪性 新生物 ＜腫瘍＞	腎不全	糖尿病	他の 心疾患	脳梗塞	統合 失調症・ 妄想性 障害	他の 消化器系 の疾患
男性	高血圧性 疾患	他の悪性 新生物 ＜腫瘍＞	腎不全	糖尿病	歯科	他の 心疾患	脳梗塞	統合 失調症 妄想性 障害	他の 消化器系 の疾患	骨折
女性	高血圧性 疾患	骨折	歯科	他の 心疾患	糖尿病	腎不全	脳梗塞	統合 失調症・ 妄想性 障害	関節症	他の悪性 新生物 ＜腫瘍＞
国保	統合 失調症・ 妄想性 障害	高血圧性 疾患	他の悪性 新生物 ＜腫瘍＞	歯科	腎不全	糖尿病	他の 神経系の 疾患	他の 消化器系 の疾患	他の 心疾患	気管、気 管支・肺 の悪性新 生物＜腫 瘍＞
被用者 保険	歯科	高血圧性 疾患	他の悪性 新生物 ＜腫瘍＞	糖尿病	他の 消化器系 の疾患	他の 神経系の 疾患	腎不全	喘息	他の 損傷外因 の影響	気分〔感 情〕障害 （躁うつ病 含む）
後期 高齢者	高血圧性 疾患	骨折	他の 心疾患	脳梗塞	腎不全	他の悪性 新生物 ＜腫瘍＞	糖尿病	他の 呼吸器系 の疾患	アルツハ イマー病	他の 消化器系 の疾患

男女合計（制度合計）の上位10疾病のうち、歯科、生活習慣病、病名が不明な（「他の」がつく）疾病を除く「骨折」、「腎不全」、「統合失調症・妄想性障害」について、男女別にみると、「腎不全」ではほとんどの年齢階層で男性が女性より高い。「骨折」、「統合失調症・妄想性障害」は、75歳以上で女性が高い。

制度別にみると後期高齢者は高く、「腎不全」及び「統合失調症・妄想性障害」は国保が被用者保険より高い。



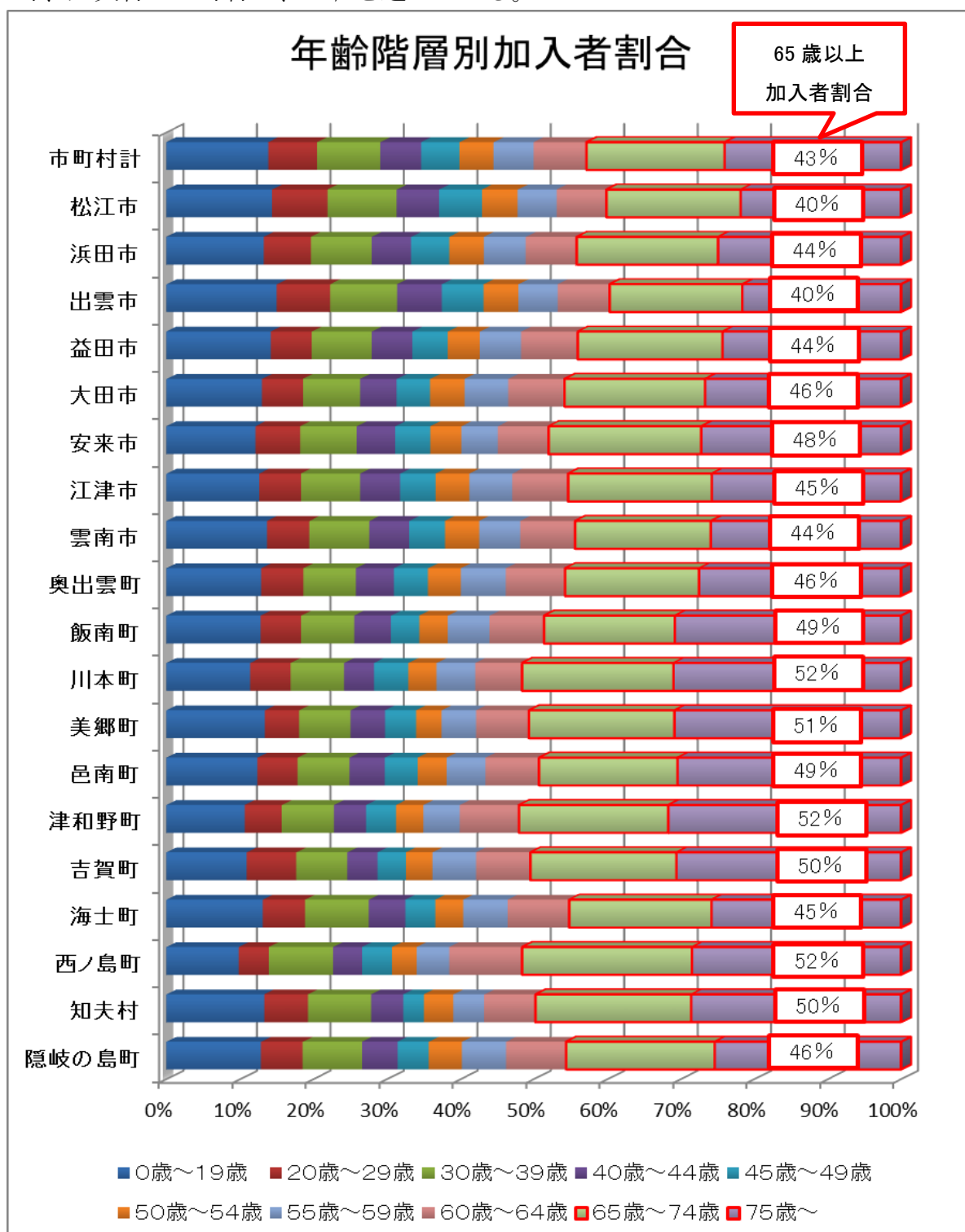
2 市町村別の状況

市町村別の状況には、島根県医師国民健康保険組合のデータを含まないため、市町村の計と前章の制度別の合計とは一致しない。

(1) 加入者数、レセプト件数、費用額

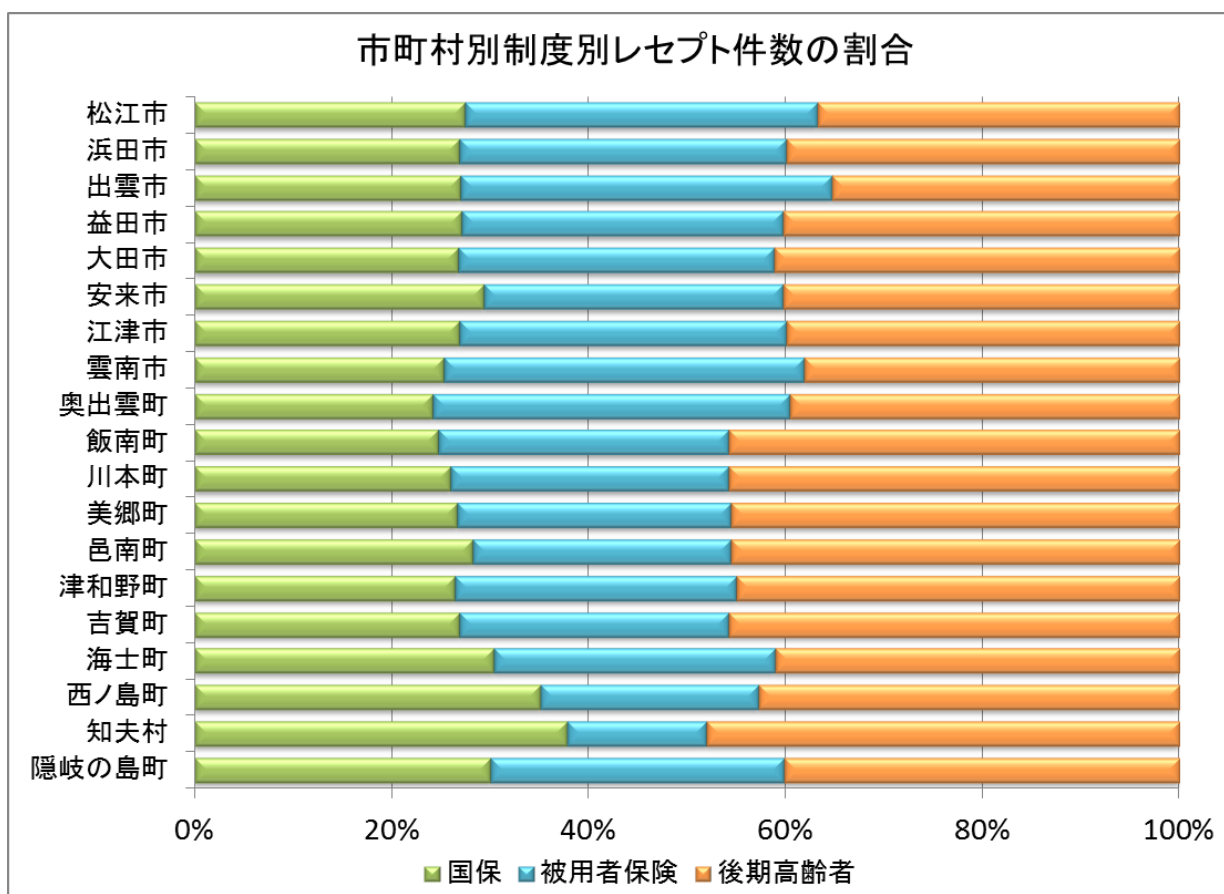
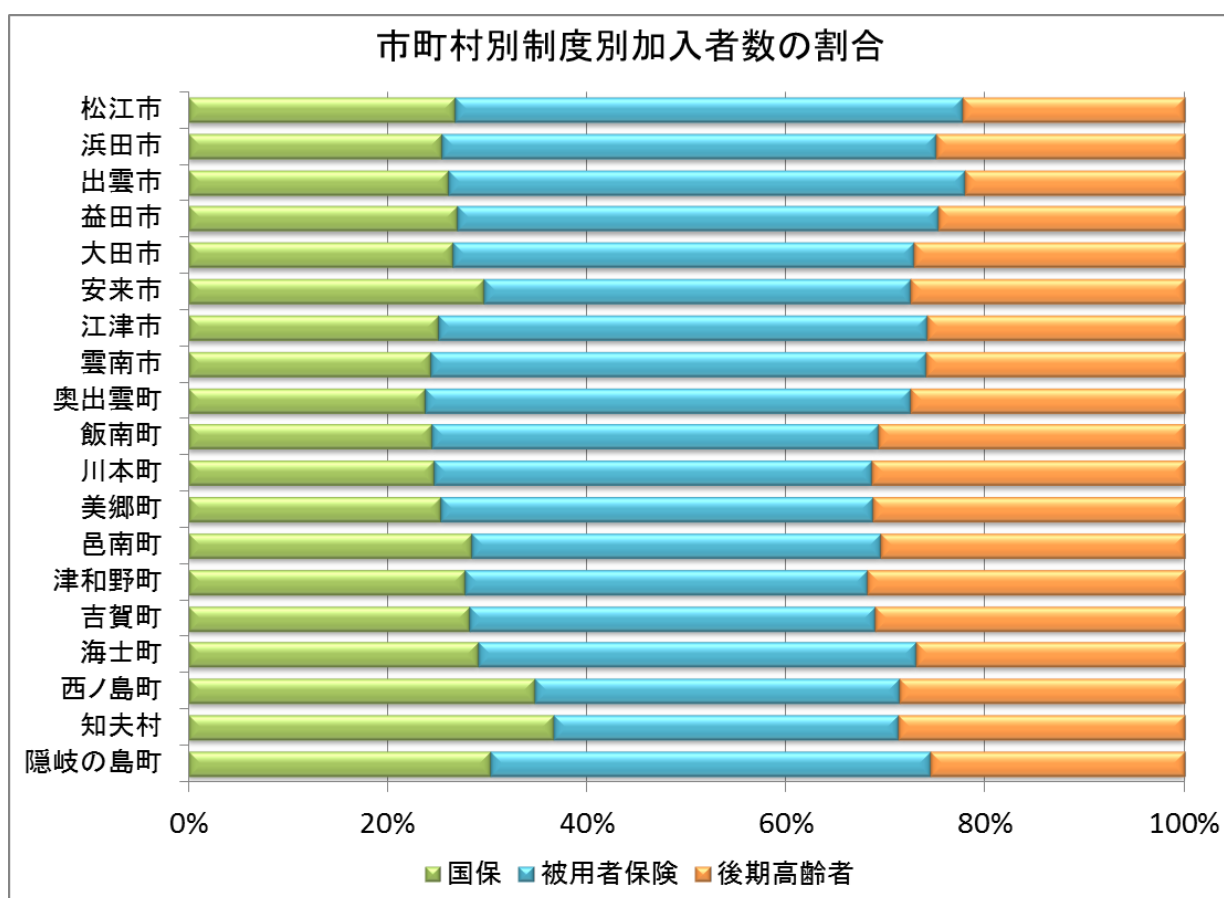
① 年齢階層別加入者割合

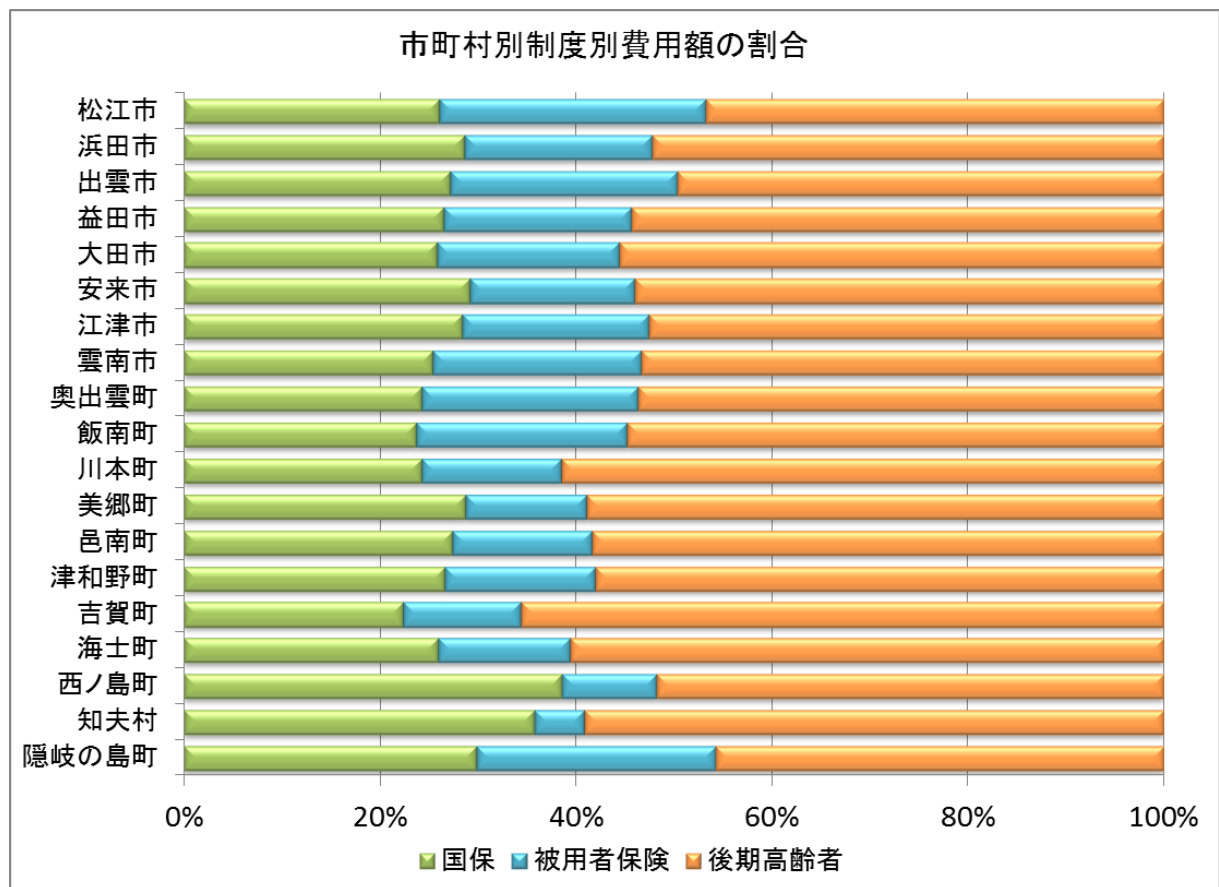
65歳以上の加入者割合は、市町村計で43%を占める。市町村別にみると川本町、津和野町、西ノ島町が最も高く52%。川本町、美郷町、津和野町、吉賀町、西ノ島町、知夫村の6町村が、50%を超えている。



② 制度別加入者数割合・レセプト件数割合・費用額割合

被用者保険は加入者数の割合は高いが費用額の割合は低い。

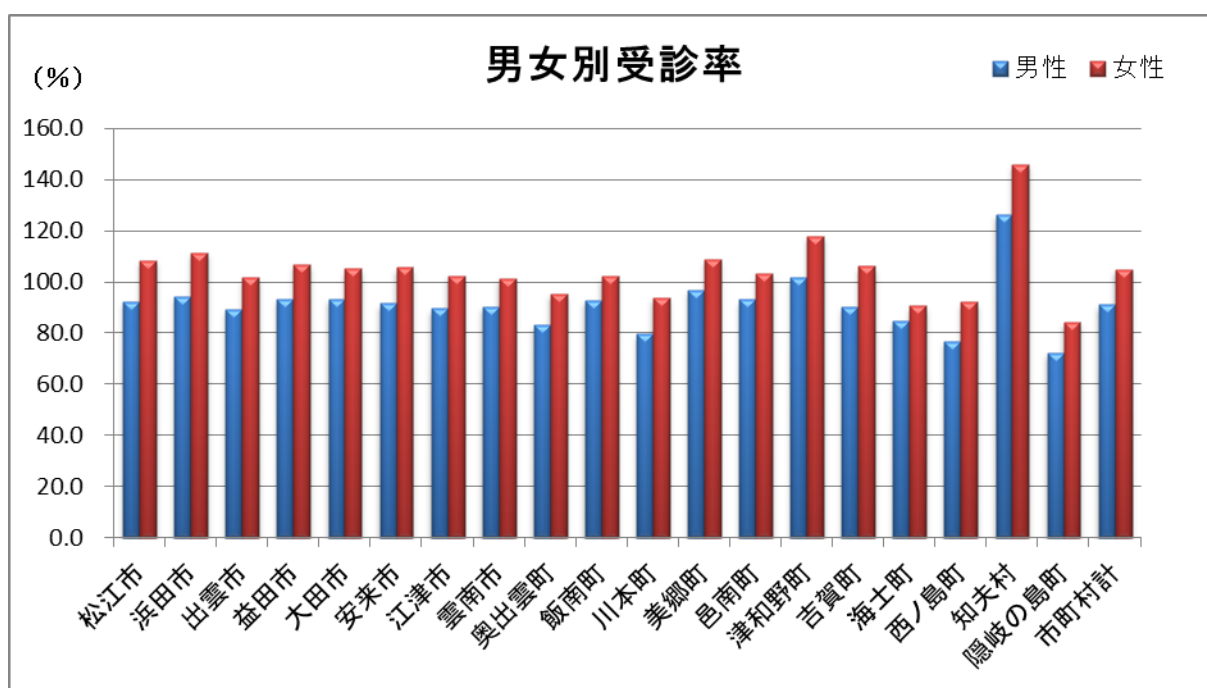
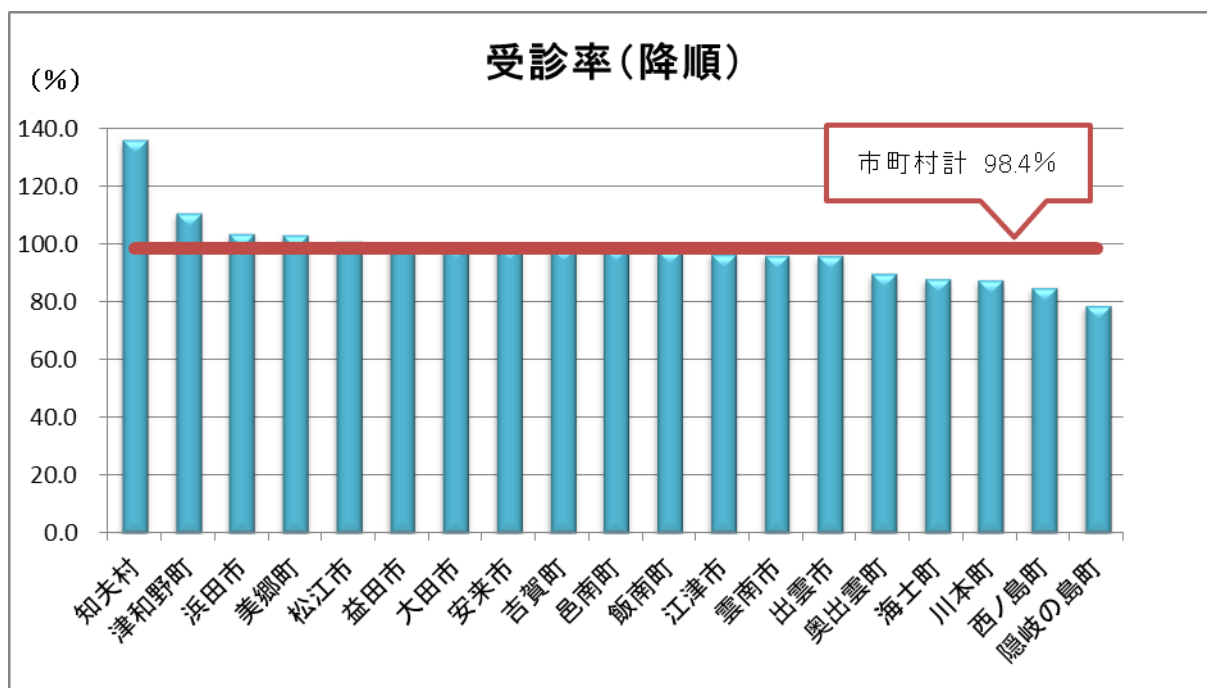




(2) 医療費諸率

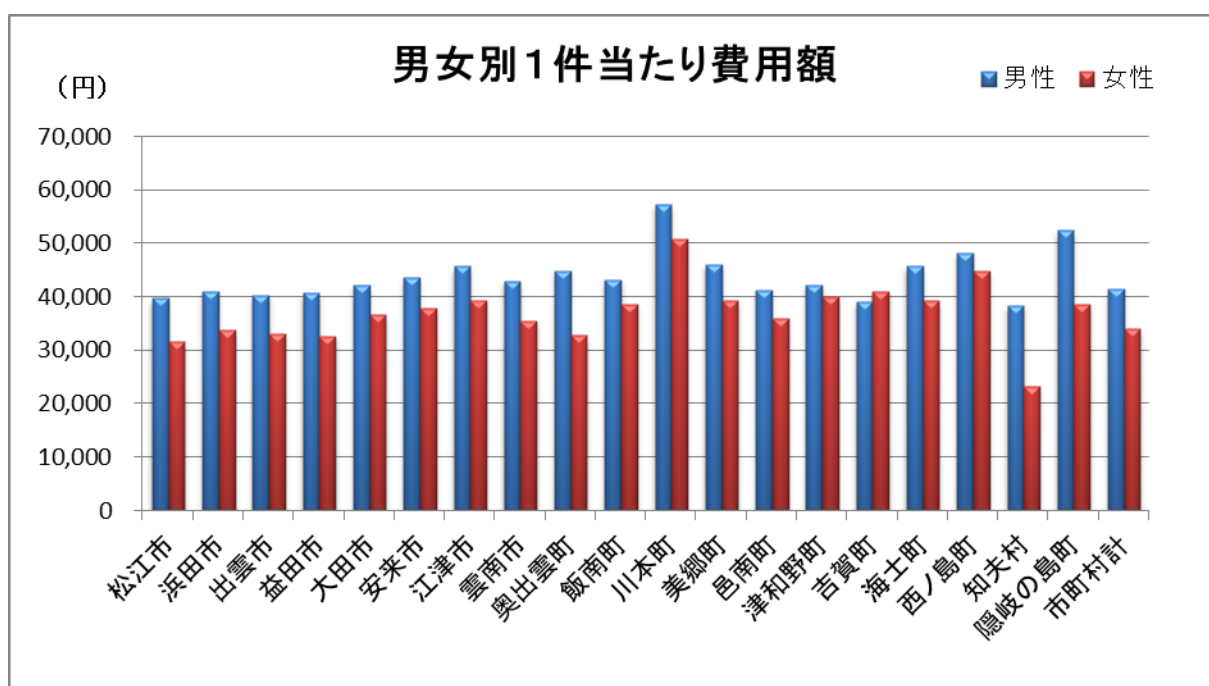
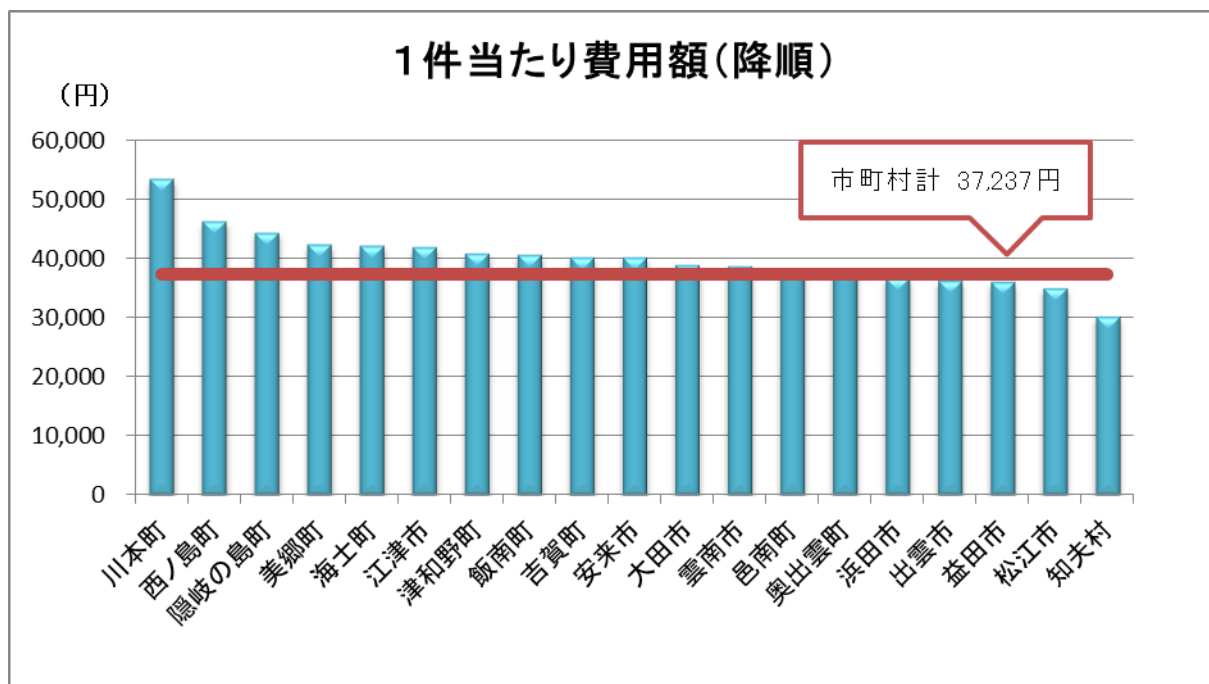
① 受診率

受診率は、市町村計で 98.4%。市町村別では、知夫村が最も高い。
男女別にみると、全ての市町村で女性が高い。



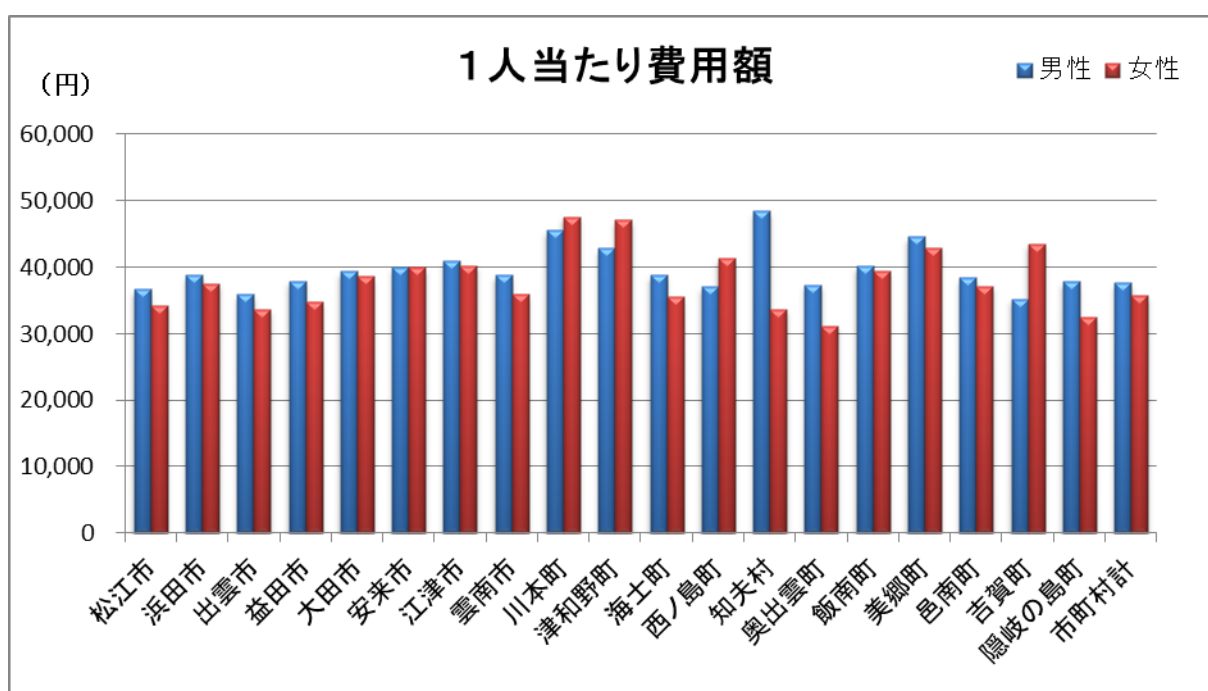
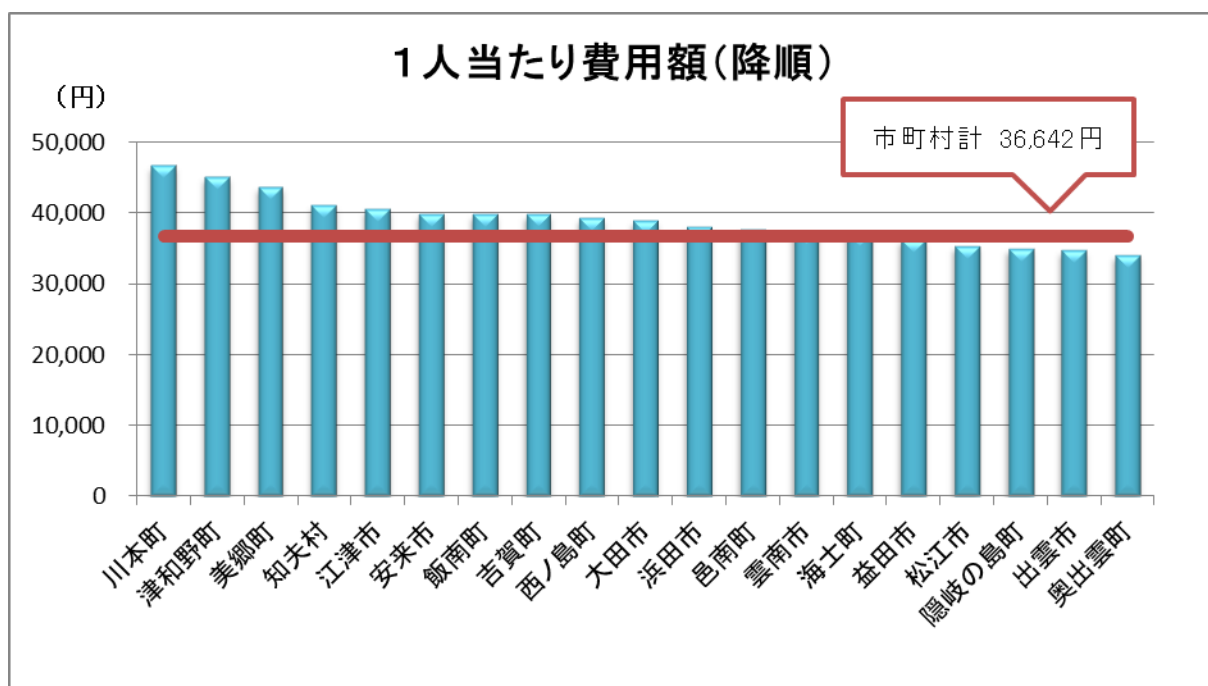
② 1 件当たり費用額

1 件当たり費用額は、市町村計で 37,237 円。市町村別では、川本町が最も高い。男女別にみると吉賀町を除く全ての市町村で男性が高い。



③ 1人当たり費用額

1人当たり費用額は、市町村計で36,642円。市町村別にみると、1件当たり費用額と同様に、川本町が最も高い。



④ 年齢調整 1 人当たり費用額

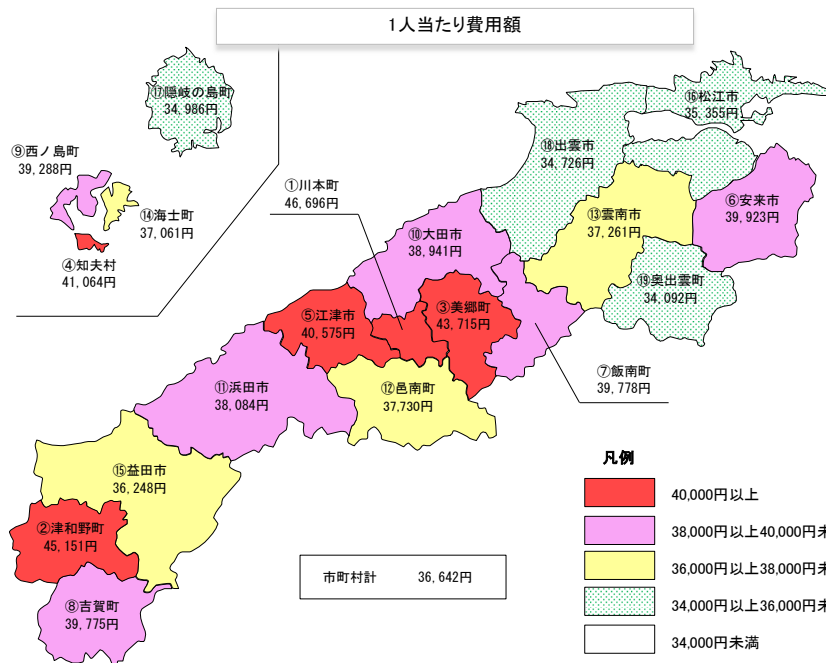
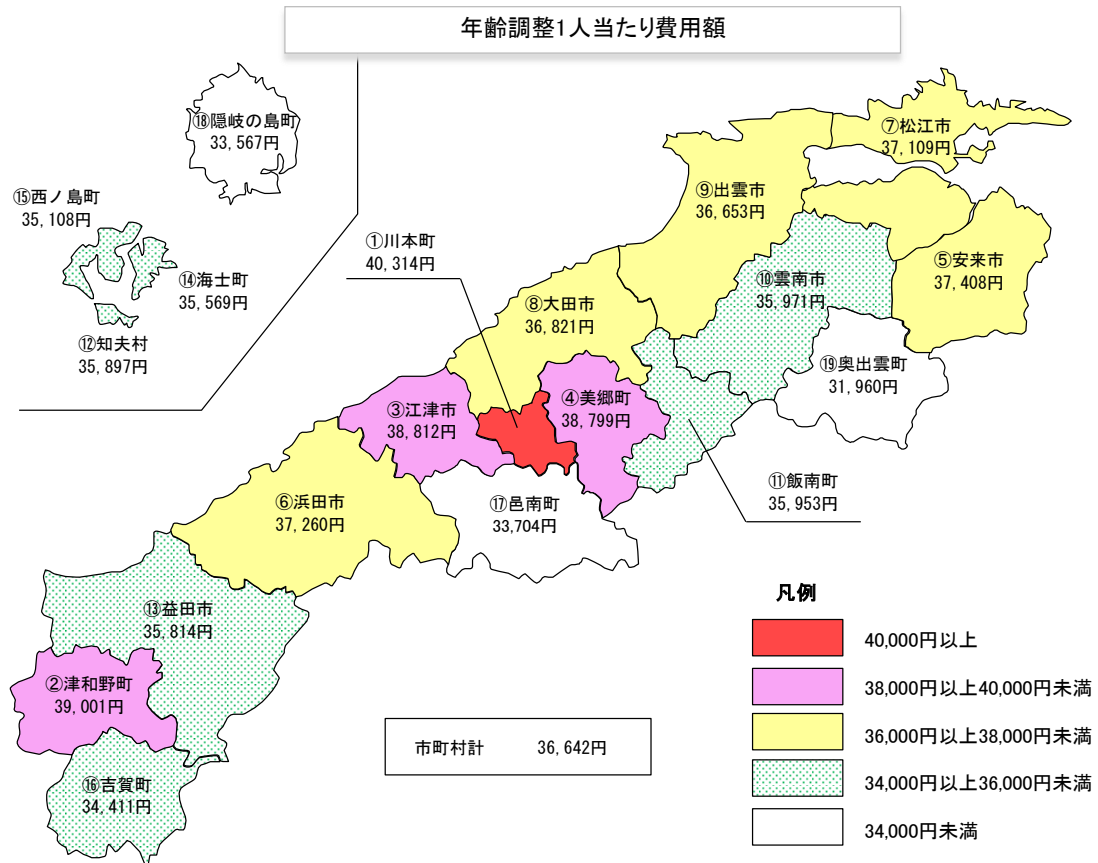
加入者の年齢構成が影響すると考えられることから、直接法による年齢調整を行った。

年齢調整により、若年層の割合が高い松江市及び出雲市のみ増加した。

直接法による年齢調整 1 人当たり費用額

…各市町村の加入者の年齢構成を、県平均の年齢構成に置き換えて算出

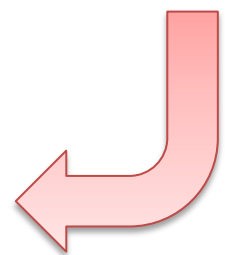
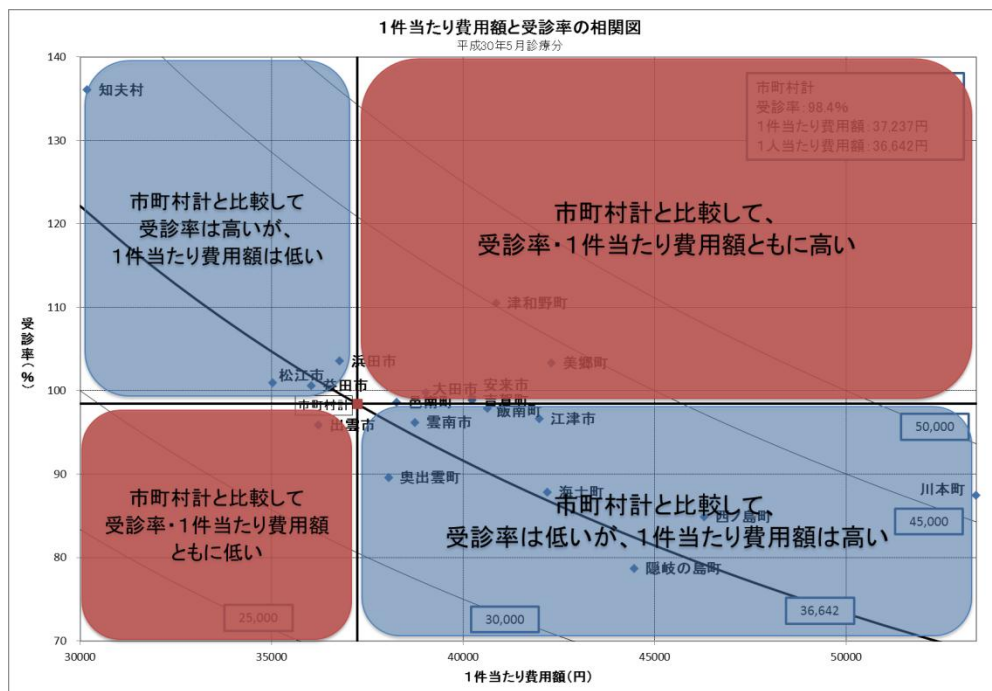
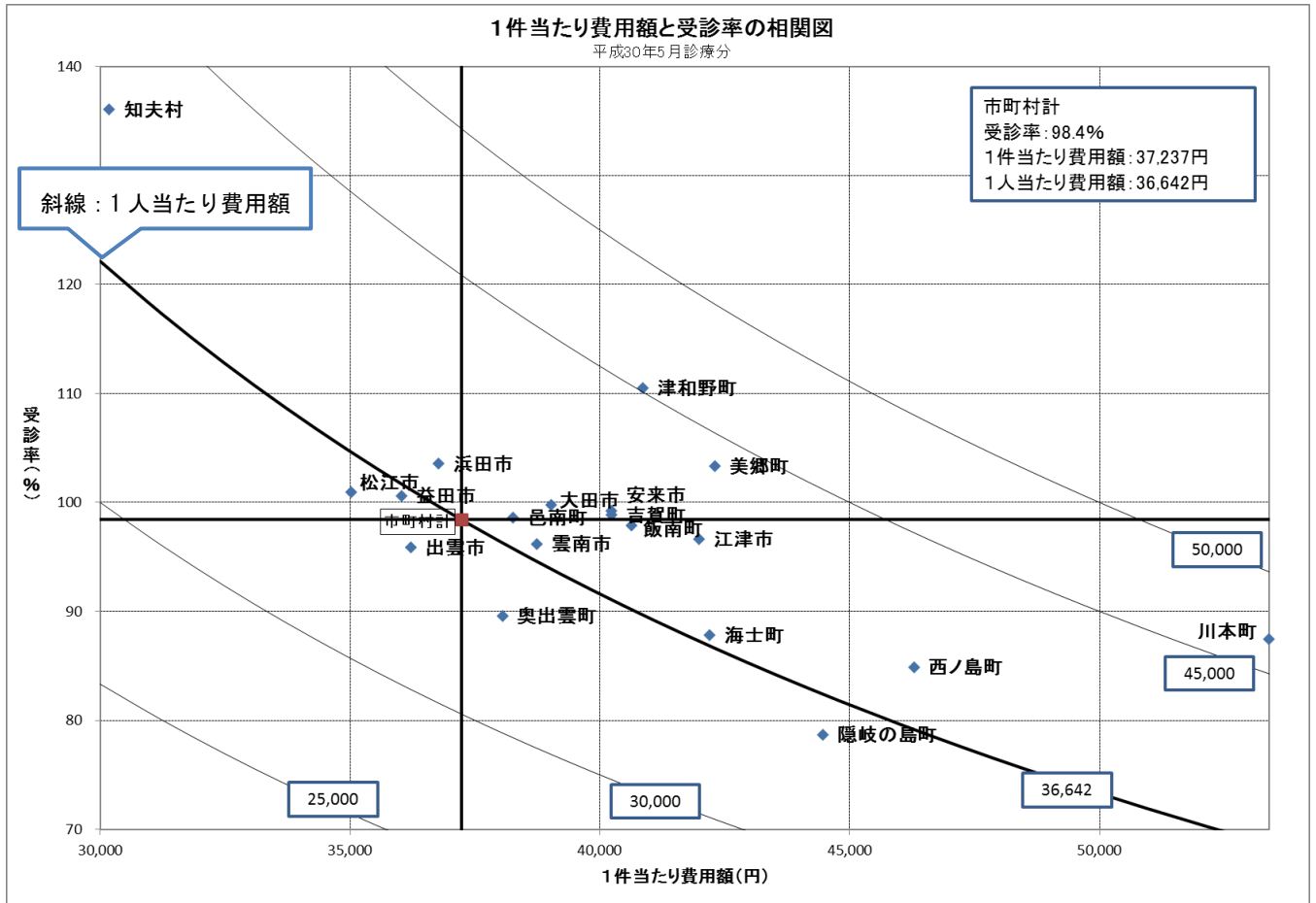
$$= \Sigma (\text{市町村別年齢階層別 1 人当たり費用額} \times \text{年齢階層別基準人口}) / \text{市町村計加入者}$$



⑤ 1件当たり費用額と受診率の関係

受診率を縦軸に、1件当たり費用額を横軸にして相関をみた。

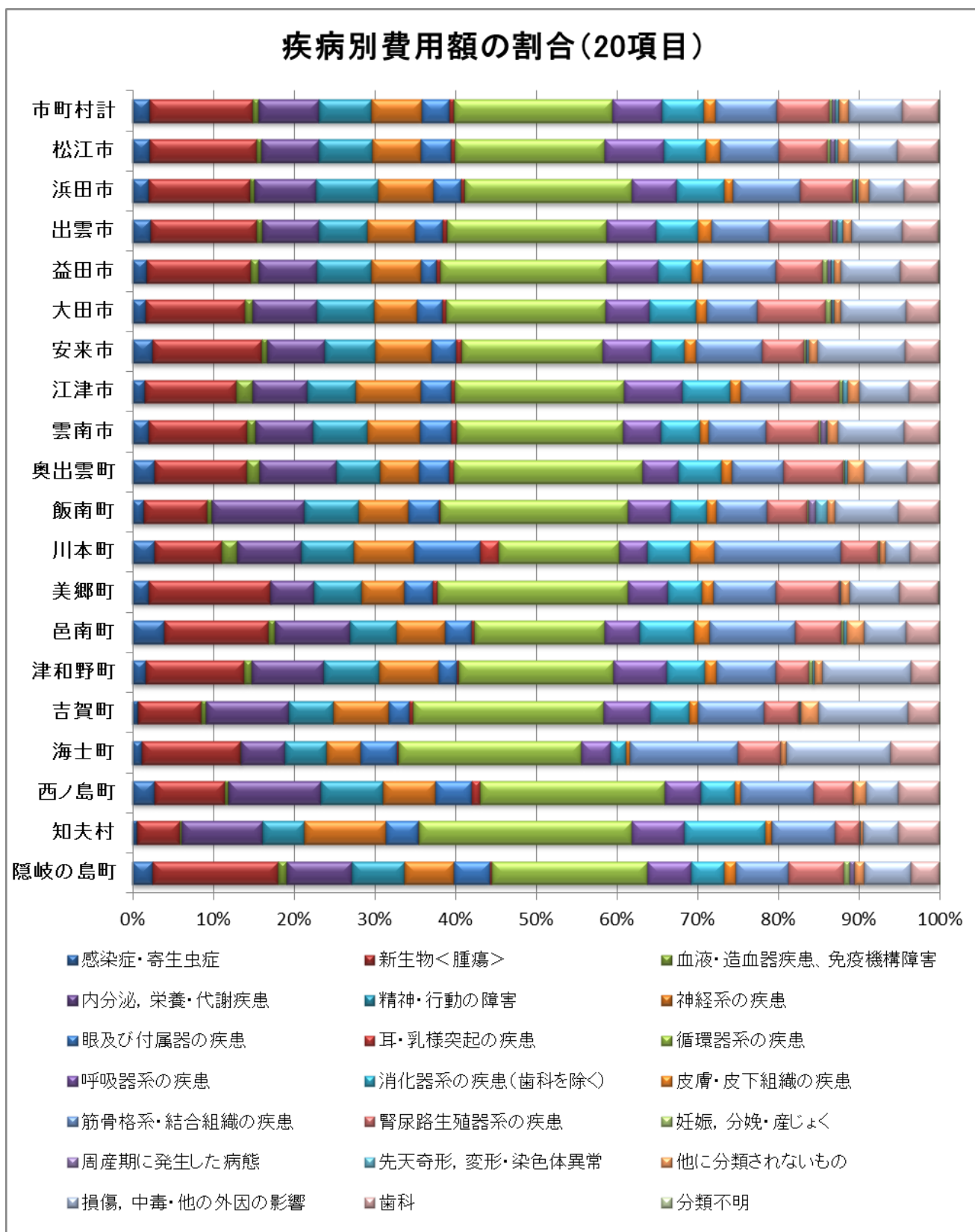
川本町は、受診率は市町村計より低いものの1件当たり費用額が高いため、1人当たり費用額が最も高くなっている。一方、1人当たり費用額が2番目に低い出雲市は、市町村計と比較して受診率及び1件当たり費用額ともに低い。



(3) 疾病統計

① 疾病別医療費（大分類）

疾病大分類別費用額の割合をみると、ほとんどの市町村で「循環器系の疾患」が最も高く、「新生物」が2番目に高くなっている。

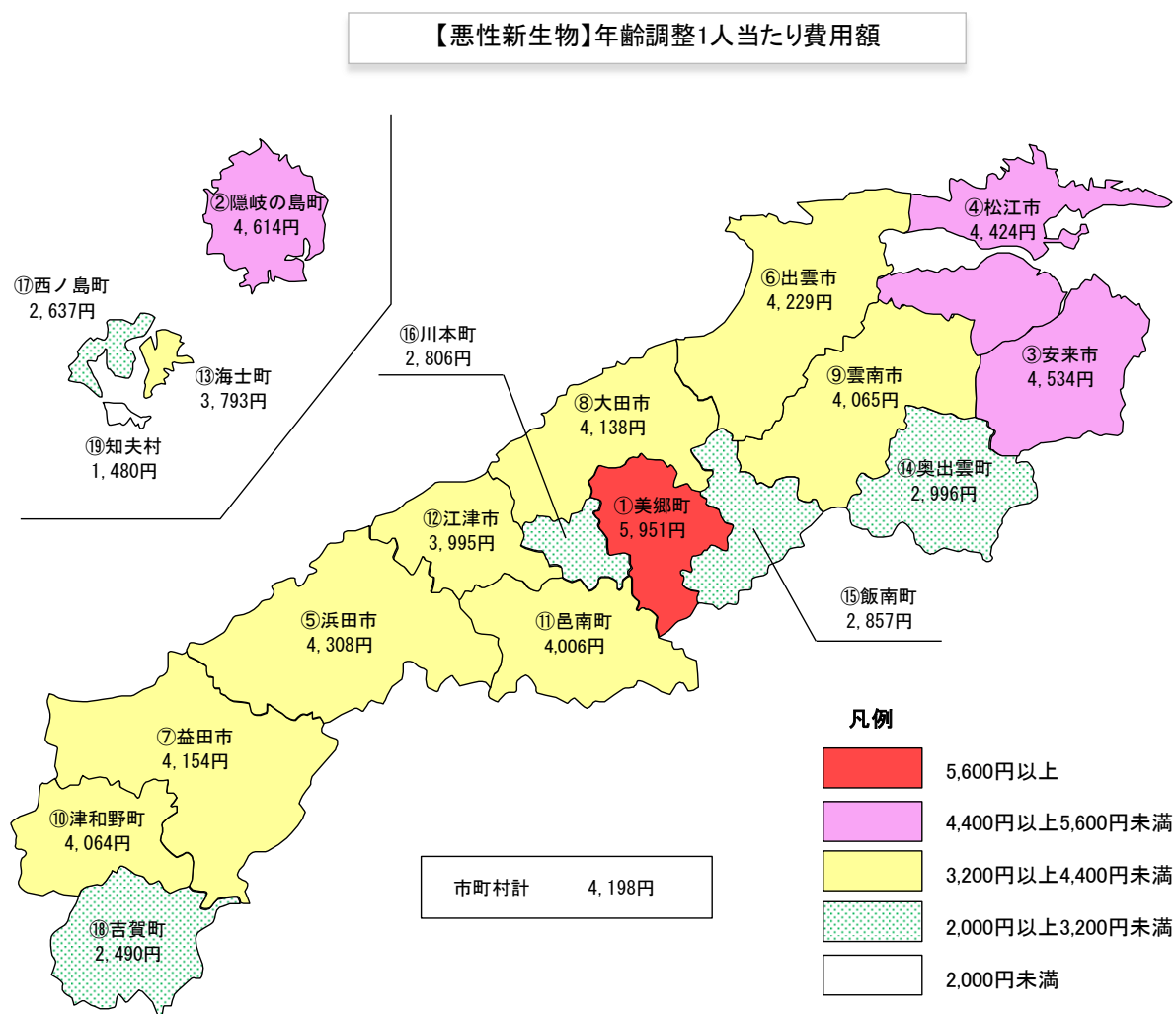


② 生活習慣病

生活習慣病に係る1人当たり費用額を年齢調整し、市町村別に比較した。

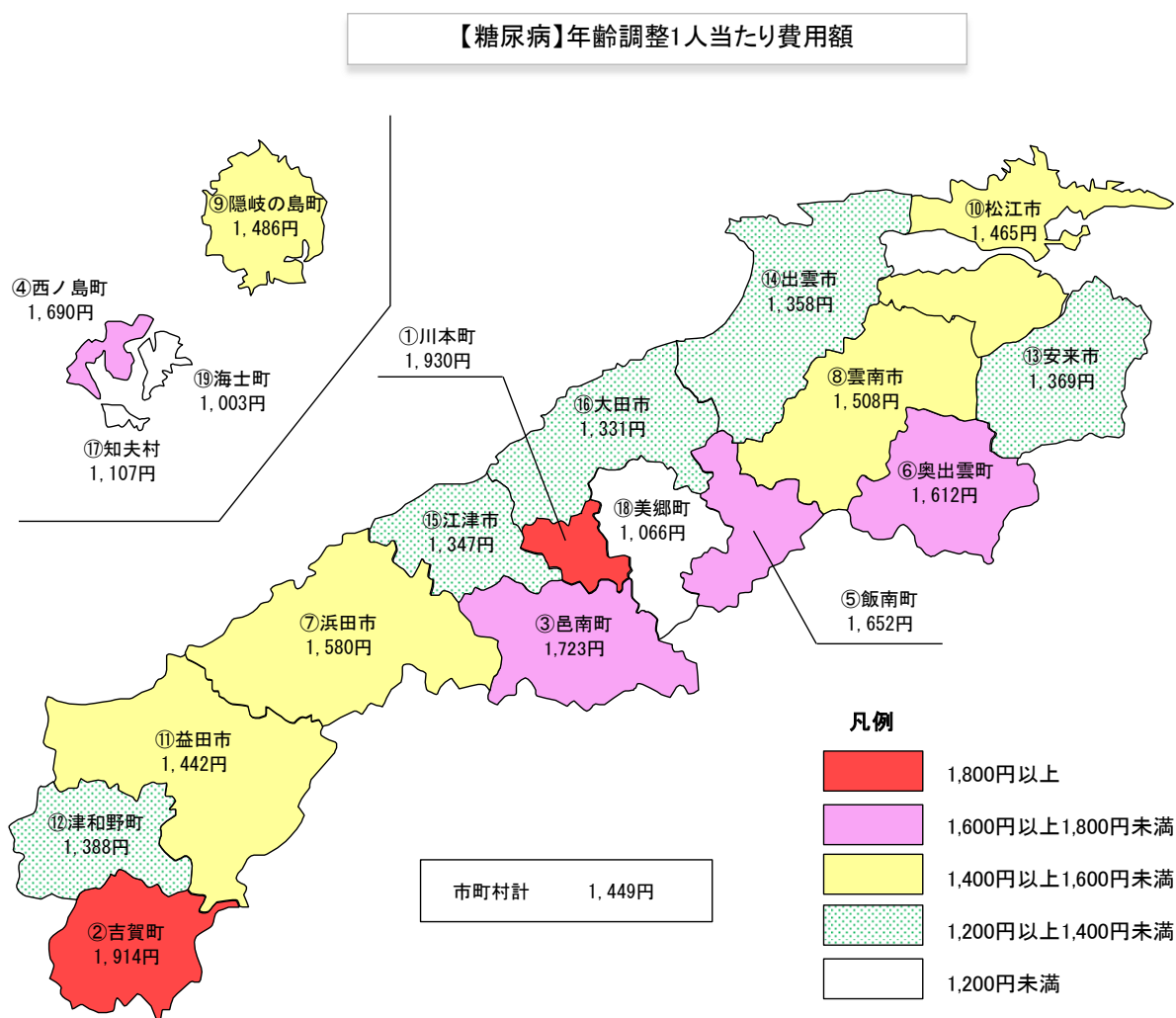
ア 悪性新生物

悪性新生物の1人当たり費用額が最も高いのは美郷町で、最も低いのは知夫村。



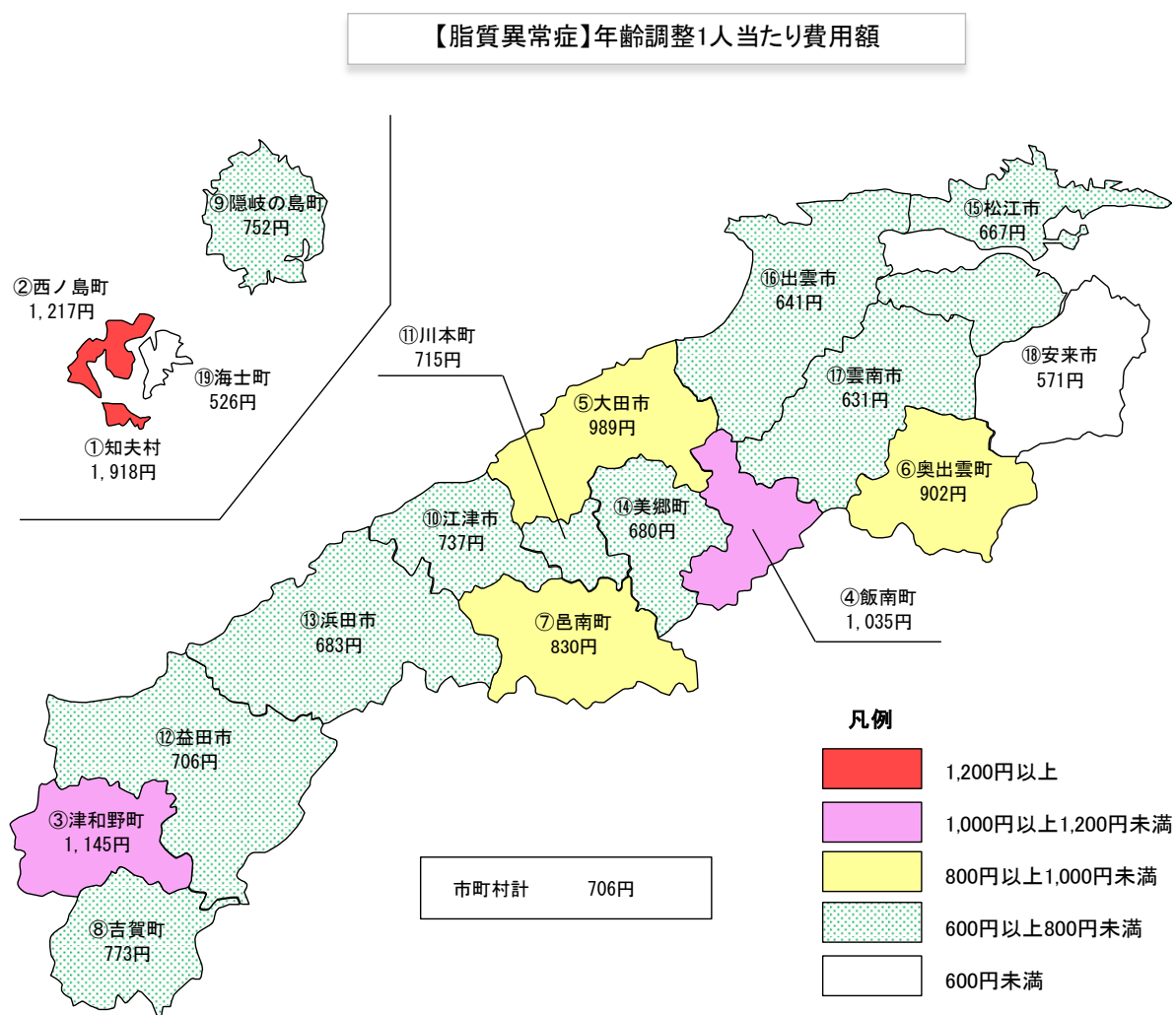
イ 糖尿病

糖尿病の1人当たり費用額が最も高いのは川本町で、最も低いのは海士町。



ウ 脂質異常症

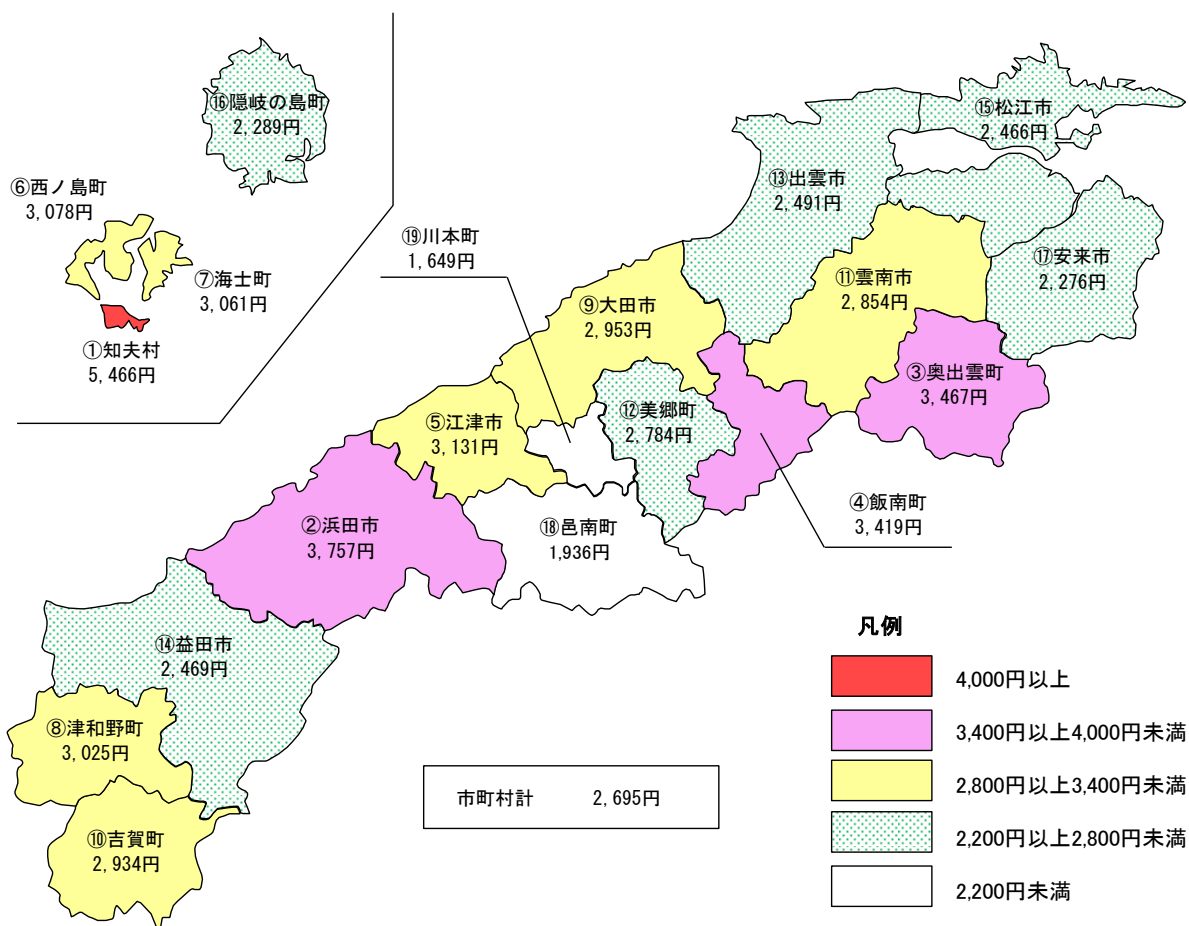
脂質異常症の1人当たり費用額が最も高いのは知夫村で、最も低いのは海士町。



エ 高血圧性疾患

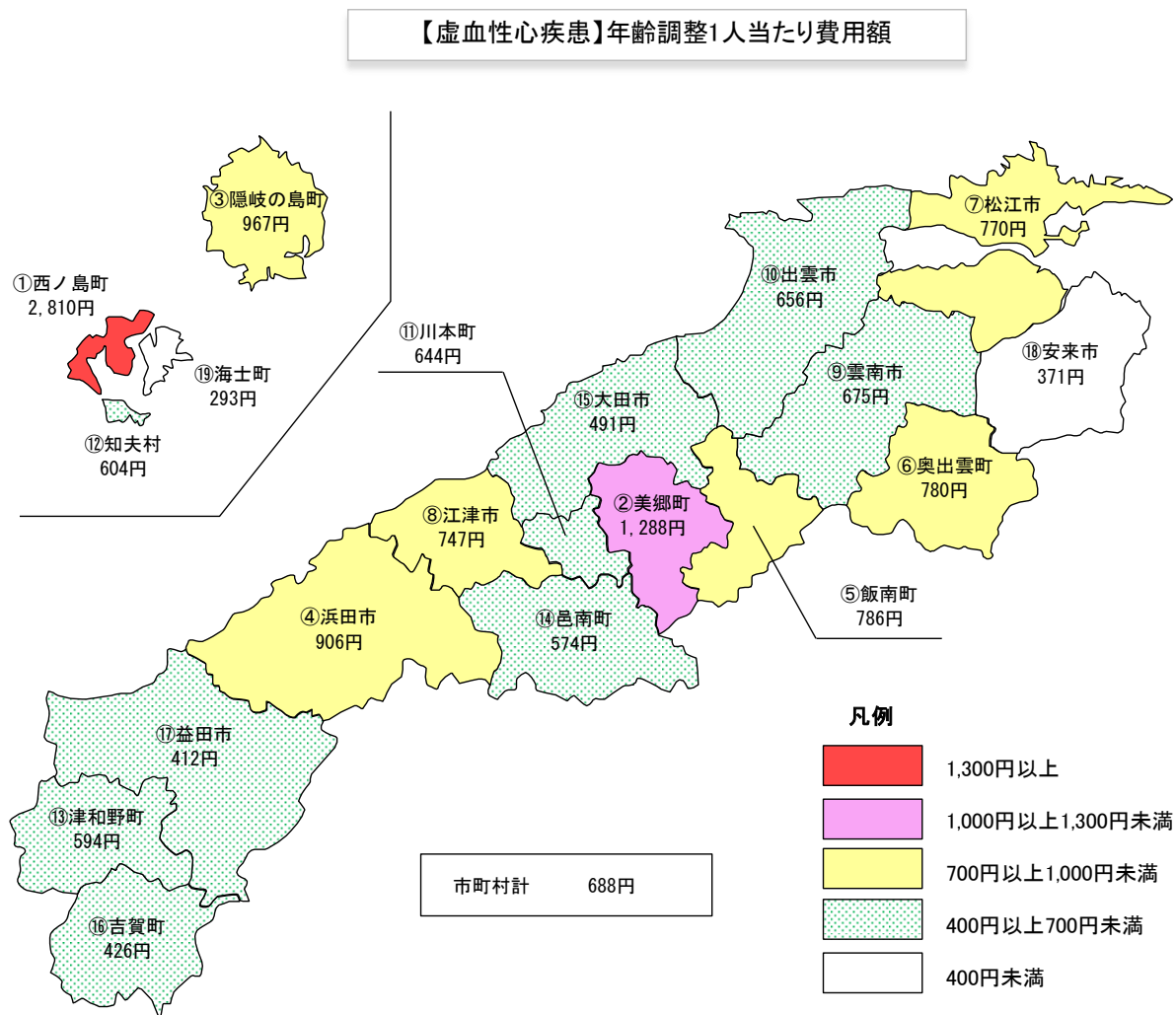
高血圧性疾患の1人当たり費用額が最も高いのは知夫村で、最も低いのは川本町。

【高血圧性疾患】年齢調整1人当たり費用額



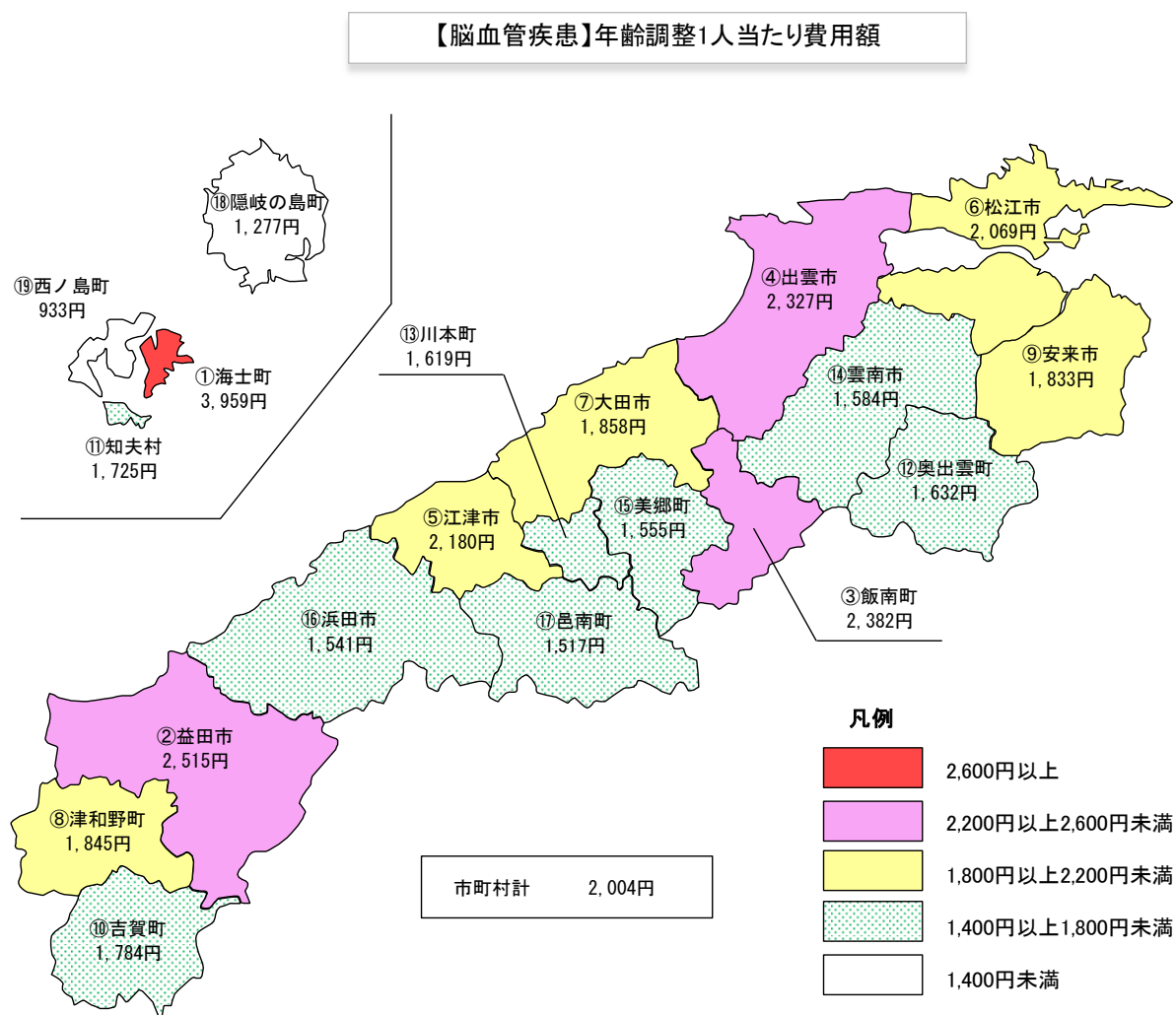
オ 虚血性心疾患

虚血性心疾患の1人当たり費用額が最も高いのは西ノ島町で、最も低いのは海士町。



カ 脳血管疾患

脳血管疾患の1人当たり費用額が最も高いのは海士町で、最も低いのは西ノ島町。



③ 疾病別医療費（中分類）

疾病中分類別 1 人当たり費用額上位 10 疾病を、市町村別に比較した。

ア 制度合計

1 人当たり費用額上位 10 疾病は、ほとんどの市町村で「高血圧性疾患」が 1 位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	高血圧性疾患	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	糖尿病	腎不全	他の心疾患	脳梗塞	統合失調症・妄想性障害	他の消化器系の疾患
浜田市	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	歯科	腎不全	統合失調症・妄想性障害	他の心疾患	脳梗塞	他の消化器系の疾患	アルツハイマー病
出雲市	高血圧性疾患	腎不全	歯科	他の心疾患	骨折	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	統合失調症・妄想性障害	他の消化器系の疾患
益田市	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	脳梗塞	歯科	糖尿病	腎不全	統合失調症・妄想性障害	他の心疾患	関節症
大田市	高血圧性疾患	骨折	腎不全	歯科	他の心疾患	脳梗塞	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	脂質異常症
安来市	骨折	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	歯科	糖尿病	腎不全	統合失調症・妄想性障害	他の損傷・他の外因の影響	脊椎障害（脊椎症を含む）
江津市	高血圧性疾患	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	腎不全	歯科	糖尿病	統合失調症・妄想性障害	脳梗塞	他の消化器系の疾患
雲南市	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	歯科	糖尿病	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	他の消化器系の疾患	他の神経系の疾患
奥出雲町	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	歯科	他の心疾患	腎不全	他の消化器系の疾患	脂質異常症	統合失調症・妄想性障害	骨折
飯南町	高血圧性疾患	骨折	歯科	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	統合失調症・妄想性障害	脳梗塞	他の内分泌・栄養・代謝疾患	脂質異常症
川本町	関節症	他の心疾患	脊椎障害（脊椎症を含む）	糖尿病	高血圧性疾患	パーキンソン病	他の眼・付属器の疾患	歯科	白内障	脳梗塞
美郷町	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	骨折	歯科	統合失調症・妄想性障害	脳梗塞	他の腎尿路系の疾患	腎不全	虚血性心疾患
邑南町	高血圧性疾患	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	骨折	他の消化器系の疾患	関節症	他の心疾患	腎不全	脳梗塞
津和野町	高血圧性疾患	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	他の損傷・他の外因の影響	他の心疾患	糖尿病	歯科	統合失調症・妄想性障害	アルツハイマー病	脳梗塞
吉賀町	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	糖尿病	歯科	他の筋骨格系・結合組織の疾患	統合失調症・妄想性障害	他の神経系の疾患	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>
海士町	骨折	高血圧性疾患	関節症	歯科	脳内出血	腎不全	他の脳血管疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の眼・付属器の疾患	結腸の悪性新生物<腫瘍>
西ノ島町	高血圧性疾患	虚血性心疾患	歯科	糖尿病	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	他の筋骨格系・結合組織の疾患	脂質異常症	脳梗塞	他の神経系の疾患
知夫村	高血圧性疾患	胆石症・胆のう炎	脂質異常症	歯科	てんかん	脳梗塞	パーキンソン病	骨折	動脈硬化（症）	気分[感情]障害（躁うつ病を含む）
隠岐の島町	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	骨折	腎不全	歯科	他の心疾患	他の神経系の疾患	虚血性心疾患	気管・気管支・肺の悪性新生物
市町村計	高血圧性疾患	骨折	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	糖尿病	他の心疾患	脳梗塞	統合失調症・妄想性障害	他の消化器系の疾患

※歯科は疾病コードが 1101～1103 及び 歯科レセプトの合計（以下同）

イ 市町村国保

市町村国保について市町村別にみると、「統合失調症・妄想性障害」が1位となっている市町村が多い。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	高血圧性疾患	糖尿病	腎不全	他の心疾患	他の神経系の疾患	他の消化器系の疾患	気管、気管支・肺の悪性新生物
浜田市	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	糖尿病	歯科	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	関節症	気管、気管支・肺の悪性新生物	他の神経系の疾患
出雲市	腎不全	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	糖尿病	他の神経系の疾患	他の心疾患	他の消化器系の疾患	骨折
益田市	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	歯科	糖尿病	脳梗塞	腎不全	関節症	骨折	他の消化器系の疾患
大田市	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	糖尿病	他の神経系の疾患	脂質異常症	骨折	脳梗塞
安来市	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	骨折	高血圧性疾患	歯科	糖尿病	腎不全	脳性麻痺・その他の麻痺性症候群	他の損傷・他の外因の影響	他の神経系の疾患
江津市	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	脳性麻痺・その他の麻痺性症候群	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	糖尿病	他の神経系の疾患	貧血	脳内出血
雲南市	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	歯科	気管、気管支・肺の悪性新生物	糖尿病	腎不全	他の消化器系の疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の神経系の疾患	他の心疾患
奥出雲町	高血圧性疾患	統合失調症・妄想性障害	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	歯科	腎不全	骨折	脂質異常症	他の損傷・他の外因の影響
飯南町	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	他の神経系の疾患	歯科	糖尿病	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	気管、気管支・肺の悪性新生物	脳内出血	他の損傷・他の外因の影響
川本町	関節症	脳梗塞	糖尿病	気管、気管支・肺の悪性新生物	他の心疾患	統合失調症・妄想性障害	歯科	脂質異常症	脳性麻痺・その他の麻痺性症候群	腎不全
美郷町	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	虚血性心疾患	他の心疾患	高血圧性疾患	気管、気管支・肺の悪性新生物	腎不全	歯科	糖尿病	骨折
邑南町	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	統合失調症・妄想性障害	歯科	高血圧性疾患	てんかん	虚血性心疾患	他の神経系の疾患	脳性麻痺・その他の麻痺性症候群	ウイルス性肝炎
津和野町	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の損傷・他の外因の影響	腎不全	糖尿病	歯科	脳内出血	他の内分泌、栄養・代謝疾患	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
吉賀町	高血圧性疾患	糖尿病	歯科	他の内分泌、栄養・代謝疾患	他の心疾患	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	結腸の悪性新生物<腫瘍>	他の筋骨格系・結合組織の疾患	骨折
海士町	他の悪性新生物<腫瘍>	他の脳血管疾患	歯科	高血圧性疾患	関節症	腎不全	統合失調症・妄想性障害	他の筋骨格系・結合組織の疾患	白血病	糖尿病
西ノ島町	虚血性心疾患	統合失調症・妄想性障害	他の筋骨格系・結合組織の疾患	歯科	高血圧性疾患	甲状腺障害	他の悪性新生物<腫瘍>	他の神経系の疾患	腎不全	脳梗塞
知夫村	胆石症・胆のう炎	高血圧性疾患	パーキンソン病	脂質異常症	脳梗塞	脊椎障害(脊椎症を含む)	歯科	他の眼・付属器の疾患	糖尿病	他の消化器系の疾患
隠岐の島町	脳内出血	糖尿病	高血圧性疾患	統合失調症・妄想性障害	腎不全	歯科	炎症性多発性関節障害	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	虚血性心疾患	他の消化器系の疾患
市町村計	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	腎不全	糖尿病	他の神経系の疾患	他の消化器系の疾患	他の心疾患	気管、気管支・肺の悪性新生物

ウ 被用者保険

被用者保険は、ほとんどの市町村で「歯科」が1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	歯科	高血圧性疾患	糖尿病	他の神経系の疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	他の消化器系の疾患	喘息	腎不全	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
浜田市	歯科	高血圧性疾患	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	喘息	他の消化器系の疾患	腎不全	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	屈折・調節の障害	脂質異常症
出雲市	歯科	高血圧性疾患	気管、気管支・肺の悪性新生物	糖尿病	他の消化器系の疾患	他の神経系の疾患	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	他の先天奇形、変形・染色体異常	アレルギー性鼻炎
益田市	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の消化器系の疾患	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他の妊娠、分娩・産じょく	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	他の心疾患	関節症
大田市	歯科	高血圧性疾患	腎不全	糖尿病	他の消化器系の疾患	他の妊娠、分娩・産じょく	脂質異常症	他の血液・造血器の疾患	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	他の悪性新生物<腫瘍>
安来市	歯科	他の損傷・他の外因の影響	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	喘息	乳房の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	くも膜下出血	他の筋骨格系・結合組織の疾患	気管、気管支・肺の悪性新生物
江津市	歯科	高血圧性疾患	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の血液・造血器の疾患	脳性麻痺・その他の麻痺性症候群	他の消化器系の疾患	他に分類されないもの	屈折・調節の障害
雲南市	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	腎不全	他の消化器系の疾患	糖尿病	他の神経系の疾患	虚血性心疾患	妊娠・胎児発育に関連する障害
奥出雲町	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	高血圧性疾患	腎不全	他の損傷・他の外因の影響	他の消化器系の疾患	脂質異常症	糖尿病	骨折	他の神経系の疾患
飯南町	他の内分泌、栄養・代謝疾患	歯科	他の先天奇形、変形・染色体異常	てんかん	高血圧性疾患	妊娠・胎児発育に関連する障害	脂質異常症	他の悪性新生物<腫瘍>	脳内出血	骨折
川本町	パーキンソン病	歯科	他の損傷・他の外因の影響	関節症	高血圧性疾患	脳性麻痺・その他の麻痺性症候群	炎症性多発性関節障害	糖尿病	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	皮膚炎・湿疹
美郷町	歯科	悪性リンパ腫	高血圧性疾患	他の消化器系の疾患	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	他の神経系の疾患	脂質異常症	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他の急性上気道感染症
邑南町	歯科	他の消化器系の疾患	糖尿病	脳内出血	高血圧性疾患	気管、気管支・肺の悪性新生物	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	脂質異常症	腎不全	子宮の悪性新生物<腫瘍>
津和野町	歯科	脊椎障害(脊椎症を含む)	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の損傷・他の外因の影響	他の呼吸器系の疾患	他の神経系の疾患	糖尿病	他の妊娠、分娩・産じょく	良性新生物・他の新生物<腫瘍>
吉賀町	歯科	高血圧性疾患	他の損傷・他の外因の影響	他の神経系の疾患	他の心疾患	骨折	糖尿病	悪性リンパ腫	アレルギー性鼻炎	他の急性上気道感染症
海士町	歯科	他の心疾患	椎間板障害	他の神経系の疾患	高血圧性疾患	腎不全	他の呼吸器系の疾患	炎症性多発性関節障害	脂質異常症	糖尿病
西ノ島町	歯科	高血圧性疾患	糸球体疾患・腎尿細管間質性疾患	統合失調症・妄想性障害	腸管感染症	糖尿病	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他の損傷・他の外因の影響	脂質異常症	白内障
知夫村	歯科	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	隣疾患	皮膚炎・湿疹	他の消化器系の疾患	高血圧性疾患	他の急性上気道感染症	月経障害・閉経周辺期障害	アレルギー性鼻炎	他の精神・行動の障害
隠岐の島町	他の悪性新生物<腫瘍>	他の神経系の疾患	歯科	糖尿病	脊椎障害(脊椎症を含む)	高血圧性疾患	他の急性上気道感染症	糸球体疾患・腎尿細管間質性疾患	他の妊娠、分娩・産じょく	他の消化器系の疾患
市町村計	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の消化器系の疾患	他の神経系の疾患	腎不全	喘息	他の損傷・他の外因の影響	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)

エ 後期高齢者

後期高齢者では、ほとんどの市町村で「高血圧性疾患」が1位、2位は「骨折」、
「他の心疾患」等である。

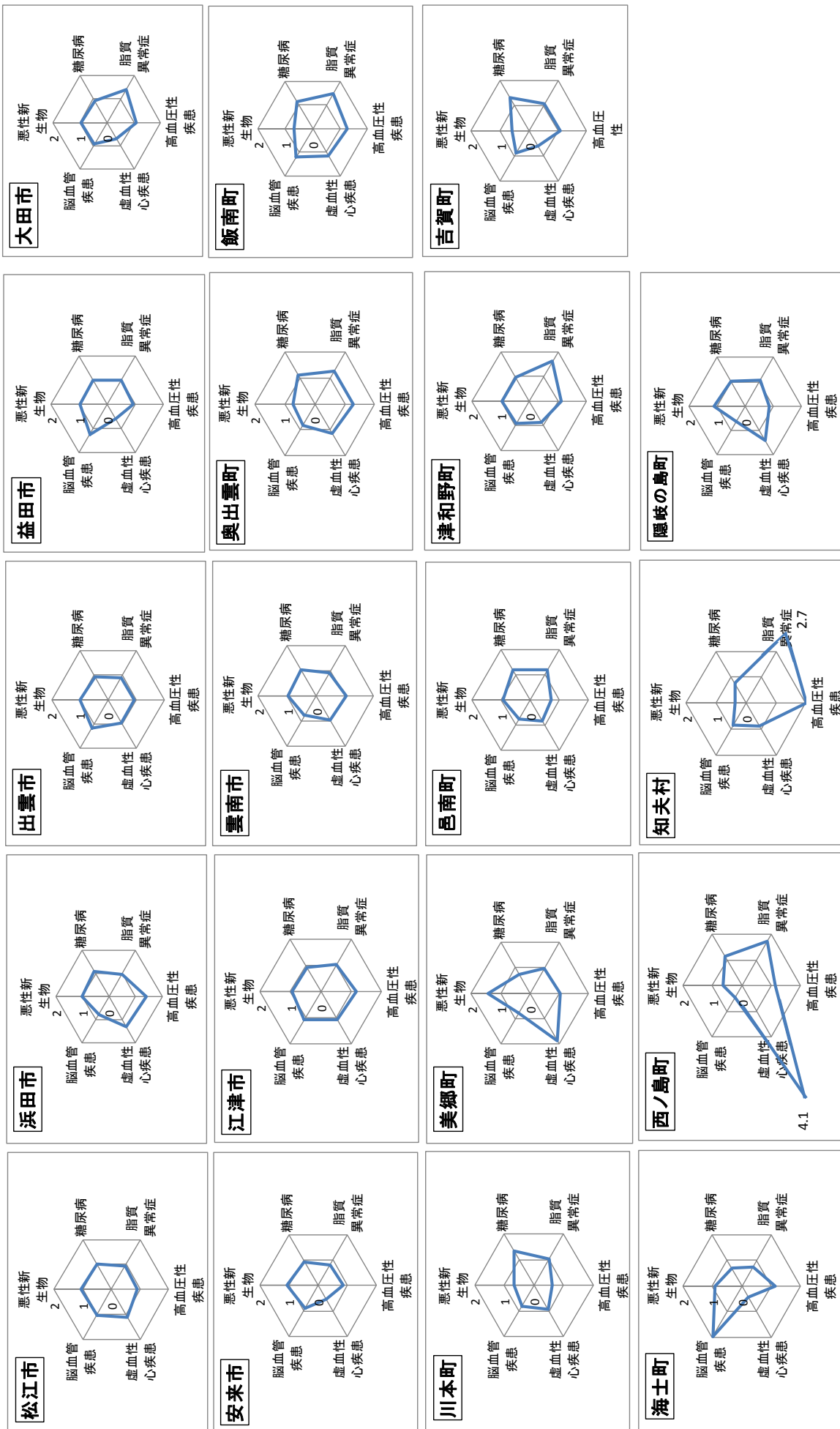
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	高血圧性疾患	骨折	脳梗塞	他の心疾患	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	他の呼吸器系の疾患	糖尿病	歯科	他の消化器系の疾患
浜田市	高血圧性疾患	脳梗塞	アルツハイマー病	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	糖尿病	腎不全	骨折	虚血性心疾患	関節症
出雲市	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	腎不全	脳梗塞	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	他の呼吸器系の疾患	アルツハイマー病	他の消化器系の疾患
益田市	高血圧性疾患	骨折	脳梗塞	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の呼吸器系の疾患	糖尿病	腎不全	アルツハイマー病	他の循環器系の疾患
大田市	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	脳梗塞	腎不全	糖尿病	他の消化器系の疾患	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	他の呼吸器系の疾患
安来市	骨折	高血圧性疾患	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	アルツハイマー病	糖尿病	関節症	脊椎障害(脊椎症を含む)	脳梗塞
江津市	高血圧性疾患	骨折	脳梗塞	他の心疾患	肺炎	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	糖尿病	他の呼吸器系の疾患	他の消化器系の疾患
雲南市	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	脳梗塞	他の眼・付属器の疾患	他の神経系の疾患	アルツハイマー病
奥出雲町	高血圧性疾患	糖尿病	他の心疾患	虚血性心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	脳内出血	他の消化器系の疾患	脳梗塞	他の眼・付属器の疾患	腎不全
飯南町	高血圧性疾患	骨折	糖尿病	脳梗塞	他の心疾患	歯科	虚血性心疾患	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	脂質異常症
川本町	脊椎障害(脊椎症を含む)	他の心疾患	白内障	他の眼・付属器の疾患	糖尿病	高血圧性疾患	骨の密度・構造の障害	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	関節症
美郷町	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	他の腎尿路系の疾患	腎不全	関節症	他の呼吸器系の疾患	アルツハイマー病
邑南町	高血圧性疾患	骨折	糖尿病	他の心疾患	関節症	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>	他の消化器系の疾患	脊椎障害(脊椎症を含む)	腎不全
津和野町	高血圧性疾患	骨折	アルツハイマー病	他の心疾患	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	脂質異常症	他の損傷・他の外因の影響	関節症
吉賀町	骨折	高血圧性疾患	他の心疾患	糖尿病	脳梗塞	他の筋骨格系・結合組織の疾患	動脈硬化(症)	脳内出血	他の神経系	統合失調症・妄想性障害
海士町	骨折	高血圧性疾患	関節症	脳内出血	結腸の悪性新生物<腫瘍>	他の眼・付属器の疾患	頭蓋内損傷・内臓の損傷	腎不全	歯科	他の脳血管疾患
西ノ島町	高血圧性疾患	虚血性心疾患	糖尿病	脂質異常症	他の悪性新生物<腫瘍>	パーキンソン病	他の損傷・他の外因の影響	他の心疾患	脳梗塞	歯科
知夫村	高血圧性疾患	てんかん	骨折	動脈硬化(症)	脂質異常症	肝・肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	歯科	喘息	糖尿病
隠岐の島町	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の循環器系	糖尿病	腎不全	気管・気管支・肺の悪性新生物	アルツハイマー病	虚血性心疾患
市町村計	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	脳梗塞	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の呼吸器系の疾患	アルツハイマー病	他の消化器系の疾患

【参考】市町村別状況一覧（国保・被用者保険・後期高齢者）

	人口 (人)	加入者数	カバー率 (%) 加入者 /人口	受診率	1件当たり 費用額	1人当たり費 用額 (年齢調整)	費用額上位3疾病(20項目分類)			費用額上位3疾病(120項目分類)			総費用額に 占める生活 習慣病の割 合(%)
							1位	2位	3位	1位	2位	3位	
松江市	204,637	137,433	67.2	100.9	35,024	37,109	循環器系	新生物	筋骨格	高血圧性 疾患	歯科	他の悪性 新生物	31.5
浜田市	55,859	42,604	76.3	103.6	36,771	37,260	循環器系	新生物	筋骨格	高血圧性 疾患	他の悪性 新生物	糖尿病	34.4
出雲市	172,623	124,013	71.8	95.9	36,219	36,653	循環器系	新生物	腎尿路	高血圧性 疾患	腎不全	歯科	31.4
益田市	46,115	37,946	82.3	100.6	36,033	35,814	循環器系	新生物	筋骨格	高血圧性 疾患	他の悪性 新生物	骨折	33.0
大田市	33,552	28,594	85.2	99.8	39,026	36,821	循環器系	新生物	腎尿路	高血圧性 疾患	骨折	腎不全	32.2
安来市	38,156	27,647	72.5	99.2	40,231	37,408	循環器系	新生物	損傷・中毒	骨折	高血圧性 疾患	他の悪性 新生物	29.9
江津市	23,669	19,277	81.4	96.6	41,986	38,812	循環器系	新生物	神経系	高血圧性 疾患	骨折	他の悪性 新生物	31.6
雲南市	37,213	31,937	85.8	96.2	38,739	35,971	循環器系	新生物	損傷・中毒	高血圧性 疾患	骨折	他の心疾患	31.7
奥出雲町	12,232	11,405	93.2	89.6	38,056	31,960	循環器系	新生物	内分泌	高血圧性 疾患	他の悪性 新生物	糖尿病	36.7
飯南町	4,798	4,321	90.1	97.9	40,634	35,953	循環器系	内分泌	新生物	高血圧性 疾患	骨折	歯科	35.0
川本町	3,210	2,839	88.4	87.5	53,391	40,314	筋骨格	循環器系	新生物	関節症	他の心疾患	脊椎障害	23.1
美郷町	4,527	4,226	93.4	103.3	42,303	38,799	循環器系	新生物	筋骨格	高血圧性 疾患	他の悪性 新生物	他の心疾患	34.2
邑南町	10,625	9,276	87.3	98.6	38,262	33,704	循環器系	新生物	筋骨格	高血圧性 疾患	糖尿病	他の悪性 新生物	31.2
津和野町	7,257	6,706	92.4	110.5	40,861	39,001	循環器系	新生物	損傷・中毒	高血圧性 疾患	骨折	他の悪性 新生物	31.9
吉賀町	6,162	5,188	84.2	98.9	40,233	34,411	循環器系	損傷・中毒	内分泌	高血圧性 疾患	骨折	他の心疾患	30.5
海士町	2,288	2,013	88.0	87.8	42,196	35,569	循環器系	筋骨格	損傷・中毒	骨折	高血圧性 疾患	関節症	36.0
西ノ島町	2,909	2,426	83.4	84.9	46,291	35,108	循環器系	内分泌	筋骨格	高血圧性 疾患	虚血性 心疾患	歯科	36.7
知夫村	656	571	87.0	136.1	30,177	35,897	循環器系	消化器	神経系	高血圧性 疾患	胆石症・ 胆のう炎	脂質異常症	34.5
隠岐の島町	14,170	11,990	84.6	78.7	44,464	33,567	循環器系	新生物	内分泌	高血圧性 疾患	他の悪性 新生物	糖尿病	34.6
市町村計	680,658	510,412	75.0	98.4	37,237	36,642	循環器系	新生物	筋骨格	高血圧性 疾患	骨折	歯科	32.0

※人口：島根県推計人口月報(平成30年6月1日)

●生活習慣病疾病別1人当たり費用額(市町村計を1とする)



Ⅱ 特定健康診査結果統計

◆健診結果データ集計にあたって

1 使用データについて

次の県内医療保険者における、平成 29 年度特定健康診査結果データを集計した。

- ・島根県内 19 市町村国民健康保険
- ・島根県医師国民健康保険組合
- ・全国健康保険協会島根支部
- ・島根県市町村職員共済組合

2 分類方法（単位）

次の方法により分類する。

【制度（別）】

（１）国 保

島根県内 19 市町村国民健康保険
島根県医師国民健康保険組合

（２）被用者保険

全国健康保険協会島根支部
島根県市町村職員共済組合

3 集計方法等

より多くのデータを対象とした傾向を掴むため、次の方法により集計した。

- （１）各医療保険者から提供された全ての特定健康診査結果データを使用する（実施年度中における加入及び脱退等の異動を除外しない）。
※各医療保険者の法定報告値とは一致しない。

- （２）健診（検査・質問）項目の一部が実施されていない（欠損値がある）場合も分析対象とする。

1 県全体及び制度別の状況

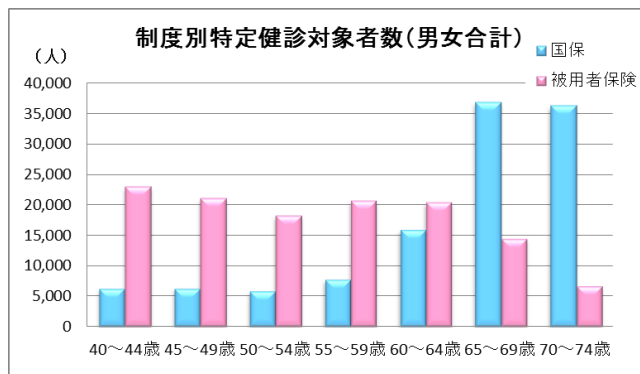
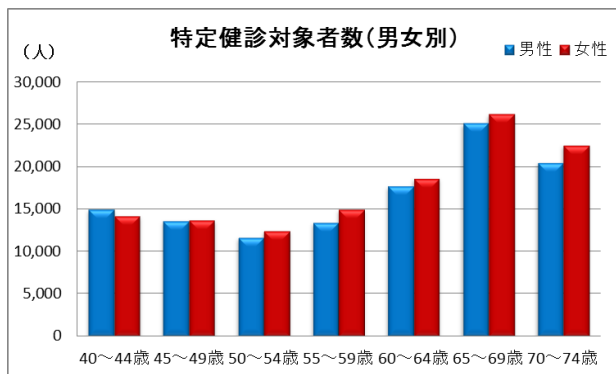
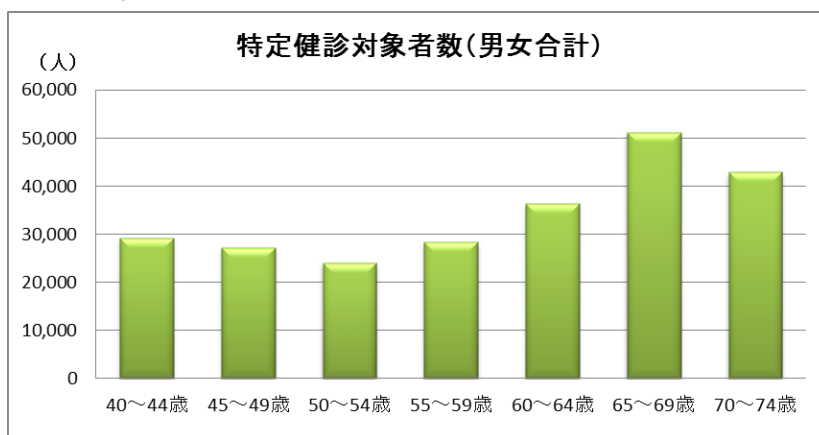
(1) 特定健診受診者数等

本統計における特定健診対象者数、受診者数及び受診率は次表のとおり。医療費統計と同様に被用者保険のデータは一部収集できていないが、国保は全データを収集している。

制度	性別	特定健診 対象者数 (人)	特定健診 受診者数 (人)	受診率 (%)
国保	男性	55,733	20,382	36.6
	女性	59,358	27,157	45.8
	計	115,091	47,539	41.3
被用者保険	男性	61,102	38,568	63.1
	女性	63,192	32,336	51.2
	計	124,294	70,904	57.0
合計	男性	116,835	58,950	50.5
	女性	122,550	59,493	48.5
	計	239,385	118,443	49.5

① 特定健診対象者数

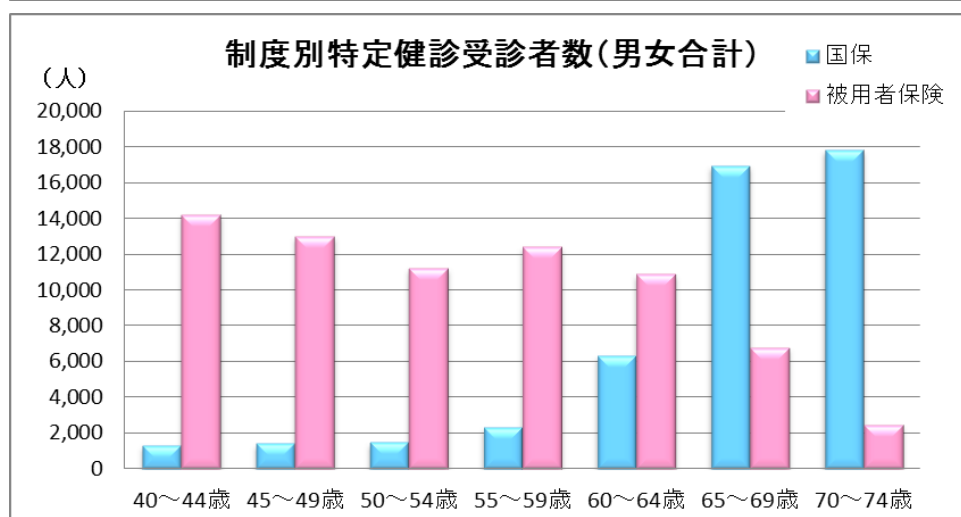
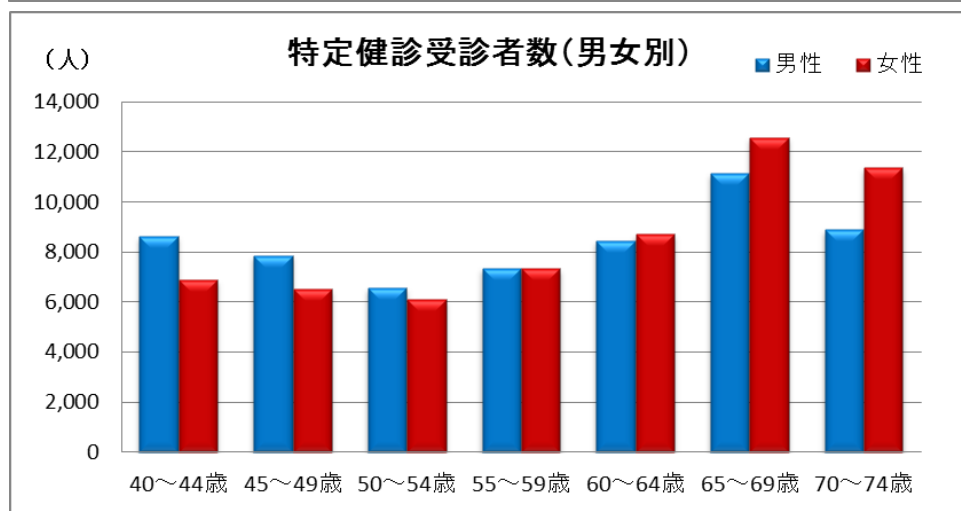
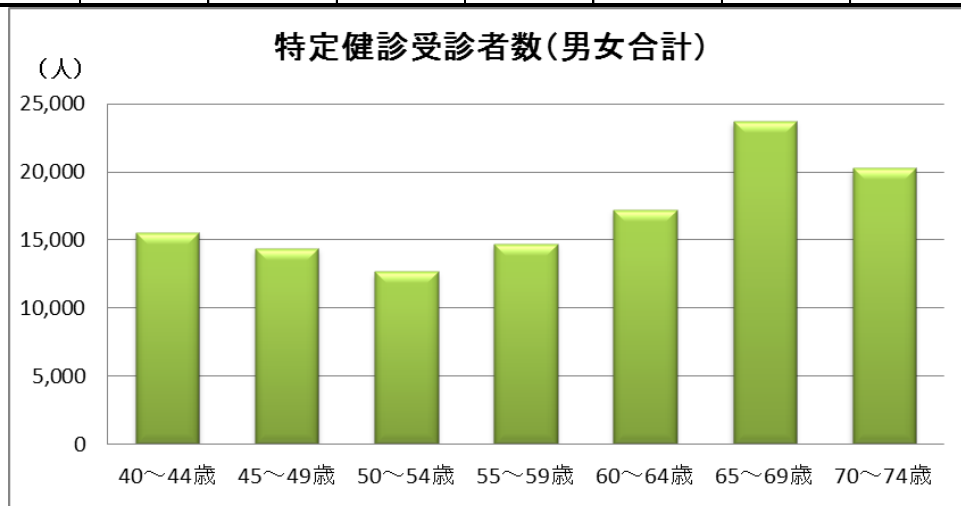
特定健診対象者数を年齢階層別にみると 65～69 歳が最も多い。男女別にみると 45 歳以上で女性が多い。



② 特定健診受診者数

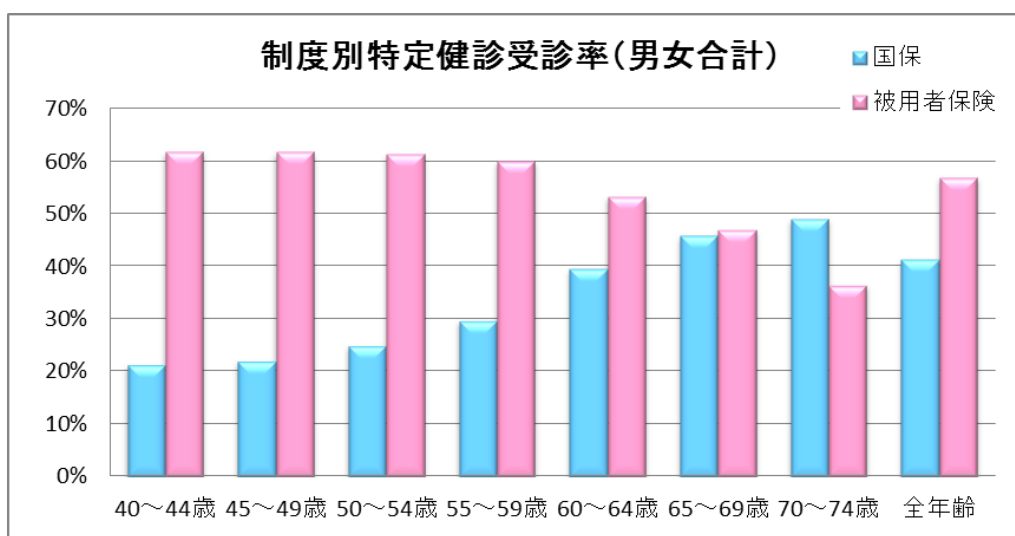
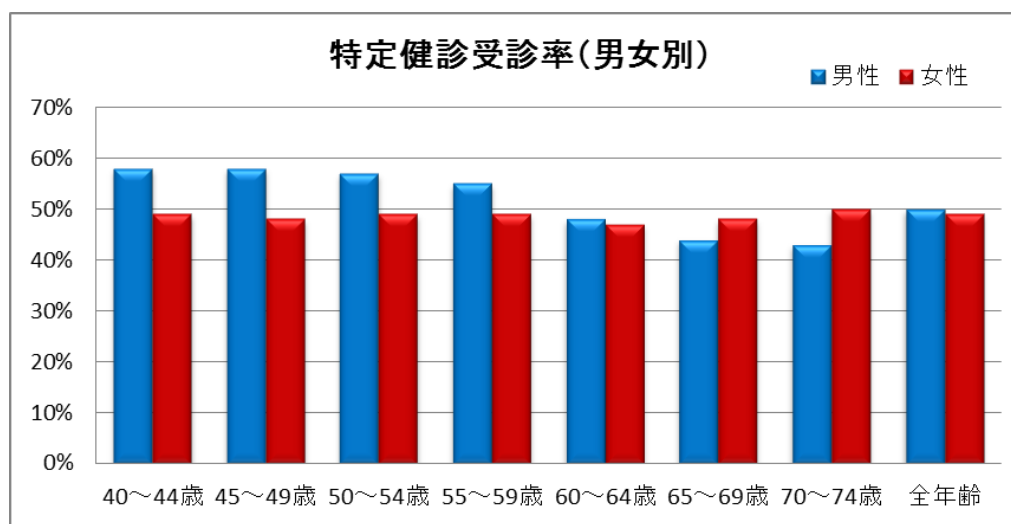
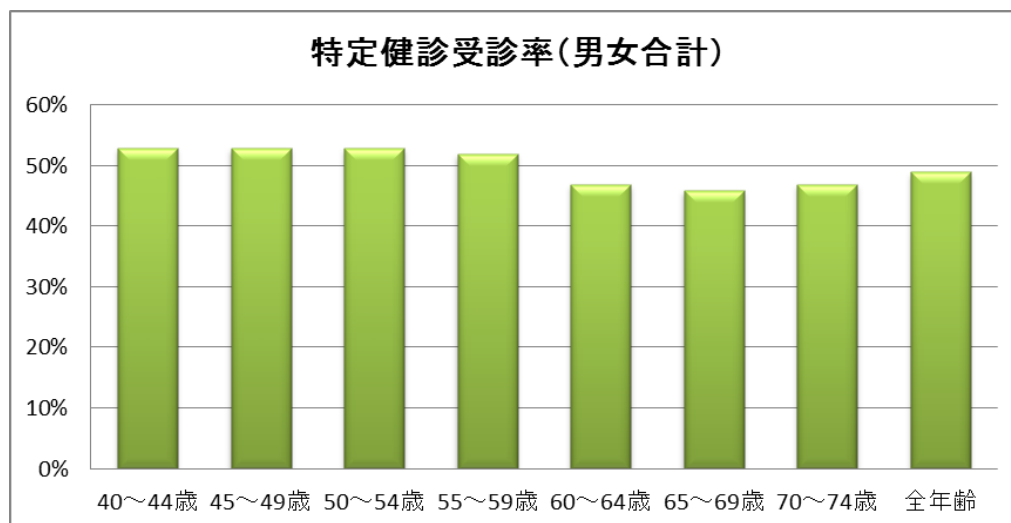
特定健診受診者数を年齢階層別にみると、65～69歳が最も多い。また、男女別にみると、59歳以下は男性が多く、60歳以上は女性が多い。

	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
男 性(人)	8,635	7,861	6,568	7,371	8,473	11,148	8,894	58,950
女 性(人)	6,898	6,517	6,097	7,328	8,714	12,569	11,370	59,493
男女合計(人)	15,533	14,378	12,665	14,699	17,187	23,717	20,264	118,443
割合(%)	13	12	11	12	15	20	17	100



③ 特定健診受診率

受診率（受診者数/対象者数）は49.5%。年齢階層別にみると40～59歳が高く、60歳以上で減少している。男女別では、64歳以下は男性が高く、65歳以上は女性が高い。



(2) 特定保健指導該当者割合

特定保健指導該当の基準は、次のとおりとした。

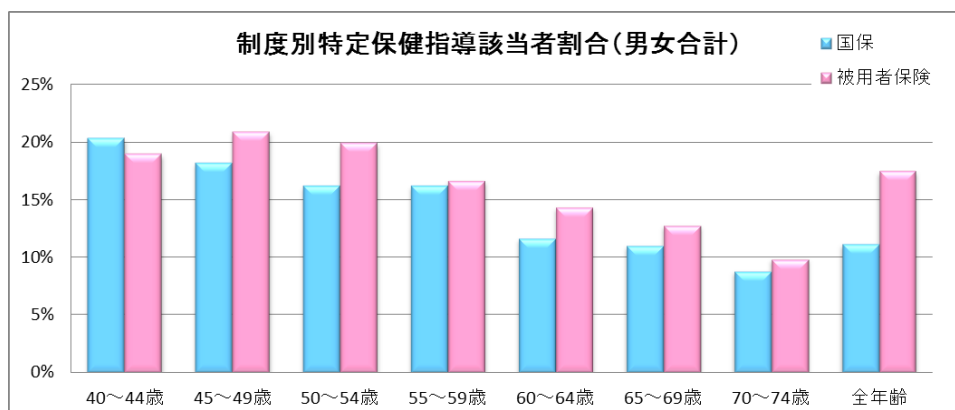
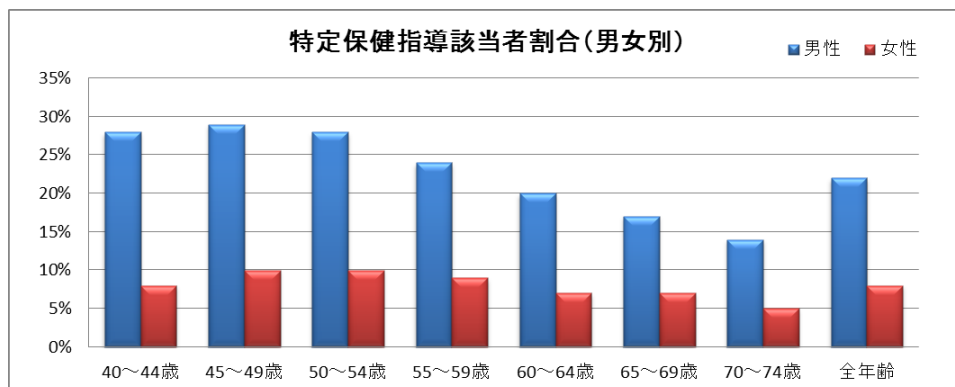
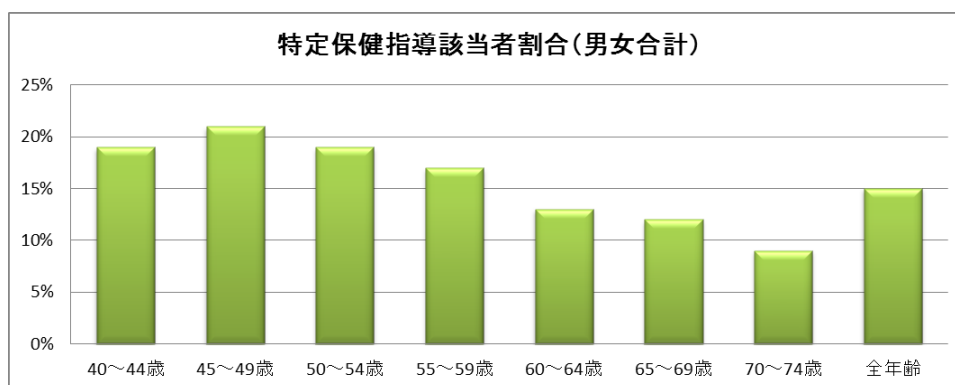
腹囲	追加リスク	④喫煙歴	対象 ^{※1}	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40~64 歳	65~74 歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当			
上 記 以 外 で BMI ≥ 25 kg/m ²	3つ該当	あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当			
	1つ該当			

※1 対象の年齢は、
実施年度中に達す
る年齢

※2 血圧降下剤等を
服薬中の者は保健
指導の対象外

リスク①血糖 空腹時血糖 100mg/dl 以上 又は HbA1c5.6%以上
 ②脂質 中性脂肪 150 mg/dl 以上 又は HDL コレステロール 40 mg/dl 未満
 ③血圧 収縮期 130mmHg 以上 又は 拡張期 85mmHg 以上

特定保健指導該当者割合は、45～49 歳で最も高く、50 歳以上は加齢とともに減少している。男女別にみると、全ての年齢階層において男性が高い。

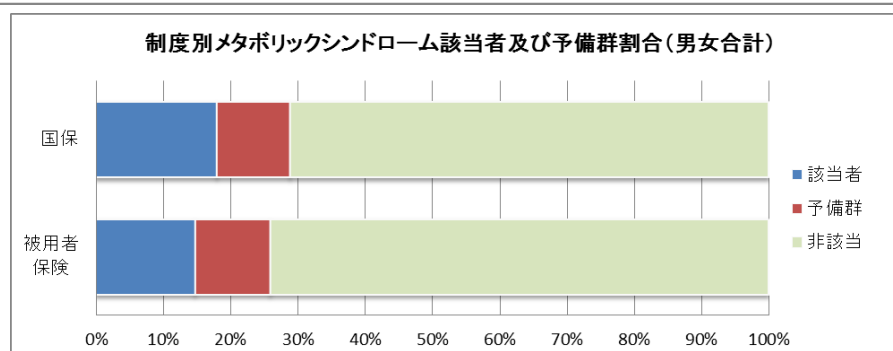
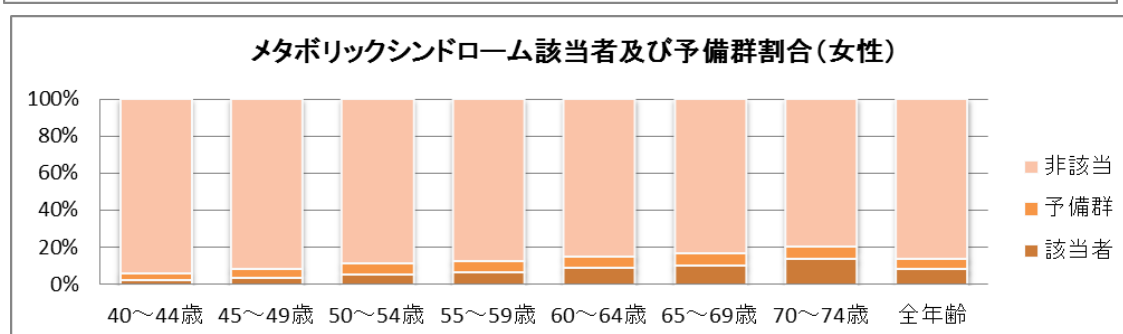
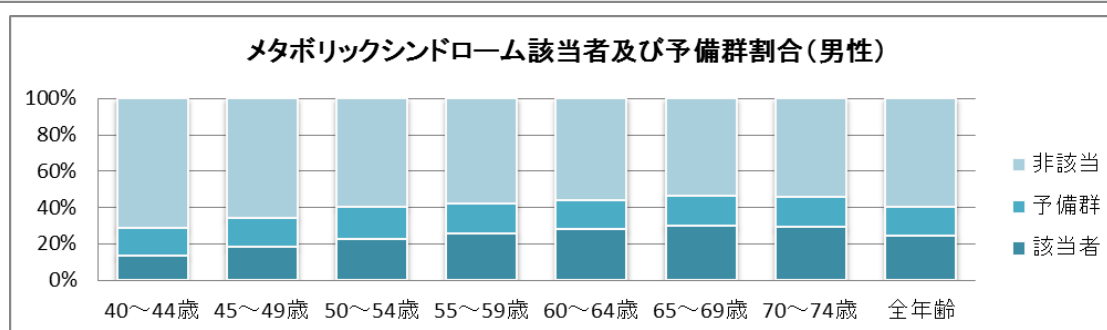
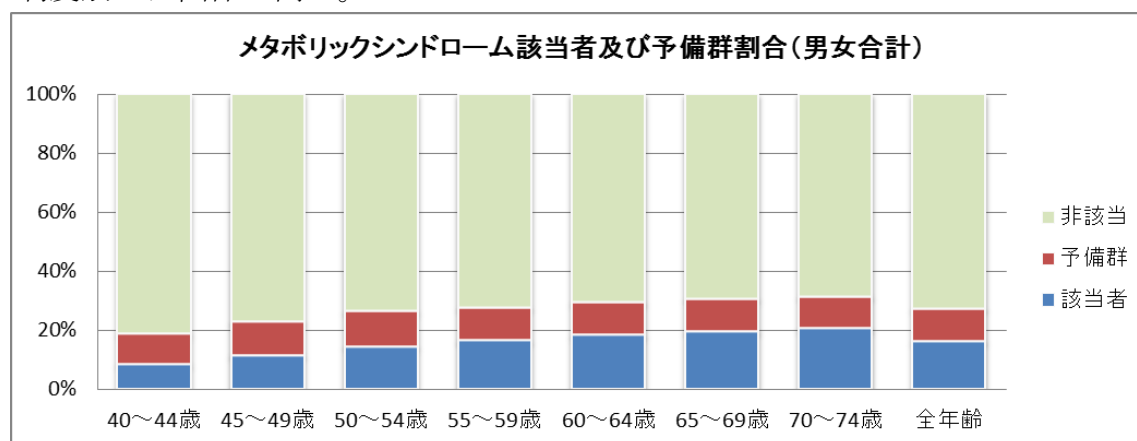


(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群割合

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の診断基準は、次のとおりとした。

腹囲	男性 ≥ 85 cm、女性 ≥ 90 cm（内臓脂肪面積男女とも ≥ 100 cm^2 ）
※腹囲に以下基準を2項目以上該当：該当者、1項目該当：予備群該当	
脂質	中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dl}$ かつ/又は HDL コレステロール < 40 mg/dl
血圧	収縮期 $\geq 130\text{mmHg}$ かつ/又は 拡張期 $\geq 85\text{mmHg}$
血糖	空腹時血糖 $\geq 110\text{mg/dl}$ かつ/又は $\text{HbA1c} \geq 6.0\%$

該当者の割合は加齢とともに増加している。男女別にみると男性が高い。制度別では国保が高い。



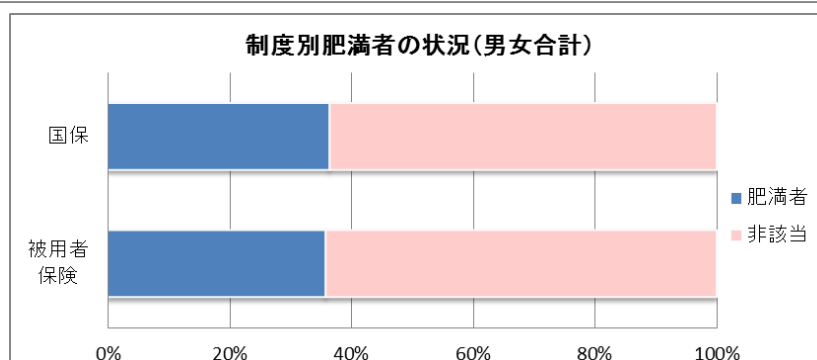
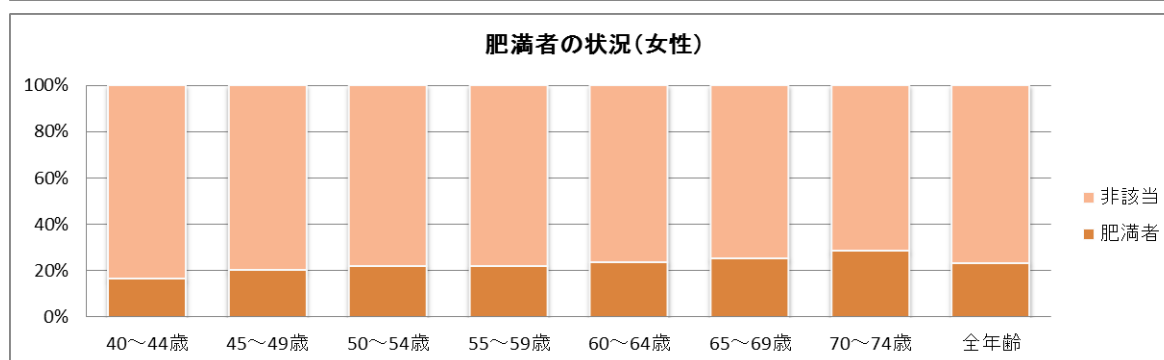
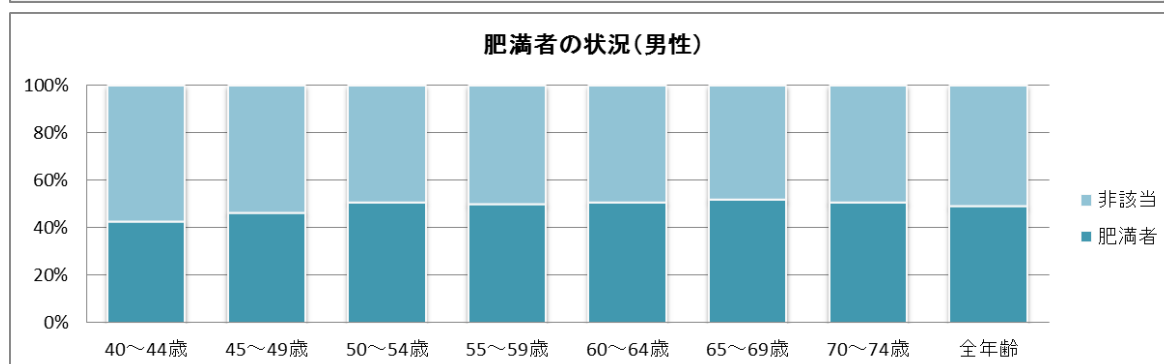
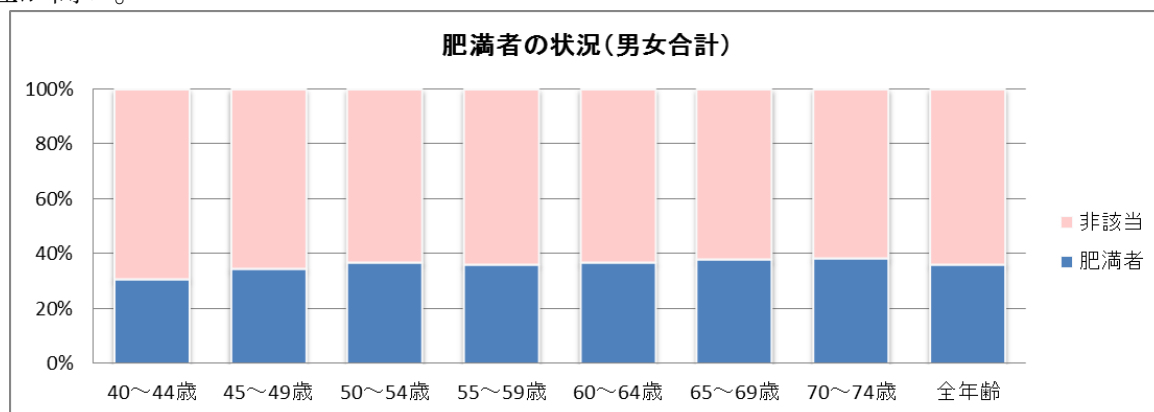
(4) 検査等結果

① 肥満者の割合

肥満者及び非肥満者の定義は、次のとおりとした。

肥満者	腹囲 男性 85cm 以上、女性 90cm 以上 又は $25 \leq \text{BMI}$ 又は 内臓脂肪面積 $\geq 100 \text{ cm}^2$
非肥満者	上記以外

肥満者の割合は、年齢階層及び制度別では大きな差はみられないが、男女別では男性が高い。



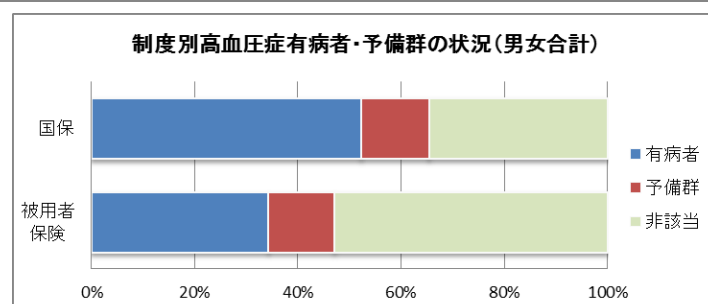
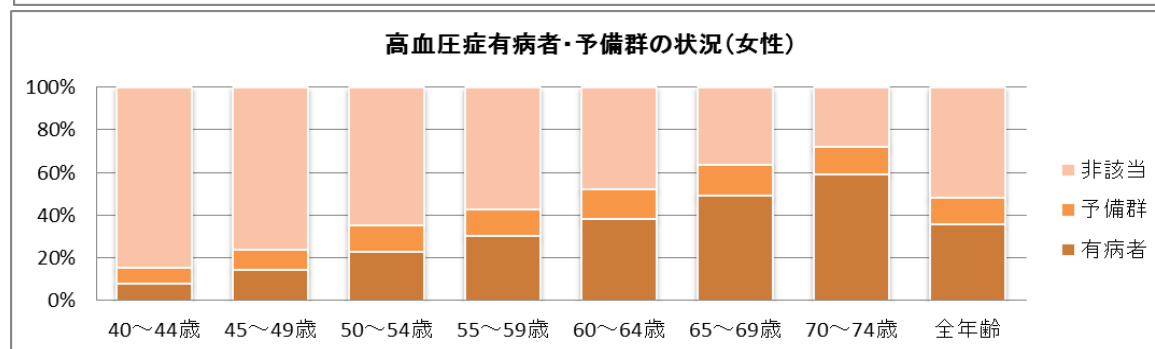
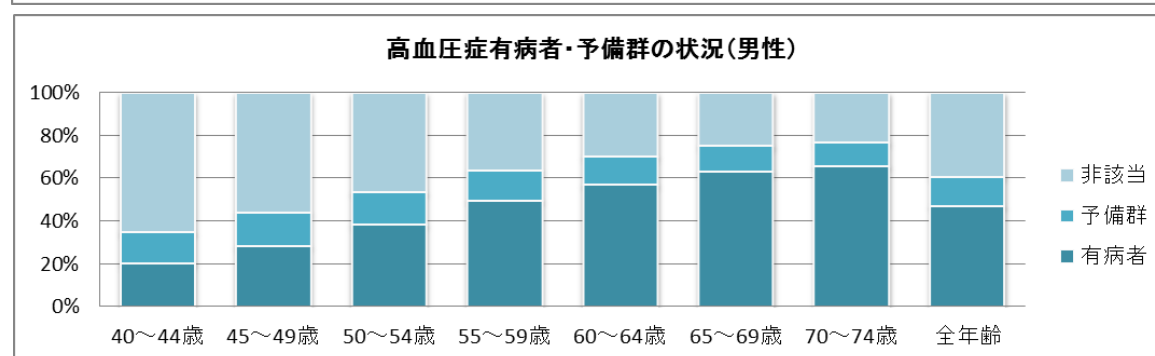
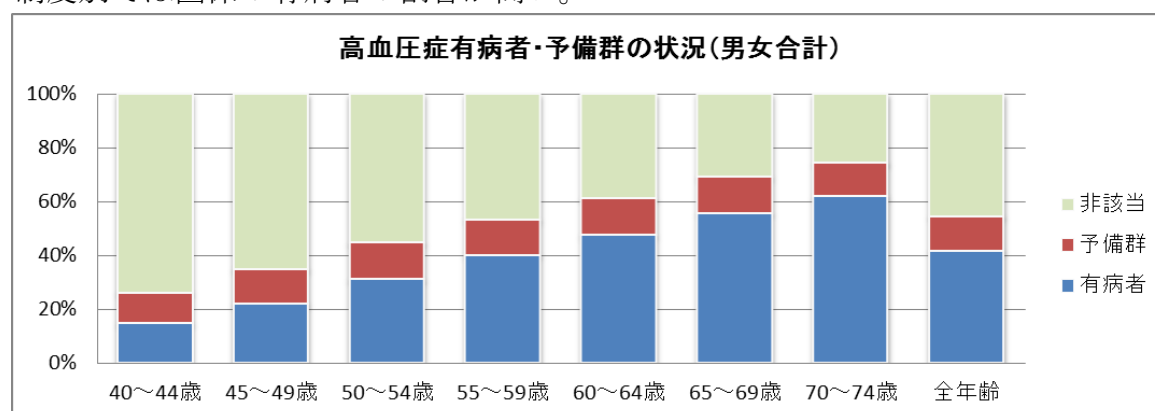
② 高血圧症有病者・予備群の割合

高血圧症有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有病者	服薬者
	服薬なし→140mmHg≦収縮期血圧、又は 90≦拡張期血圧（受診勧奨値）
予備群	130mmHg≦収縮期血圧<140mmHg、又は 85≦拡張期血圧<90mmHg （メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非該当	上記以外

加齢とともに有病者の割合は増加している。年齢階層別に男女を比較すると、若年層ほど男性の割合が女性に比べて高い傾向がみられる。

制度別では国保の有病者の割合が高い。



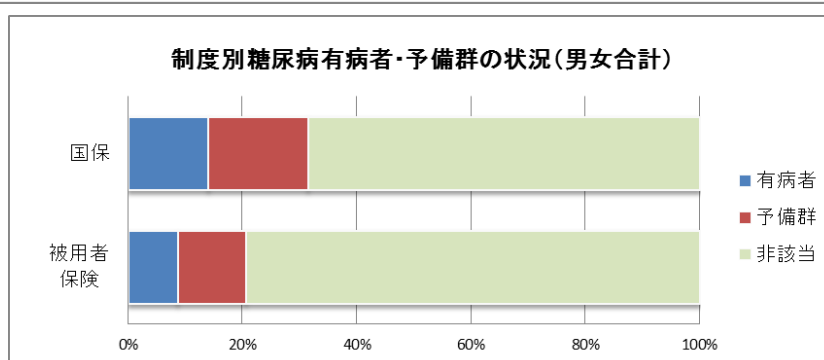
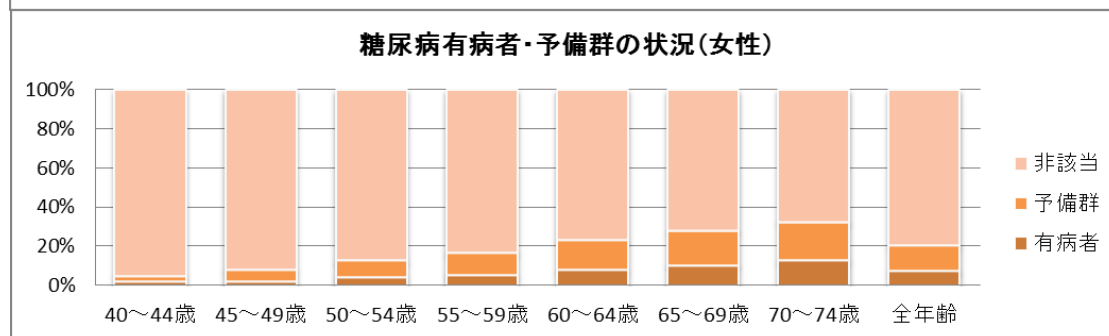
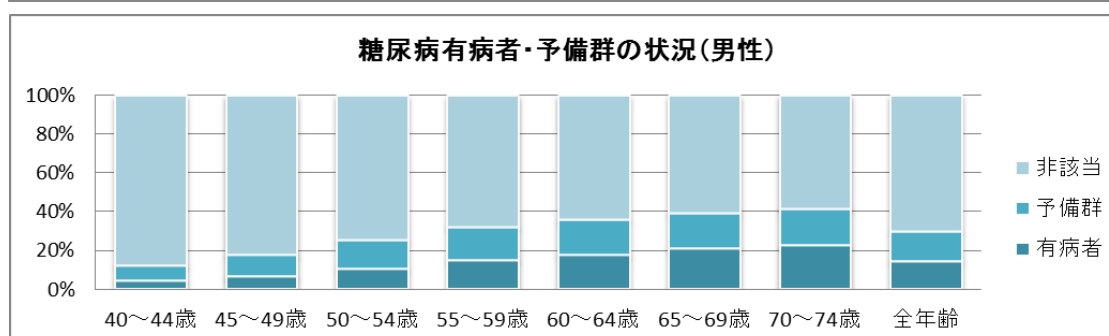
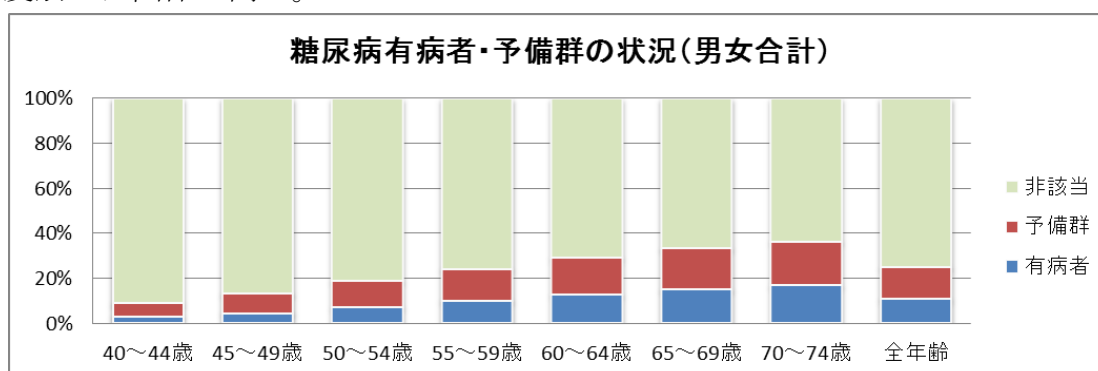
③ 糖尿病有病者・予備群の割合

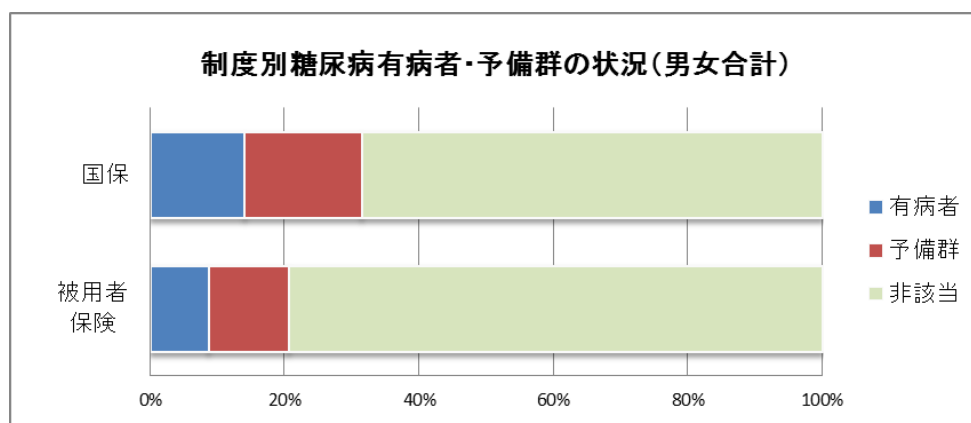
糖尿病有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有病者	服薬者
	服薬なし→126mg/dl≦空腹時血糖、又は 6.5%≦HbA1c（受診勧奨値）
予備群	110mg/dl≦空腹時血糖<126 mg/dl、又は 6.0%≦HbA1c<6.5% （メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非該当	上記以外

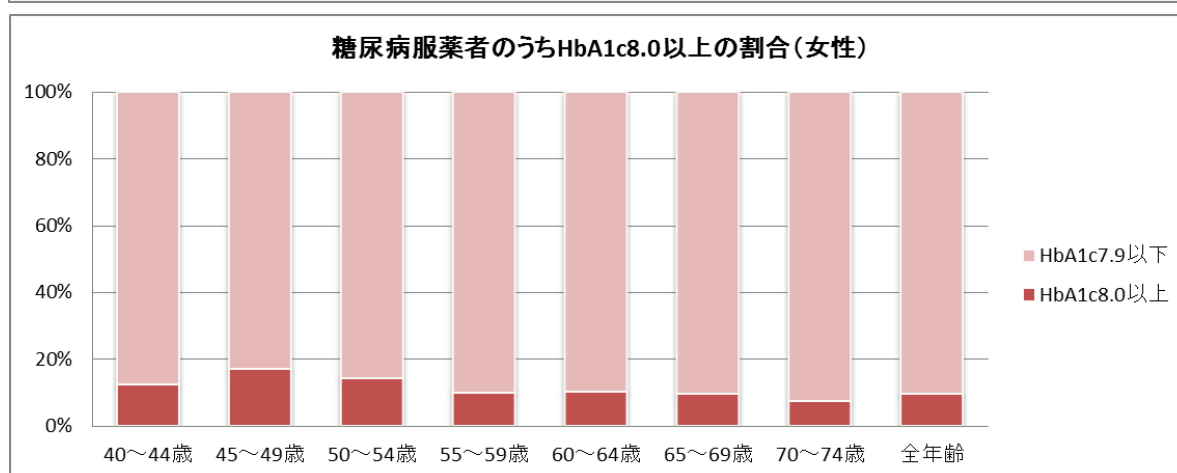
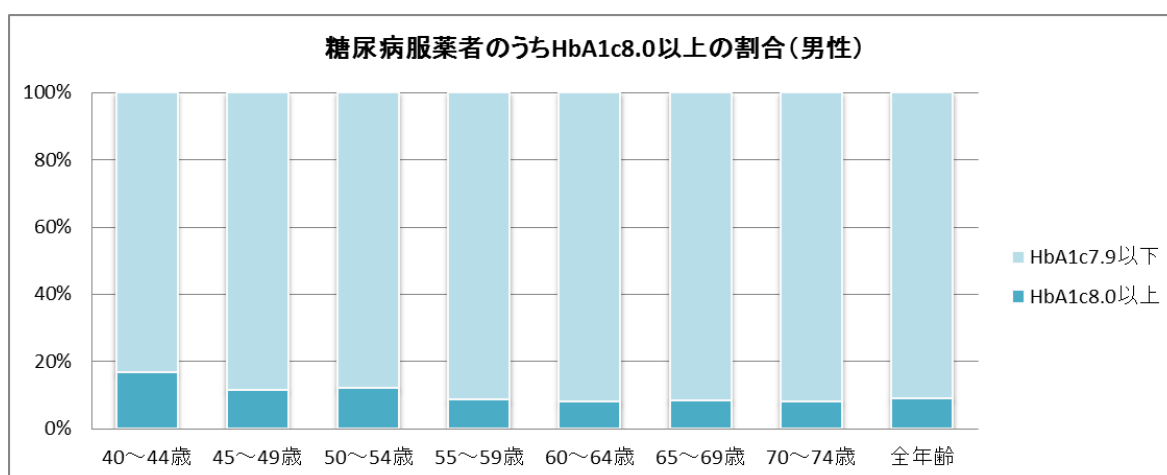
加齢とともに有病者及び予備群の割合が増加している。男女別にみると、男性が高い。

制度別では国保が高い。





糖尿病服薬者のHbA1c8.0以上の割合をみると、男性は40～44歳で16.8%、女性は45～49歳で16.9%と最も高くなっている。



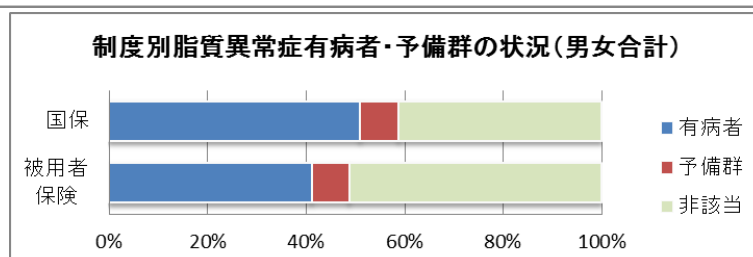
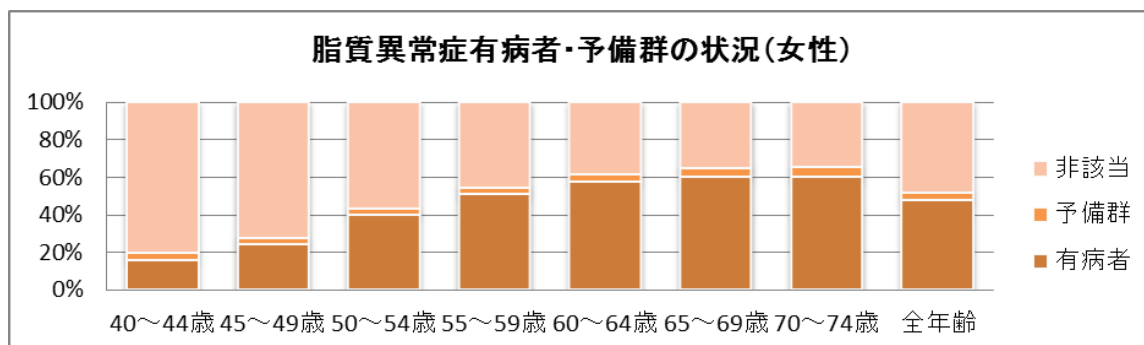
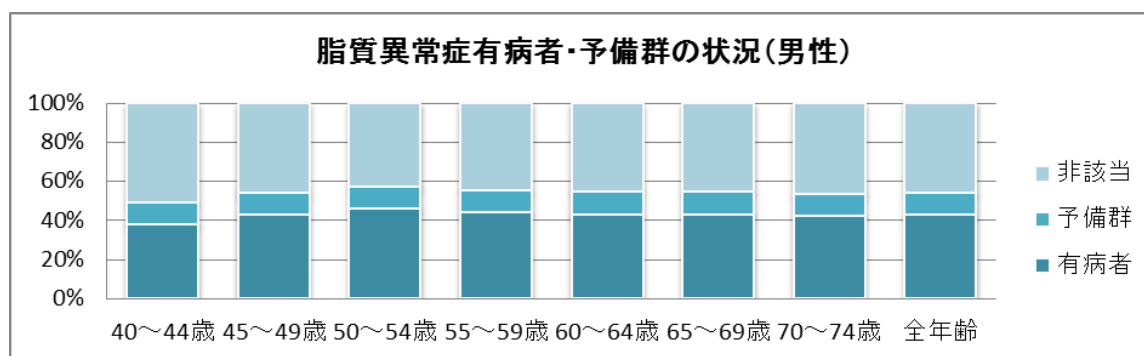
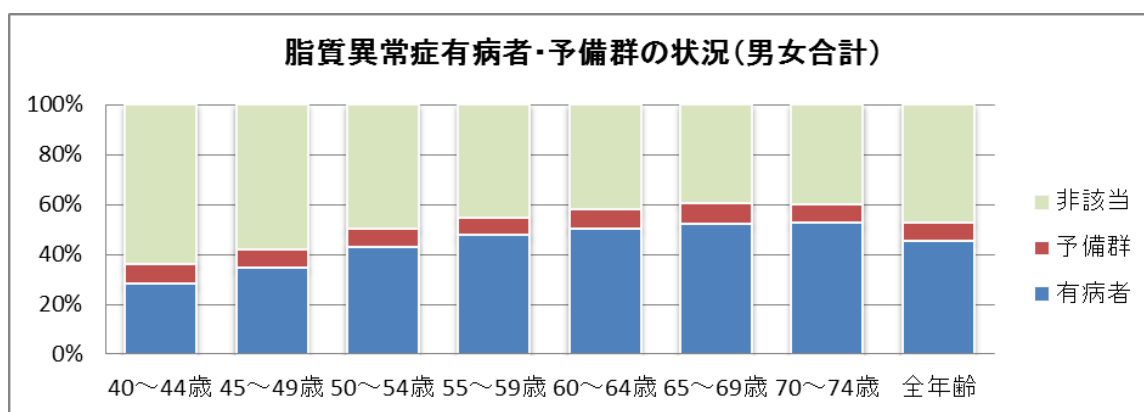
④ 脂質異常症有病者・予備群の割合

脂質異常症有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有病者	服薬者
	服薬なし→ $300\text{mg/dl} \leq \text{中性脂肪}$ 、又は $\text{HDL} < 34 \text{ mg/dl}$ 、又は $140 \leq \text{LDL mg/dl}$ (受診勧奨値)
予備群	$150\text{mg/dl} \leq \text{中性脂肪} < 300\text{mg/dl}$ 、又は $\text{HDL} < 40 \text{ mg/dl}$ (メタボリックシンドローム診断基準値) ※有病者を除く
非該当	上記以外

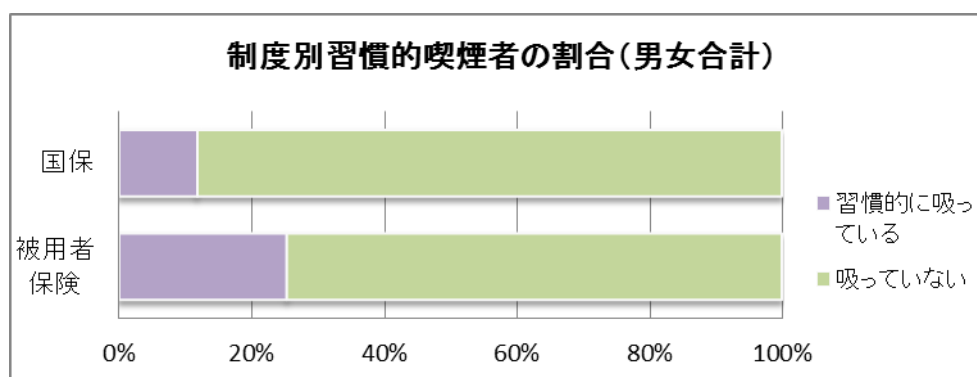
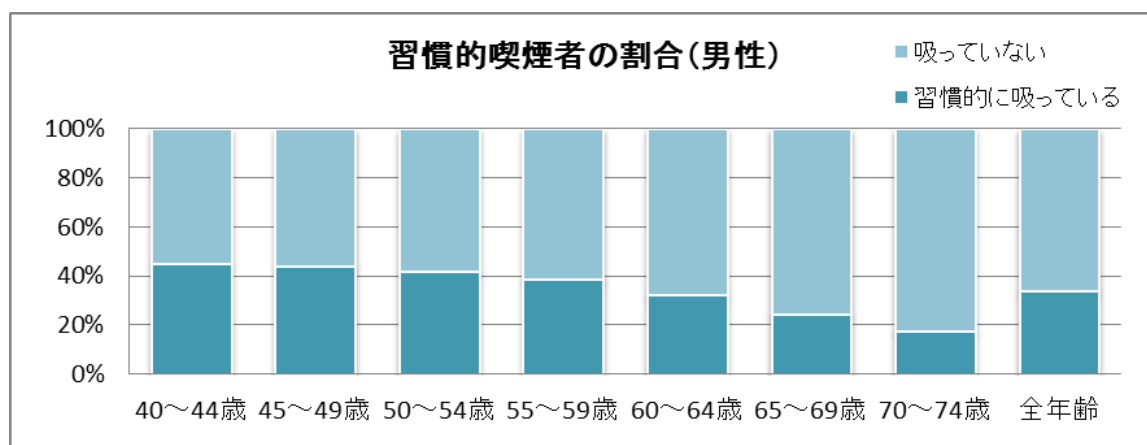
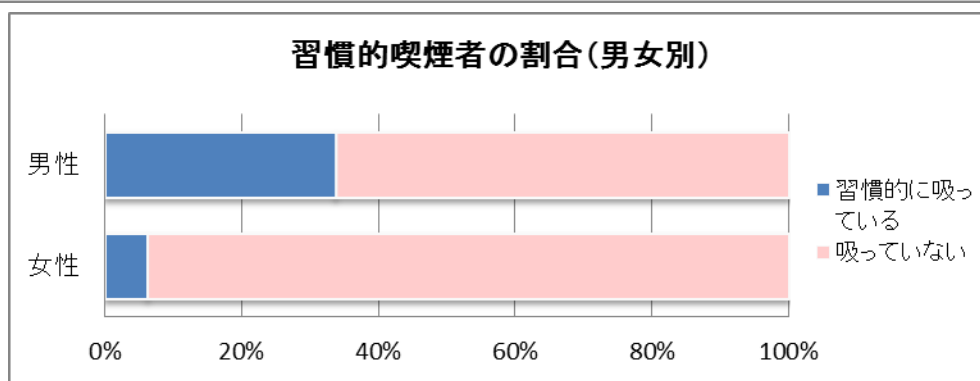
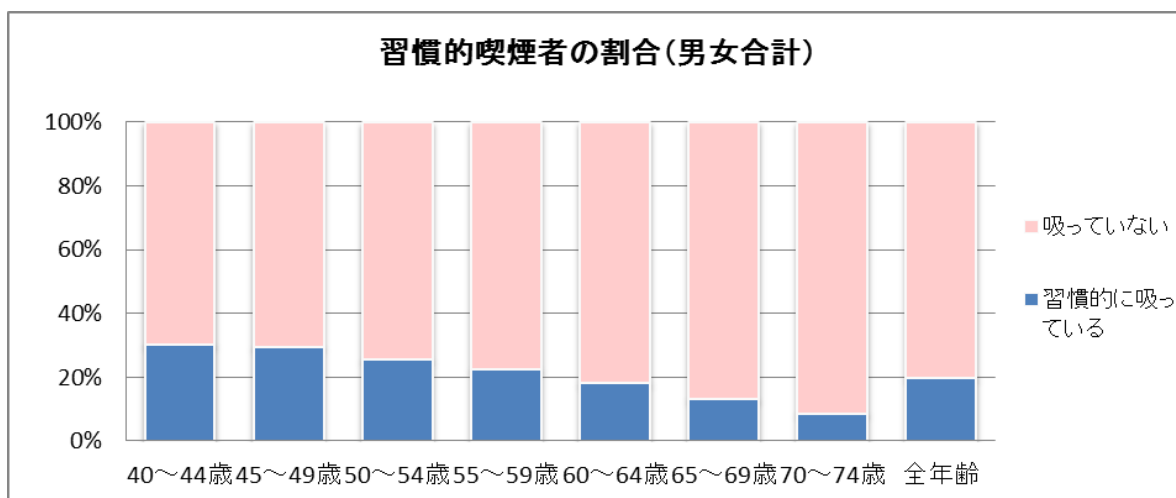
加齢とともに有病者の割合は増加している。男女別にみると、男性は年齢階層で大きな差はみられないが、女性は加齢とともに増加している。

制度別では、国保の有病者の割合が高い。



⑤ 習慣的喫煙者の割合

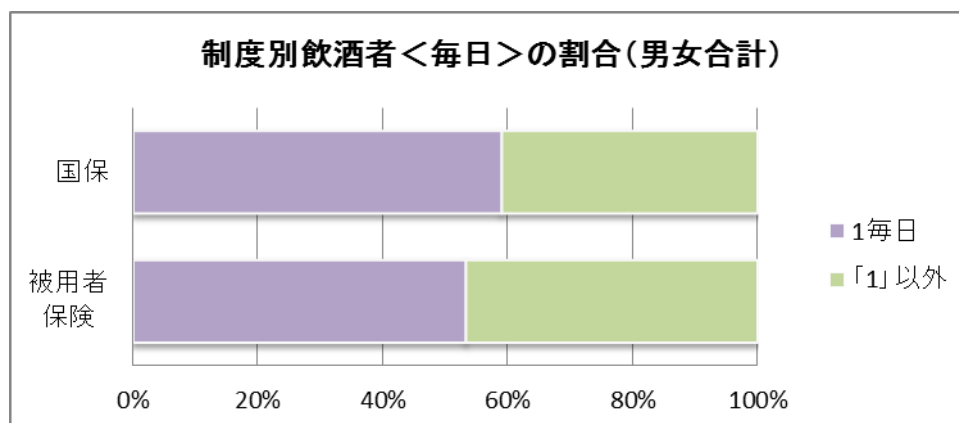
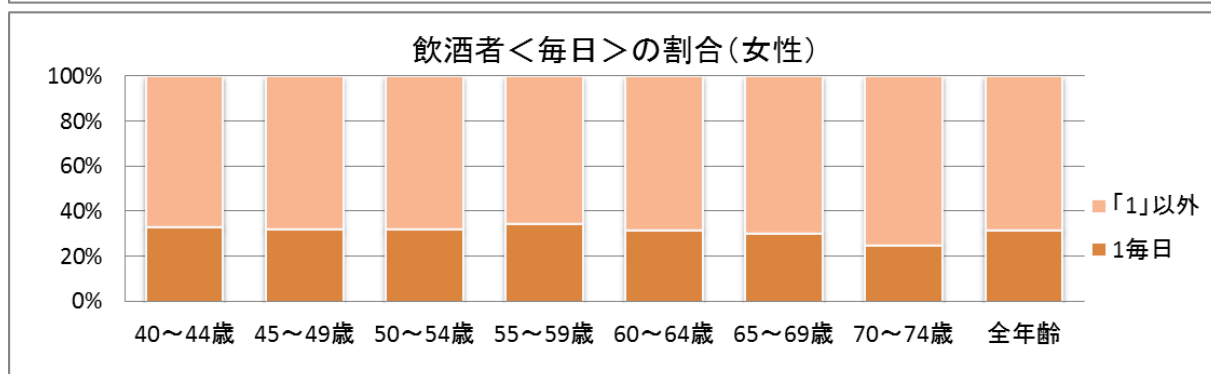
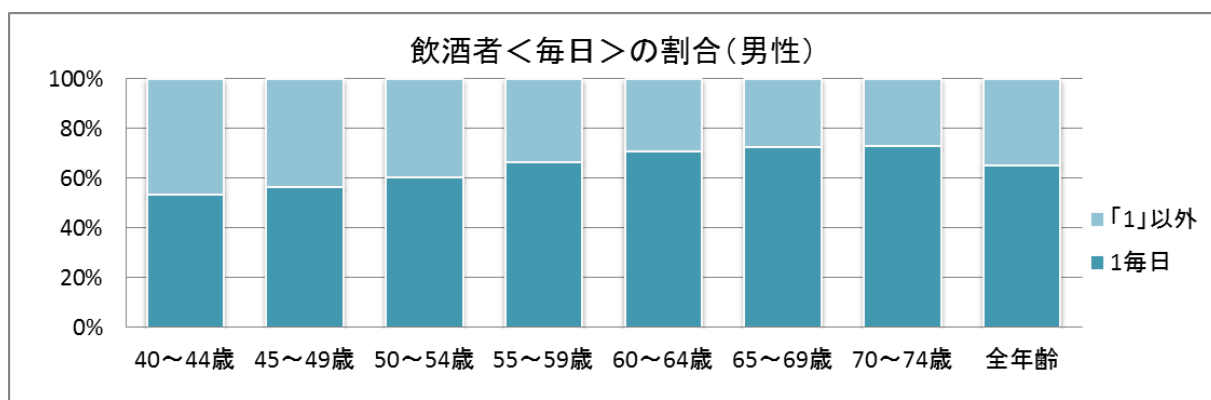
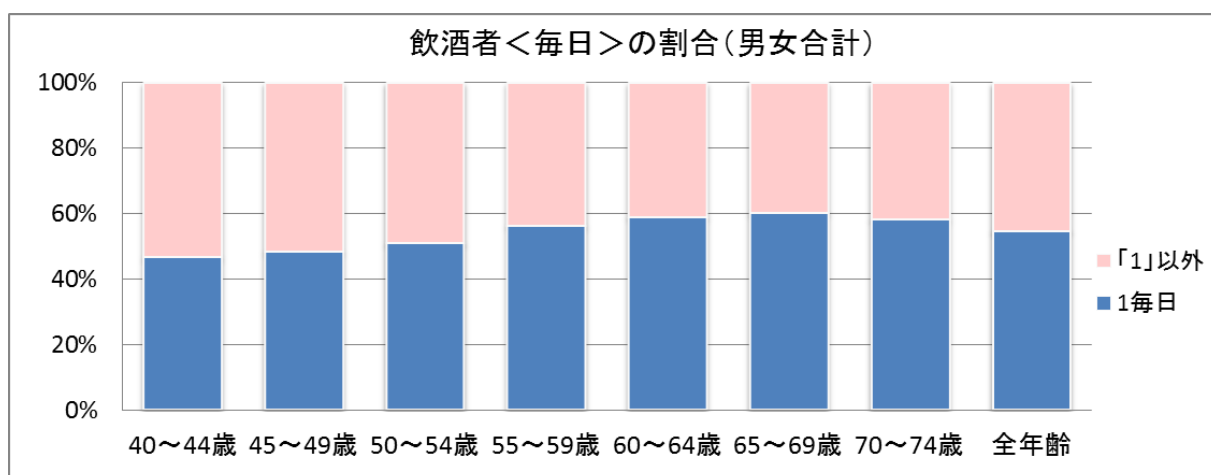
習慣的喫煙者の割合は、加齢とともに減少している。男女別では男性が高い。制度別にみると被用者保険が高い。



⑥ 飲酒者＜毎日＞の割合

毎日飲酒している者の割合は、45歳以上で50%を超えている。男女別にみると男性が高い。

制度別では国保が高い。



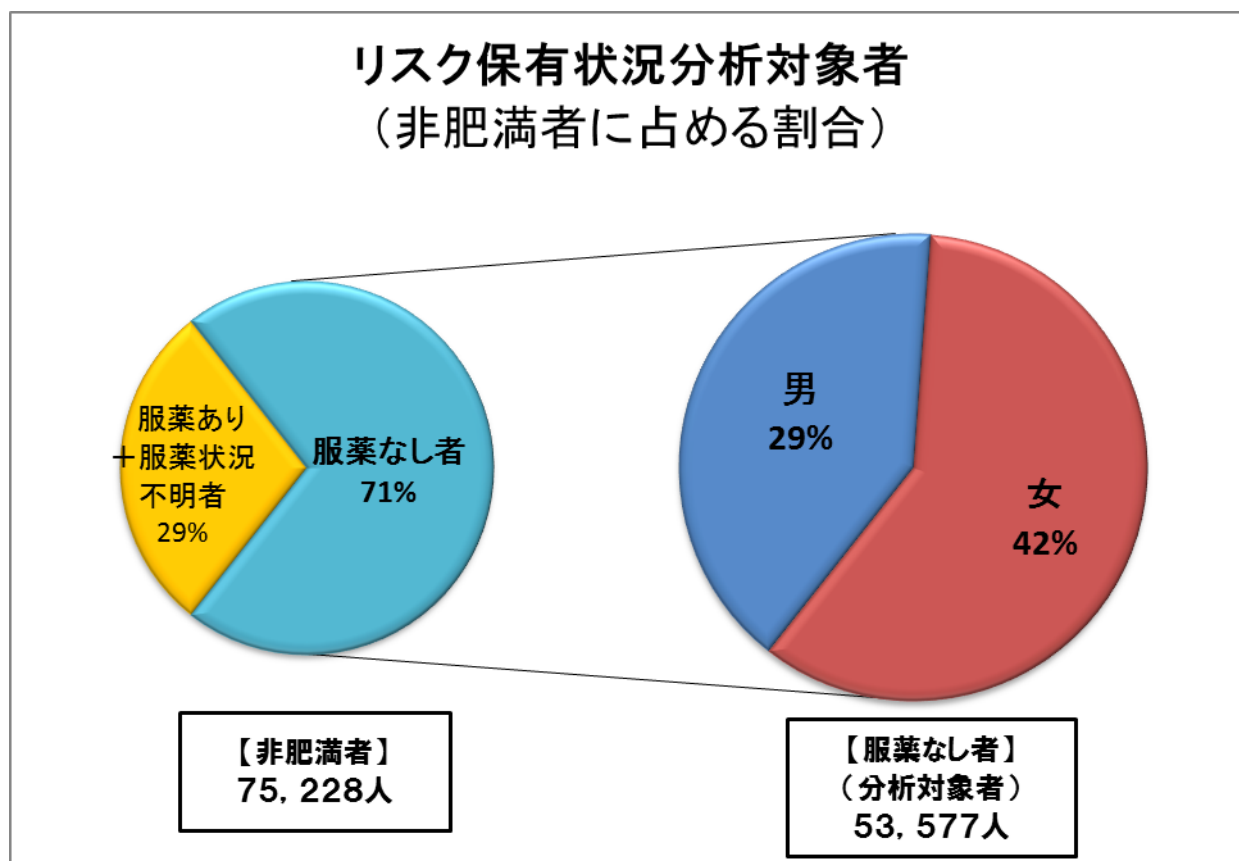
（５）非肥満者におけるリスク保有者の割合

非肥満者のうち、高血圧、高血糖及び脂質異常のリスクを保有している者を統計した。

① 対象者

非肥満者（75,228人）のうち、服薬のない者（53,577人）を分析の対象とした。対象者は、男性が21,736人、女性が31,841人。

制度別では、国保16,797人、被用者保険36,780人。



	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
男 性(人)	4,727	3,872	2,728	2,717	2,654	2,992	2,046	21,736
女 性(人)	5,536	4,896	4,152	4,341	4,418	5,033	3,465	31,841
男女合計(人)	10,263	8,768	6,880	7,058	7,072	8,025	5,511	53,577
割合(%)	19	16	13	13	13	15	10	100

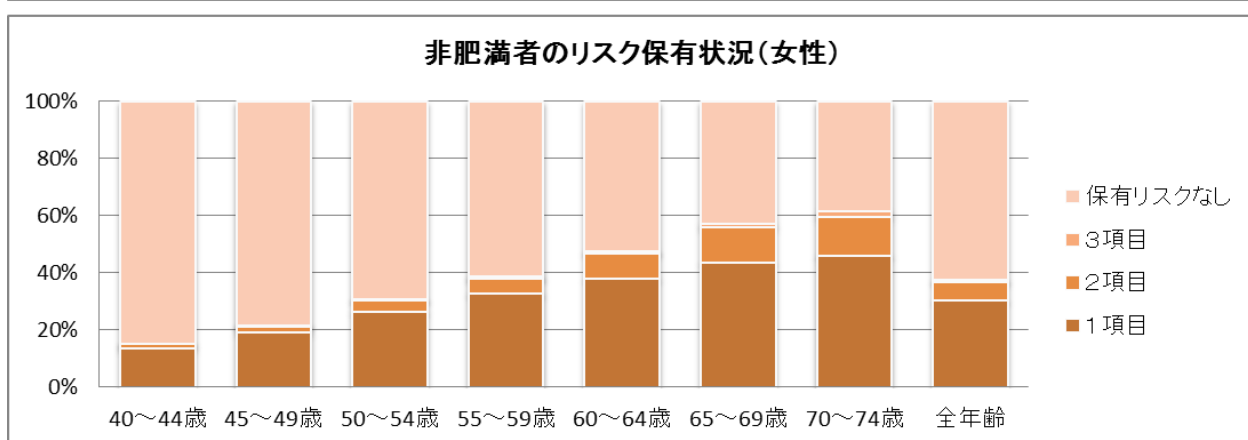
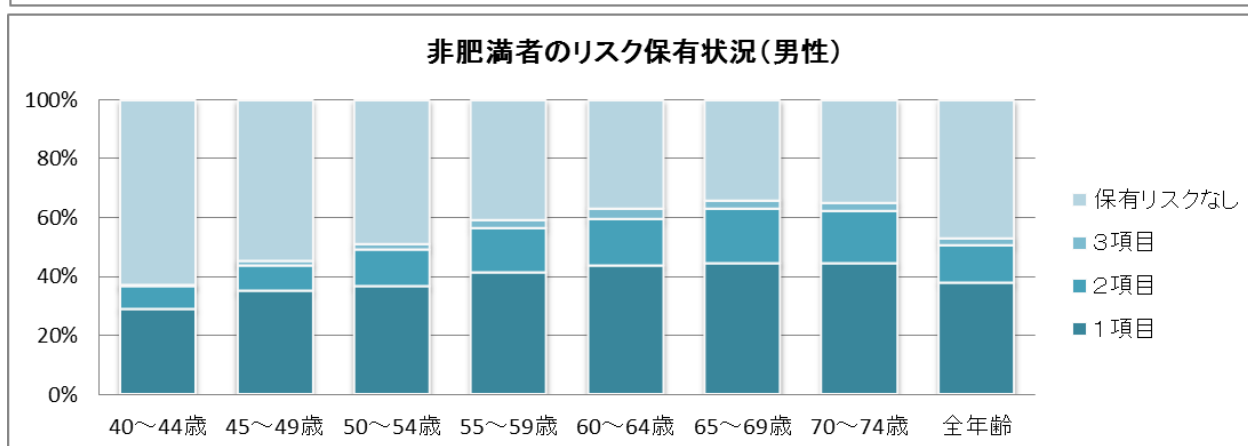
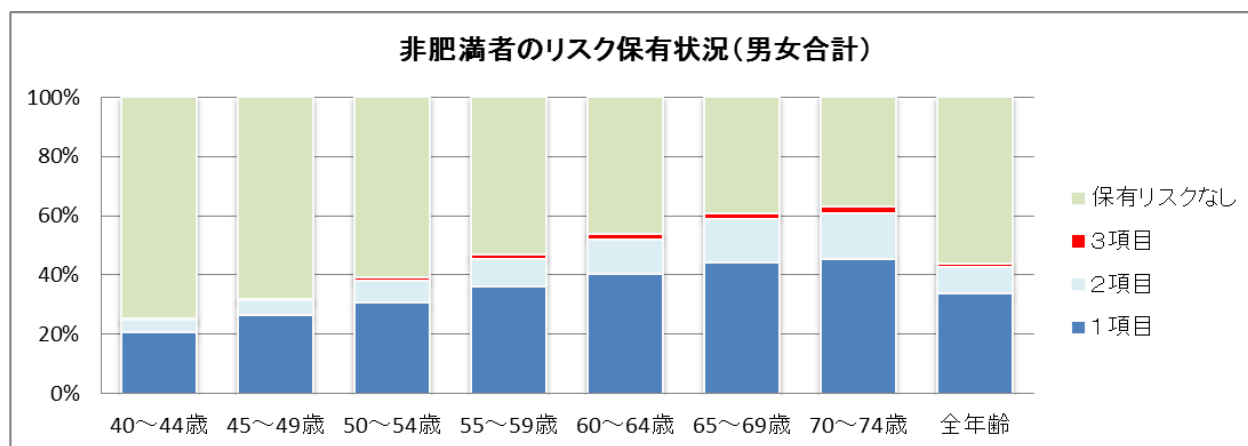
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
国 保(人)	839	850	792	1,037	2,677	5,726	4,876	16,797
被用者(人)	9,424	7,918	6,088	6,021	4,395	2,299	635	36,780

②リスク保有状況

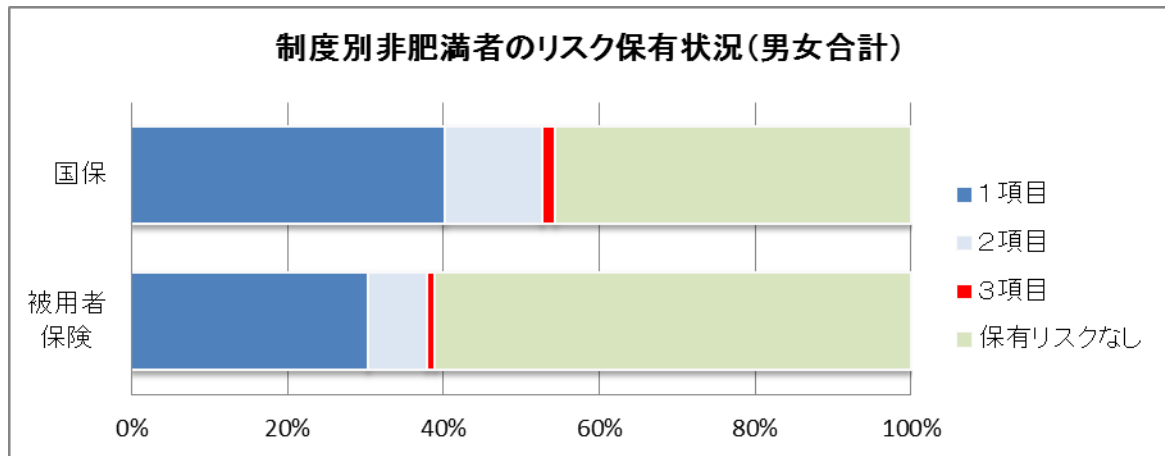
リスクの定義は次のとおり（メタボリックシンドローム診断基準値以上）とした。

高血圧	服薬なし→収縮期 ≥ 130 mmHg 又は 拡張期 ≥ 85 mmHg
高血糖	服薬なし→空腹時血糖 ≥ 110 mg/dl 又は $6.0\% \leq \text{HbA1c}$
脂質異常	服薬なし→中性脂肪 ≥ 150 mg/dl 又は HDL コレステロール < 40 mg/dl

非肥満のうちリスクを保有する者の割合は、加齢とともに増加している。男女を比較すると、若年層ほど男性の割合が女性に比べて高い傾向がみられる。

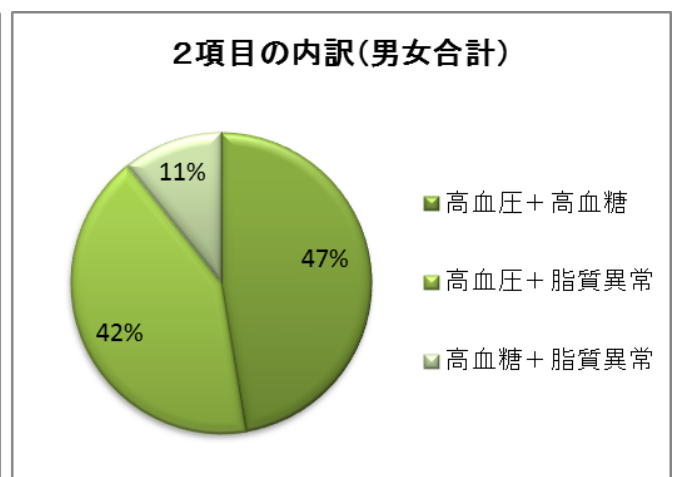
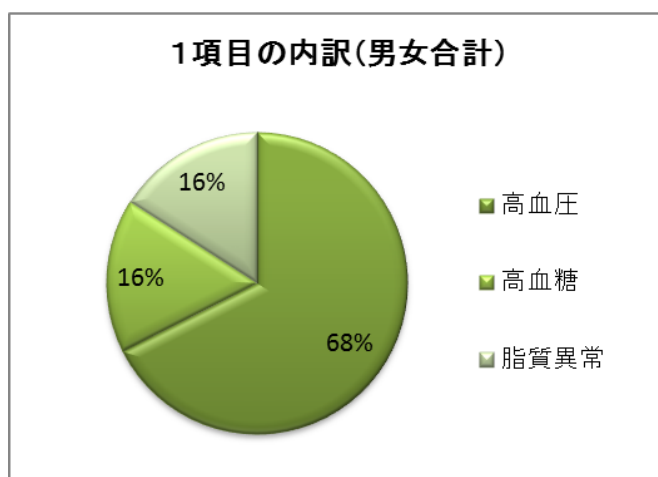
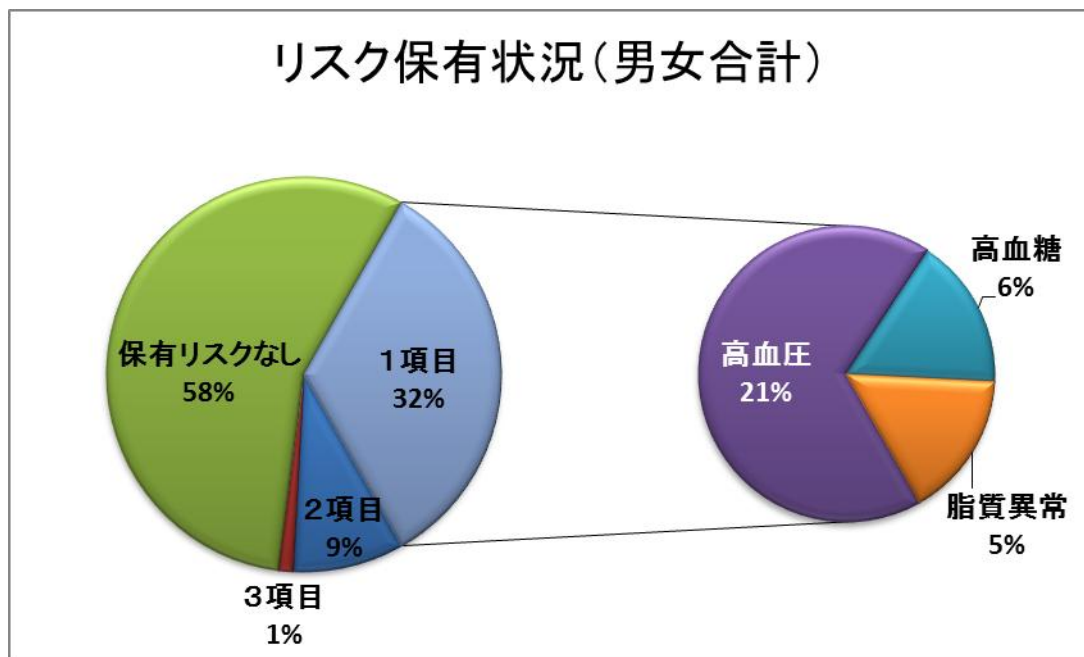


制度別では、被用者保険に比べ国保のほうがリスク保有者の割合が高い。

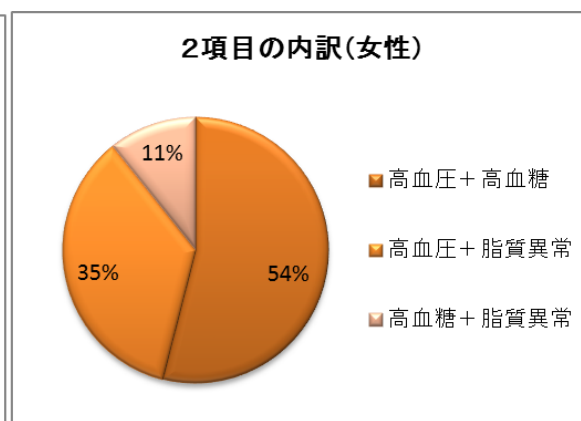
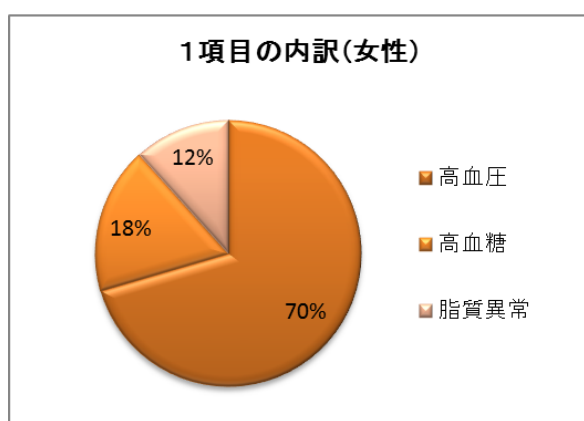
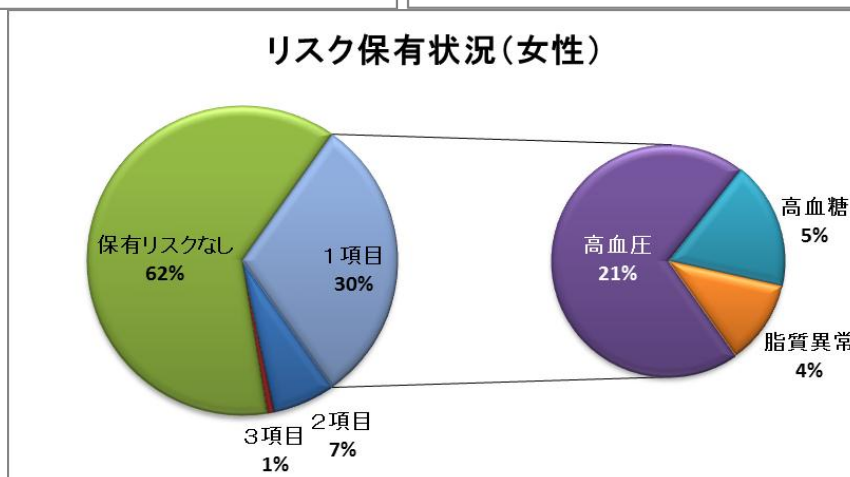
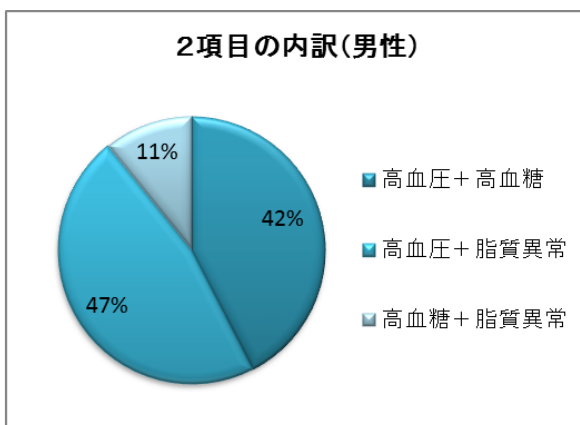
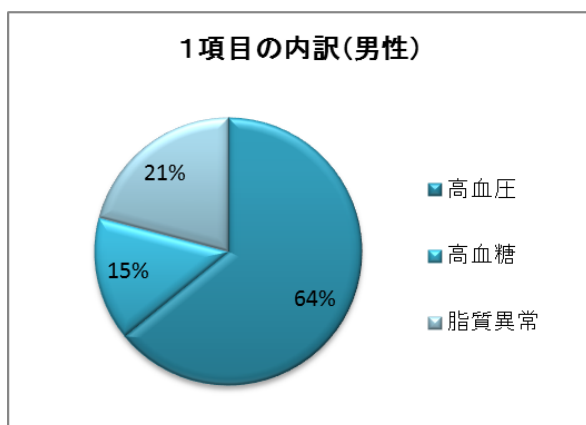
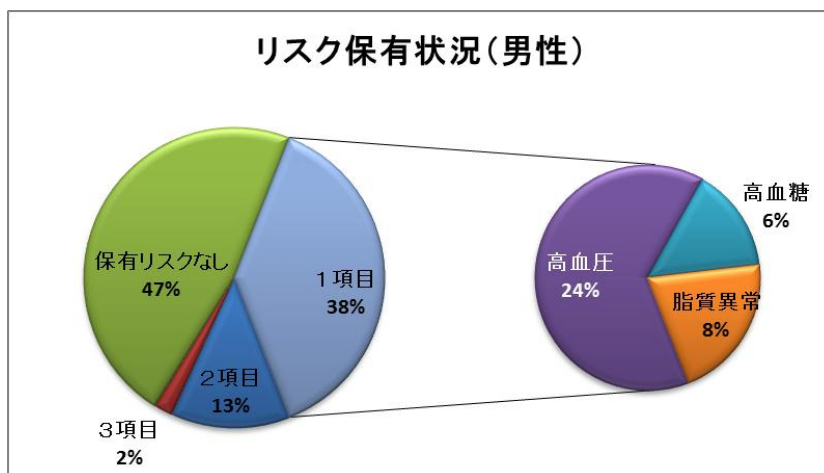


リスクを1項目以上保有する者の割合は42%。

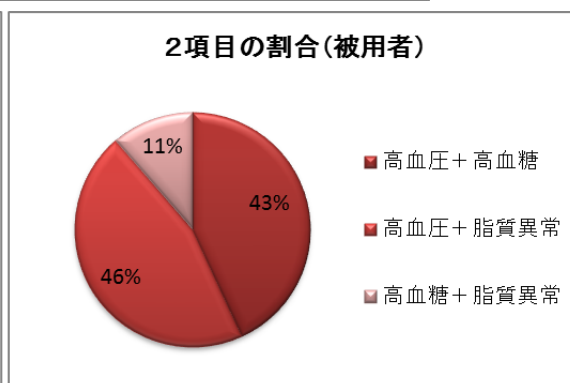
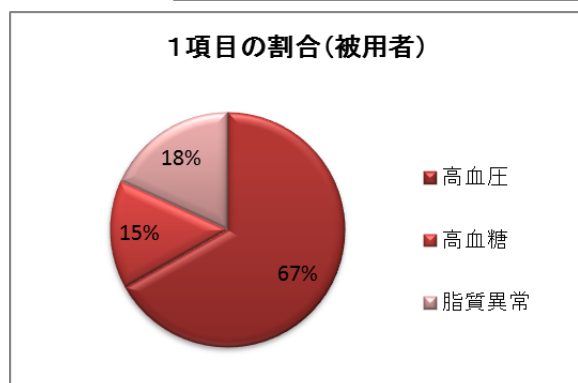
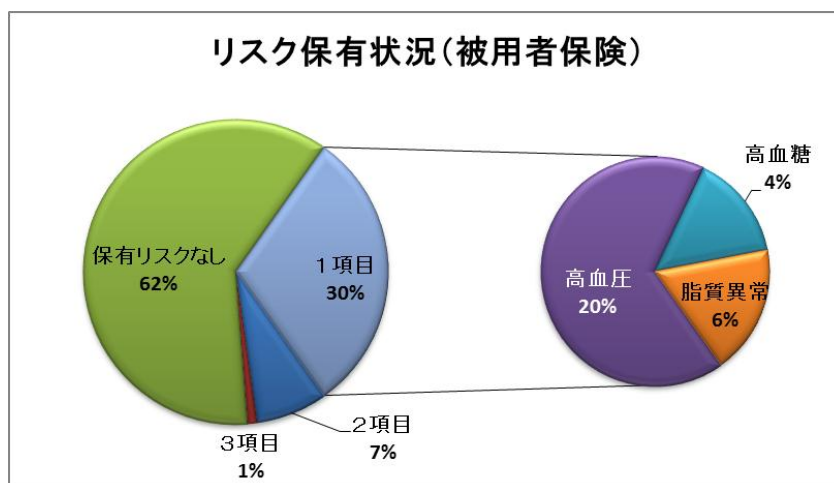
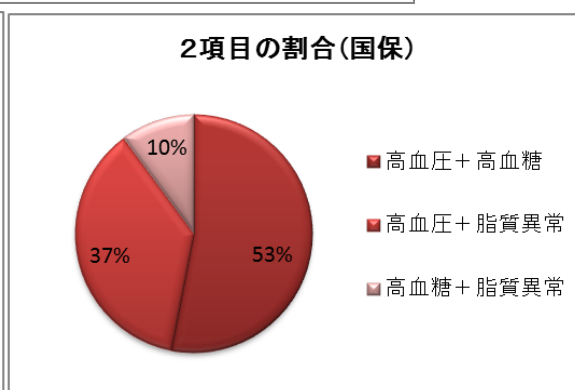
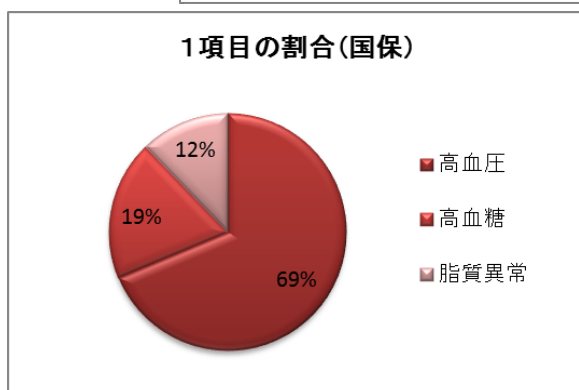
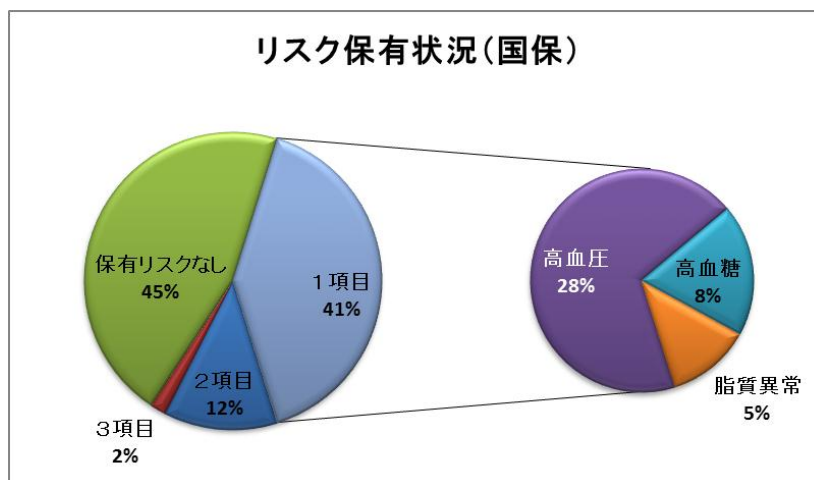
リスクを1項目保有する者の内訳では、高血圧が最も高く68%を占める。2項目保有する者の内訳でも、高血圧+高血糖が47%、次いで高血圧+脂質異常が42%と、高血圧のリスクを保有する者の割合が高い。



男女別にみると、リスクを1項目以上保有する者の割合は男性が53%と、女性（38%）より高い。1項目の内訳では男女とも高血圧の占める割合が高い。2項目の内訳では男性は高血圧＋脂質異常が最も高く、女性は高血圧＋高血糖が高い。



制度別にみると、リスクを1項目以上保有する者の割合は国保が55%と、被用者保険（38%）より高い。1項目の内訳では、国保、被用者保険とも高血圧の占める割合が高い。2項目の内訳では、国保は高血圧＋高血糖が高く、被用者保険では高血圧＋脂質異常が高い。

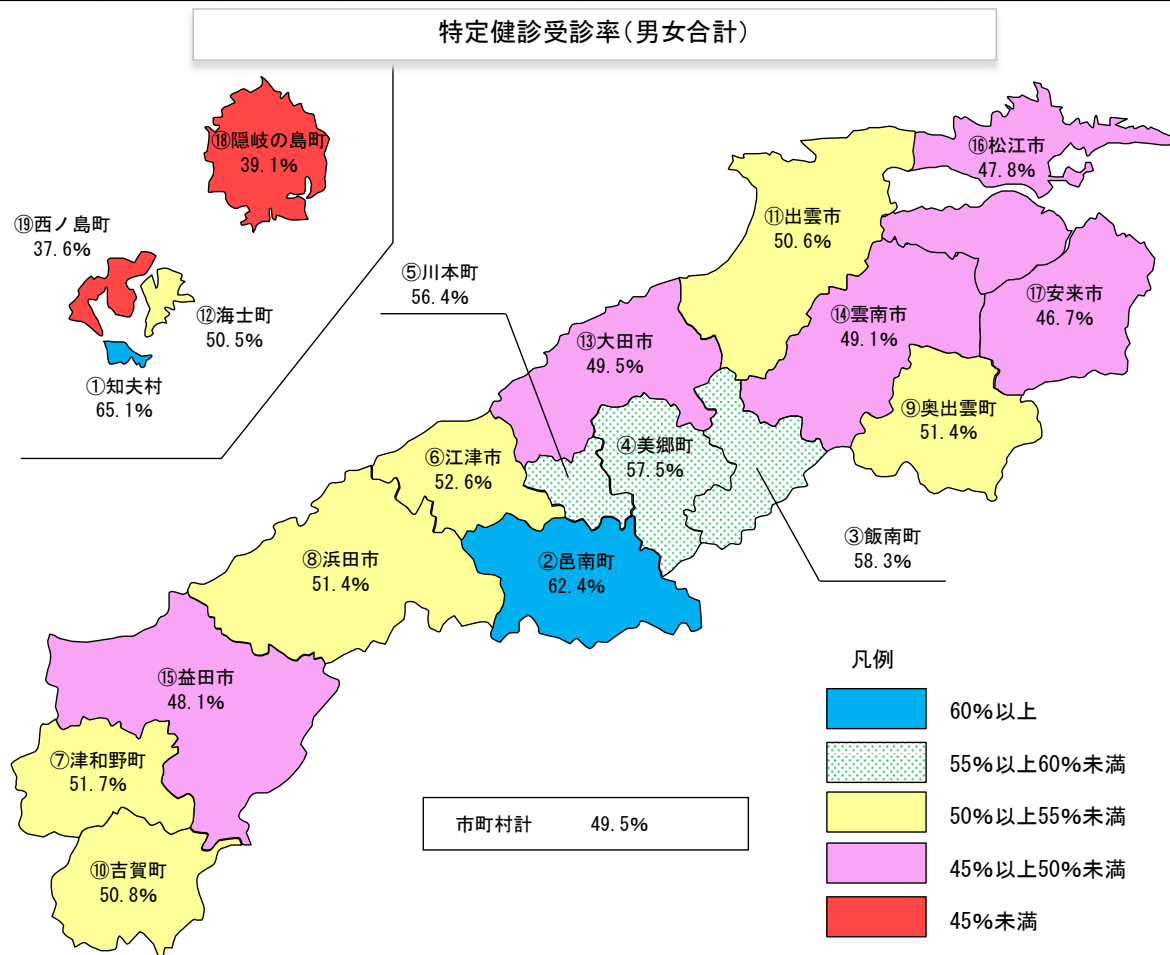


2 市町村別の状況

(1) 特定健診受診者等

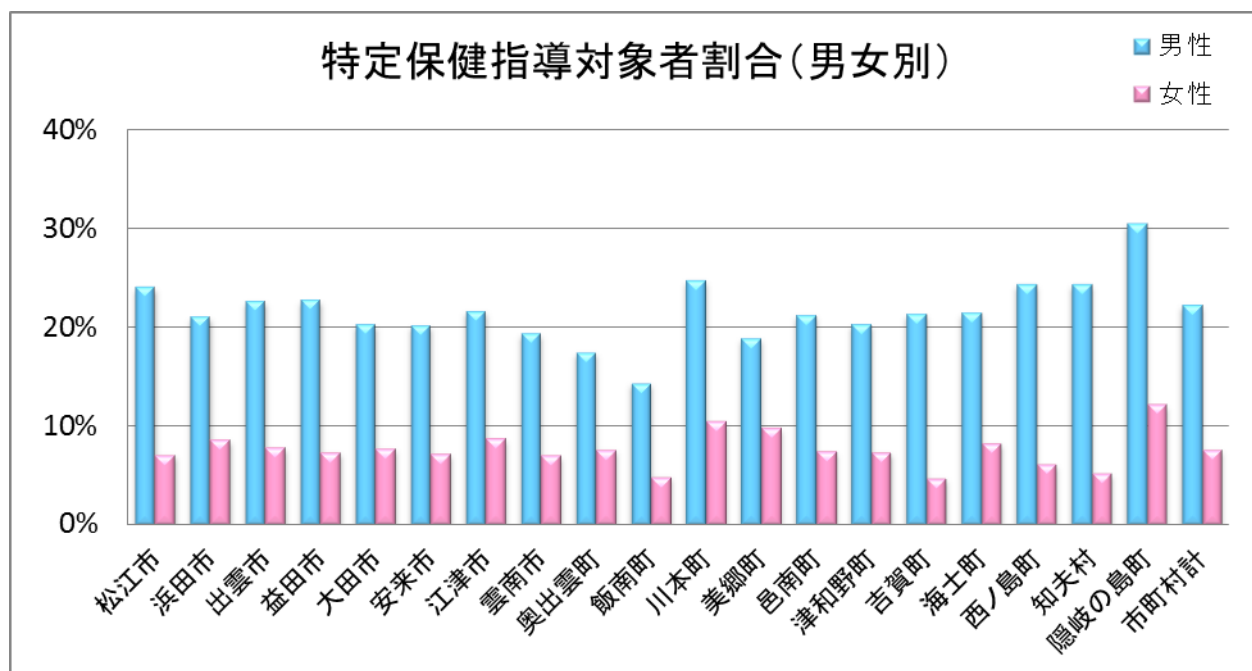
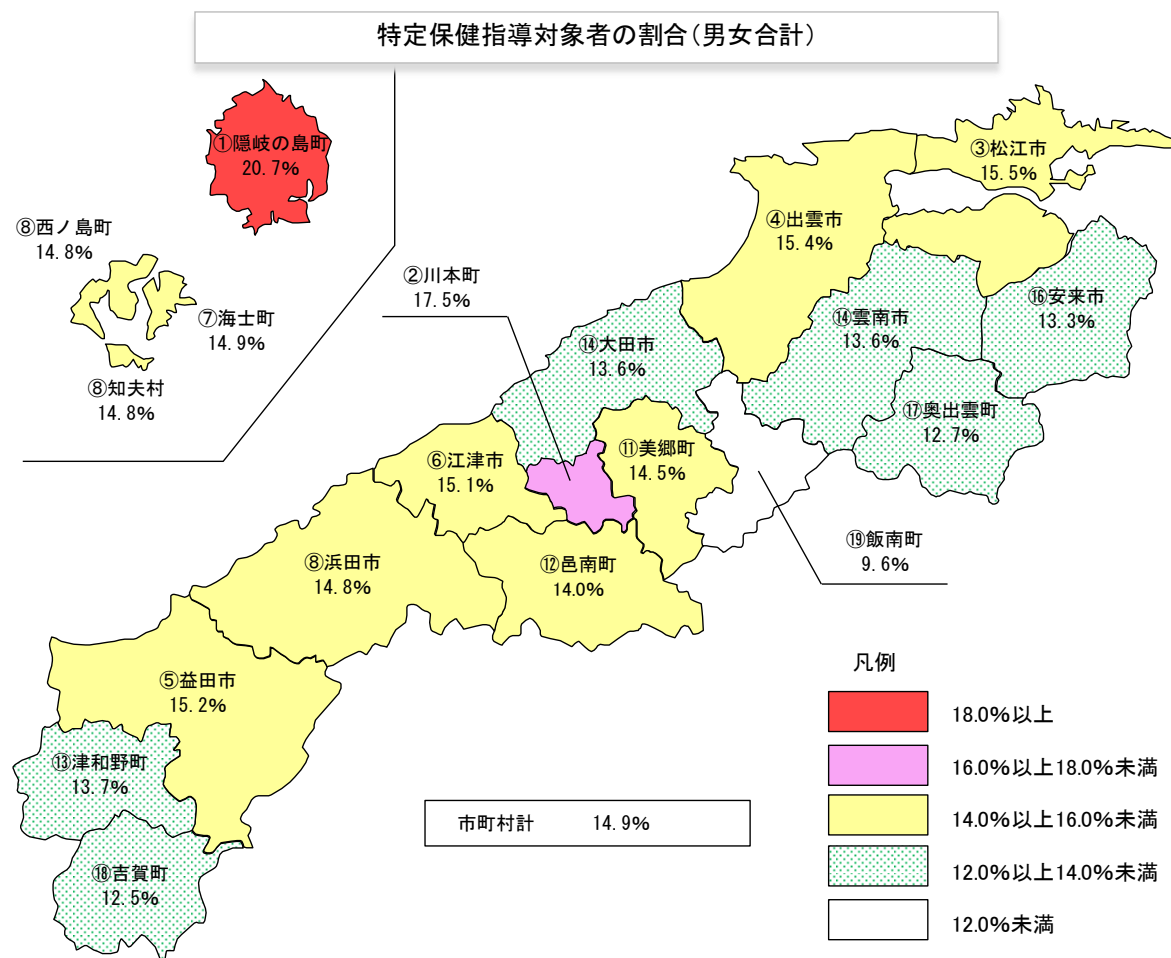
本統計における市町村別の特定健診対象者数、受診者数及び受診率は次表のとおり。受診率が最も高いのは知夫村で65.1%、次いで邑南町が62.4%と続く。

	特定健診対象者数(人)			特定健診受診者数(人)			特定健診受診率(%)		
	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計
松江市	31,088	33,673	64,761	15,261	15,685	30,946	49.1	46.6	47.8
浜田市	9,804	10,265	20,069	5,101	5,217	10,318	52.0	50.8	51.4
出雲市	28,665	29,516	58,181	15,024	14,405	29,429	52.4	48.8	50.6
益田市	8,660	9,338	17,998	4,411	4,251	8,662	50.9	45.5	48.1
大田市	6,589	6,943	13,532	3,137	3,561	6,698	47.6	51.3	49.5
安来市	6,315	6,802	13,117	2,866	3,263	6,129	45.4	48.0	46.7
江津市	4,475	4,736	9,211	2,364	2,483	4,847	52.8	52.4	52.6
雲南市	7,516	7,364	14,880	3,856	3,448	7,304	51.3	46.8	49.1
奥出雲町	2,704	2,618	5,322	1,424	1,309	2,733	52.7	50.0	51.4
飯南町	940	917	1,857	536	546	1,082	57.0	59.5	58.3
川本町	608	641	1,249	347	357	704	57.1	55.7	56.4
美郷町	913	917	1,830	544	509	1,053	59.6	55.5	57.5
邑南町	1,973	2,064	4,037	1,207	1,313	2,520	61.2	63.6	62.4
津和野町	1,462	1,547	3,009	764	793	1,557	52.3	51.3	51.7
吉賀町	1,109	1,189	2,298	546	621	1,167	49.2	52.2	50.8
海士町	482	463	945	237	240	477	49.2	51.8	50.5
西ノ島町	573	591	1,164	209	229	438	36.5	38.7	37.6
知夫村	123	115	238	78	77	155	63.4	67.0	65.1
隠岐の島町	2,836	2,851	5,687	1,038	1,186	2,224	36.6	41.6	39.1
市町村計	116,835	122,550	239,385	58,950	59,493	118,443	50.5	48.5	49.5



(2) 特定保健指導該当者割合

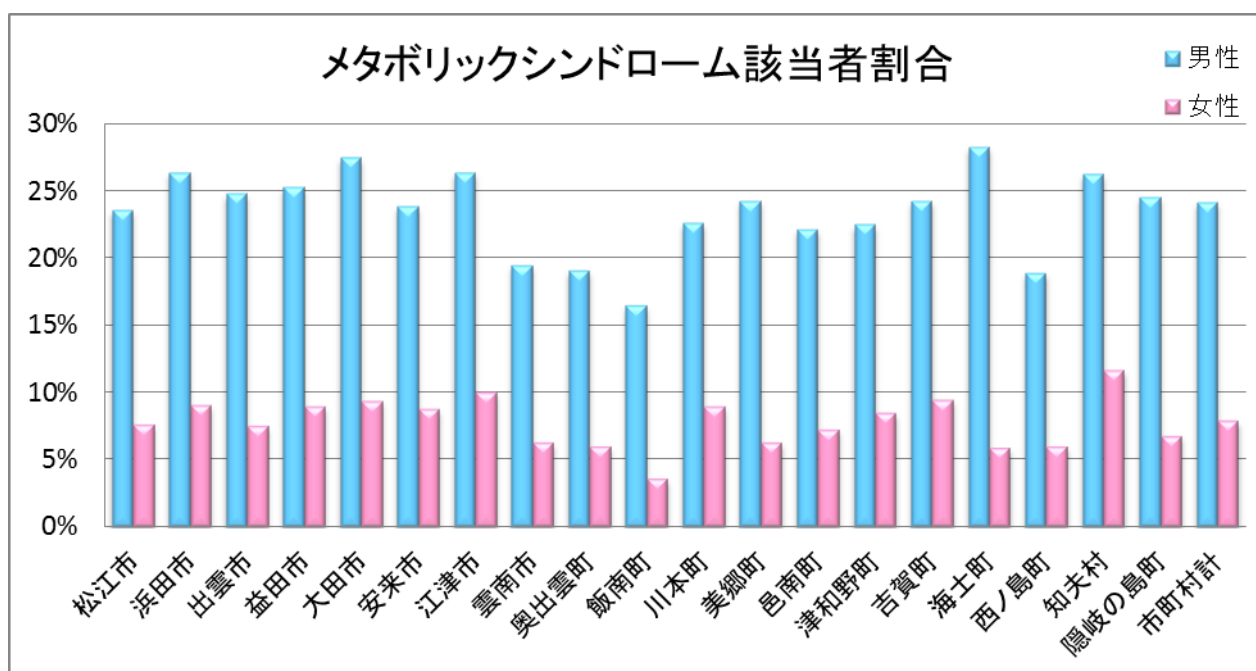
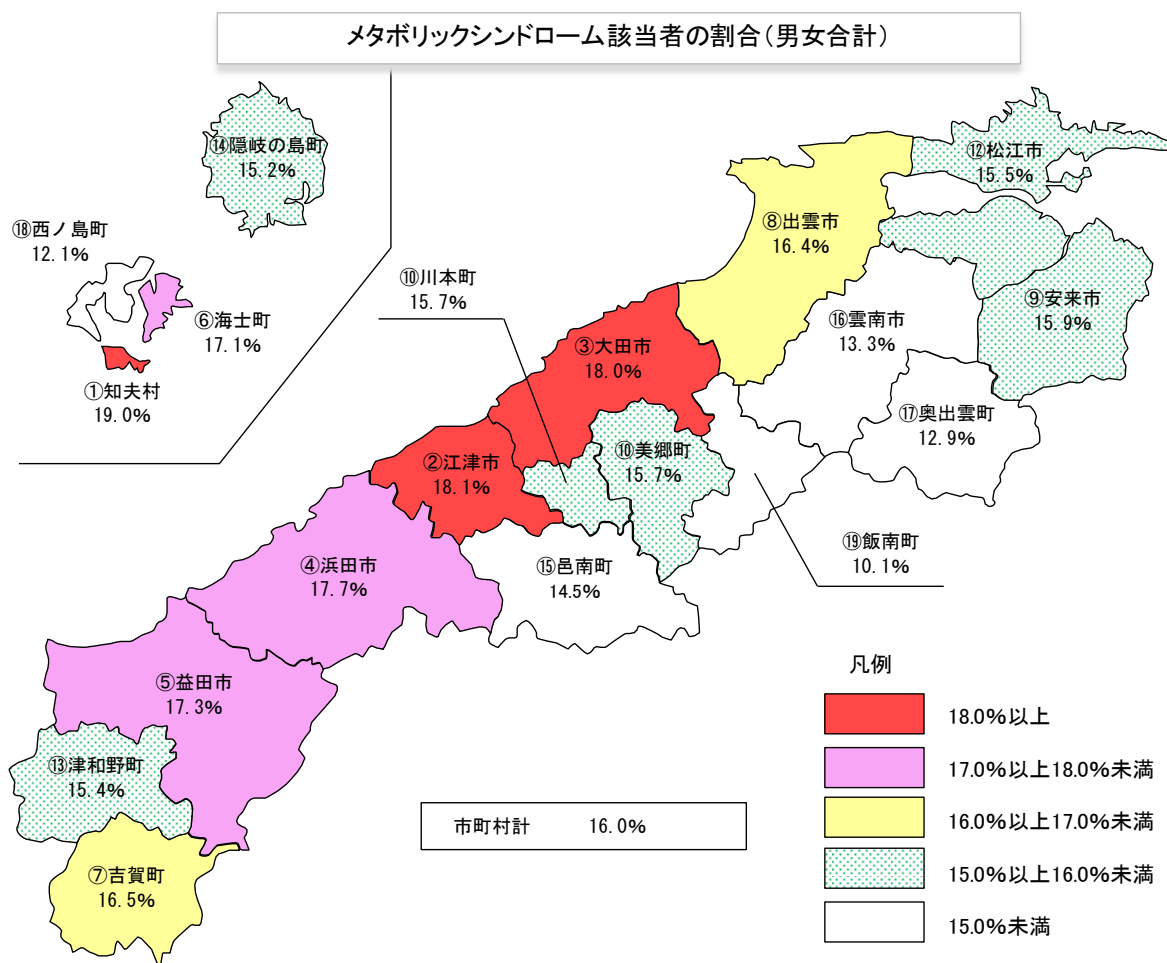
特定保健指導該当者の割合が最も高いのは隠岐の島町で20.7%、最も低いのは飯南町で9.6%。男女別にみると、男性、女性ともに最も高いのは隠岐の島町であった。



(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群割合

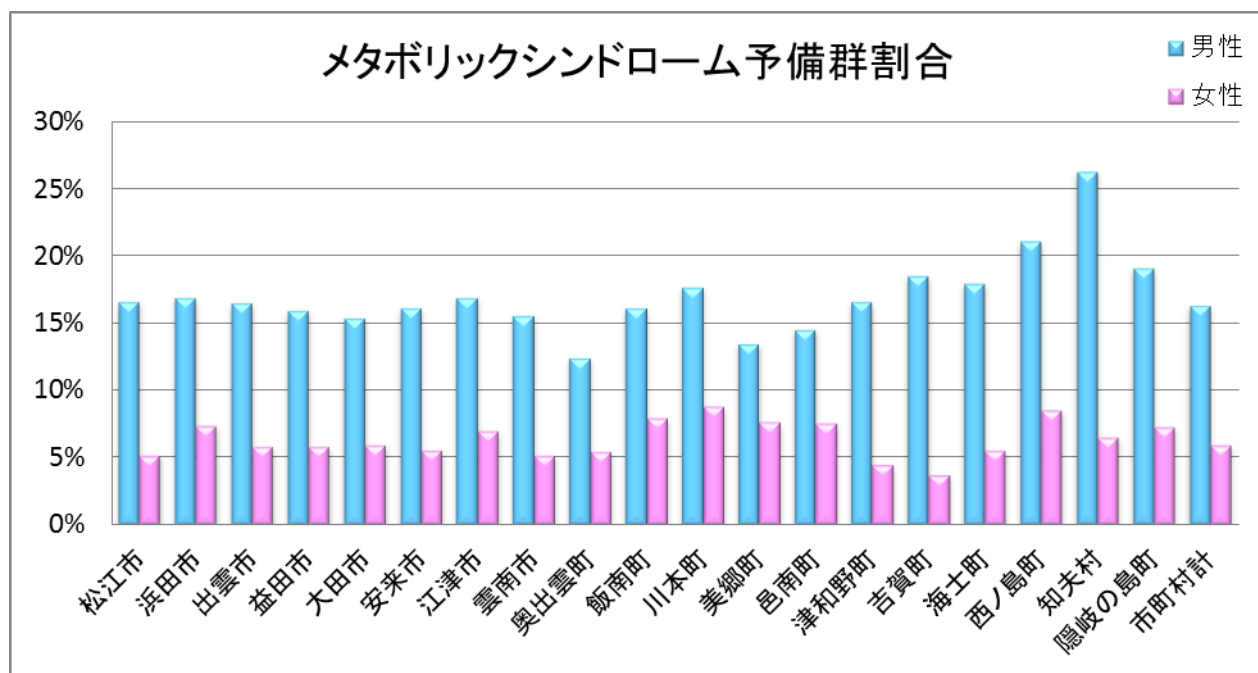
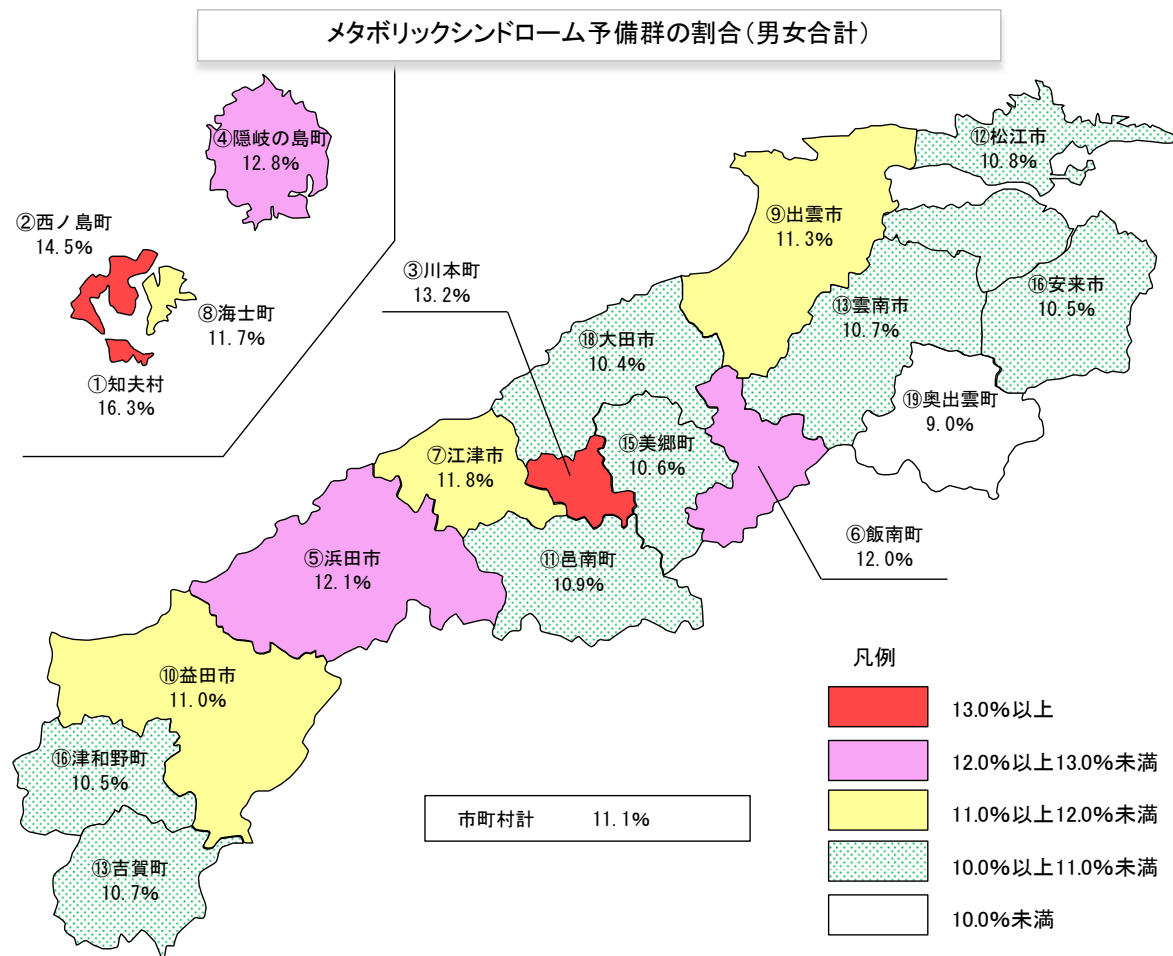
① メタボリックシンドローム該当者の割合

メタボリックシンドローム該当者の割合が最も高いのは知夫村で 19.0%、最も低いのは飯南町 10.1%。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



② メタボリックシンドローム予備群の割合

メタボリックシンドローム予備群の割合が最も高いのは知夫村で16.3%、最も低いのは奥出雲町で9.0%。

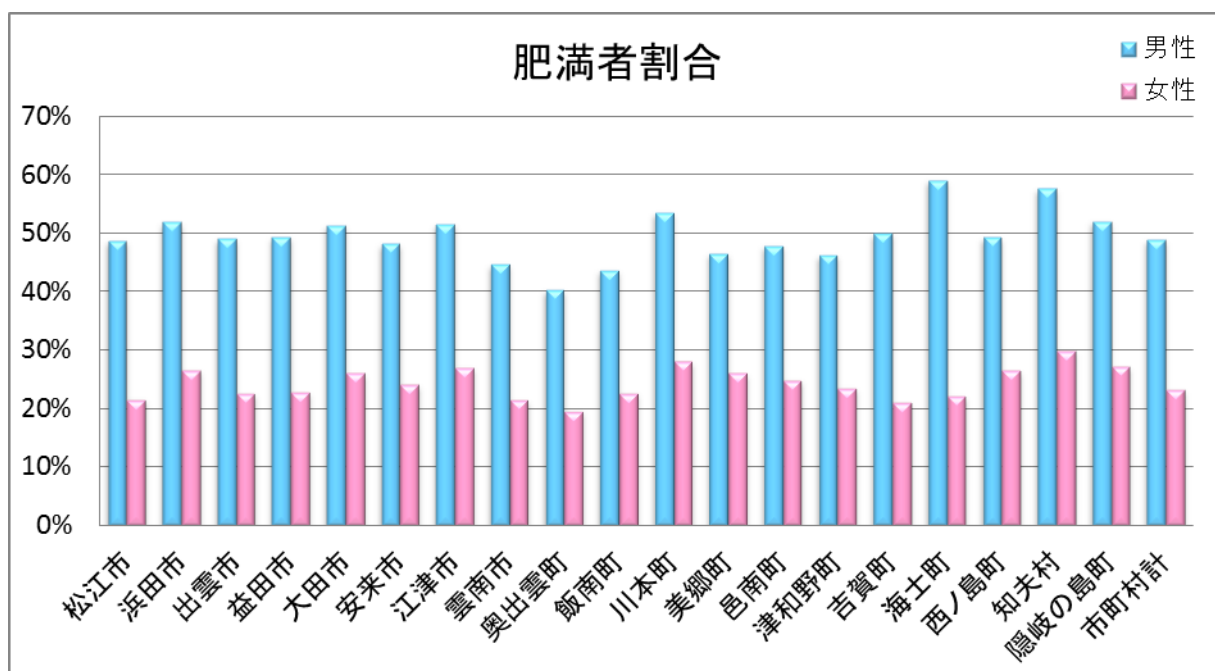
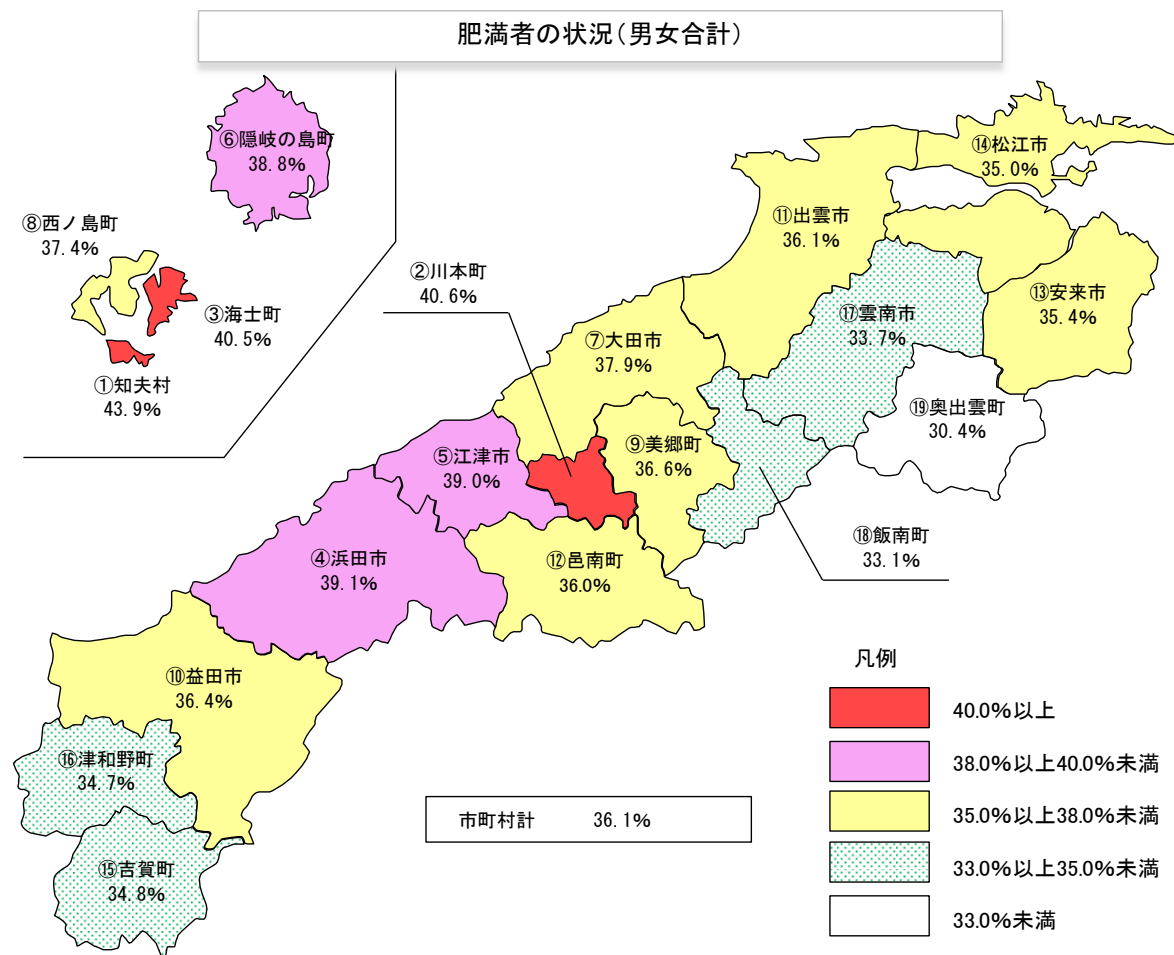


(4) 検査等結果

市町村別及び男女別に、特定健康診査における各検査等の結果を比較する。

① 肥満者の割合

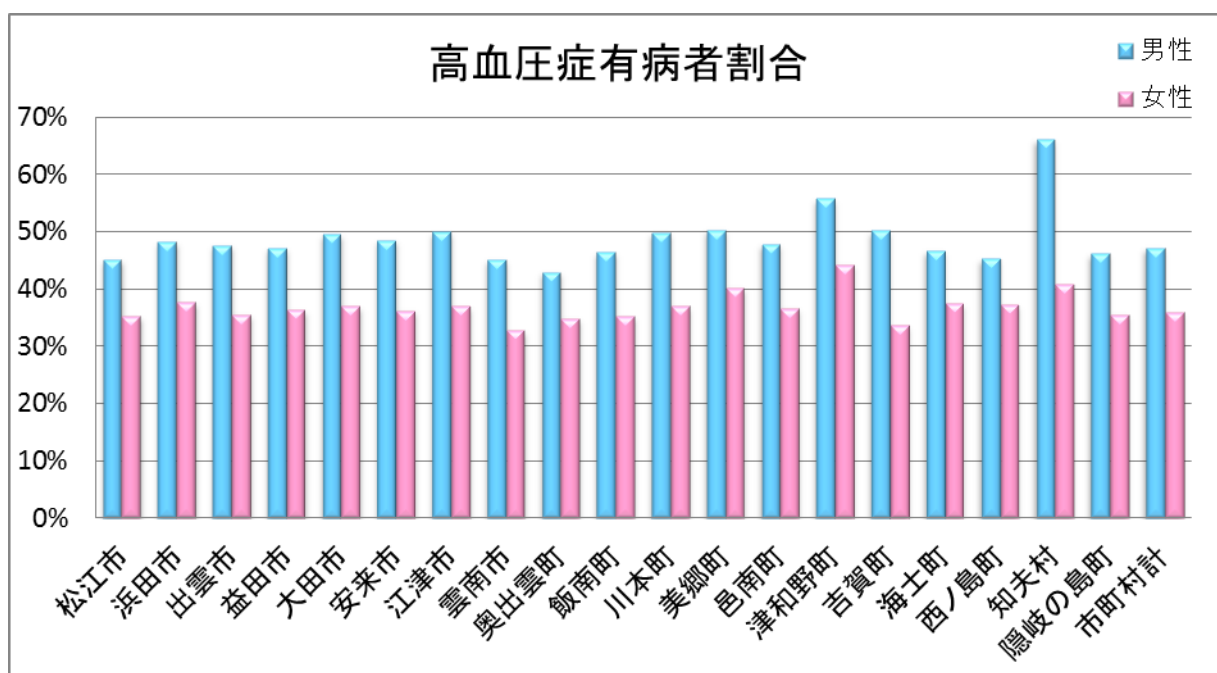
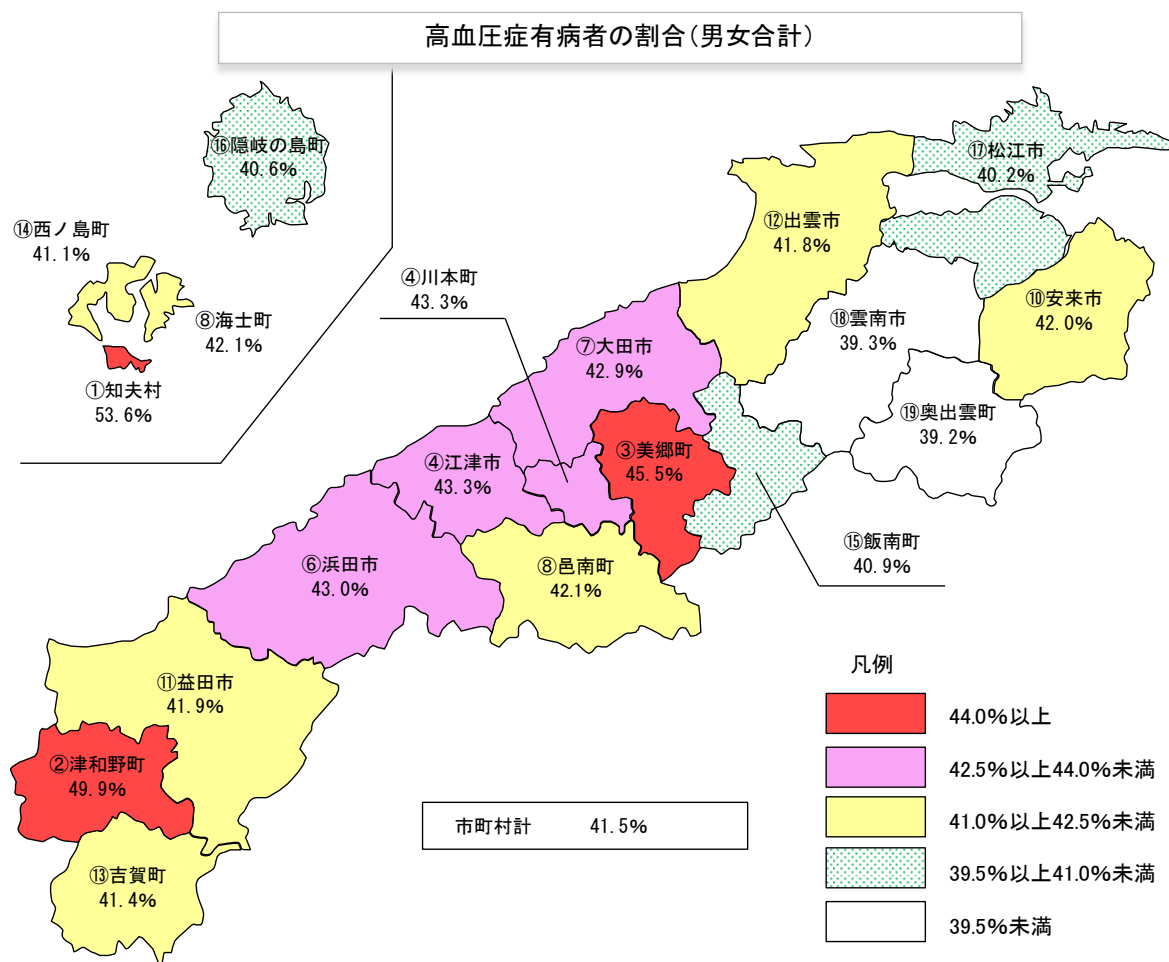
肥満者の割合が最も高いのは知夫村で43.9%、最も低いのは奥出雲町で30.4%。
男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



② 高血圧症有病者・予備群の割合

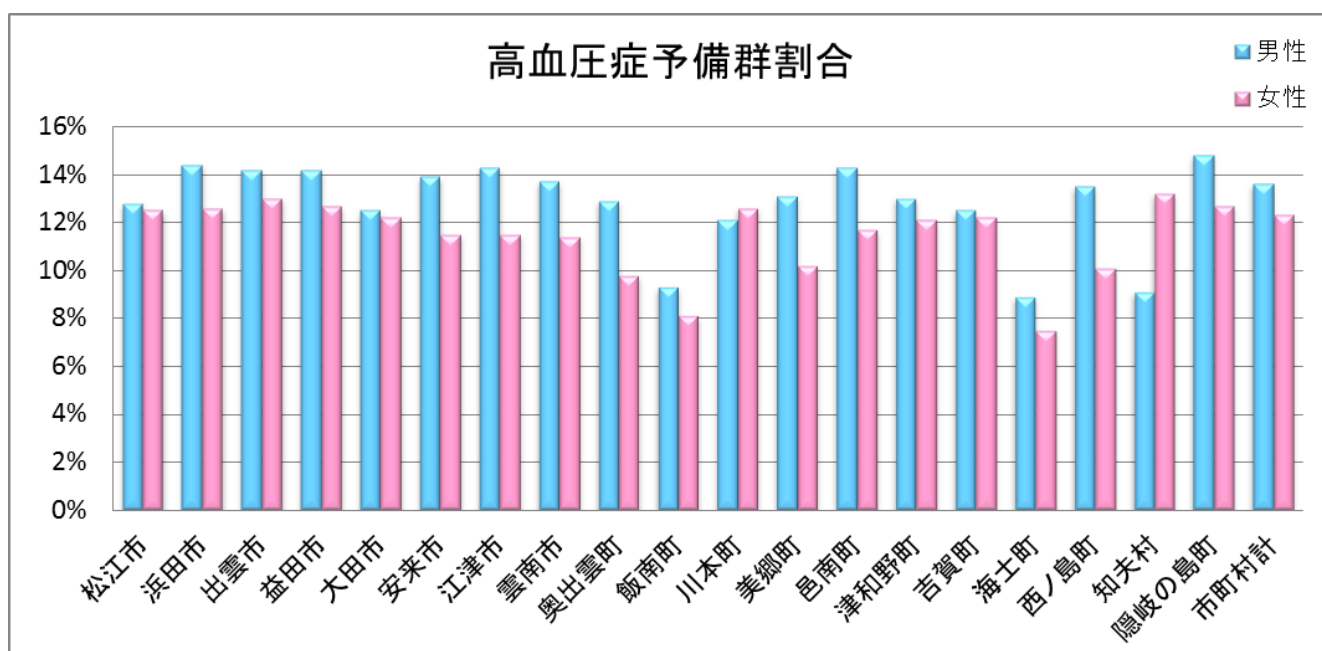
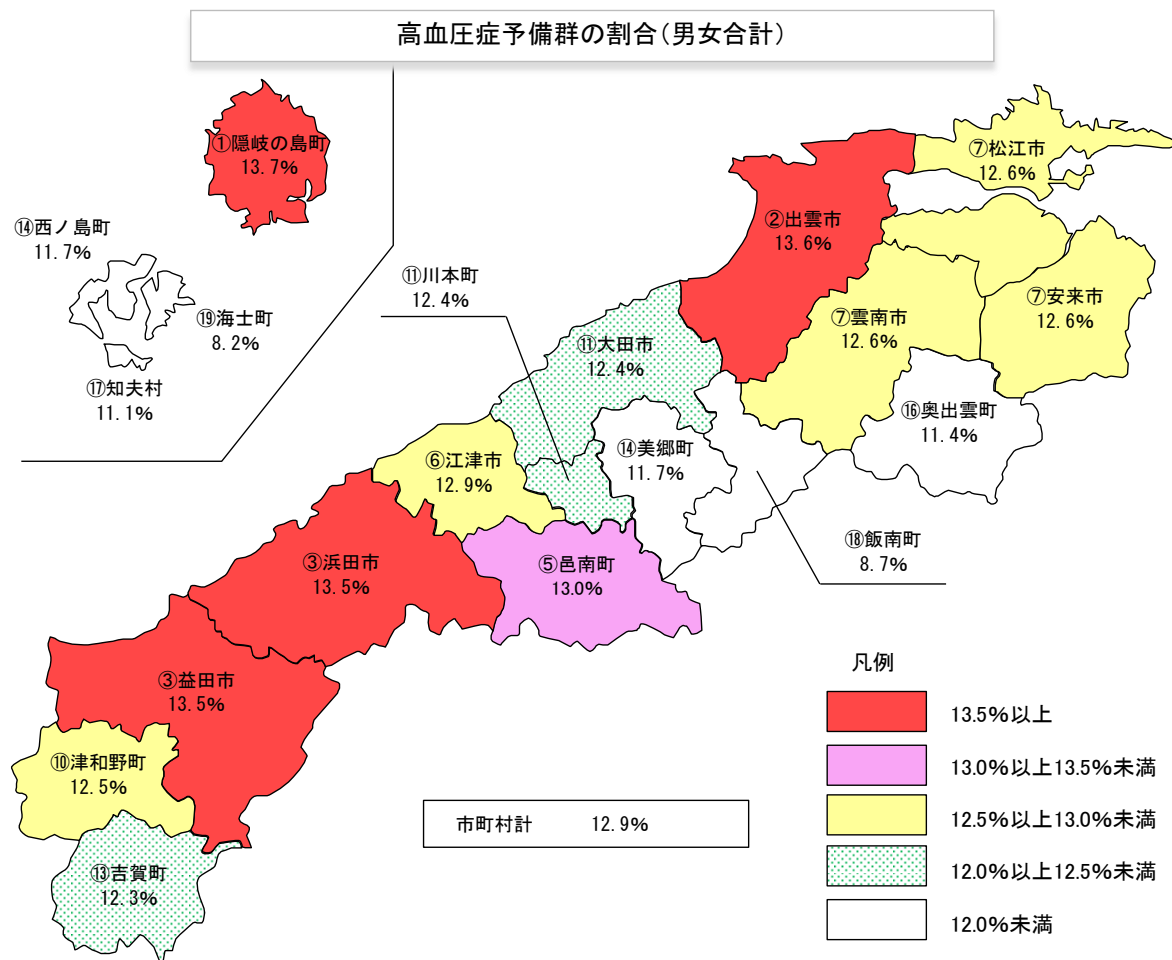
ア 高血圧症有病者

高血圧症有病者の割合が最も高いのは知夫村で 53.6%、最も低いのは奥出雲町で 39.2%。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



イ 高血圧症予備群

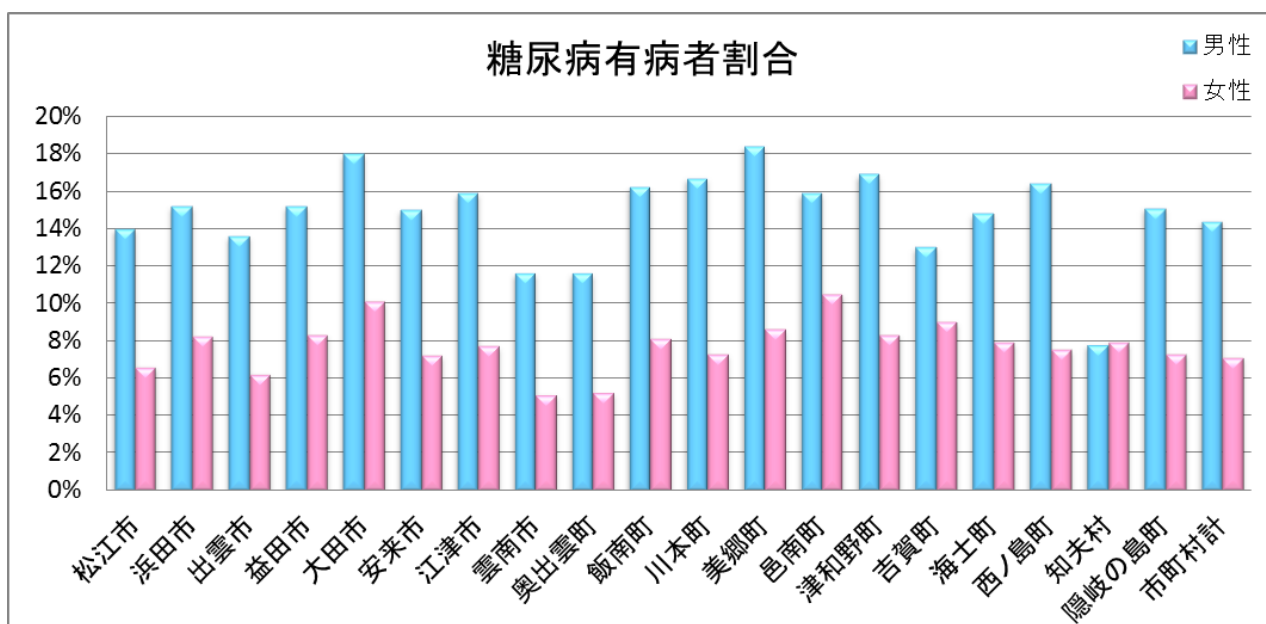
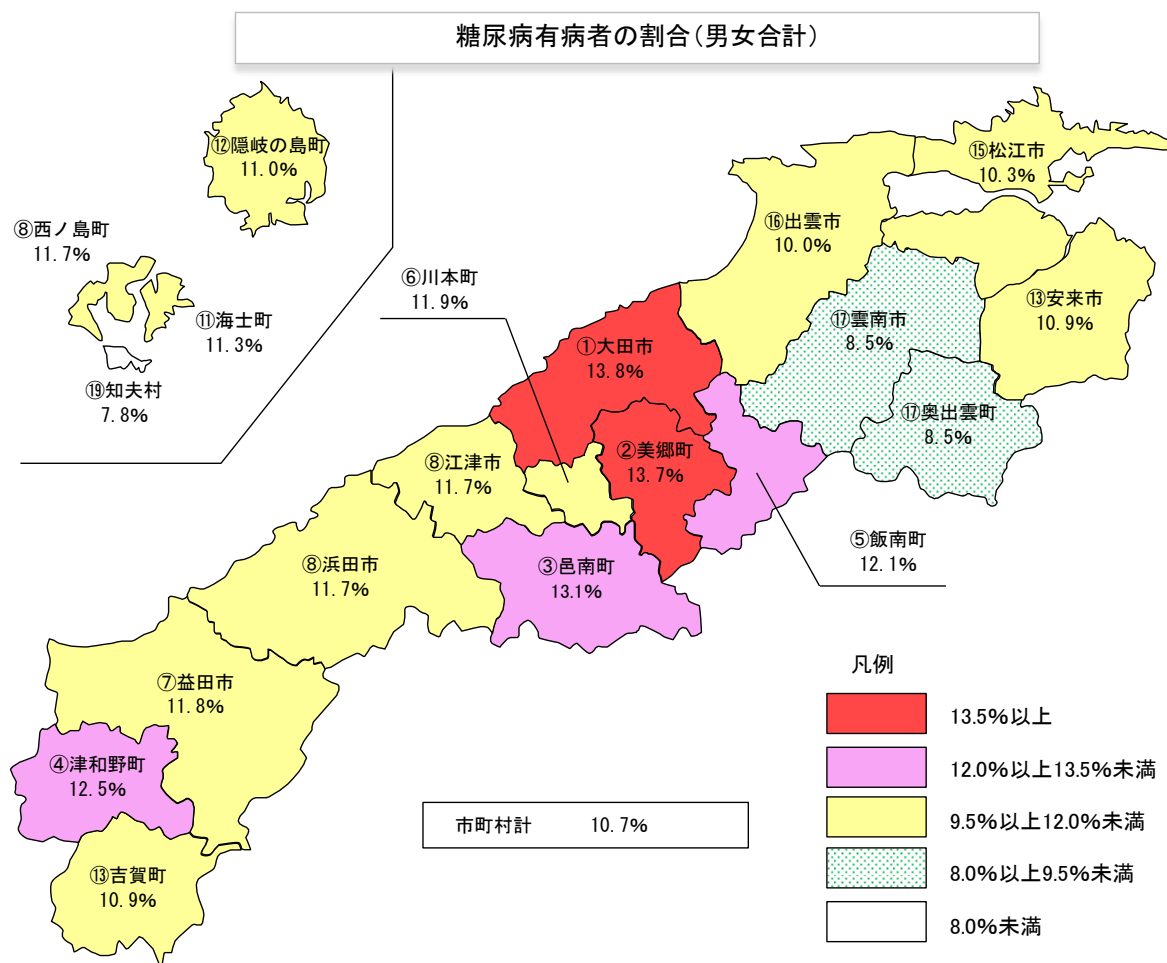
高血圧症予備群の割合が最も高いのは隠岐の島町で 13.7%、最も低いのは海士町で 8.2%。



③ 糖尿病有病者・予備群の割合

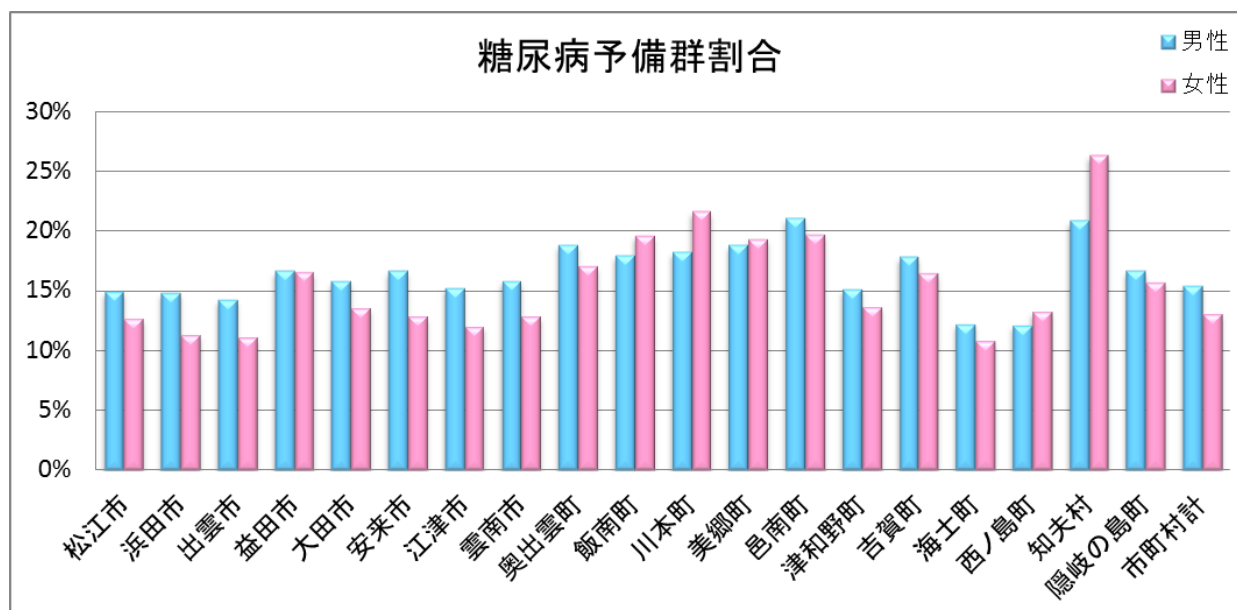
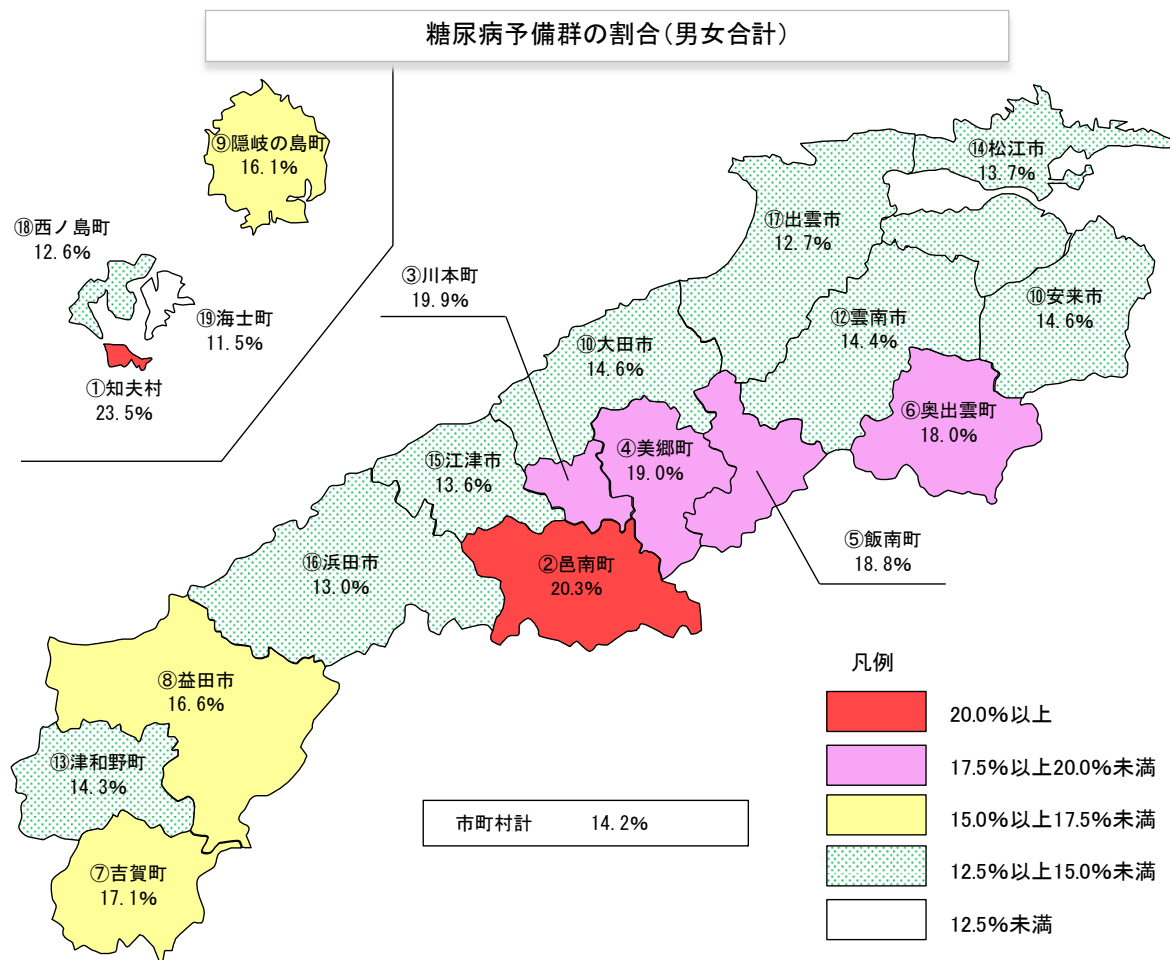
ア 糖尿病有病者

糖尿病有病者の割合が最も高い大田市をはじめ、県中央部が高い傾向がみられる。最も低いのは知夫村で7.8%。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



イ 糖尿病予備群

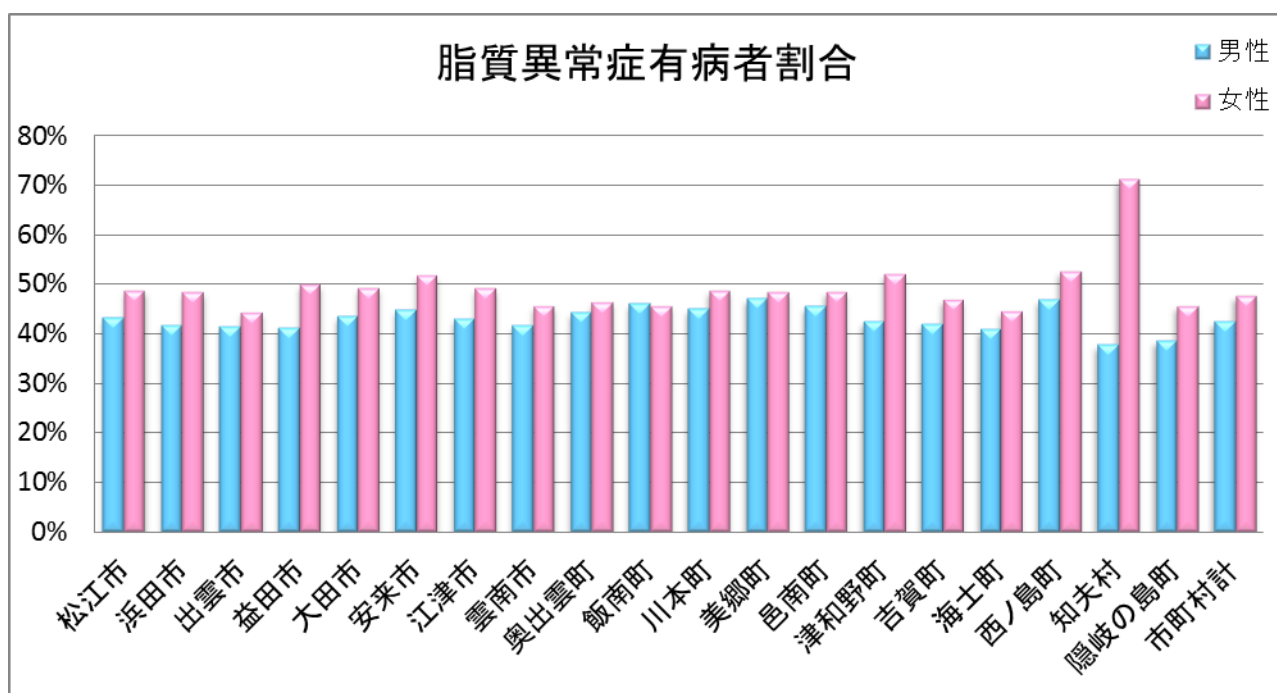
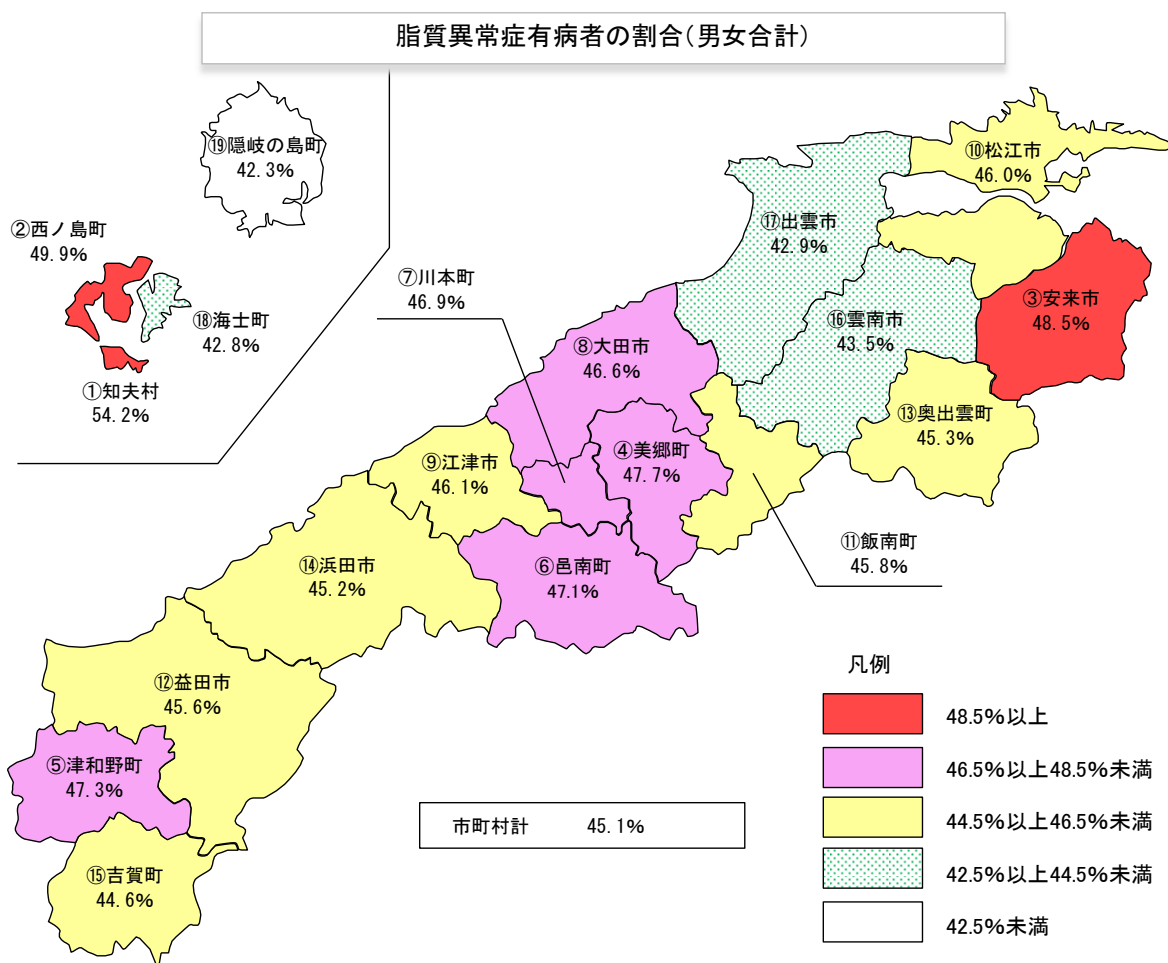
糖尿病予備群の割合が最も高いのは知夫村で 23.5%、最も低いのは海士町で 11.5%。糖尿病有病者の割合と同様に、県中央部で高い傾向がみられる。



④ 脂質異常症有病者・予備群の割合

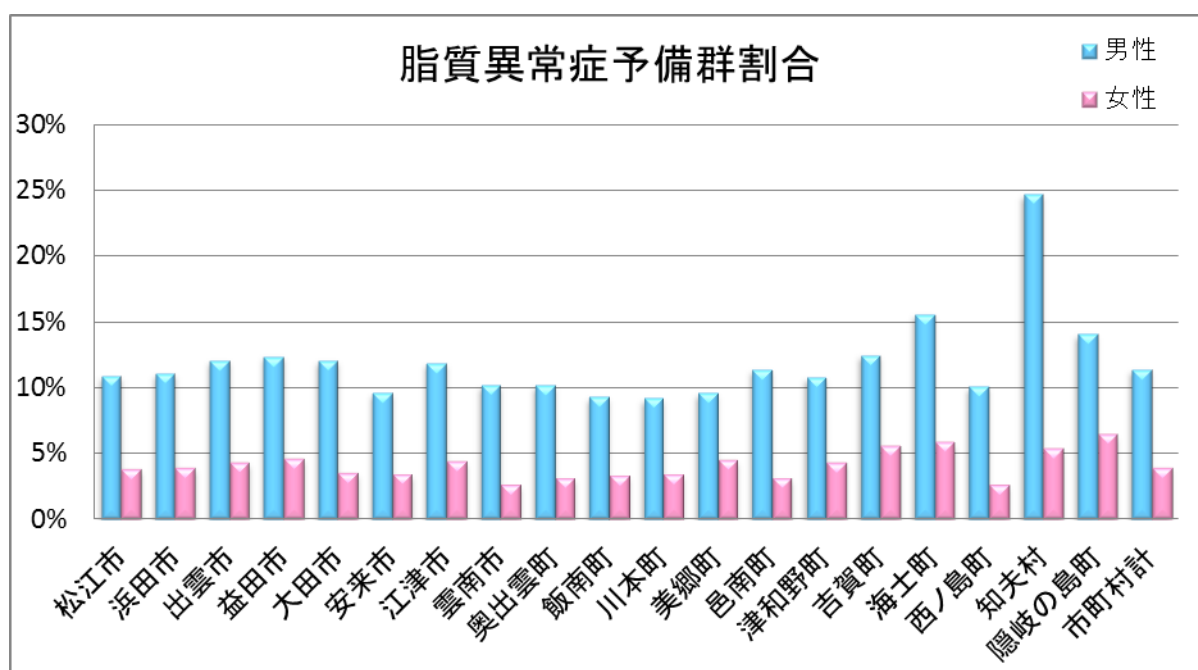
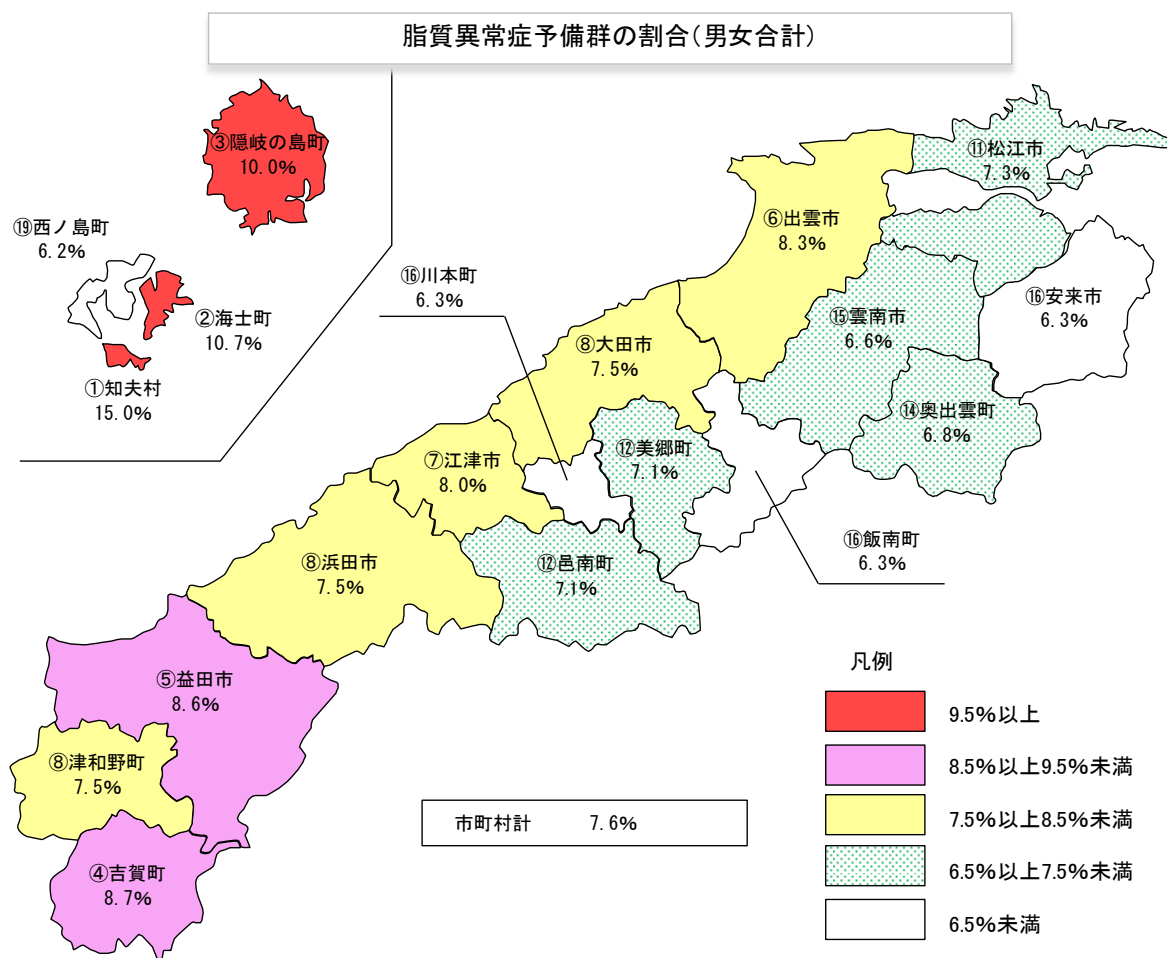
ア 脂質異常症有病者

脂質異常症有病者の割合が最も高いのは知夫村で 54.2%、最も低いのは隠岐の島町で 42.3%。男女別にみると、飯南町を除く全ての市町村で女性の割合が高い。



イ 脂質異常症予備群

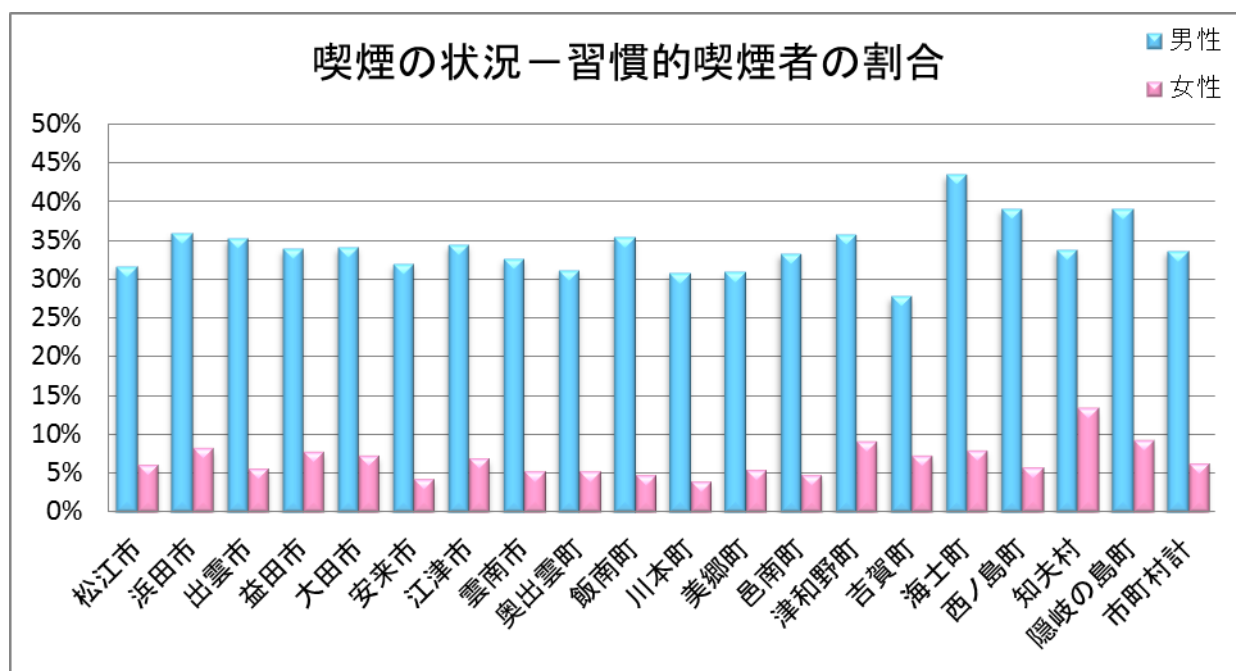
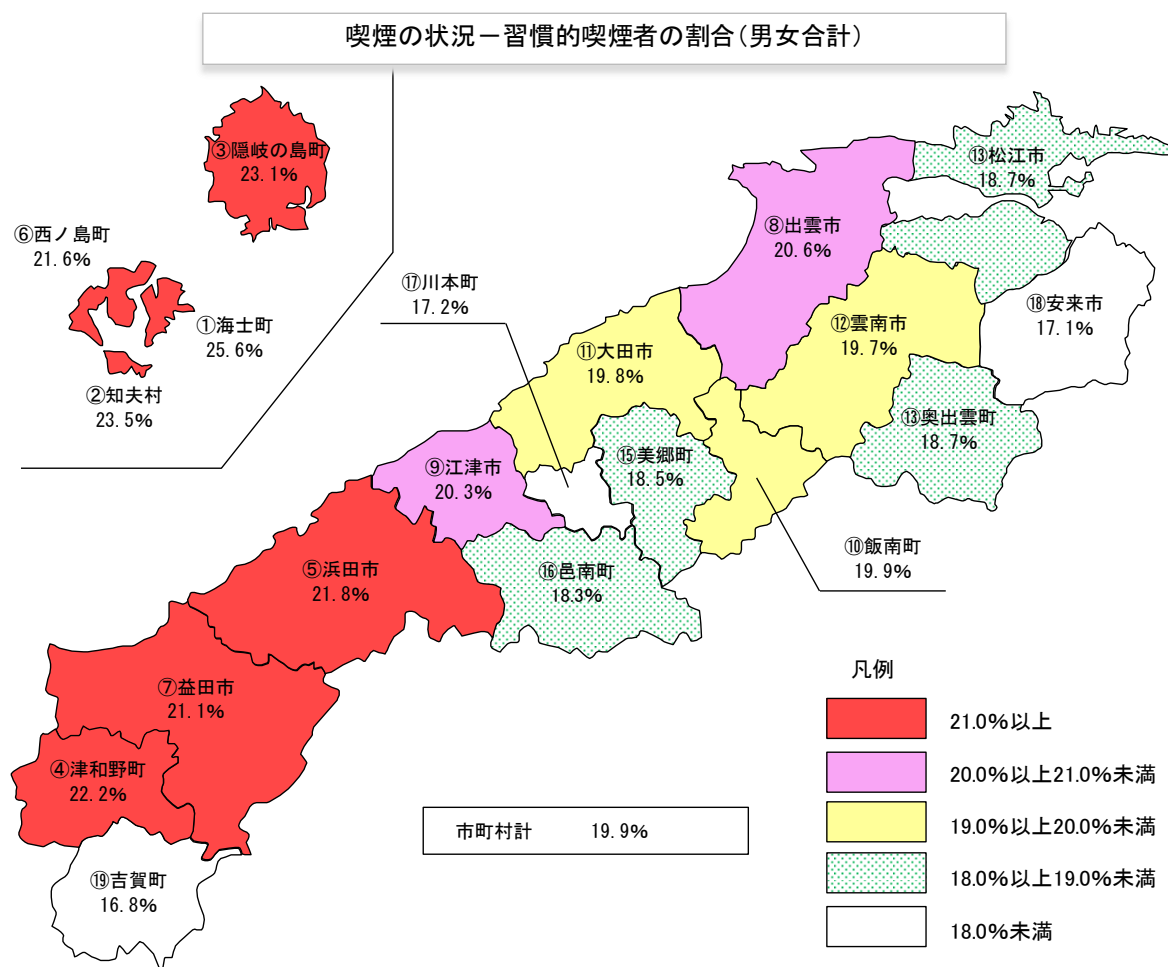
脂質異常症予備群の割合が最も高いのは知夫村で 15.0%、最も低いのは西ノ島町 6.2%。知夫村は、肥満者、高血圧有病者、糖尿病予備軍、脂質異常症の割合においても最も高い。



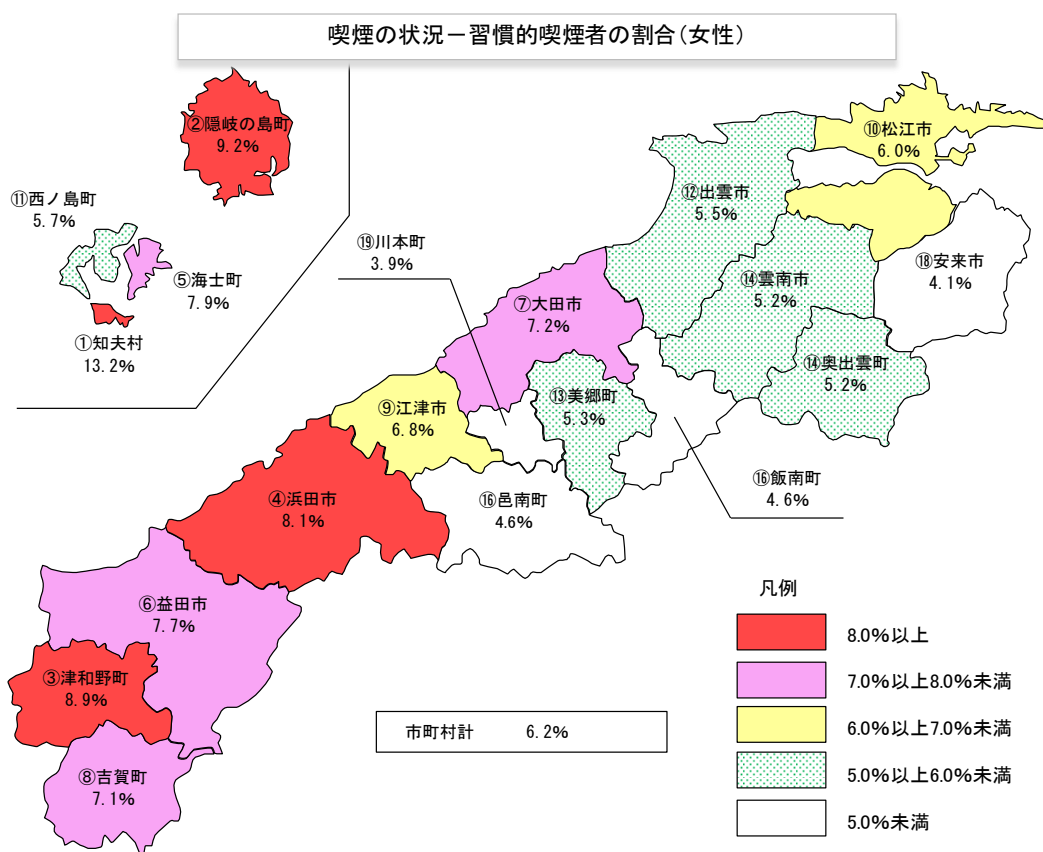
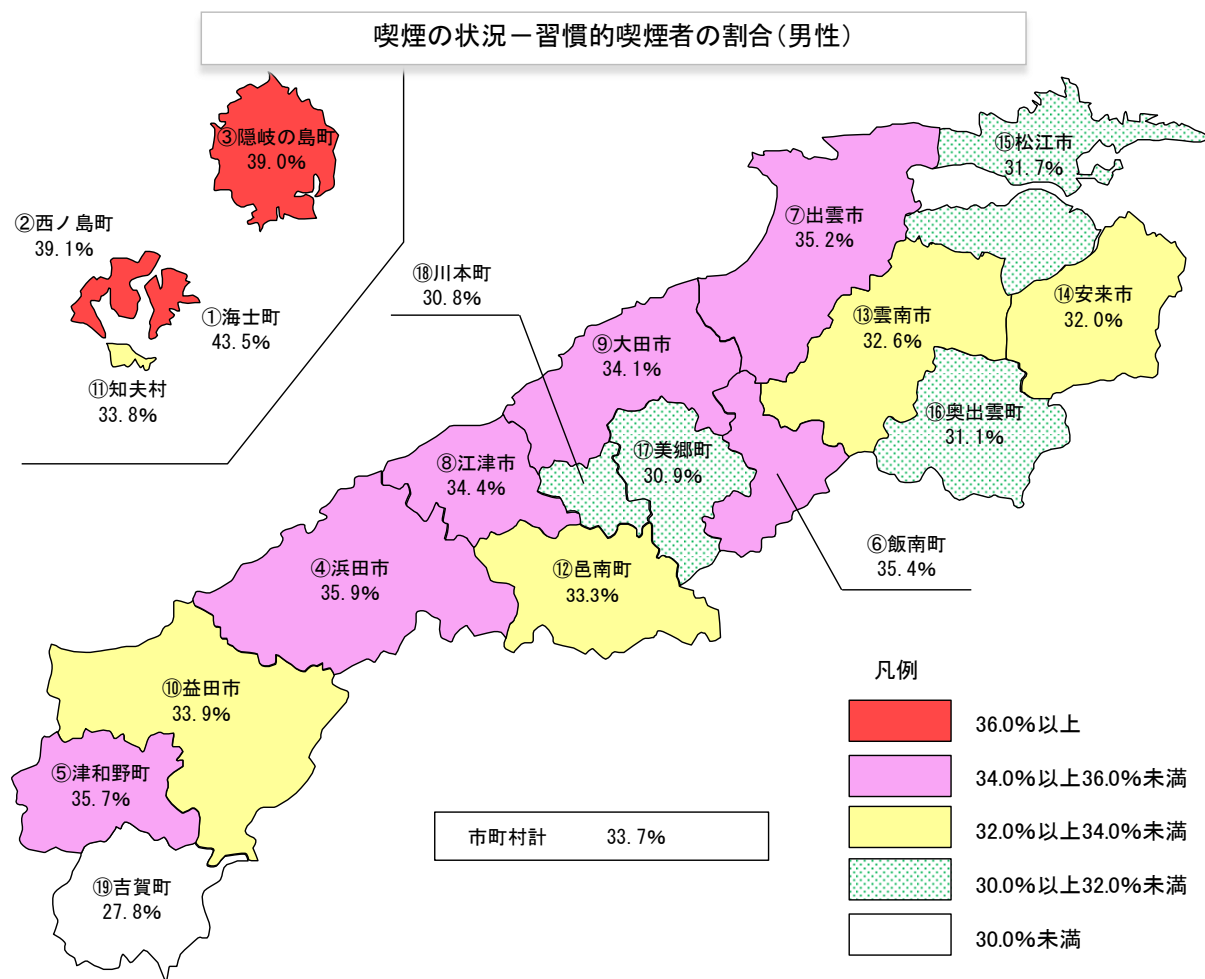
⑤ 習慣的喫煙者の割合

習慣的喫煙者の割合が最も高いのは海士町で 25.6%、最も低いのは吉賀町で 16.8%。隠岐郡と吉賀町を除く西部で高い傾向がみられる。

男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高く、差も大きい。



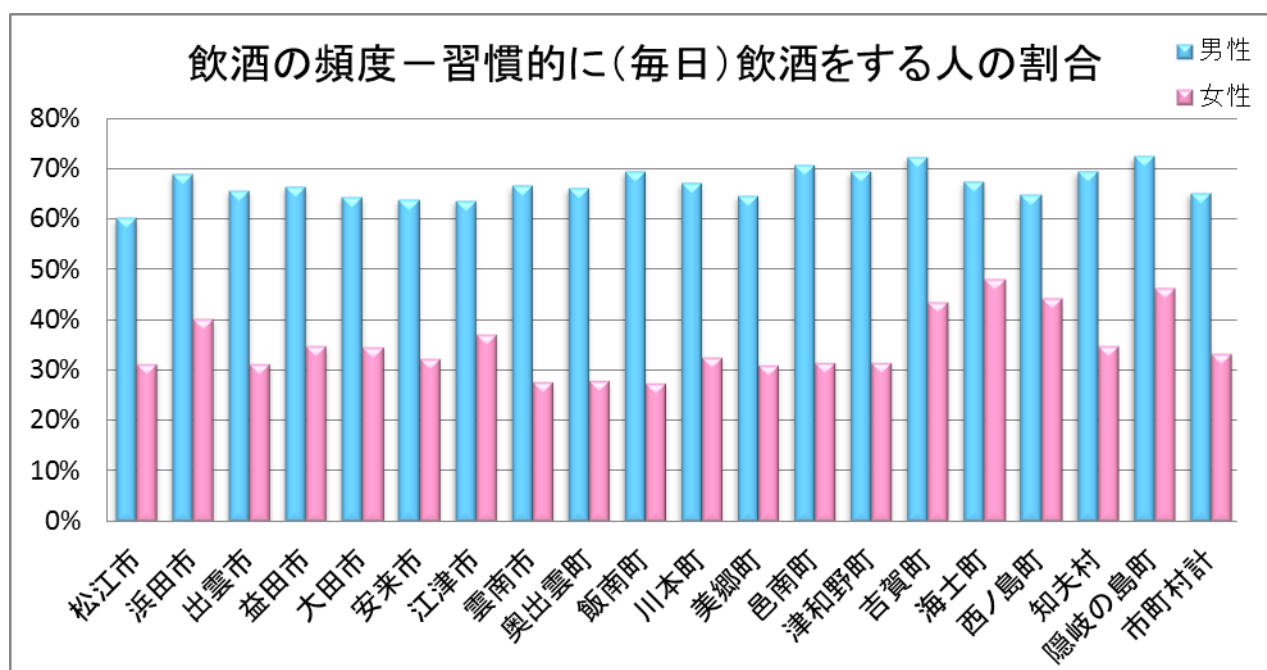
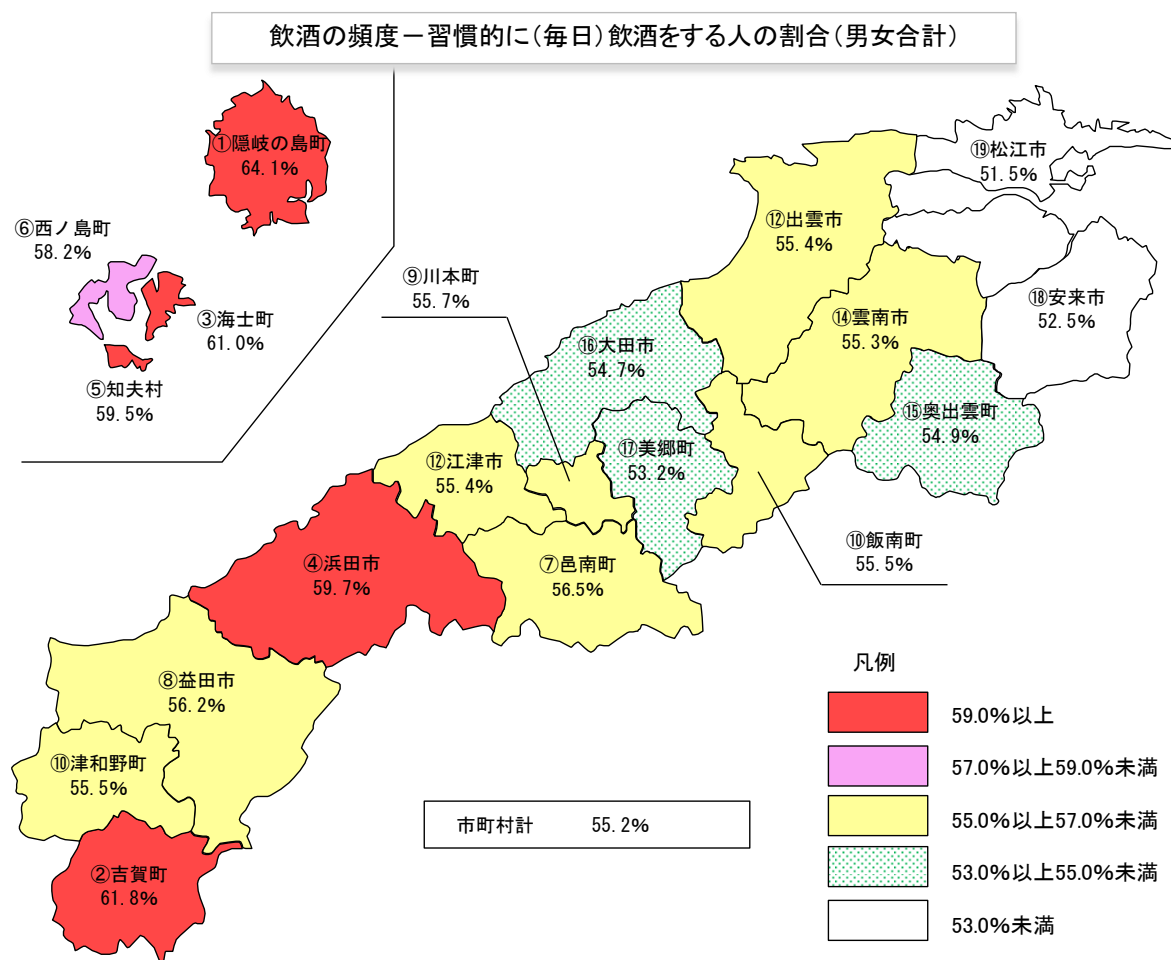
男性の習慣的喫煙者の割合が最も高いのは海士町で43.5%、2番目に高いのは西ノ島町で39.1%。知夫村を除く隠岐郡で高い傾向がみられる。



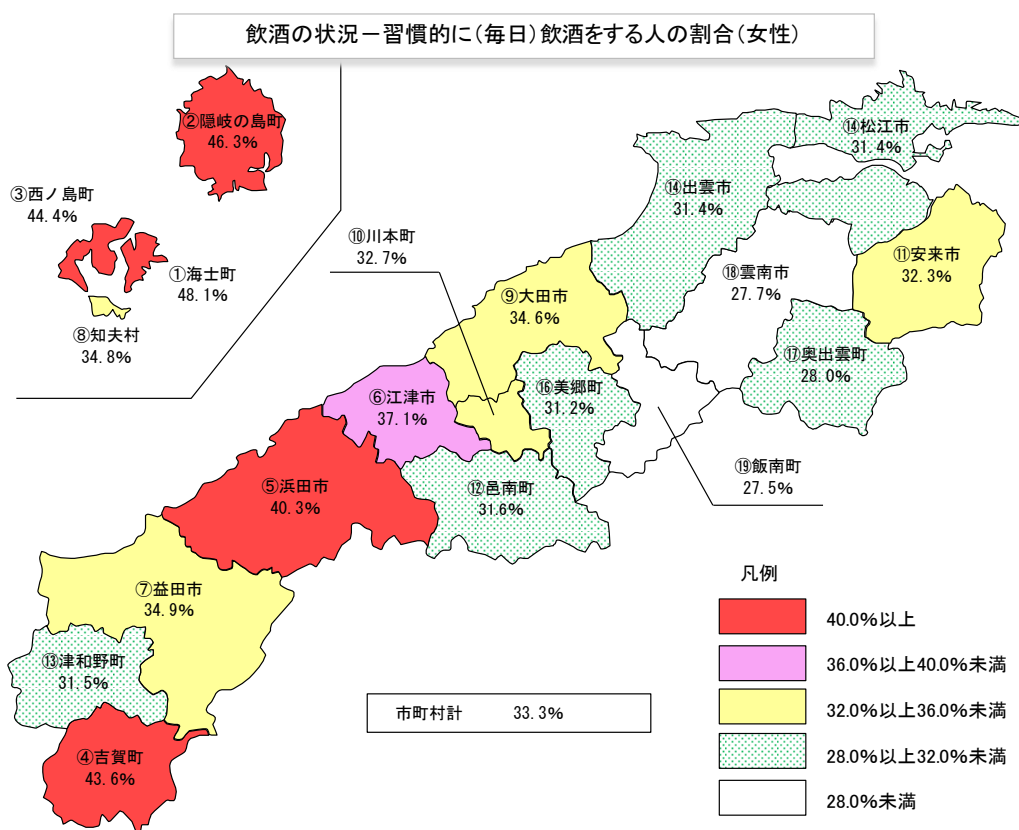
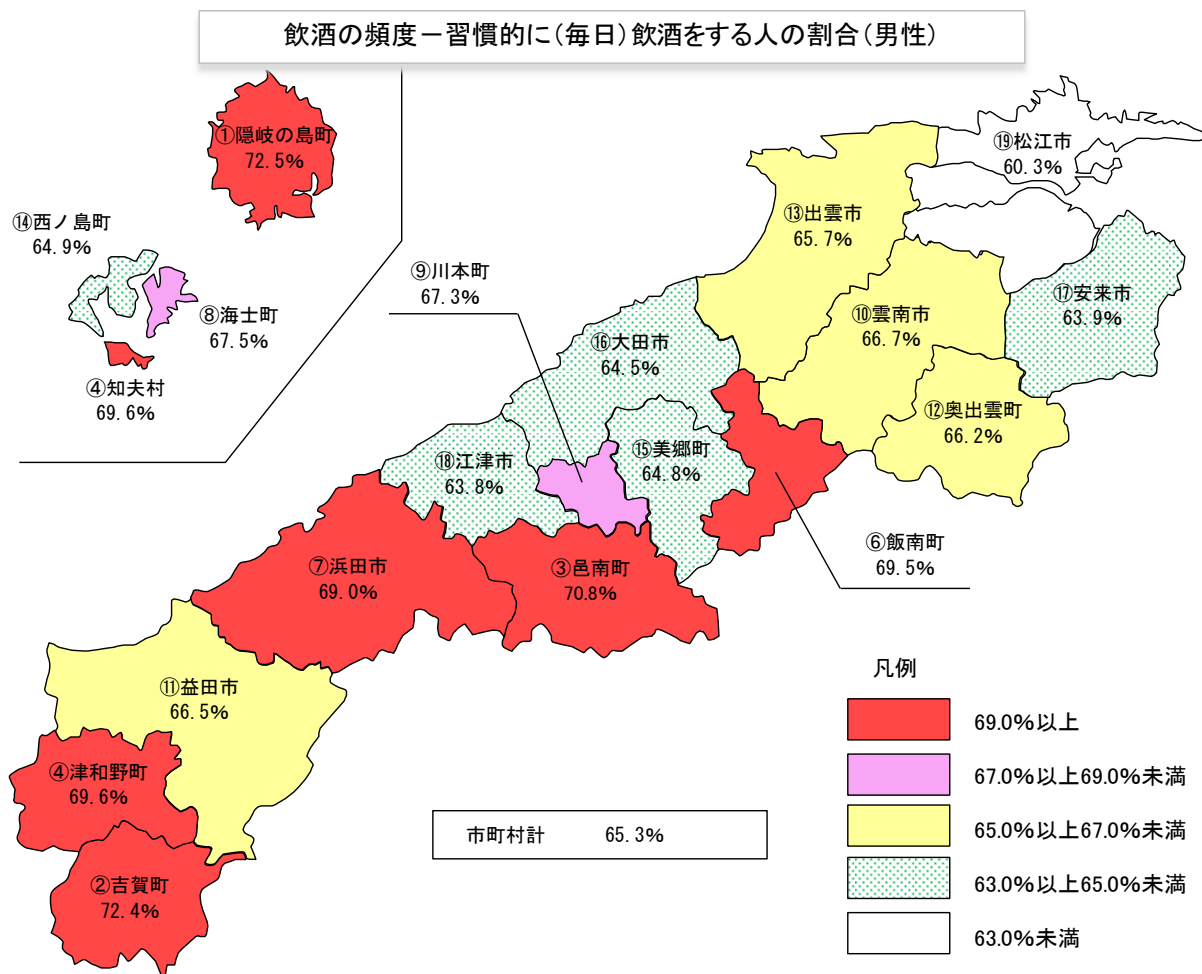
⑥ 飲酒者＜毎日＞の割合

毎日飲酒している者の割合が最も高いのは、隠岐の島町で 64.1%、最も低いのは松江市で 51.5%。隠岐郡で高い傾向がみられる。

男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高く、男女差も大きい。



男性で毎日飲酒している者の割合が最も高いのは隠岐の島町で72.5%、最も低いのは松江市で60.3%。県西部及び中央部、隠岐郡で高い傾向がみられる。



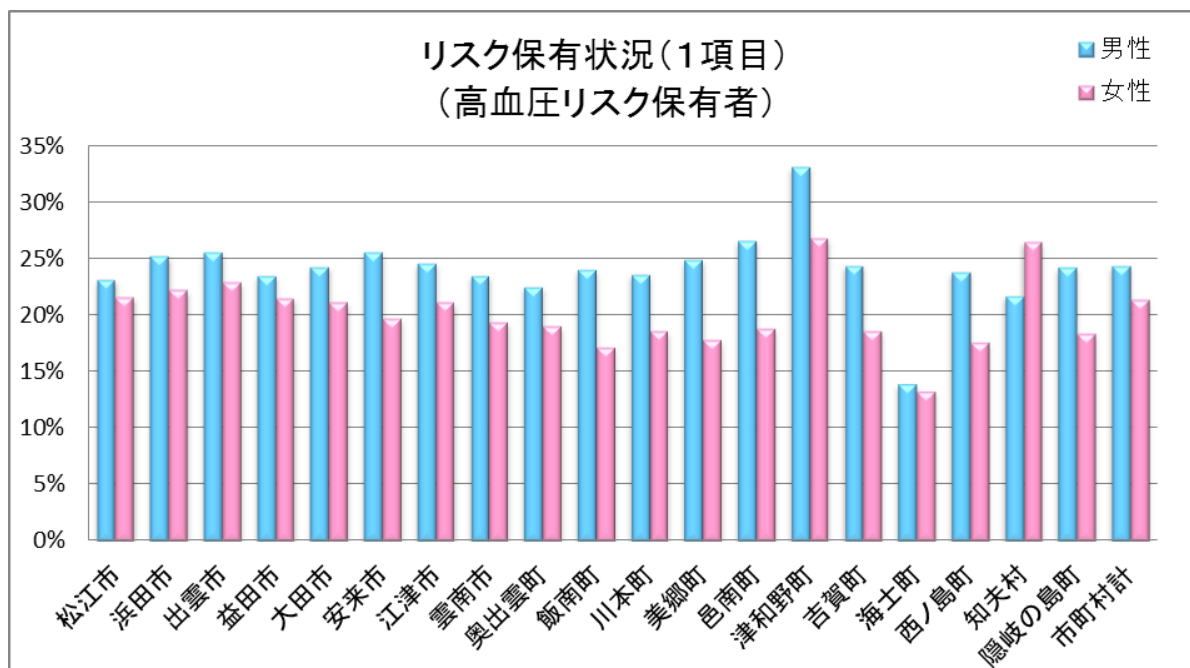
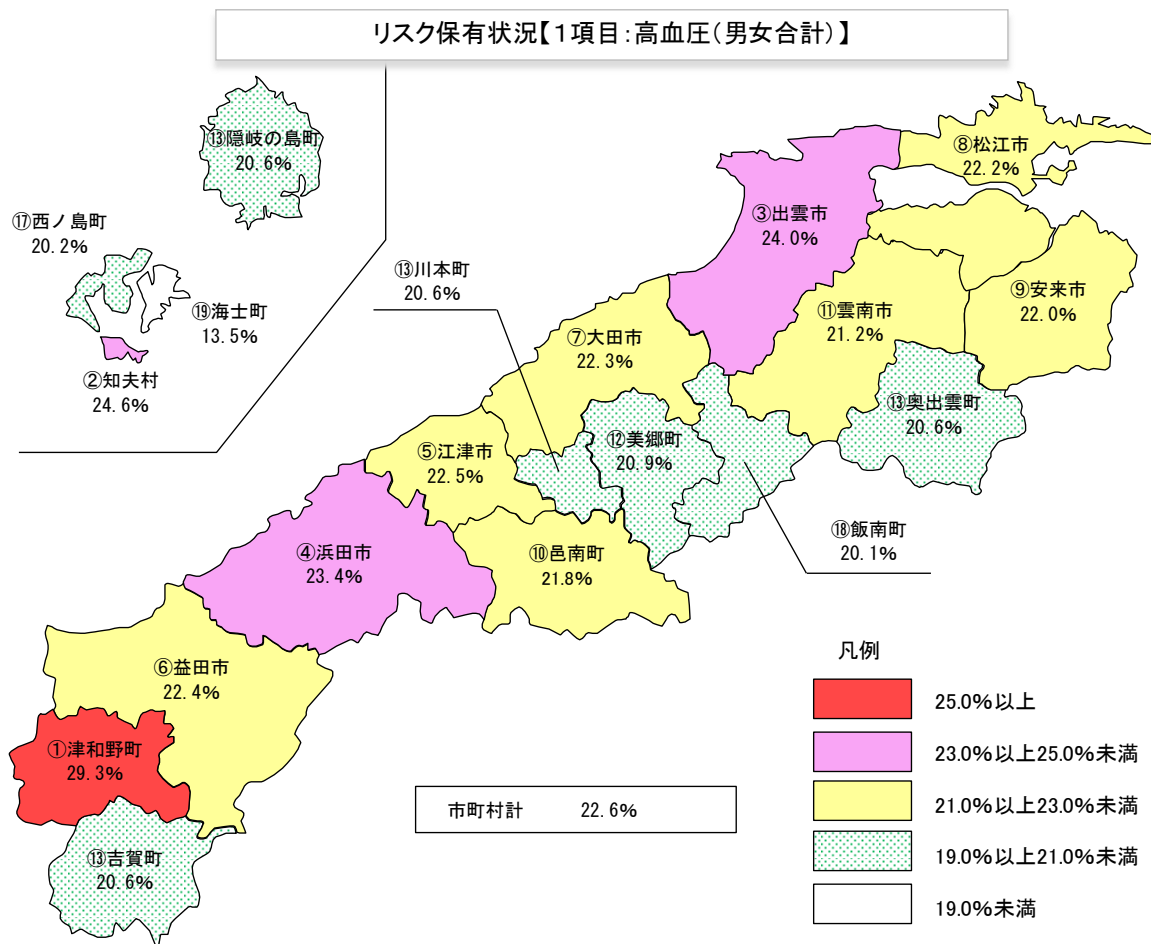
(5) 非肥満者におけるリスク保有者の割合

市町村及び男女別に、非肥満者の高血圧、高血糖及び脂質異常のリスク保有者の割合を比較する。

① リスク1項目

ア 高血圧リスク保有者割合

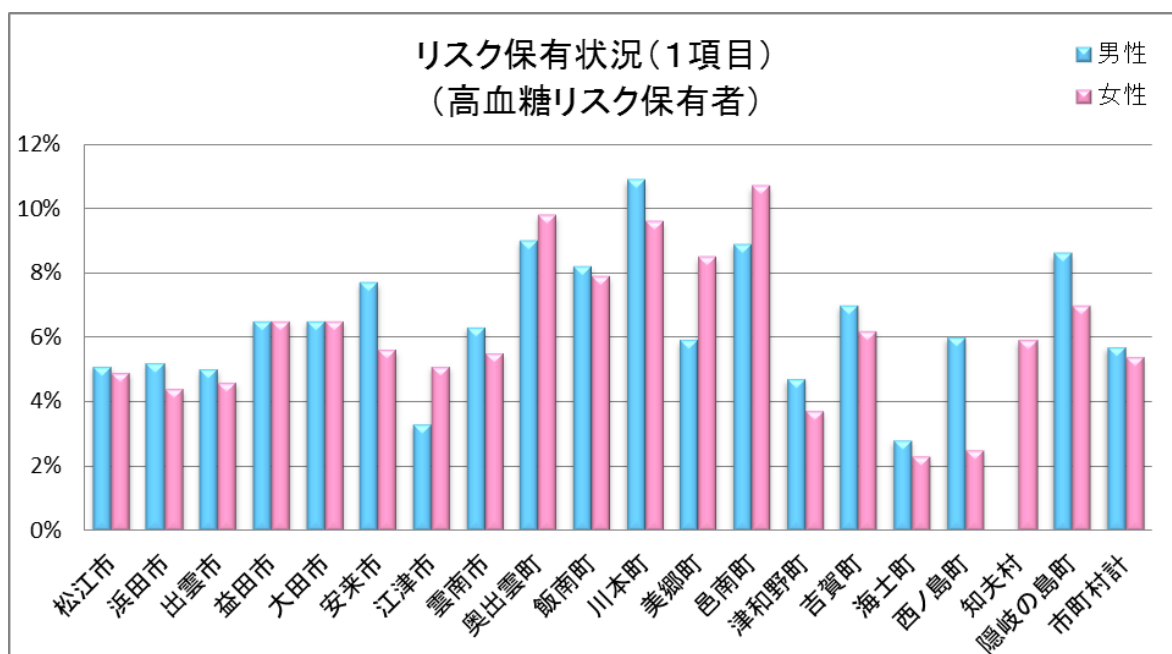
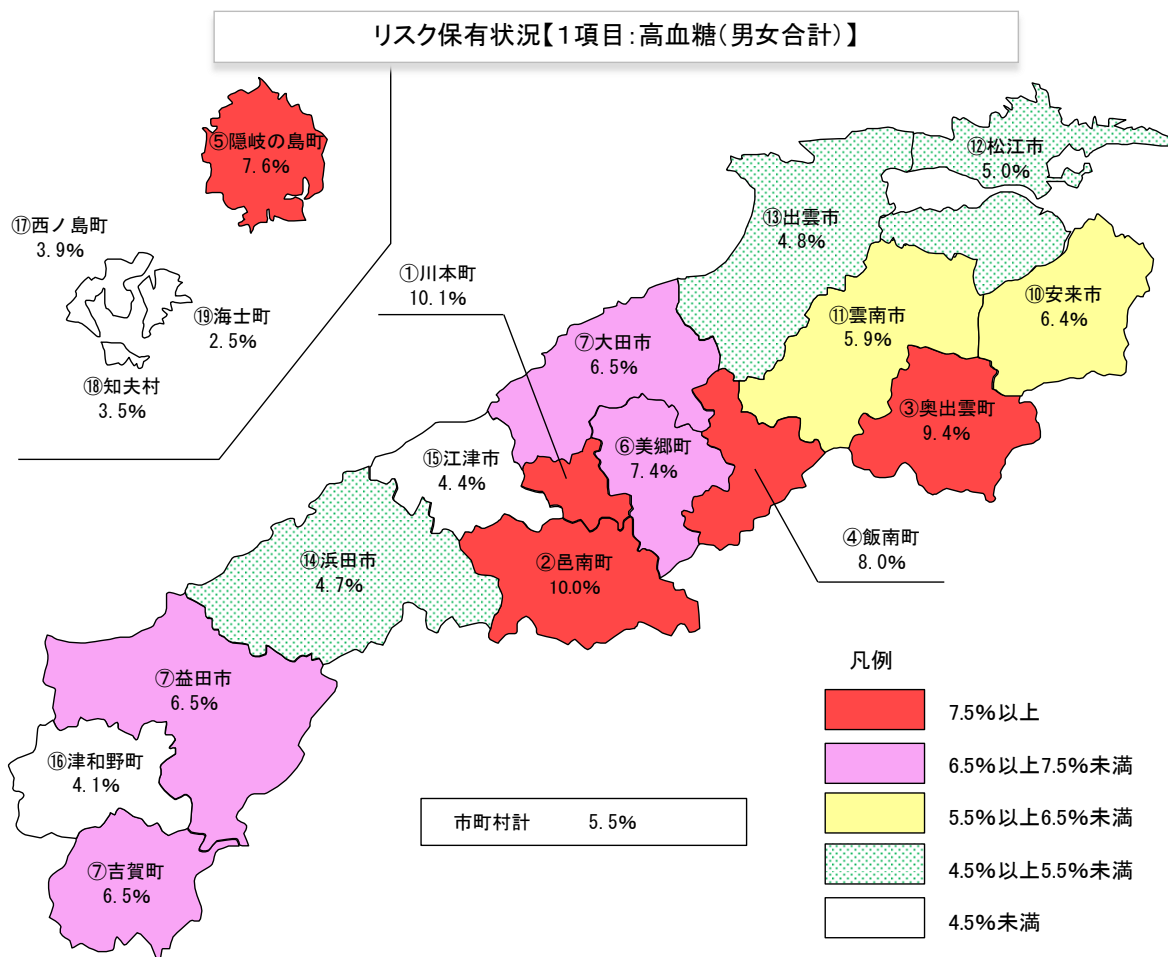
高血圧リスク保有者の割合は、最も高いのは津和野町で 29.3%、最も低いのは海士町で 13.5%。津和野町は、高血圧症有病者の割合も高い (P80 参照)。



イ 高血糖リスク保有者割合

高血糖リスク保有者の割合は、最も高いのは川本町で、近隣である県中央部は高い傾向がみられる。また、最も低い海士町をはじめとする隠岐郡（隠岐の島町は除く）は低い。

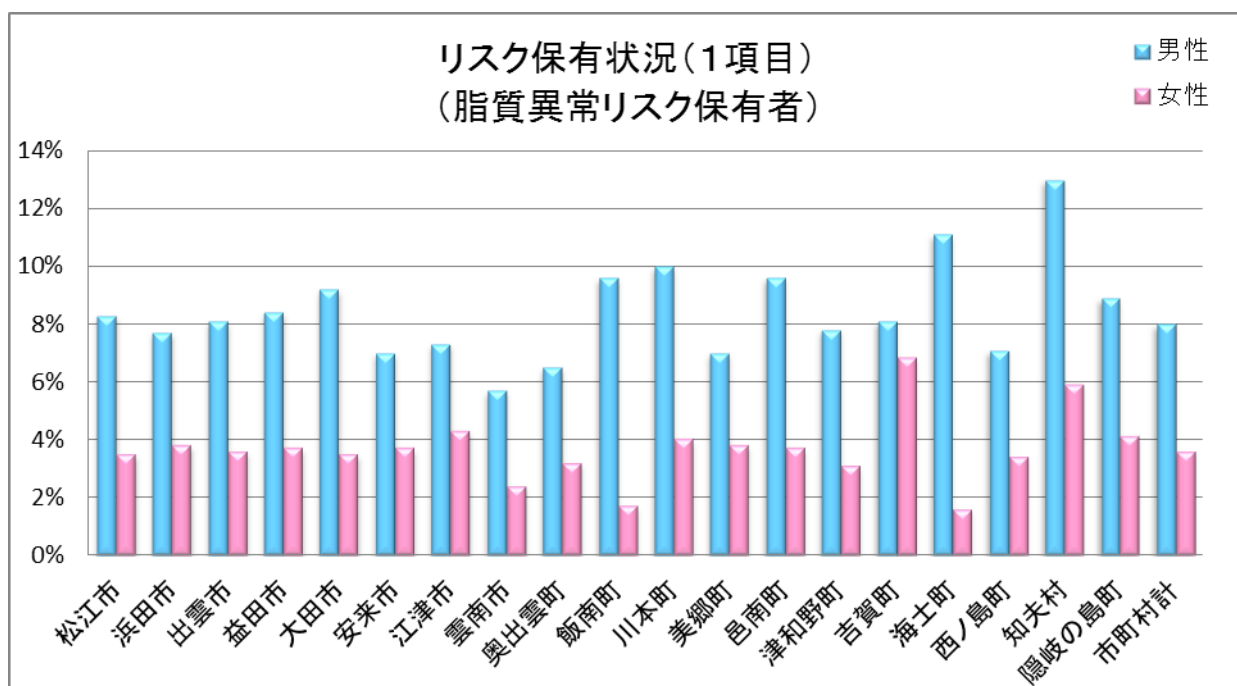
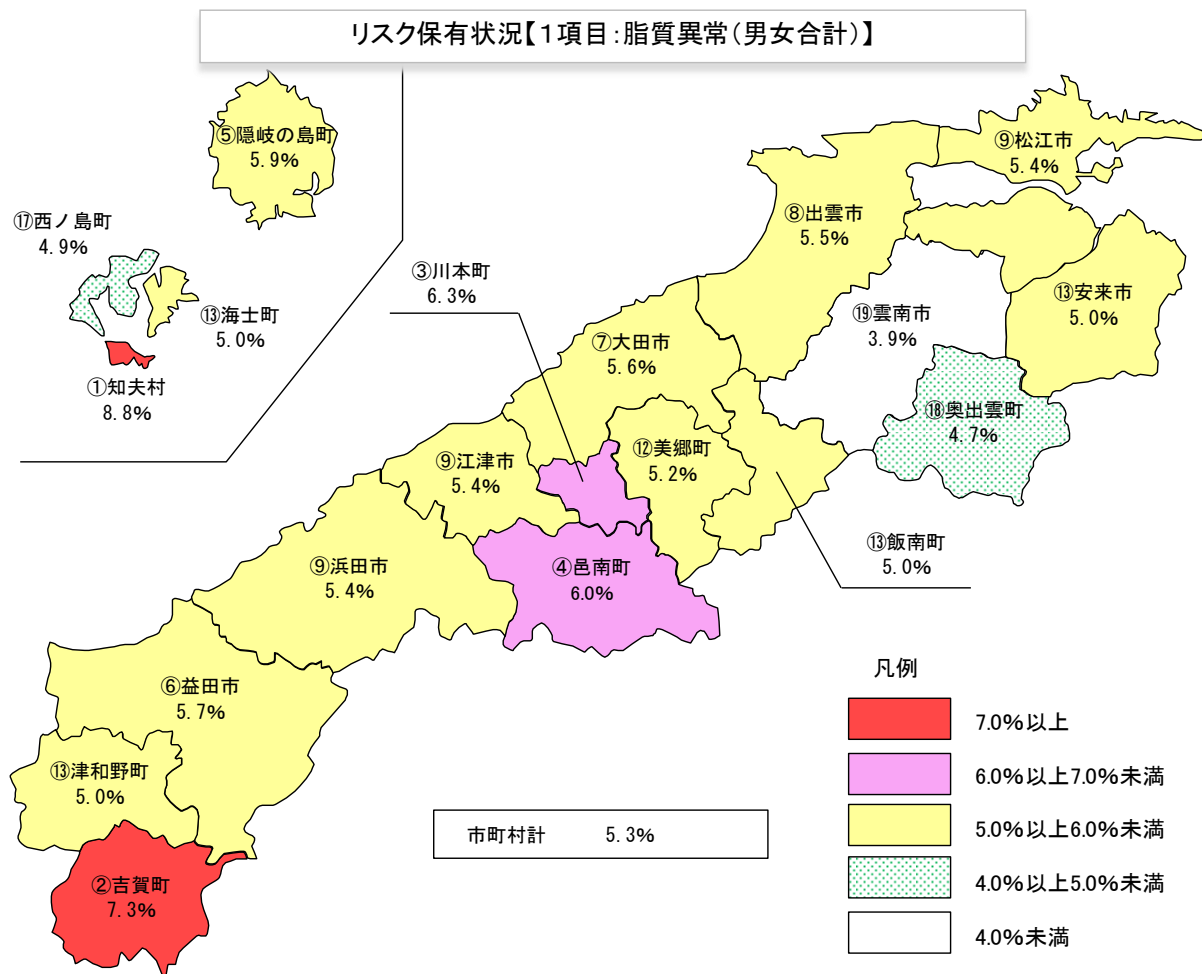
これらの傾向は、糖尿病有病者及び予備群と同様である（P82、83 参照）



※知夫村（男性）該当者なし

ウ 脂質異常リスク保有者割合

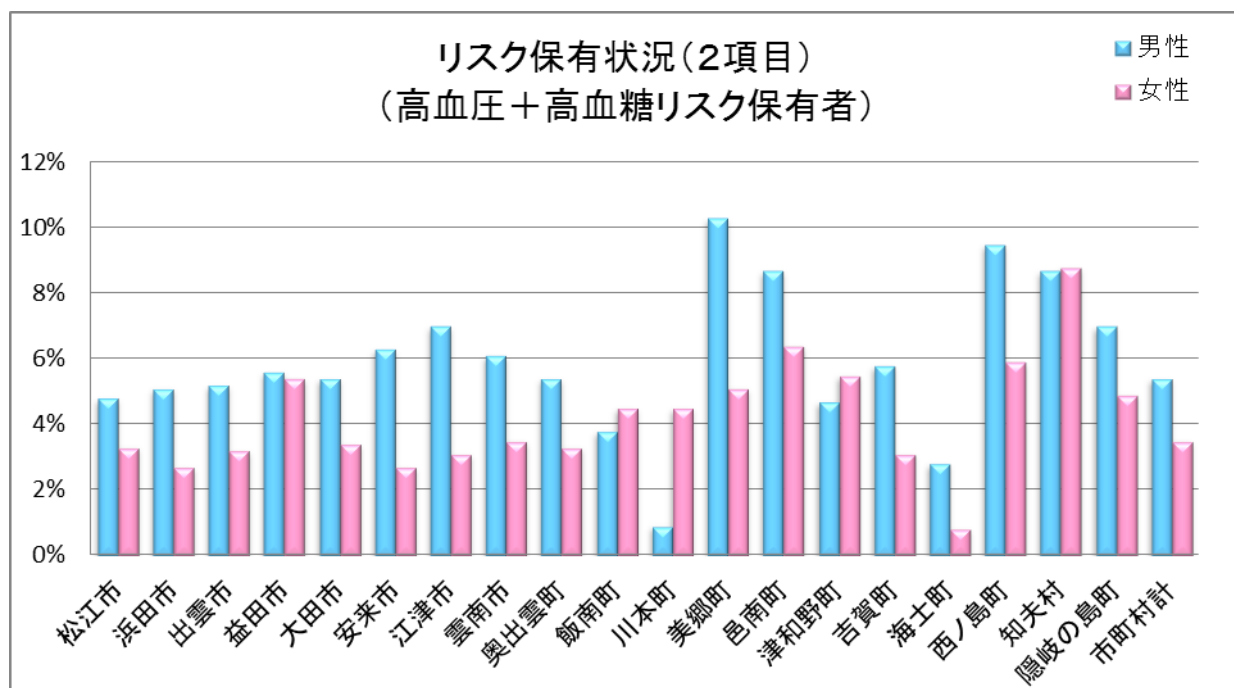
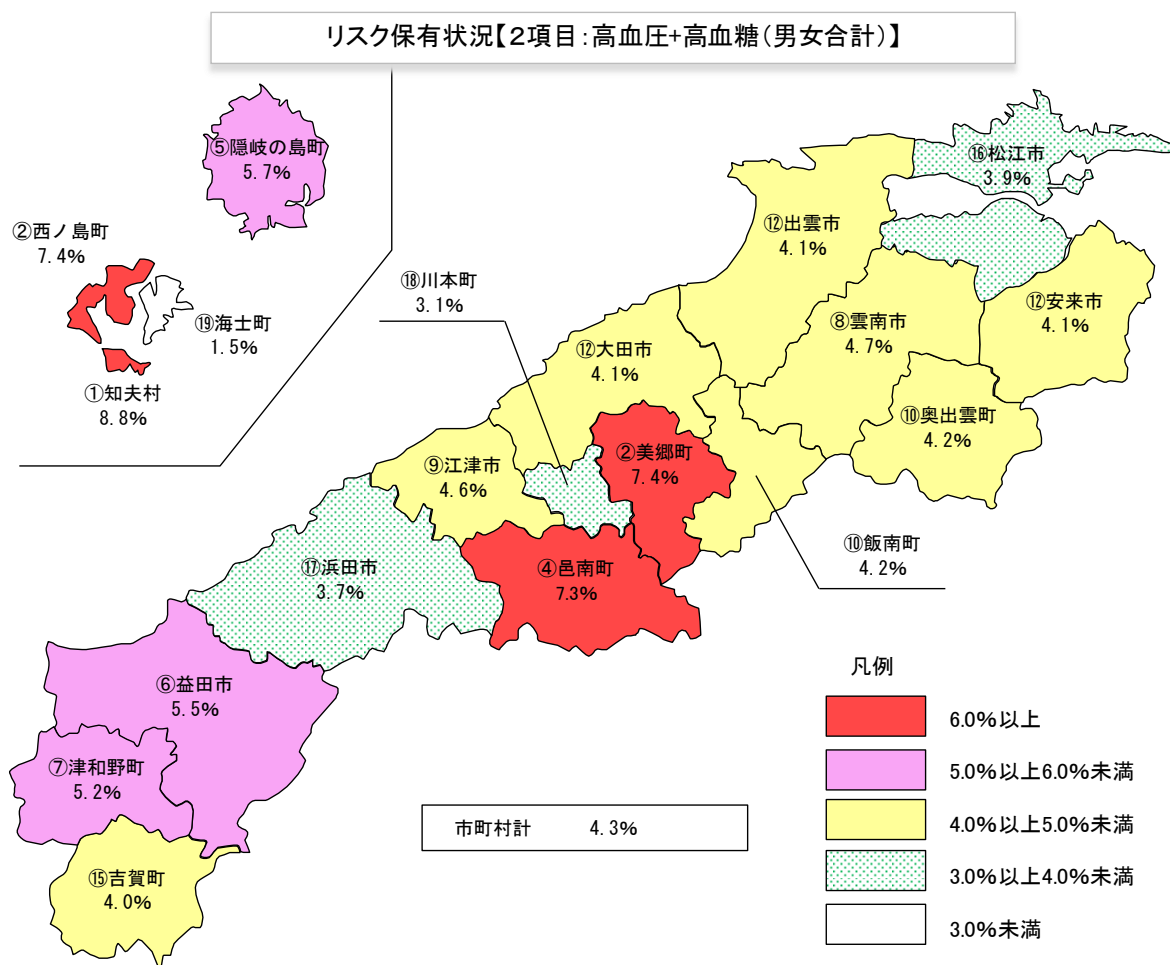
脂質異常リスク保有者の割合が最も高いのは、知夫村で8.8%。知夫村は、脂質異常症有病者及び予備群も高い（P84、85 参照）。



② リスク 2 項目

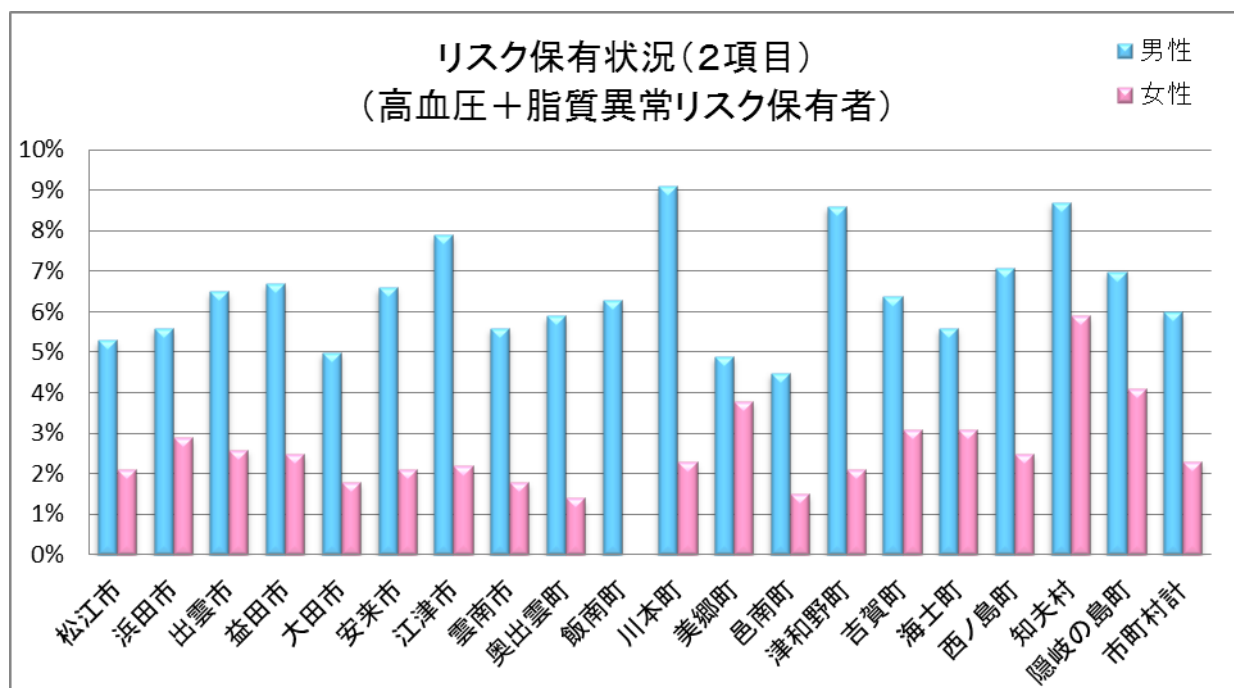
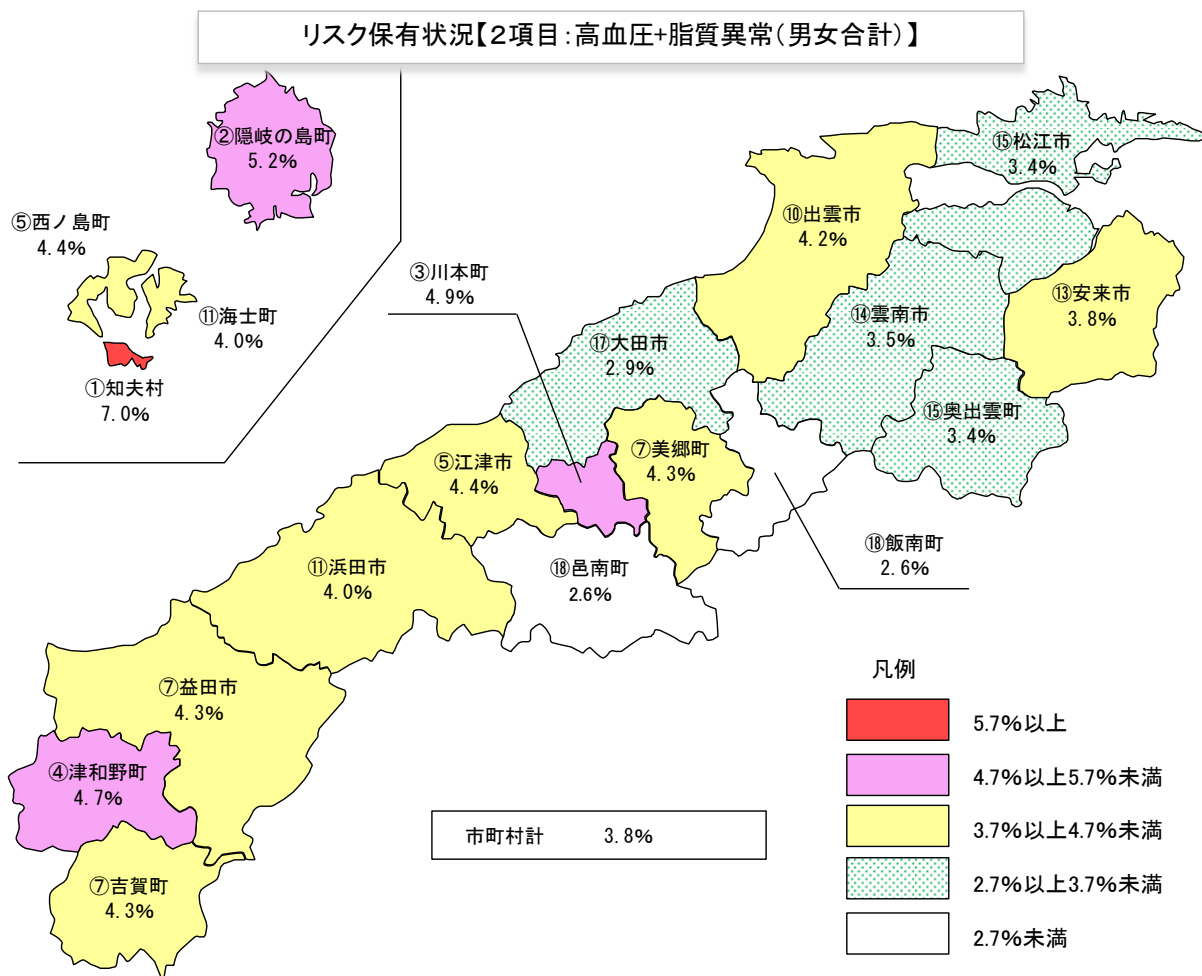
ア 「高血圧+高血糖」保有者割合

保有者割合が最も高いのは知夫村で、男女ともに高い。



イ 「高血圧＋脂質異常」保有者割合

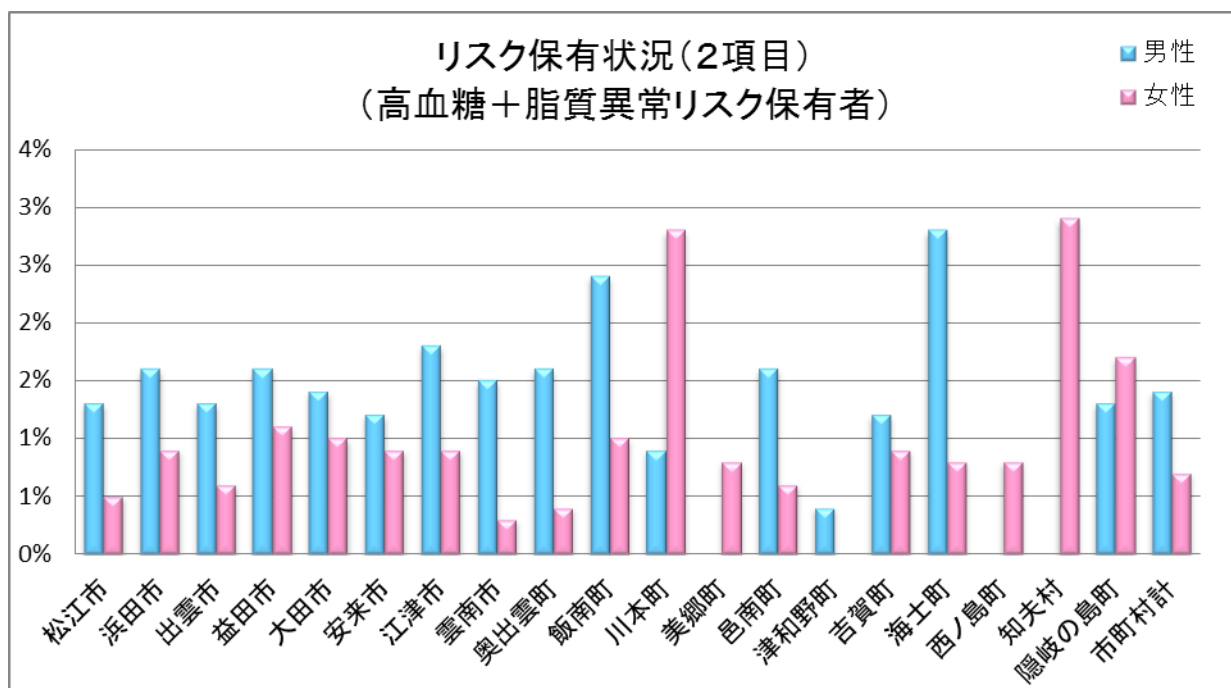
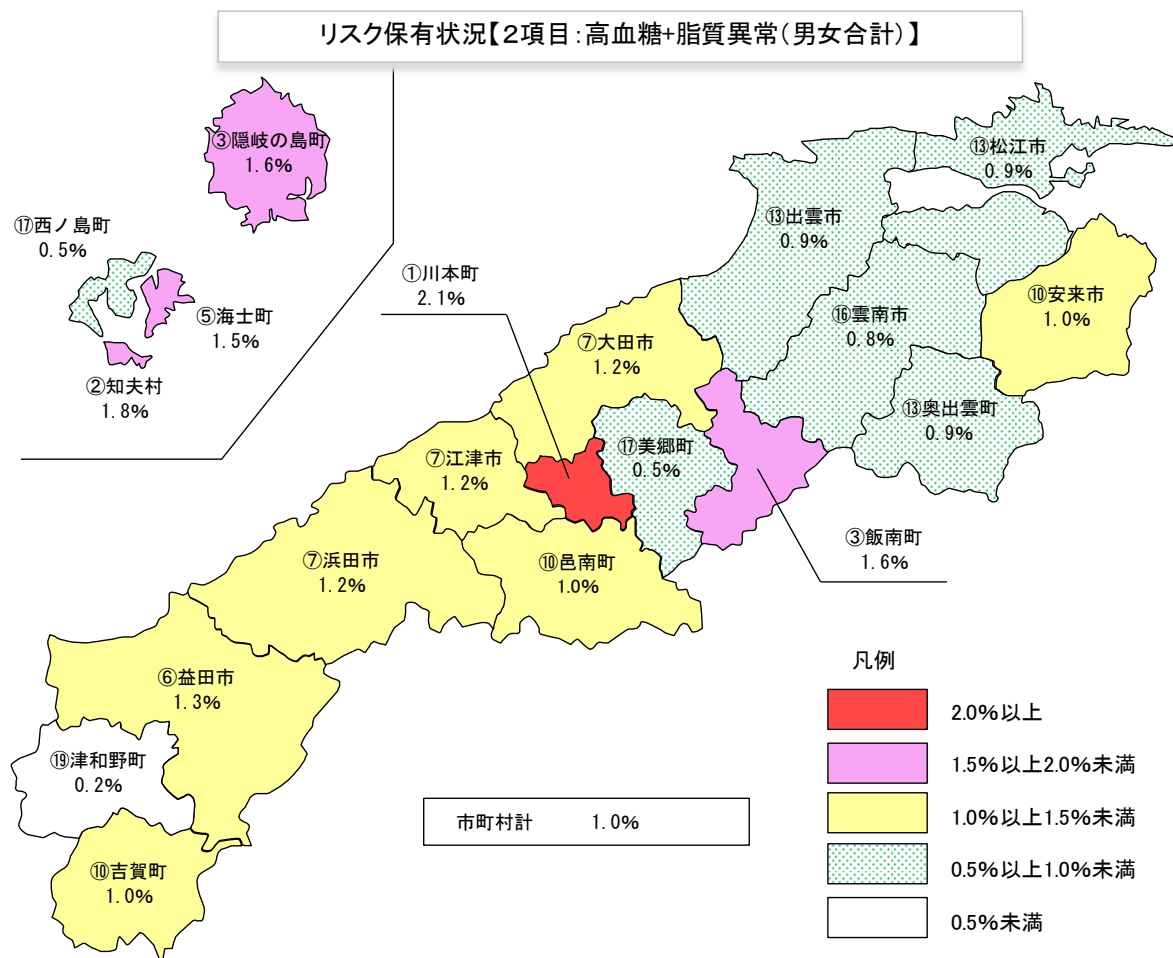
保有者割合が最も高いのは知夫村。隠岐郡及び県西部で高い傾向がみられる。



※飯南町（女性）該当者なし

ウ 「高血糖＋脂質異常」保有者割合

保有者割合が最も高いのは川本町であるが、割合が低く、市町村差も小さい。

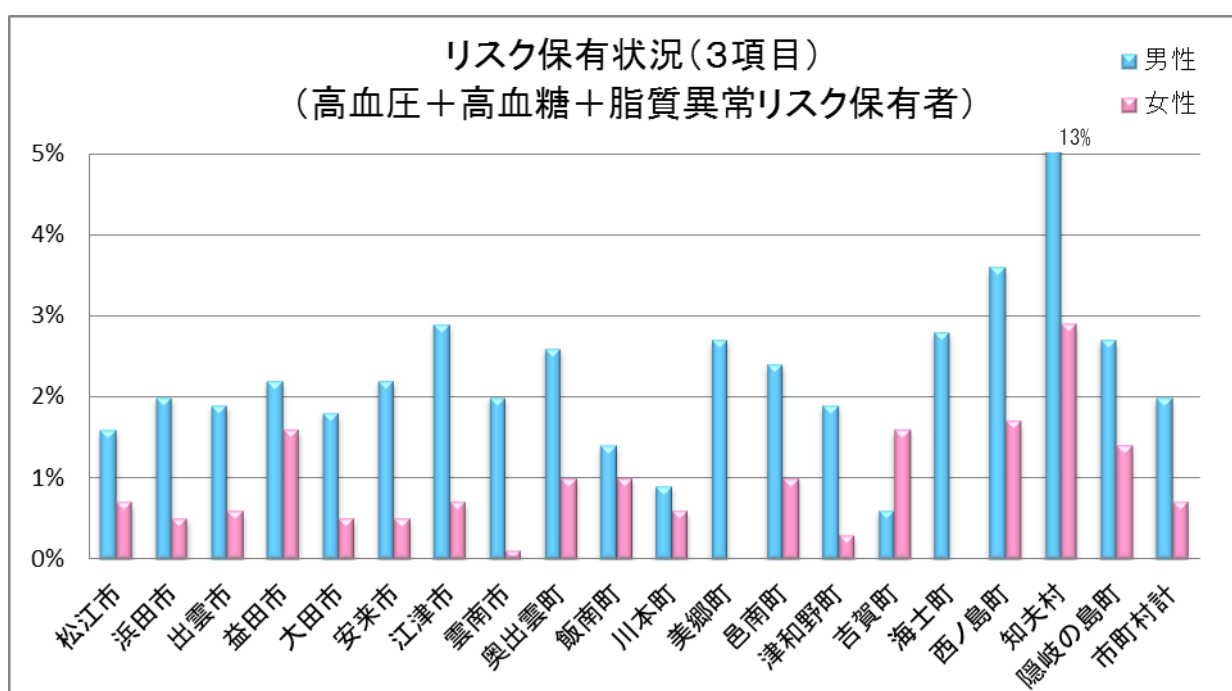
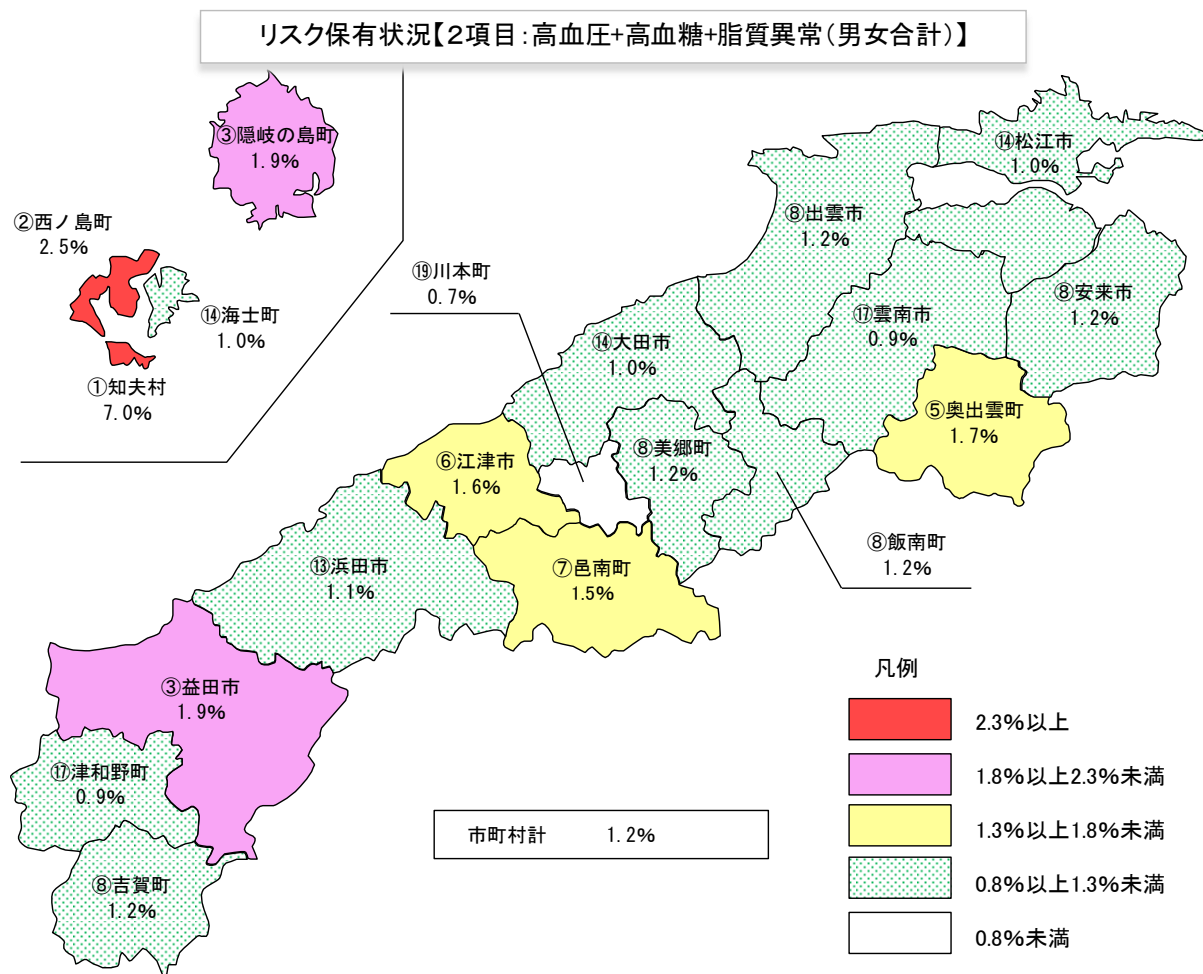


※美郷町（男性）、西ノ島町（男性）、知夫村（男性）、津和野町（女性）該当なし

③ リスク 3 項目

高血圧＋高血糖＋脂質異常

保有者割合は知夫村が最も高い。割合は低く市町村差は小さいが、知夫村の男性の割合が突出している。



分析にあたり、島根県立大学の協力を得て、ご助言をいただいた。

今後に向けて、「医療費と健診結果との関係、市町村別経年変化、受療行動の男女差など、より詳細な分析をすすめることで、適切な受診行動や予防行動について提案すべき」とのご意見もいただいた。

関係機関におかれては、引き続き、本報告書を保健事業等の推進にご活用いただきたい。

